

戦中期日本におけるイスラーム研究の成果と評価

－早稲田大学「イスラーム文庫」の分析－

課題番号 15530347

平成15年度～平成16年度科学研究費補助金基盤研究（C）（2）

研究成果報告書

平成17年3月

研究代表者 店田 廣文（早稲田大学・人間科学学術院・教授）

研究組織

研究代表者：店田 廣文（早稲田大学・人間科学学術院・教授）

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

| | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|----------|------|------|------|
| 平成 15 年度 | 600 | 0 | 600 |
| 平成 16 年度 | 500 | 0 | 500 |
| 総計 | 1100 | 0 | 1100 |

研究発表（イスラーム関係を含む）

(1) 学会誌等

店田廣文「マラヤ大学学生の意識調査」、『イスラーム科学研究』、1号、pp. 193-197、2005.

(2) 口頭発表

店田廣文「早稲田大学図書館所蔵『大日本回教協会寄託資料』を巡って」、旧日本植民地研究とデータベースの構築・研究会、2004年4月

(3) 出版物

店田廣文『暫定版・大日本回教協会寄託資料目録（修正・増補版）』早稲田大学人間科学学術院、アジア社会論研究室、2005（CD-ROM版）

目次

| | |
|-------------------------------|----|
| まえがき | 1 |
| 第1章 戦中期日本におけるイスラーム研究 * | |
| —早稲田大学図書館所蔵「イスラーム文庫」の概要と研究課題— | 2 |
| 第2章 戦中期日本のイスラーム研究 その1 | |
| 『大日本回教協会寄託資料』の分析 | 11 |
| はじめに | |
| 1. 「イスラーム文庫」研究の契機 | |
| 2. 大日本回教協会の成立とその他の研究機関 | |
| 3. 協会の組織と構造 | |
| 4. 協会の事業及び調査研究活動 | |
| 5. 組織改編から終戦へ | |
| 終わりにかけて | |
| 引用・参考文献 | |
| 資料 | 24 |
| 本報告書収録資料の解説 | 25 |
| 目録*整理済み資料 | 26 |
| 目録*仮整理資料 | 52 |
| 大日本回教協会関係写真資料目録 | 67 |
| 箱番号と封筒番号対応一覧 | 91 |
| 主要な機関誌・収録論文一覧（論題、著者名） | 92 |
| 『回教世界』 | |
| 『回教圏』 | |
| 『回教事情』 | |
| 『イスラーム』 | |
| 『新亜細亜』 | |

(注) *既発表論文を、そのまま再録したものである。

まえがき

本研究は、早稲田大学図書館に所蔵されている大日本回教協会（1937年設立～1945年解散）関係の資料（当大学内では通称「イスラム文庫」）の分析をとおして、戦中期日本におけるイスラーム研究の成果を評価するものである。なお上記の資料とは、同協会解散後、早稲田大学図書館に寄託された所内資料や名簿、手書き原稿、写真資料などを含むおよそ1800点と、ほぼ同量の手書き資料を指している。

日本とイスラーム諸国との本格的な交流は明治初期前後の遣外使節や留学生らの訪欧途上の現地体験にはじまり、その後日本の不平等条約改正運動やナショナリズムの興隆が同じ立場を体験したイスラーム諸国への関心を喚起し接触がおこなわれてきた。しかし、日清・日露戦争を境とした日本の国際的地位の変容は、その関心をイスラーム諸国の社会情勢を植民地統治の視点から参考にしようという帝国主義的な関心へと変化させていった。その後第二次大戦終結までは、日本あるいは日本人のイスラームへの関心は、軍国主義の時代にあつて国策によって形作られたものが主流であったと言われてきた。とりわけ戦中期の1930年代後半から第2次世界大戦終戦にかけては、大日本回教協会をはじめ、イスラム文化協会、回教圏研究所、満鉄東亜経済調査局回教班、外務省調査部回教班などが設立され、イスラームに関する調査研究や啓蒙活動がきわめて活発に行われ、研究者のみならず、日本人ムスリムや日本在住の外国人ムスリム、実務家、軍人がこれらの活動に参加した。しかし、このような「イスラム研究のブーム」も敗戦とともに雲散霧消したとされてきた。

本研究では、特にこの時期の同協会の組織構造と活動実態を同協会の所内資料を使用して、具体的に明らかにすることを目的とした。今回の報告書では、従来の研究成果をふまえて、戦中期の1930年代後半から第2次世界大戦後までの大日本回教協会の組織構造と活動実態を「イスラム文庫」にある業務資料や会計報告、事業報告を主に使用して、具体的に明らかにした。今後は、戦後のイスラーム研究の礎になったと考えられる研究者たちの研究状況を科学社会的視点から具体的に明らかにすると同時に、個々の研究や諸機関の活動が戦後日本のイスラーム研究にどのように継承されたのか再評価することを課題としたい。

平成17年（2005）年3月

店田 廣文

付記：平成15年度前半には「イスラム文庫」の目録『大日本回教協会寄託資料目録』をCD-ROM（暫定版）の形で関連する研究者に配布し概ね好評を博したが、「修正版・増補版」を今回の研究において再度作成した。

第1章

戦中期日本におけるイスラーム研究

—早稲田大学図書館所蔵「イスラーム文庫」の概要と研究課題—

抜刷

人間科学研究

第15巻 第1号 2002年

報告

戦中期日本におけるイスラーム研究
--早稲田大学図書館所蔵「イスラーム文庫」の概要と研究課題--

店田 廣文

戦中期日本におけるイスラーム研究
—早稲田大学図書館所蔵「イスラム文庫」の概要と研究課題—

店田 廣文*

Islamic Studies in Japan during the World War II period

Hirofumi Tanada

Abstract

Waseda University Library has a special collection called "Islam Library". In 1938, the "Dainihon Kaikyo Kyokai" (in English, Greater Japan Muslim League) was established with the support of Japanese Military Forces for the purpose of promoting Islamic studies and creating friendly relations with Islamic nations. The above mentioned collection was donated by an ex-member of the "Dainihon Kaikyo Kyokai" after its dissolution in 1945. It includes in-house printed research papers and materials, and also handwritten papers and so on. The academic evaluation of the collection in all have not yet been done. The author introduce what is content of "Islam Library" and discuss the research agenda in the future.

早稲田大学中央図書館の特別資料室に、「イスラム文庫」^{※1}と通称されている所蔵資料がある。これは戦前のイスラームに関する調査研究機関のひとつであった大日本回教協会（1938年結成、1945年解散）が所蔵していた協会所内資料や名簿、手書き原稿、写真資料などを含むおよそ1800点（一部、手書きの目録化済み）と、ほとんどが未整理の同量の資料である。これまで同文庫の散発的利用はあったものの、文庫全体の吟味や分析はなされておらず、その評価も手つかずのままである。本稿は、戦中期の日本におけるイスラーム研究や

日本とイスラーム諸国^{※2}の関係史解明にとって重要である同資料の全体概要を紹介することを第一義的な目的とするが、同文庫を利用した今後の研究課題についても言及する。

1. 戦中期のイスラーム研究

日本と西アジアや北アフリカのイスラーム諸国との本格的な交流は、明治時代初期前後の遣外使節や留学生らの訪欧途上の現地体験にはじまったといえよう。その後、日本の不平等条約改正運動

*人間健康科学科

*Department of Human Health Sciences

※本稿は、2001年度早稲田大学特定課題研究助成費（2001A-603）による予備的な成果の一部である。

や日本ナショナリズムの興隆が同じ立場を体験したイスラーム諸国への関心を呼び起こし、両者の接触が密になった時期を迎えた。しかし、日清・日露戦争を境とした日本の国際的地位の変化は、イスラーム諸国への関心のありようを、かの地の社会情勢を植民地統治の視点から把握するという帝国主義的な関心へと変容させていった。その後の日本あるいは日本人のイスラームへの関心は、第二次世界大戦終結までの軍国主義の時代にあつて極めて功利的なものが主流であつたと言われてきた。^{注3}

1930年代後半から1945年までの戦中期には、大日本回教協会をはじめ、イスラーム文化協会、回教圏研究所（後に、回教圏研究所）、満鉄東亜経済調査局回教班、外務省調査部回教班などが設立され、イスラームに関する調査研究や啓蒙活動がきわめて活発におこなわれた。これらの活動には、研究者のみならず、日本人ムスリム（イスラーム信仰者）や日本在住の外国人ムスリム、政治家、実務家、軍人などが参加した。同時に、これら機関は、「回教世界」、「回教圏」、「新亜細亜」、「回教事情」などの資料も刊行したのである。いわば、この時期は「わが国に於けるイスラーム研究の第一のブーム」^{注4}であつた。

上記の研究機関のうち、1938年9月に軍部の後援を得て設立された大日本回教協会は、当時のイスラーム研究の統合を意図した機関であり、最大の規模や陣容を誇っていたという。1939年の4月には、早くも協会調査部によって、機関誌「回教世界」第1巻第1号が発刊され、活発な活動を開始する。同協会会則によると、「本会は我国及国民と世界に於ける回教国及回教徒との親善融和及相互の福祉増進を図るを以て目的とす」（第3条）とあり、そのために「回教徒関係諸問題の調査及研究、文化の相互紹介、所要人材の養成、彼我通商貿易の促進その他必要と認むる各般の事業を行ふ」（第4条）とある。こうした方針に従い、「回教圏早わかり」、「回教圏要覧」などをはじめ、「我が南洋貿易と回教徒」、「インド回教民族の動向」などさまざまな出版物を刊行する一方、回教圏展覧会を開催して、一般的な広報活動もおこなつた。^{注5}しかし敗戦とともに、協会は「その成立の事情に禍されて、終戦とともに解散を余儀なくされた」

（昭和20年10月）のである。^{注6}

この戦中期における研究ブームは、戦後のイスラーム研究やイスラーム諸国を対象とする研究の礎になつたという意味では、大きな意義があつた。しかし、この時期のイスラーム研究やイスラーム諸国研究については、わが国の軍事的・地政学的な関心が強調され、当時のイスラーム認識については十分に研究されているとはいえないと思われる。協会そのものの性格に関しても、軍国主義的な色彩の濃い機関では必ずしもなかつたという言葉及も戦後なされている。^{注7}このような諸点について、「イスラーム文庫」に所蔵されている資料も利用しながら分析することは重要であろう。

なお本稿を執筆する契機となつた研究計画^{注8}では直接の対象としていないが、戦後日本におけるイスラーム研究の芽は、解散した大日本回教協会の活動のうち、学術研究面の継承を意図して大村謙太郎が発足させた日本イスラーム協会に胚胎されることになる。この協会は、戦後も大村を中心に公式、非公式に活動を続け、後に宗教法人である日本ムスリム協会、後に社団法人（1968年、外務省所管）となる再建後の日本イスラーム協会へと継承されることになる。^{注9}しかし、再建以前の日本イスラーム協会は、「研究らしい研究も行うことなく十数年が経過」していたとのことであり、大村の逝去後、早稲田大学教授松田壽男の尽力で、1963年7月に再建打ち合わせ会を早稲田大学大隈庭園内の完之荘において開催し、同月20日には第一回の理事会を開催し理事長となつた松田のもと再建への道を歩みだした。同年の11月には早くも機関誌「イスラーム世界」の創刊号が発行された。なお、現在の日本イスラーム協会の会員数は401名（2001年10月現在）である。^{注10}

2. 早稲田大学図書館の「イスラーム文庫」

大日本回教協会の所蔵資料が、早稲田大学図書館に正式に所蔵されるに至つた経緯や正確な時期そのものは明らかではないが、協会関係者のなかに早稲田大学関係者がいたことが所蔵に至るひとつの要因であつた。1955年に早稲田大学教授松田壽男（戦中期には、回教圏研究所研究員・資料部長であつたし、大日本回教協会参事であつた）に、

協会の中心人物のひとりであった大村謙太郎から所蔵資料の保管に関して相談があり、当時の早稲田大学大浜総長に相談した結果、預かったという経緯が紹介されている。^{註11} 戦中期の資料を緊急避難的に大学図書館に寄託したということもあるようだ。大村の逝去(1962年)後、寄贈のような形で早稲田大学図書館での所蔵が決定したものと思われる。

もちろん、早稲田大学が1945年の大戦終結までの時期に、ムスリムやイスラーム研究と全く縁がなかったわけではない。既述のように、大日本回教協会メンバーには松田がいたし、その他にも早稲田大学教員の名前もある。また1910年前後に、大隈講堂において外国人ムスリムによる講演会が開催されたり、大隈重信が彼らと親交をもったなどの歴史的事実もある。また戦後には、前述したような日本イスラーム協会の再建後に、松田理事長のもと早稲田大学が事務局を担当していた時期がある(1980年まで)。このような経緯をふりかえると、最初のきっかけはともかく、「イスラーム文庫」が最終的に早稲田大学に所蔵されることになったのは、自然の成り行きであったのかも知れない。^{註12}

ところで、現在の早稲田大学におけるイスラーム研究はけっして盛んとはいえない。試みに、教員の学術研究状況に関する早稲田大学ホームページを使用して、「イスラーム(イスラーム)」で検索すると、筆者を含めて11名がヒットし、東洋史、考古学、政治学、社会学、教育学などを専攻する研究者たちがいるが、同ホームページに公開されている研究業績を参照しても、イスラーム(イスラーム諸国の研究を含めて)研究が活発とはいえないのが現状である。世界人口の2割以上をムスリム人口が占め、ムスリムの居住する地域が200ヶ国以上にのぼることを考え、^{註13} 世界研究をひとつの重要な研究領域に据えるならば、早稲田大学でのイスラーム研究はその整備が望まれる所であろう。

3. 「イスラーム文庫」の整理と所蔵の現況

イスラーム文庫は、ある程度まで整理済みの資料と、まったく未整理の資料に大別される。前者は、

3つに分類できる。第一は、図書館への寄贈資料に含まれていた図書や雑誌の類(和書、洋書を含む)である。これらは、後にほとんどが図書分類番号を付されて、分類記号別に配架された。早稲田大学図書館によって、1993年2月25日付けの「イスラーム文庫 受け入れ番号 45-6100~6826」という記録が作成されており、また洋書およそ100点についても記録が残されている(いずれもワープロソフトを使用して作成したものである)。この中には、イスラーム、西アジアをはじめイスラーム地域関係の書籍をはじめ、一般書籍も含まれる。第二は、写真や乾板、書画の類である。これらについては、早稲田大学図書館がエクセルで作成した32ページにのぼる大日本回教協会関係写真資料目録がある。それによると、1277点の写真と、9点の書画、64枚の写真乾板が記載されている。第三は、協会の所内資料や名簿、手書きの原稿などがある。これらについては、「大日本回教協会関係資料目録」が作られており、これによれば、501点の資料がある。ただし、この目録は手書きであり、パソコンへの入力はおこなわれていない。

次いで、後者の未整理の資料について、紹介しよう。これらは、60×50×40センチほどの大きさの段ボール箱8個に保管されている。内容は、原稿や、手書き資料、新聞の切り抜きなどであるが、詳細については今のところ不明である。以下では、上述してきた資料の内容に立ち入って述べることにしよう。

(1) 図書分類番号を付された図書や雑誌の類(和書、洋書を含む)

受け入れ番号順に、イスラームに関わるものをいくつか拾い出してみると以下のようである。「回教世界と日本」、「コーラン教」、「回教に於ける個体」、「回教解説」、「回教圏展覧会計画書」、「支那回教徒に就いて」、「第八一回帝国議会に於ける回教問題の審議」、「回教事情」、「中央アジアの回教圏」、「名古屋イスラーム教会建設の由来」、「回教を語る座談会」、「回教公認が我が国民に与える影響に就いての問答」、「時局ト回教問題」、「回教の全貌-明日の世界勢力-」、「苦悩するソ聯回教民族」、「大東亜建設と回教徒」等々。このほかにも、多数あるが、当時のイスラーム研究の方向の一端を表

していることは間違いない。これらのなかには、大日本回教協会の出版物も含まれており、既に配架済みの資料にも協会の活動や理念を知るうえで欠かせないものがある。これらは早稲田大学図書館の学術情報検索システムに入っており、様々な検索や利用は既に可能であり、また学外者の利用に紹介状などが必要とはいえ、一般に公開されているといつてよいだろう。これらの図書・雑誌などの検索は、インターネット上の早稲田大学学術情報検索システム (<http://wine.wul.waseda.ac.jp/>) を通じて、誰でも自由におこなうことができる。

(2) 大日本回教協会関係写真資料目録所収の資料

ここには協会関係の写真のほか、様々な写真資料が混在している。場所や日付の特定できないものも多いが、協会の活動を具体的にみるのが可能である。これらについては、前述したようにエクセルによる基礎的なデータ入力が終わっているが、前述したシステムには未登録であり、検索などは出来ない。目録あるいはデータベースをどのように整備するかが課題となろう。この資料の利用は限定されている。

(3) 大日本回教協会関係資料目録所収の資料

ここには所内資料や手書き原稿があり、仮の整理はなされていて、研究者などの特別な条件付き利用は認められている。前述したように、手書きの目録はあるものの、情報システムへの登録に必要な基礎的なデータ入力はなされていない。もちろん検索などは出来ない。これら資料については、目録あるいはデータベース作成にまず着手することが課題であろう。ここに含まれている主要な資料をいくつか紹介しよう。「協会会則」、「事業計画」、「業務報告」、「業務分擔表」、「議事録」、「職員会儀儀事録」、「調査方針」、「調査部職務分擔表」、「調査事項」、「解散式訓話要項」、「評議員名簿」、「関係者名簿」等々。これらは、協会の組織や活動の実態をみるために欠かせない資料である。

なお、本稿の執筆と同時進行で、これらの資料を現在まずデータベースとして整理中である。まだ完成されたものではないが、その一部を参考資料として著者、書名、発行元、刊行年などの項目を、別表の形で掲載する。掲載順は、図書館作成

の手書き目録どおりである。

(4) 未整理の資料

これについては、未だ詳細を記すことが出来ないが、前述したように、原稿や、手書き資料、新聞の切り抜きがある。ただ、切り抜きに関して、一覧したところ、地域別に切り抜きが整理されていることが見て取れた。しかし、その掲載紙などの情報が欠落しているようであり、どの程度資料的価値を持つのか不明である。

4. 今後の研究課題と計画

以上にこの文庫の全体概要を紹介してきたが、最後に「イスラーム文庫」を利用した研究課題と計画についてふれておこう。

まず図書館所蔵資料としての「イスラーム文庫」をイスラーム研究者はじめ多くの研究者に公開し、利用の道を開くことは重要な目的である。そのため、筆者は早稲田大学特定課題研究助成を得て、2001年度から2002年度にかけて、現在未整理である資料の分類整理と、次いでデータベース化や内容の分析に着手しつつある。

もうひとつの課題は、イスラーム研究に関するものである。まず当時の日本および日本人のイスラーム認識がどのようなものであったのかという課題がある。戦中期のイスラームに対する関心は、軍国主義的な色彩が強かったといわれるが、その背景にはイスラームの学術的研究の意図もあったといえよう。しかし、その部分でいかなる成果を戦中期の研究が達成あるいは目指そうとしていたのかはあまり明らかではない。日本のイスラーム研究の科学社会学的研究を意図するとすれば、「イスラーム文庫」を整理し分析することによって得られる知見をふまえ、大日本回教協会はじめ各種研究機関の活動や研究を事例として、同時期の日本におけるイスラーム研究の再評価をすることが課題である。

注1 筆者が「イスラーム文庫」の存在を知ったのは、1997年である。商学部卒の校友から同文庫の整理や公開の方策を探ってほしいという依頼があったのである。その後も気にはして

別表 大日本回教協会関係資料目録の一部

| 番号 | 著者 | 書名 | 年号 |
|-------|------------|---------------------------|--------------------|
| 1 | | 日本回教文化協会創立趣意書並に規約 | 昭和11年12月 |
| 2 | | イスラム文化協会趣意書並に規約 | 昭和12年5月 |
| 3 | | イスラム文化協会趣意書並に規約訂正原稿 | 昭和12年8月 |
| 4 | | イスラム文化協会趣意書並に規約訂正原稿 | 昭和12年8月 |
| 5 | | 大日本回教協会会則 | |
| 6 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会会則 | |
| 7-8 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会会則 | 昭和14年4月現在 |
| 9-11 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会会則 | 昭和14年5月現在 |
| 12 | | 大日本回教協会業務指針 | 昭和14年1月 |
| 13-14 | | 大日本回教協会事業計画並予算概要 | 昭和13年11月 |
| 15-18 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会職員及び備員服務規定 | 昭和19年 |
| 19-21 | | 大日本回教協会に就て | |
| 22 | | 大日本協会概要改訂原稿 | |
| 23 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会事業計画案 | 昭和14年6月 |
| 24 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会事業計画 | 昭和14年6月27日 |
| 25 | | 大日本回教協会事業計画案 (昭和17年度) | |
| 26 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会業務報告 (昭和15年度) | 昭和16年6月 |
| 27 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会人員整備費並資料蒐集費 | |
| 28 | | 大日本回教協会本部内規 | 昭和14年5月30日 |
| 29 | | 大日本回教協会本部内規 | |
| 30-31 | | 大日本回教協会文書分類表 | |
| 32-33 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会各種合意決定日 | |
| 34-36 | | 大日本回教協会本部業務分擔表 | 昭和14年7月 |
| 37 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会本部業務分擔表 (案) | 昭和15年2月 |
| 38 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会本部業務分擔表 | 昭和15年2月 |
| 39 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会議事録 | 昭和17年4月1日から昭和19年4月 |
| 40 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会参考書類 | |
| 41 | | 宗教団体法案類 | |
| 42 | | 大日本回教協会行事予定表 | 昭和19年2月 |
| 43-45 | | 大日本回教協会回教政策審議会 (案) | |
| 46 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会職員会議議事録 | |
| 47 | | 大日本回教協会回教政策審議会規則 | 昭和19年8月 |
| 48 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会職員会議議事録 | |
| 49-50 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会出版物編輯方針 | |
| 51 | 回教世界 | 回教世界編輯記要 | |
| 52 | | 天方至聖実録出版計画書 | |
| 53-55 | | 南方回教徒向宣傳誌発行要項 (案) | 昭和18年6月10日 |
| 56 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会会務分擔表 | 昭和18年10月15日 |
| 57 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会松室総務部長達示 | |
| 58 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会総務・調査部ノ職務 | 昭和18年7月30日 |
| 59 | 大日本回教協会調査部 | 大日本回教協会調査部議事録並調査部日誌 | 昭和14年至18年 |
| 60 | 大日本回教協会調査部 | 大日本回教協会調査部調査方針 | |
| 61 | 大日本回教協会調査部 | 大日本回教協会調査部調査方針 | |
| 62 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会調査部構成案 | 昭和18年6月29日 |
| 63-64 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会調査部内規 | |
| 65 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会調査部処務内規 | 昭和14年4月8日 |
| 66 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会調査部職務分擔表 | 昭和19年9月11日 |
| 67 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会調査事項 | 昭和14年4月12日 |
| 68 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会調査部ノ職務 | 昭和18年7月27日 |
| 69 | | 大日本回教協会第一周年記念総会會議要録 | 昭和14年9月21日 |
| 70 | | イスラム用語調査委員会記録一至一二回 | 昭和21年7至9月 |
| 71-72 | | 回教徒留学生取扱ヒニ関スル具申書 | 昭和19年4月 |
| 73 | | 回教徒有力者招致(日本来京)滞留に関する件草稿 | |
| 74 | | 大東亜共栄圏の留日学生育成に関する意見書 | 昭和18年9月 |
| 75 | | 中国要人子弟の留日教育に関する意見書 | 昭和18年6月19日 |
| 76 | | 回教大学林規則案 | |
| 77 | 講習科 | 回教大学林講習科開設案 | |
| 78 | | 回教政策審議会記録書 | 昭和18年至19年 |
| 79 | | 第八十一回帝國議會における回教問題の審議原稿の残稿 | 昭和18年 |
| 80 | 回教徒 | 第八十一回帝國議會における回教問題の審議 | 昭和18年1月 |
| 81 | | 大日本回教協会事業達成の資金募集の依頼状 | 昭和13年12月 |
| 82 | | 会長交代の挨拶状 | 昭和17年12月 |
| 83 | | "四天王会長の理事、職員に対する訓示" | 昭和18年7月17日 |
| 84 | | 会長就任満二年に際しての訓示 | 昭和19年11月 |
| 85 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会解散式訓話要項 | |
| 86 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会解散式当日訓話要項 | 昭和20年10月15日 |
| 87 | | 大日本回教協会解散式後記事述 | 昭和20年10月23日 |
| 88 | | 日本イスラム協会業務開始ニ当リテ | 昭和20年11月5日 |

出典：早稲田大学図書館作成「大日本回教協会関係資料目録」(手書き、作成年月不詳)より筆者作成。

いたが、取りかかる契機がなく時間が過ぎた。しかし10年来の友人であるカイロ在住のジャーナリスト鈴木登氏の話がきっかけとなって、同文庫の研究に取りかかろうと考えた。彼は、1900年代初期に日本に滞在したエジプト人のアハド・ファドリー大尉の研究を行っており、同大尉と早稲田大学あるいは大隈重信との交流について、また関連する大学所蔵の資料について、何度か話し合ったことがある。その研究については、以下を参照。鈴木登「アラブはこうして日本を知った アハド・ファドリー伝」『アラブ』日本アラブ協会、第63号、1992。同「非業の人 アハド・ファドリー大尉伝 第1回～最終回(第10回)」『アラブ』日本アラブ協会、第65号～第75号(第73号には掲載なし)、1993～1995。また関連する文献として、アブデュルラシト・イブラヒム『ジャポニヤ』(小松香織・小松久男共訳)、第三書館、1991。がある。同文献には、ファドリー大尉や、著者と大隈重信との交流についても記述がある。

注2 本稿で、イスラーム諸国やイスラーム社会というのは、ムスリム(イスラーム信仰者)が当該社会においてかなりの程度多数派となっている国や社会を指している。厳密な定義付けはおこなっていない。

注3 杉田英明『日本人の中東発見』東京大学出版会、1995、参照。明治期以前の、日本とイスラーム社会との交流については、以下の文献も参照。小林元『日本と回教の文化交流史』中東調査会、発行年不詳(まえがき、1975)。

注4 前嶋信次「イスラーム研究ブームことはじめ—先次大戦末までの思い出」『日本とアラブ—思い出の記—(その1)』日本アラブ関係国際共同研究国内委員会事務局、1980、20頁。

注5 松島肇『大日本回教協會の使命に就て』大日本回教協會、1939。および機関誌『回教世界』を参照。

注6 松田壽男「発刊のことば」『イスラーム世界』1、1963。

注7 小村不二男『日本イスラーム史』日本イスラーム友好連盟、1988、535頁。

注8 2001年度早稲田大学特定課題研究助成

(2001A-603)『戦中期日本におけるイスラーム認識と受容に関する研究』。

注9 小村『前掲書』、535-540頁。

注10 戦中期から終戦を経て再建までのイスラーム協会の状況などについては、前出の杉田、前嶋、松田、小村の文献をはじめ、以下の諸文献も参照。前嶋信次「編集のあとがき」『イスラーム世界』1、1963。嶋田襄平「松田壽男先生の御逝去を悼む」、中原道子「松田壽男先生の思い出」、「松田壽男先生年譜」、以上は『イスラーム世界』20、1982。板垣雄三「日本イスラーム協会の歩みをふりかえる」『イスラーム世界』44、1994。同「知識のラターイフ(たのしみいろいろ)」前嶋信次『書物と旅 前嶋信次著作選4』平凡社、2001所収。熊谷哲也「資料:日本イスラーム協会の沿革(稿)」『イスラーム世界』44、1994。また「大村謙太郎氏談話」『イスラーム世界』45、1995や「徳川家正氏談話」『イスラーム世界』46、1996。も参照。

注11 「座談会 日本におけるイスラーム学の歩み」『イスラーム世界』2、1964。

注12 「露人イブラヒム氏の来校」『早稲田學報』169号、1909。「モハメット教講演」『早稲田學報』183号、1910。イブラヒム『前掲書』。

注13 店田廣文「イスラーム社会の人口と都市化」『世界と人口』331号、2001年10月。

WASEDA

Studies in Human Sciences

Volume 15, number 1, 2002

Islamic Studies in Japan during the World War II period
"Islam Library" in WASEDA University Main Library

Hirofumi Tanada

School of Human Sciences
Waseda University

第2章

戦中期日本のイスラーム研究 その1

—『大日本回教協会寄託資料』の分析—

戦中期日本のイスラーム研究 その1

— 『大日本回教協会寄託資料』の分析 —

店田 廣文

はじめに

早稲田大学図書館に「イスラム文庫」と通称される資料が所蔵されていることは、イスラーム関係研究者の間では周知のことである。この資料は1938年に設立された大日本回教協会が第二次大戦後に解散となった時点以降に、早稲田大学に寄託され整理された資料のうち、図書や製本資料を除く、所内資料、調査資料、業務関係資料、原稿、規約などからなる資料群である。その概要については、別稿で報告した(店田、2002)。

大日本回教協会が設立された1938年前後は、「大東亜共栄圏」に象徴される帝国日本の拡張主義の真っ只中にあり、政策科学としての植民地研究華やかなりし頃であり、当時のイスラーム研究もその一環として立ち上がっていた。数あるイスラーム研究機関の中には「学術的研究機関としての回教研究を意図していた」と評される回教圏研究所(後に、回教圏研究所)があった(田村、1987)。果たして、大日本回教協会は「工作者養成機関あるいは調査研究機関」なのか、改めて残された資料をもとにして検証をおこない、同協会がかかわった調査研究をはじめとする活動を再評価し、戦後の学術的なイスラーム研究にとってどのような役割を果たしたのか検討するための第一歩としたい。

1. 「イスラム文庫」研究の契機

イスラム文庫は、早稲田大学図書館に戦後寄託され所蔵されることとなった大日本回教協会の資料群である。これらの資料が、早稲田大学図書館に正式に所蔵されるに至った経緯や正確な時期そのものは明らかではないが、協会関係者のなかに早稲田大学関係者がいたことが所蔵に至るひとつの要因であった。1955年に早稲田大学教授松田壽男(戦中期には、回教圏研究所研究員・資料部長であったし、大日本回教協会参事であった)に、協会の中心人物のひとりであった大村謙太郎から所蔵資料の保管に関して相談があり、当時の早稲田大学大浜総長に相談した結果、預かったという経緯が紹介されている。緊急避難的に大学図書館に寄託したということもあるようだ。大村の逝去後(1962年)、寄贈のような形で早稲田大学図書館での所蔵が決定したと思われる。

同資料は、特別資料として所蔵されており利用上の制限はあるが、公開資料として従来より研究者などに利用されてきた。近年になって、日本のイスラーム研究隆盛(科学研究費による「イスラムの都市性」や「イスラム地域研究」などの大規模研究プロジェクトが

代表的なもの)に伴い、同資料に対する関心が高まり、筆者自身が同資料の存在を改めて確認して研究課題としたのは1997年6月のことであった。

早稲田大学が1945年の大戦終結までの時期に、ムスリムやイスラーム研究と全く縁がなかったわけではない。既述のように、大日本回教協会メンバーには松田がいたし、その他にも早稲田大学教員の名前もある。また1910年前後に、タタール系トルコ人で日本に於いては著名なムスリムであるイブラヒームと大隈重信が会談した事実や、当時の大学講堂において、エジプト人ムスリム、ファドリー大尉の講演会(イスラームに関する)が開催され、多くの学生聴衆を集めた記録がある。また戦後、資料寄託と関わりがあった文学部教員松田壽男が在任中は、大日本回教協会の戦後の後継団体と一つと目される社団法人日本イスラーム協会事務局が、文学部に所在していた(1963~1980年)。

このような経緯をふりかえると、最初のきっかけはともかく、「イスラーム文庫」が最終的に早稲田大学に所蔵されることになったのは、自然の成り行きであったのかも知れない。早稲田大学のイスラーム研究は、一時期に比べ拡大の様相を示しており、イスラーム科学研究所、各学部所属の教員などを核にして、多様な研究が実施されている。さらに、時代をさかのぼれば、1900年代の頃に、このような交流をふまえて、早稲田大学所蔵の資料「イスラーム文庫」を利用して戦中期日本のイスラーム研究を再評価することが本研究開始の契機である。

2. 大日本回教協会の成立とその他の研究機関

1930年代後半から1945年までの戦中期には、本研究が対象とする大日本回教協会をはじめ、イスラーム文化協会、回教圏攷究所(後に、回教圏研究所)、満鉄東亜経済調査局回教班、外務省調査部回教班などが設立され、イスラームに関する調査研究や啓蒙活動がきわめて活発におこなわれ、同時にこれら機関は、『回教世界』、『イスラーム』、『回教圏』、『新亜細亜』、『回教事情』などの資料も刊行したのである。いわば、この時期は「わが国に於けるイスラーム研究の第一のブーム」であった。

1938年9月19日に軍部の後援を得て設立された大日本回教協会は、当時のイスラーム研究の統合を意図した機関であり、最大の規模や陣容を誇っていたという。1939年の4月には、早くも協会調査部によって、機関誌『回教世界』第1巻第1号が発刊され、活発な活動を開始する。同協会会則によると、「本会は我国及国民と世界に於ける回教国及回教徒との親善融和及相互の福祉増進を図るを以て目的とす」(第3条)とあり、そのために「回教徒関係諸問題の調査及研究、文化の相互紹介、所要人材の養成、彼我通商貿易の促進其の他必要と認むる各般の事業を行ふ」(第4条)とある。こうした方針に従い、『回教圏早わかり』、『回教圏要覧』などをはじめ、『我が南洋貿易と回教徒』、『インド回教民族の動向』などさまざまな出版物を刊行する一方、回教圏展覧会を開催して、一般的な広報活動もお

こなつた。しかし敗戦とともに、協会は「その成立の事情に禍されて、終戦とともに解散を余儀なくされた」（昭和20年10月）のである。

3. 協会の組織構造

本節では、所蔵されている資料をもとにして、大日本回教協会の組織を概観することにする。同協会設立の翌昭和14年（1939年）7月の大日本回教協会本部業務分担表によると、会長と理事長の下に、総務部、事業部、調査部の3部門が設置され、それぞれを常任理事が統括する形態となっていた。各部門には、主事と参事が管理職として配置され、その下に事務員や書記、タイピスト、小使、給仕が働いていることとなっていた。各部門の業務を列記すると、以下の付表1の通りである。

同表には、「大日本回教協会基礎確立計画」と称する部分の記述があり、そこには協会事業の性質を「民間有志団体」とするものの実質的には、陸軍、海軍、外務の三省の指導や援助を受けて、政府の「裏面的事業」とする意向が記され、政府の閣議決定事業とする意向も明記されていた。同時に、「資金調達計画」にも、前述の三省からの補助金2万圓を本部開設費として、資金の補助をその他、商工省、内閣情報部、東亜研究所、興亜院、観光局、南満州鉄道会社、満州国政府（協和会）から仰ぐことも記されている。

とはいえ、昭和14年9月21日に軍人会館に於いて開催された「大日本回教協会一周年記念総会」に於いて一年間の活動を振り返って以下のような報告がなされている。

「・・・内部組織の確立と事業計画を策定し・・・先づ総務部、調査部を設け事業計画は五カ年五百万円計画とし其の資金の大部を民間より募集することとせしも、募金意の如くならず未だ事業部設置の運びに至らず。・・・政府から年に拾万円の補助金を頂いて・・・」とあり、協会の活動は発足当初から苦戦を強いられていたようである。事業部の問題は、昭和15年2月にはすでに解決し、当初の予定通り3部門体制で活動がおこなわれている様子がうかがえる（「協会本部業務分担表」昭和15年2月12日付け）。

4. 協会の調査活動と研究活動

協会の活動は、昭和14年はじめからとにかく本格化したようである。同年には、東京、大阪で回教圏展覧会が開催され、一般大衆にむけた広報宣伝活動がおこなわれている。「大日本回教協会一周年記念総会、会議要録」にまとめられ総会で報告された事業を記すと以下の通りである。

大日本回教協会 昭和14年の業務報告

昭和13年度より、在京回教徒団体、東京イスラム教団の援助

14年1月 日本との貿易に関してイエーメン国宗教大臣と近東貿易輸出組合の間を斡旋

同月以来 同上宗教大臣の国内視察を数回にわたり援助
同月以来 我が国民向けの回教徒に関するパンフレット、号外を計15万部発行
2月 イスラム文化協会を当協会に合併
同月 宗教団体法案の第一条に回教の2字を主張
同月 回教圏の交通、民族などの地図5種を作製し完成(5月)
同月以来 東京、大阪、名古屋、富山等において、回教事情普及の講演会、座談会
4月以来 機関誌「回教世界」を発刊
6月 アラビア語、マレー語のパンフレット作製に着手
8月 アラビア語講習会の開講準備(10月より開講決定)
同月 回教圏展覧会の開催準備(11月、東京、大阪にて決定)
同月 アラビア語新聞発行を援助

また昭和15年度から19年度のうち、15、18、19年度の三年分については、所蔵資料に業務報告が含まれており、具体的な活動内容を知ることができる。昭和15年度の業務報告(昭和16年度初期を含む)から、引き続き当時の活動内容を列記してみよう。

大日本回教協会 昭和15年度業務報告(昭和16年度初期を含む)

昭和15年4月 回教及び回教圏事情の紹介のため、回教圏展覧会(名古屋、松坂屋)
同月 展覧会場にて、回教貿易座談会(外務省関係者と名古屋の貿易業者が出席)
同月 アラビア語教科書の作成(協会のアラビア語講習会および大阪外国語学校の教科書)
同月 山東省より来日した馬良將軍(回教徒)歓迎会
5月 日本紹介のグラフ誌(アラビア語、マレー語、ウルドゥ語)2万部、諸地域に配布
同月 イエメン宗教大臣の依頼により無線通信設備、紡績工場等の設計、工事概算を作成
6月 イエメン産の岩塩見本を取り寄せ、輸入斡旋するも、欧州大戦のため、中断
7月 イエメン国の希望により技術者派遣を斡旋したが、欧州大戦のため、渡航不能
同月 アラビア語辞書を150部輸入し、アラビア語講習会および大阪外国語学校で使用
同月 イエメン宗教大臣の依頼により、国立手芸学校で使用する綿糸の購入を斡旋
10月 新聞発行準備のため、アラビア語活字を作成
同月 在留トルコ・タタール人のため、商業組合を設置
11月 守屋和郎¹、隈部積嶺、加藤三郎の座談会
12月 横山正幸、座談会
同月 林会長(林銑十郎)、守屋和郎、隈部積嶺、加藤三郎による西南アジア事情講演会を、東京に於いて開催
昭和16年2月 海外版グラフ誌の第2号、発刊4千部(アラビア語、トルコ語、ペルシ

ア語)

同月 アズハル大学教授オマル氏歓迎会。

その他の継続事業として、アラビア語講習会、機関誌「回教世界」の発行など。

昭和16年4月 アラビア語海外放送のためのスタッフ構成に参画(東京中央放送)

5月 道里記郡国誌(イブン・ホルダード著、アラビア語)を翻刻発刊

同月 天寶至聖実録(劉介廉著、田中逸平訳)の発刊に着手

同月 林会長(林銑十郎)、横山正幸、中山詳一²、北田正元、隈部積嶺の諸氏を講師とする
西南アジア事情講演会を、東京、大阪、京都、名古屋に於いて開催

同月 回教事情視察のため、協会員、川原信一郎を中南支に派遣

同月 海外版グラフ誌の第3号、4千部(アラビア語、マレー語)の印刷完了、製本中

以上に見られるように、この当時の活動は、主に経済的なもの、あるいは一般向けの広報活動を中心にしたものと見受けられる。本稿の関心事であるイスラームに関する調査研究については取り立てて述べるような成果があるとは言えない。

この当時の調査部には、主任として赤澤、職員として是則、田頭、江原、脇坂、村上の5名が所属して、回教に関する調査や機関誌の発行を主たる任務としていた(「協会本部業務分担表」(昭和15年2月12日付け文書)。しかし、同資料に添付されている別表によると、その他の部門に所属する職員を含めて、地域別に調査研究を分担するとされており、以下の通りとなっていた。

調査研究の分担(地域別)

| | |
|-----------|-----------------|
| 日本 | 加藤、鈴木(剛)、原田(恒) |
| 支那及満州 | 川原、宮元(秀雄)、脇坂、伊藤 |
| 近東及中亜アフリカ | 是則、江原、田頭 |
| 南洋及印度 | 宮村、原田(十兵衛)、神田 |
| 整理 | 赤澤(義人)、豊田 |

なお、同協会の機関誌「回教世界」は昭和14年4月に第一巻第一号が刊行され、その後も継続して刊行されたが、昭和16年の第三巻第十二号までで中断となった。

さて、以上のような陣容で具体的な活動は、上記のようであったが、ここで、事業経費を確認しておこう。昭和14年1月作製の「第一次五カ年計画」という副題の付いた「事業経費総予算要目」によると、総額500万円(現在の価値に換算すると、25億円ほど)、

うち、経常費のなかには、人件費 194,200 円、調査費 275,000 円、留学生・調査員派遣費 418,500 円、回教工作要因養成費 94,000 円、出版発送費 392,000 円などが計上されている。また、臨時費として回教会館建設費や通商貿易促進機関設置費をふくむ 1,955,000 円が計上されている。しかし、上記はあくまで計画であり、前出のように活動の裏付けとなる資金調達は困難を極め、実際の事業経費は非常に少なかった。昭和 17 年度の事業経費を「事業計画案」にしたがって内容と共に紹介してみると、次のようである。この合計予算額に見られるように、現実の活動規模は 15 万円前後であり、現在の価値に換算すれば 7500 万円程度の予算規模で活動していたことになる。

大日本回教協会事業計画案（昭和 17 年度）

| | | |
|------------------------|--------|----------------|
| 回教圏向けグラフ刊行 | 15,000 | |
| アラビア語新聞発行 | 30,000 | |
| 宣伝ポスター、ピラ、絵葉書等の作製 | 15,000 | |
| 回教関係の図書（単行本、パンフレット等）出版 | | 5,000 |
| 現地回教徒との連絡員派遣 | 30,000 | |
| 大東亜回教徒大会準備委員会 | 5,000 | |
| 宗教団体法中に回教を明文化せしむること | 3,000 | |
| 講演会、座談会の開催 | 5,000 | |
| 現地派遣工作員養成 | 15,000 | |
| アラビア語講習会の拡充 | 8,400 | |
| 支部開設 | 6,000 | |
| 回教会館建設計画 | 2,000 | |
| 内地回教教団の充実 | 12,000 | |
| | 以上 | 予算合計 151,400 円 |

5. 組織改編から終戦へ

これまで検討してきたように発足当初からの 2～3 年の協会活動は、調査研究の他、雑多な活動をこなしていたという様子がかがえるが、協会の後援者であった軍部や外務省は、対外宣伝活動や、回教工作活動の強化をねらい、具体的な指示を昭和 18 年 7 月に発令する。この背景には、同協会の経営問題もあったようで、補助金を支給すると同時に活動や人事についても具体的な指示が下されるようになったようである。

昭和18年の7月9日および13日付けで、大東亜省および外務省より、「大日本回教協会の当面の事業に関する指示」という文書（マル秘扱い）が出されている。内容は同じであるが、大東亜省からの文書がより具体的に多くの指示を記載しており、それを取り上げる。なお補助金は、前者（年8万円）、後者（年5万円）である。

「・・本省と緊密なる連絡を保持して、人事に其の人を得ると共に、其の事業の堅実にして且実効的ならんことを期する」と述べた上で、（1）対外宣伝として、回教徒向海外放送原稿の作成や、「支那西北地域、雲南地方、及印度等（向けの）宣伝及情報工作に関し立案することなど、（2）要員の養成に関する研究、（3）調査として、「協会自身の調査研究と併行して・・回教問題に関する研究調査の結果を総合集約し・・、調査研究の概要」を定期的に報告すること、（4）諸団体、研究家、篤志家等との連絡、（5）来訪、在留回教徒の世話や教団への補助金支給、（6）回教問題に関する国内啓発、（7）会計については年4回の会計報告と、人事に関する事前了解を得ること、以上の指示がなされた。この指示以降の活動については、昭和18年度の「事業報告書」に詳しい。その概要を記すと次の通りである。①西アジア向け放送原稿作成（33本）、②回教政策審議会の開催（昭和18年11月4日より昭和19年3月31日までの18回）、③研究会の開催（10回）、④図書発行、⑤宣伝映画作製、⑥講演会、座談会、語学講習会の開催、その他、諸団体との連絡や行事の一覧などが、列記されている。

上記の（3）に述べられた協会自身の調査研究と言われるものが、どの程度の融通性を持って組織されたのかは推し量るしか術はないが、具体的な課題を研究会記録から抽出すると以下の通りであった。

昭和18年6月以降の研究会記録

| 日付 | 研究会の論題 | 発表者 |
|--------|--------------------------|------------|
| 6月12日 | 世界回教徒の情勢 | 参事 松林亮 |
| 7月17日 | 南方回教事情 | 囑託 鈴木剛 |
| 8月14日 | 回教歴に就いて | 参事 赤澤義人 |
| 9月18日 | 英領治下に於ける印度 | 参事 原田十兵衛 |
| 10月9日 | アズハル大学に就いて | 専門委員 後藤信厳 |
| 11月13日 | 元代の回教 | 調査員 村上正二 |
| 12月11日 | 「イスラム」に於けるプラトン及アリストテレスの姿 | 調査員 古川晴風 |
| 1月8日 | ジャワに於ける回教事情 | 職員 宮元秀雄 |
| 3月11日 | 回教問題の基礎理念 | 専務理事 大村謙太郎 |
| 3月25日 | モロ族に就いて | 調査員 古川晴風 |

昭和19年度事業報告によると、このような研究会は以後も土曜日開催として継続し、

上記の10回を含め四十数回に及んだとの記述があるが、残念ながらその内容に関する記録は残されていないようである。なお昭和19年度には、政府補助金は大東亜省から20万円、外務省から5万円と増額されたが、活動の概要は、前年度とほぼ同様である。ただし、この年度の特記すべき事項は以下のことであろう。従来より回教圏研究所とは関係団体として交流があったが、昭和20年1月に共同研究発表の講演会（詳細不詳）を開催したことが一つであろう。もう一つは、回教会館を大蔵省所管の建物払い下げにより実現したことであろう。この建物は、同時に協会本部でもあり、渋谷区松濤町70番地にあったようである。なお、この建物の時価は「二百数十万円の資産」とされており、三井、三菱、住友その他の寄付により支弁したらしい（「大日本回教協会評議員会議事録」に所収の「事業報告」より）。以上の報告がおこなわれた評議員会は、昭和20年6月22日開催であり、終戦直前のことであった。

終わりにかえて

この戦中期におけるイスラーム研究ブームは、戦後のイスラーム研究やイスラーム諸国地域を対象とする研究の礎になったことは間違いない。しかし、この時期のイスラーム研究については、わが国の軍事的・地政学的な関心が強調され、当時のイスラーム認識についても十分に研究されているとはいえないと思われる。大日本回教協会そのものの性格に関しても、軍国主義的な色彩の濃い機関では必ずしもなかったという言及も戦後なされているが、現在のところ、それを裏付けるような組織や活動報告に関する資料も十分ではなく総合的な評価は今のところ困難である。

しかしながら戦後日本におけるイスラーム研究の芽は、解散した大日本回教協会の活動のうち、学術研究面の継承を意図したと考えられる、大村謙太郎が終戦直後に発足させた「日本イスラーム協会」に胚胎されることになった。その終戦直後の活動の一端について、寄託資料の中に記録が残されているので、紹介しておこう。昭和21年7月の日付で「イスラーム用語調査委員会記録、日本イスラーム協会調査部」という表紙をつけ原稿用紙（大日本回教協会の名称入り）に記された9枚の資料が残っている。第一回目は、昭和21年7月6日に「回教圏固有名詞調査委員会」として開催された。出席者は、松本、大久保（幸次）、内藤（智秀）、大村（謙太郎）、高橋、田頭である（姓のみ記録されている）。この一回目から八回目（8月24日）までの記録を示すと以下の表のとおりである。

この「日本イスラーム協会」は、その後も大村を中心に公式、非公式に活動を続け、後に宗教法人である日本ムスリム協会、および後に社団法人（1968年、外務省所管）となる日本イスラーム協会へと継承されることになる。しかし、大村の「日本イスラーム協会」は、「研究らしい研究も行うことなく十数年が経過」していたとのことであり、³大村の逝去

「日本イスラーム協会」委員会の概要（昭和21年）

| 委員会名 | 日付 | 場所 | 出席者 |
|--------------|-------|------|------------------------------|
| 回教圏固有名詞調査委員会 | 7月6日 | 不明 | 松本、大久保、内藤、大村、高橋、田頭 |
| イスラム用語選定委員会 | 7月13日 | 野方分室 | 松本、大村、内藤、田頭、高橋 |
| 回教圏固有名詞調査委員会 | 7月22日 | 不明 | 大村、松本、内藤、高橋、田頭 |
| イスラム用語調査委員会 | 7月27日 | 不明 | 大村、松本、高橋、内藤、大久保、田頭 稲垣理事傍聴 |
| イスラム用語調査委員会 | 8月3日 | 調査部 | 大村、松本、大久保、高橋、田頭 |
| イスラム用語調査委員会 | 8月10日 | 調査部 | 大村、大久保、松本、高橋、田頭 |
| イスラム用語調査委員会 | 8月17日 | 調査部 | 大村、大久保、松本、高橋、田頭 |
| イスラム用語調査委員会 | 8月24日 | 調査部 | 大村、大久保、内藤、高橋、田頭、松本 |

（1962年）後、早稲田大学教授松田壽男の尽力で、1963年7月に再建打ち合わせ会を早稲田大学大隈庭園内の完之荘において開催し、同月20日には新たに「日本イスラーム協会」として第一回の理事会を開催し理事長となった松田のもと再建への道を歩みだした。同協会は、同年の11月には早くも機関誌『イスラム世界』の創刊号を発行し、現在の社団法人日本イスラーム協会へと発展することになったのである。したがって、大日本回教協会でのイスラーム研究の実績が、戦後まったく継承されずに消え去ったと断言するには躊躇せざるをえないが、かといってその実績を礎に発展する道筋が開かれたとも積極的には断言することができないのが現状であろう。今後さらに分析を続け寄託資料のうち未整理部分にも手をつけて、改めて分析することを課題としたい。

引用・参考文献

- アブデュルラシュト・イブラヒム『ジャポンヤ』（小松香織・小松久男共訳）、第三書館、1991.
- 井岡峻一「日本のイスラム学—昭和13年」『イスラム世界』21,1983.
- 「松田壽男先生と私（1）（2）（3）」『松田壽男著作集・月報』3,4,5,1987.
- 板垣雄三「1930年代におけるイスラム研究」『わが国における中東地域研究に関する現状と展望—報告と討論の記録（抄）—』シンポジウム・わが国における中東地域研究に関する現状と展望・事務局、1979.
- 「日本イスラーム協会の歩みをふりかえる」『イスラム世界』44,1994.
- 「知識のラターイフ（たのしみいろいろ）」前嶋信次『書物と旅 前嶋信次著作集4』平凡社、2001.
- 「日本の中東・イスラーム研究の歩み」『イスラーム誤認』岩波書店、2003.
- 大澤広嗣「大久保幸次をめぐるイスラーム研究史考」『仏教学研究年報』35,2002.

- 「大村謙太郎氏談話」『イスラム世界』45,1995.
- 重親佐知子「松坂屋回教圏展覧会の周辺」『言語文化』12,2003.
- 「日本からみたドイツのイスラーム政策—月刊『回教世界』の分析を中心として—」『言語文化』13,2004.
- 川村光郎「イスラム学—戦前の流れ」『回教圏復刻版附録』1986年7月
- 「大久保幸次の横顔」『回教圏復刻版附録』1986年7月
- 「戦前日本のイスラム・中東研究小史—昭和10年代を中心に—」『日本中東学会年報』2,1987.
- 蒲生礼一「回教圏研究所の思い出」『東洋文化』38,1965.
- 熊谷哲也「資料：日本イスラム協会の沿革（稿）」『イスラム世界』44,1994.
- 小林元『日本と回教の文化交流史』中東調査会、1975.
- 「徳川家正氏談話」『イスラム世界』46,1996.
- 小松久男「大日本回教協会」大塚和夫ほか編『イスラーム辞典』岩波書店、2002.
- 小村不二男『日本イスラーム史』日本イスラーム友好連盟、1988.
- 「座談会—日本におけるイスラム学の歩み」『イスラム世界』2,1964.
- 嶋田襄平「松田壽男先生のご逝去を悼む」『イスラム世界』20,1982.
- 杉田英明『日本人の中東発見』東京大学出版会、1995.
- 鈴木登「アラブはこうして日本を知った—アハマド・ファドリー伝」『アラブ』63,1992.
- 「非業の人—アハマド・ファドリー大尉伝—第一回～第十回」『アラブ』65～75（73を除く）、1993～1995.
- 店田廣文「戦中期日本におけるイスラーム研究—早稲田大学図書館所蔵「イスラム文庫」の概要と研究課題—」『人間科学研究』15-1,2002.
- 田村愛理「回教圏研究所をめぐって—その人と時代—」『学習院史学』25,1987.
- 中原道子「松田壽男先生の思い出」『イスラム世界』20,1982.
- 日本アラブ関係国際共同研究国内委員会事務局『日本とアラブ—思い出の記（その1）（その2）（その3）』、「日本・中東イスラーム関係の再構築」研究会、2002（再刊）
- 野原四郎「回教研究の役割」「回教圏研究所の思い出」野原四郎『アジアの歴史と思想』弘文堂、1966.
- 前嶋信次「編集のあとがき」『イスラム世界』1,1963.
- 「イスラム研究ブームことはじめ—先次大戦末までの思い出」『日本とアラブ—思い出の記（その1）』日本アラブ関係国際共同研究国内委員会事務局、1980.
- 松田壽男「発刊のことば」『イスラム世界』1,1963.
- 「学問と私」『松田壽男著作集』第6巻、1987。（初出、『東西文化交流史』1975）
- 「松田壽男先生年譜」『イスラム世界』20,1982.
- 三浦徹「日本の中東・イスラム研究小史」『月刊百科』365,1993.
- 三沢伸生「戦前・戦中期の満州におけるイスラーム関係逐次刊行物—大久保幸次の収集

付表1. 大日本回教協会業務分担表 部門別

| 総務部 | | 専業部 | | 調査部 | |
|---------------------------|--|--|--|--------------------------------------|--|
| 庶務に関する事項 | | 回教会館(礼拝所、集会所、図書館、回教圏地方に関する参考館、宿泊所及附属小学校)の設立及運営 | | 回教に関する調査の研究 | |
| 資金調達に関する事項 | | | | 回教件かくちぼうの事情(民俗、言語、政治、経済、産業、文化等)の調査研究 | |
| 予算の編成、運用並会計に関する事項 | | | | 回教及回教徒に関する図書及諸文献の蒐集 | |
| 会員の募集 | | | | 所要に応じ調査員の派遣に関する事項 | |
| 人事に関する事項 | | | | 回教各地方語の活字の調達 | |
| 渉外事項 | | 回教圏諸国との通商貿易促進機関の設置及運営 | | 翻訳に関する事項 | |
| 回教工作に従事する邦人要人の養成に関する事項 | | | | 我国人に回教及回教事情に関する知識の普及 | |
| 留学生派遣に関する事項 | | 在留回教団体の後援及親睦 | | 回教圏地方へ我国事情の紹介 | |
| 回教工作に関する計画の立案及事業の企画 | | 東京礼拝堂及回教学校等の管理 | | 所要に応じ諸外国へ協会事業の宣伝 | |
| 回教圏及び在外回教諸団体との連絡並後援に関する事項 | | 彼我親光往來の幹旋 | | 機関雑誌、各種刊行物の編集発行及映画の作製 | |
| 所要回教圏地方へ連絡員派遣に関する事項 | | | | 回教諸問題の調査研究に關し邦人諸団体及個人との連絡 | |
| メッカ巡礼及回教大会に代表派遣に関する事項 | | | | | |

資料: 大日本回教協会業務分担表(昭和14年7月)より筆者作製

資料

本報告書収録資料の解説

本報告書には、大日本回教協会寄託資料について作成されたエクセル仕様のデータ・ファイルを収録した(完全版はCD-ROM版であり、本報告書には一部のみを印刷し収録)。なお、資料そのものは、現在も早稲田大学中央図書館の特別資料室内の段ボール箱に保管されている。利用にあたっては事前の申し込みが必要であり、整理の途上にあるために、利用が制限されることもある。

大日本回教協会寄託資料は、次の3つに分類可能であり、目録もこれに準じている。

- (1) 早稲田大学図書館で2000年度以前に作成された手書きの目録に記載されていた資料。これら資料は番号が付された状態で、それぞれ封筒に入れられ、段ボールに保管されている。それらの資料の内容を点検し、その概要などを付け加えた目録(大日本回教協会寄託資料*整理済み資料目録)。
- (2) 未整理でバラバラに段ボールに入ったまま保管されていた資料。それらを整理し内容を点検して分類し、封筒に分けて収納し、仮の番号を付けて概要を記した目録(大日本回教協会寄託資料*仮整理資料目録)。
- (3) 大日本回教協会関係写真資料目録(早稲田大学図書館作成。日時不明)

以上の3つのファイルと研究の過程で作成したファイルを収録した。(1)と(2)の目録内容については、現在も精査を続けている段階であるが、本研究のまとめとして、下記の目録を作成した。

この一連の作業は、早稲田大学人間科学研究科アジア社会論研究室が2001～2002年度にかけて2001年度早稲田大学特定課題研究助成費(2001A-603)を受けて実施し、さらに引き継ぐ形で本研究代表者が2003～2004年度にかけて本科学研究費補助金による研究へと発展させたものである。

付録資料一覧

1. 大日本回教協会寄託資料*整理済み資料目録
2. 大日本回教協会寄託資料*仮整理資料目録
3. 大日本回教協会関係写真資料目録
4. 箱番号と封筒番号対応一覧
5. 主要な機関誌・収録論文一覧(論題、著者名)

大日本回教協会寄託資料(イスラム文庫)* 整理済み資料(2005年3月修正)

| 番号 | 著者/発行元 | 書名・文書名など | 発行年号 | 西暦 | 備考 | キーワード |
|-------|---------------|-----------------------------------|-------------------------------|----------------------|----------|-------------------------------|
| 1 | 日本回教文化協会創立事務所 | 日本回教文化協会創立趣意書並に規約 | 昭和11年12月 | 1936年 | | 趣意書 |
| 2 | イスラム文化協会 | イスラム文化協会創立趣意書並に規約 | 昭和12年5月 | 1937年 | | 趣意書 |
| 3 | イスラム文化協会 | イスラム文化協会趣意書並に規約 | 昭和12年8月 | 1937年 | | 趣意書 |
| 4 | イスラム文化協会 | イスラム文化協会趣意書並に規約 | 昭和12年8月 | 1937年 | | 趣意書 |
| 5 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会会則 | | | | 会則 |
| 6 | 大日本回教協会 | 会則 | | | | 趣意書 |
| 7-8 | 大日本回教協会 | 会則 | 昭和14年4月1日 | 1939年 | 二部 | 趣意書 |
| 9-11 | 大日本回教協会 | 会則 | 昭和14年5月現在 原本に記載なし! | 1939年 | 三部 | 趣意書 |
| 12 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会業務指針 | 昭和14年1月 | 1939年 | 謄写版 | 趣意書 |
| 13-14 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会事業計画並予算概要 | 昭和13年11月 | 1938年 | 二部 | 事業計画 |
| 15-18 | 大日本回教協会 | 職員及備員服務規定 | 昭和19年 | 1944年 | 四部 | 規定 |
| 19-21 | | 大日本回教協会に就て | | | 三種 | 結成の由来 |
| 22 | | 大日本協会概要 | | | | 沿革 |
| 23 | 大日本回教協会 | 事業計画案 | 昭和14年6月 | 1939年 | | 貿易関係団体の調査 |
| 24 | 大日本回教協会 | 事業計画 | 昭和14年6月27日 | 1939年 | | 巡禮船就航の派遣 |
| 25 | | 大日本回教協会事業計画案(昭和17年度) | | | | 回教圏向グラフ刊行 業務報告(昭和十五年 度) |
| 26 | 大日本回教協会 | 業務報告(昭和15年度) | 昭和16年6月 | 1941年 | | 人員整備費 |
| 27 | 大日本回教協会 | 人員整備費並資料蒐収費 | | | | 人員整備費 |
| 28 | | 大日本回教協会本部内規 | 昭和14年5月30日 | 1939年 | | 総則 職制 職務 |
| 29 | | 内規 | | | 削除版 | 職制 職務 |
| 30-31 | | 大日本回教協会文書分類表 各種會合豫定日(五月二十三日決定) | | | 二種 | 回教一般 |
| 32-33 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会本部業務分擔表 | 昭和14年7月12日 | 1939年 | 三部 | 役員會豫定日時 |
| 34-36 | 大日本回教協会 | 協会本部業務分擔表(案) | 昭和15年2月 | 1940年 | | 本部業務分擔表案 |
| 37 | 大日本回教協会 | 協会本部業務分擔表 | 昭和15年2月12日 | 1940年 | | 本部業務分擔表 |
| 38 | 大日本回教協会 | 議事録 | 昭和17年4月1日 から昭和20年3月31 日 | 1942年 から 1944年 | 一綴 | 會計報告書 |
| 39 | 大日本回教協会 | 参考書類綴 | | | 一綴 | 發行パンフレット一覧 |
| 40 | 大日本回教協会 | 宗教団体法案綴 | | | 一綴 *資料なし | |
| 41 | | 大日本回教協会行事豫定表 | 昭和19年2月 | 1944年 | | 協会行事豫定表 |
| 42 | | 大日本回教協会回教政策審議會(案) | | | 三部 | 政策審議會案 |
| 43-45 | 大日本回教協会 | 職員會儀議事録(七月一日) | | | | 儀事録 |
| 46 | | 大日本回教協会回教政策審議會規則 | 昭和19年8月 | 1944年 | | 規則 |
| 47 | 大日本回教協会 | 職員會議議事録(七月八日) | | | | 議事録 |
| 48 | 大日本回教協会 | 編輯方針 | | | 二部二枚 | 編輯方針 |
| 49-50 | 回教世界 | 回教世界編輯紀要 | | | | 題目 |
| 51 | | 天方至誠實録出版計畫書 | | | | 出版計畫書 |
| 52 | | 南方回教徒向宣傳誌發行要項(案) | 昭和18年6月10日 | 1943年 | | 發行要項(案) |
| 53-55 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会會務分擔表 | 昭和18年10月15日 | 1943年 | | 組織圖 |
| 56 | 大日本回教協会 | 松室総務部長達示(五月三十日) | | | | 達示 |
| 57 | 大日本回教協会 | 総務・調査部ノ職務(松林參事擔當) | 昭和18年7月30日 | 1943年 | | 総務部の職務内容 |
| 58 | | | | 1939年 -1943 年 | | |
| 59 | イスラム文化協会 | 調査部會議事録並調査部日誌 | 昭和14年至18年 | | | 議事録 |
| 60 | 大日本回教協会調査部 | 調査方針 | | | | 調査内容 |
| 61 | 大日本回教協会調査部 | 調査方針 | | | | 調査内容 |
| 62 | 大日本回教協会 | 調査部構成案 | 昭和18年6月29日 | 1943年 | | 構成案 |
| 63-64 | 大日本回教協会 | 調査部内規 | 昭和14年7月 | 1939年 | 二部 | 業務の分擔 |
| 65 | 大日本回教協会 | 調査部處務内規 | 昭和14年4月8日 | 1939年 | | 業務の分擔 |
| 66 | 大日本回教協会 | 調査部職務分擔表 | 昭和19年9月11日 | 1944年 | | 担当地域 |
| 67 | 大日本回教協会 | 調査事項 | 昭和14年4月12日 | 1939年 | | 調査事項 |
| 68 | 大日本回教協会 | 調査部ノ職務 | 昭和18年7月27日 | 1943年 | | 職務内容 |
| 69 | | 大日本回教協会一周年記念總會會議要録 | 昭和14年9月21日 | 1939年 | | 記念總會出席者一覧 |
| 70 | 日本イスラーム協会調査部 | イスラーム用語調査委員會記録一至一回 | 昭和21年7至9月 | 1946年 | | 回教圏固有名詞調査委員會記録 |

| | | | | | 形態 |
|-------------------------|--------------------|------------------|----------------|-----------------|-------------------|
| 世話人一覧 | 発起人一覧 | 規則 | | | パンフレットB6 |
| 役員一覧 | 規則 | | | | パンフレットB6 |
| 役員一覧 | 規則 | | | | パンフレットB6 |
| 役員一覧 | 規則 | | | | パンフレットB6 |
| 会則 | 役員一覧 | | | | パンフレットB6 |
| 会則 | 事業内容 | 役員一覧 | | | パンフレットB6 |
| 会則 | 役員一覧 | | | | パンフレットB6 |
| 会則 | 業務系統図 | 会務系統図 | 本部編成図 | 方針 | パンフレットB6 |
| 事業経費総豫算要目 | 事業経費総豫算表 | | | | パンフレットB5 |
| | | | | | 綴じ込みB5 |
| 本会の使命 | 本会の指導理論 | 本会の立場 | 本会と政府 | 本会概況 | 綴じ込みB5 |
| 役員一覧 | 大東亜戦争と本協会の使命 | 立場と現況 | 本協会概況 | | 手書き原稿B4 |
| 回教圏通商展覧會 | 巡禮船就航の準備 | 回教に興味を有する個人のリスト | 回教圏土語学校設立計画 | | A4程度3枚 |
| 貿易品の見本船 | 日本文化の宣傳 | 民間親善大使の乗船 | | | A4程度2枚 |
| アラビア語新聞發行事業報告(昭和十六年度初期) | 宣傳ポスター、ピラ、絵はがき等の作成 | 回教関係の圖書出版 | 現地回教徒との連絡員派遣 | 大東亜回教徒大會準備委員會 | 綴じ込みA4程度 |
| 資料蒐集費 | | | | | 綴じ込みA4程度 |
| 任免 | 服務 旅費額表 | 給與 給料(月額) 退職慰勞金表 | 大日本回教教會本部編成表 | 大日本回教教會會議系統圖 | 手書き原稿A4程度 |
| 任免 | 服務 | 給與 | 賞罰 | 雜則 | 綴じ込みA4程度 |
| 回教圏の地理・歴史 | 回教圏各地の内政 | 回教圏各地の財政、經濟 | 回教圏各地の産業 | 回教圏各地の交通、通信及航空 | 綴じ込みA4程度 |
| 職員會予定日時 | 顧問其他の會同予定日 | 参照回教委員と役員との會同予定日 | | | A4程度2枚 |
| | | | | | B41枚 |
| 調査部員分担表案覽 | 覽 | 調査事項 | | | A4程度4枚 |
| | 調査事項 | | | | A4程度3枚 |
| 事業報告書 | 評議員名簿 | 評議員會通知書 | 大日本回教協會會則 | 評議員會議事録 | 書類綴じ込みA4程度 |
| 回教公認の必要に就て | 意見書 | 回教の差別待遇撤廃に就て | 世界回教徒対策の必要性に就て | 教會の使命 | 書類綴じ込みA4程度・パンフレット |
| | | | | | B4, 1枚 |
| | | | | | B5, 2枚 |
| | | | | | B41枚 |
| 常任審議員名簿 | | | | | B53枚 |
| | | | | | A4程度1枚 |
| | | | | | B5程度1枚 |
| 執筆枚数 | 執筆種目 | 執筆者 | 細目 | 日誌 | 手書きノートA4程度 |
| | | | | | A4程度2枚 |
| | | | | | B5, 2枚 |
| | | | | | B4, 1枚 |
| | | | | | B5程度2枚 |
| 調査部の職務内容 | | | | | B5程度3枚 |
| 日誌 | 原稿の担当者・テーマ・枚数 | 住所録一覧 | | | 手書きノートB5程度 |
| | | | | | B4, 7枚 |
| | | | | | B4谷折り4枚 |
| | | | | | B53枚 |
| 文書の發受 | 圖書の購買、保管、出納 | 出版 | 調査、研究 | 金銭の出納(64には記載なし) | A4程度4枚 |
| 文書の發受担当者 | 圖書の購買、保管、出納 | 出版 | 調査、研究 | | A4程度5枚 |
| | 調査事項 | | | | 手書きB52枚 |
| | | | | | A4程度2枚 |
| | | | | | 手書きB52枚 |
| 講演題目 | 總會経過の概要 | | | | A4程度19枚 |
| 日本イスラム教會イスラム用語選定委員會記録 | | | | | 手書きB5, 12枚 |

| | | | | | | |
|---------|---------------------------------|---------------------------------|-------------|---------------------|-----|--|
| 71-72 | 大日本回教協会 | 回教徒留学生取扱ヒニ関スル具申書 | 昭和19年4月 | 1944年 | 二部 | 具申書 |
| 73 | 大日本回教協会 | 回教徒有力者招致(日本東京)滞留に関する件草稿 | | | | 招致の意義 する事項の一元的処理 理由 |
| 74 | 大村謙太郎 (案) | 大東亜共栄圏の留日学生育成に関する意見書 | 昭和18年9月 | 1943年 | 出 | 大東亜省への提 出 |
| 75 | 大村謙太郎 (案) | 中国要人子弟の留日教育に関する意見書 | 昭和18年6月19日 | 1943年 | 出 | 大東亜省への提 出 |
| 76 | 大日本回教協会 | 回教大学林規則案 | | | | 回教大学林規則案 |
| 77 | 講習科 | 回教大学林講習科開設案 | | | | 総則 |
| 78 | | 回教政策審議會記録書 | 昭和18年至19年 | 1943年 -1944 年 | | 現地における回教工 作に就いて 全世界回教圏に対す る帝國政府の方針に 関する質問注意書 |
| 79 | 大日本回教協会 | 第八十一回帝国議會に於ける回教問題の審議原稿の残稿 | 昭和18年 | 1943年 | | |
| 80 | 回教徒 | 第八十一回帝国議會における回教問題の審議 | 昭和18年1月 | 1943年 | | 「回教徒」掲載の グラ初校 質問注意書提出 |
| 81 | 松島肇/大日本回教協会 | 大日本回教協会事業達成の資金募集の依頼状 | 昭和13年12月 | 1938年 | | 資金募集の依頼状 |
| 82 | 會長交代の挨拶状 | 會長交代の挨拶状 | 昭和17年12月 | 1942年 | | 林銑十郎から四 王天延孝へ交代 挨拶状 |
| 83 | 四王天延孝 | 示 | 昭和18年7月17日 | 1943年 | | 訓示 |
| 84 | 會長就任満二年に際しての訓示 (四王天延孝) | 會長就任満二年に際しての訓示 | 昭和19年11月 | 1944年 | | 訓示原稿 |
| 85 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会解散式訓話要項 | | | | 解散式訓話要項 |
| 86 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会解散式当日訓話要項 | 昭和20年10月15日 | 1945年 | | 解散式当日訓話要項 |
| 87 | | 大日本回教協会解散式後記事述 | 昭和20年10月23日 | 1945年 | | 解散式後記事述 |
| 88 | | 日本イスラム協會事務開始二当リテ | 昭和20年11月5日 | 1945年 | | |
| 89 | | クルバン祭招待會挨拶 | 昭和20年11月15日 | 1945年 | | 挨拶 |
| 90-99 | | 不動産拂下許可申請書 | 昭和18年3月 | 1943年 | | |
| 100 | イスラム文化協會使用封筒 | イスラム文化協會使用封筒 | | | | 四王天 194-200 |
| 101 | 大日本回教協会職員名簿 | 大日本回教協会職員名簿 | | | 22名 | 総務部人員一覽 |
| 102 | 大日本回教協会評議員名簿原稿 | 大日本回教協会評議員名簿原稿 | | | | 役員一覽 |
| 103 | 大日本回教協会関係者 | 大日本回教協会関係者住所録 | | | | 関係者一覽 |
| 104 | 大日本回教協会関係者名簿 | 大日本回教協会関係者名簿 | | | | 関係者一覽 |
| 105 | 大日本回教協会関係者名簿 | 大日本回教協会関係者名簿 | | | | 関係者一覽 |
| 106 | 東京イスラム教団員名簿 | 東京イスラム教団員名簿 | | | | 昭和14年度調査 タイプ原稿 教団員一覽 |
| 107 | 東京イスラム教団員名簿 | 東京イスラム教団員名簿 | | | | 昭和16年度調査 謄写版 教団員一覽 |
| 108 | | 日本内地回教徒事情概略調査表 | 昭和16年6月 | 1941年 | | 所在地 |
| 109 | | 回教要人録 | | | | 將若輝氏の西北建設 |
| 110 | | 人物誌 | | | | 中東内閣要人一覽 |
| 111 | | 簿 | | | | 聴講者一覽 |
| 112 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会アラビヤ語講習會申込書 | 昭和14年9月 | 1939年 | | 申込書 |
| 113 | アラビヤ語講習會受講者名簿 | アラビヤ語講習會受講者名簿 | 昭和15年頃 | 1940年 頃 | | 受講者一覽 |
| 114 | | 各種語学講習會聴講者名簿 | | | | 馬来語・アラビヤ 語・梵語 申込書 |
| 115 | | 回教園展覽會未朝者名簿 | | | 第三回 | 来朝者一覽 |
| 116 | 大日本回教協会寄稿者名簿 | 大日本回教協会寄稿者名簿 | | | | 寄稿家一覽 |
| 117 | 大日本回教協会發送関係人名簿 | 大日本回教協会發送関係人名簿 | | | | 関係者一覽 |
| 118 | (雑誌)イスラム第二輯發送覚書原稿 | (雑誌)イスラム第二輯發送覚書原稿 外一種 | | | | イスラム第二輯發送 覚書 |
| 119 | 竹井十郎 | インドネシア留學生の成績と動靜 | 昭和15年3月 | 1940年 | | 過去7年間のインド ネシア留學生の動靜 |
| 120-122 | 「時局と亞細亞諸民族の動向」と題する北田正元氏の講演出席者名簿 | 「時局と亞細亞諸民族の動向」と題する北田正元氏の講演出席者名簿 | | | 三部 | 出席者一覽 |

| | | | | | |
|----------------|--------------------|------------------------|-----------|------------|-----------------------------------|
| 審議会構成員一覧 | 留日学生補導の現状概要 | 大東亜補導室主査鈴木調査官より得たる現状概要 | 審議員の意見 | | B5, 17枚 |
| 張徳純の略歴 | ヤングラジーの略歴 | | | | 手書きB5程度8枚 |
| 留日学生の指導方針とその理由 | 留学生の諸経費 | 育成期親の構成に就いて | | | 綴じ込みA4程度6頁 綴じ込みA4程度36頁 |
| 回教大学林学則案 | | | | | B5, 8枚 |
| 学年、学期、修練日 | 学科過程、担当者、試験 | 入学、休学、復学、退学 | 賞罰及教師分限資格 | 授業料及学費、その他 | 手書き大日本回教協会原稿用紙A4程度22枚 |
| 現地回教工作に就いて(総編) | 回教工作の目標 | | | | 手書きB5程度原稿用紙22枚 手書きB4原稿用紙2枚 |
| 政府の答辯 | 衆議院豫算第一分科會における質疑應答 | | | | 手書きB5原稿用紙16枚 |
| 政府の答辯 | 衆議院豫算第一分科會における質疑應答 | 議員豫算第二分科會に於ける質疑應答 | 再質問提出 | 衆議院に於ける議事 | A4程度 |
| | | | | | 19cm×54cm |
| | | | | | 往復はがきサイズ |
| | | | | | B5, 8枚 |
| | | | | | 手書きB5原稿用紙29枚 |
| | | | | | メモ紙2枚 |
| | | | | | 手書きB5原稿用紙9枚 |
| | | | | | 手書きB5原稿用紙7枚 |
| | | | | | 枚 |
| | | | | | 枚 |
| | | | | | B5, 24枚 |
| 林銃十郎 188-193 | | | | | 24.5×16.5封筒1枚 28×21.5封筒2枚 |
| 住所録 | | | | | 大日本回教協管用箋B5, 2枚 |
| | | | | | 手書きB5, 6枚 |
| | | | | | 手書き住所録冊子1冊 |
| 住所録 | | | | | 手書き亞細亞會事務所用箋B52枚 A3谷折り1枚 |
| | | | | | 手書きB5用紙55枚 |
| 住所録 | | | | | 綴じ込みA4程度2枚 |
| 住所録 | | | | | 綴じ込みA4程度6枚 |
| 教徒数 | | | | | 大日本回教協管用箋B5, 2枚 |
| | | | | | メモ用紙3枚 手書き大日本回教協管用原稿用紙5枚 新聞切り抜き1枚 |
| | | | | | 手書きノートB5程度枚 |
| 住所録 | | | | | 枚 |
| | | | | | B6程度121枚 |
| | | | | | 手書き・タイプ27.5×21.5用紙7枚23×21.5封筒1枚 |
| | | | | | B572枚 31.5×21封筒1枚 |
| | | | | | 大日本回教協管用箋B5, 3枚 |
| 住所録 | | | | | 手書き大日本回教協管用紙B5, 2枚 |
| | | | | | B5, 37枚 |
| | | | | | B5, 7枚 B5, 3枚 |
| 現在の在京留学生 | 留學生が感じていることと希望 | | | | A4, 5枚 |
| | | | | | 綴じ込みB53枚 |

| | | | | | | |
|---------------|----------------------------------|---|---------------------|---------------------|----------------------------------|---------------------------|
| 123 | | 林銑十郎英文略歴 | | 1941年 (?) | 一枚 | |
| 124 | 林(銑十郎)大將記念賞 設定の通知 | 林(銑十郎)大將記念賞設定の通知 | 昭和18年9月19日 | 1943年 | | |
| 125 | | 松島肇英文略歴 | | | 一枚 | |
| 126 (1~ 2) | 大日本回教協会 | 大日本回教協会末翰綴 (第二・三 号) | 昭和18年4月至10 月 | 1943年 | 二綴 | 赤沢義人宛書簡 大日本回教協会宛書 簡 |
| 127 | 大日本回教協会末翰集 | 大日本回教協会末翰集 | | | 和文 一袋 | 大日本回教協会宛葉 書 |
| 128 | 大日本回教協会末翰は がき | 大日本回教協会末翰はがき | | | 和文 一袋 | 大日本回教協会宛葉 書 |
| 129 | 大日本回教協会末翰集 | 大日本回教協会末翰集 | | | 外国文 一袋 | 大村謙太郎宛書簡 |
| 130 | M・K・タツパーラ | M・K・タツパーラ氏書簡 | 昭和16年10月 | 1941年 | | 大日本回教協会幹部 宛書簡 |
| 131 | | 大日本回教協会員之證 | | | 一枚 | 名刺 |
| 132 | 澁谷警察署 | 大日本回教協会非常食配給證明書 | | | | 非常食配給證明書 |
| 133 | | エジプトのパスポート | | | | パスポート |
| 134 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会圖書購入簿 | 昭和18年6月より | 1943年 | | 整理番号 |
| 135 | 週・旬・月刊受納圖書 調査部 | 大日本回教協会調査部週・旬・月刊 受納圖書 | 昭和19年 | 1944年 | | 月日 |
| 136 (1~ 2) | 大日本回教協会 | 大日本回教協会圖書領収簿 | 昭和14年6月至昭 和15年5月 | 1939年 -1940 年 | 二冊 | 寄贈圖書 |
| 137 | 大日本回教協会所蔵圖 書目録 | 大日本回教協会所蔵圖書目録 | | | 和書・洋書之部 <昭和14年至19 年> *資料なし | |
| 138 | | 江口少佐將末書目控 | | | | 洋書名・著者一覧 |
| 139 | | 内藤智秀氏將末支那・満州・回教関 係圖書 | 昭和14年10月 | 1939年 | | 圖書目録 |
| 140 | | 大日本回教協会蔵書目録 | 昭和18年7月末日 現在 | 1943年 | 和書 地域別分類 *資料なし | |
| 141 | | 大日本回教協会蔵書目録 | 昭和15年9月現在 | 1940年 | 洋書 | 地域別分類表 |
| 142 | | 大日本回教協会蔵書目録 | 昭和18年7月現在 | 1943年 | 洋書 | 地域別分類表 |
| 143 | | 大日本回教協会蔵書目録 | | | 和書 | 目録 |
| 144 | | 大日本回教協会蔵書目録 | | | 洋書 | 目録 |
| 145 | 日本出版回教関係圖書 目録 | 日本出版回教関係圖書目録 | 昭和18年2月10日 現在 | 1943年 | | 目録 |
| 146 | 大日本回教協会所蔵華 語圖書目録 | 大日本回教協会所蔵華語圖書目録 | | | | 目録 |
| 147 | 日本出版アジア関係圖 書並雑誌目録 | 日本出版アジア関係圖書並雑誌目 録 | | | | 回教関係の目録 |
| 148 | 録 | 大日本回教協会蔵書目録 | | | 和書 地域別分類 | 地域別分類 |
| 149 | 大日本回教協会蔵書目 録 | 大日本回教協会蔵書目録 | 自創立至昭和14 年1月 | 1939年 | 寄贈及購入 和 書 | 寄贈及購入圖書一覧 |
| 150 | 大日本回教協会所蔵 | 大日本回教協会所蔵アラビア語圖書 目録 | 昭和18年7月現在 | 1943年 | | 地域事項別分類目録 |
| 151 | 大日本回教協会蔵書目 録 | 大日本回教協会蔵書目録 | 昭和19年9月 | 1944年 | 当初本部及文官 所在抜?分 洋 書 | 圖書一覧 |
| 152 | イスラム文化協会蔵書目 録 | イスラム文化協会蔵書目録 | | | 洋書 | 圖書一覧 |
| 153 | 大日本回教協会蔵書目 録洋書之部整理用メモ | 大日本回教協会蔵書目録洋書之部 整理用メモ | | | 一束 | 洋書分類カード |
| 154 | 大日本回教協会寄贈圖 書リスト | 大日本回教協会寄贈圖書リスト | 某年7・8月 | | 和・洋書 | 寄贈圖書一覧 |
| 155 | アラブの新聞雑誌・月刊 誌の目録 | アラブの新聞雑誌・月刊誌の目録 | | | | 雑誌一覧 |
| 156 (1-2) | ヒルゼマンカタログ | ヒルゼマンカタログ (639アジア I) (1・4) | | | 洋書 | 図書目録 |
| 157 (1-5) | ヒルゼマンカタログ | ヒルゼマンカタログ (640 II) (1至5) | | | | 図書目録 |
| 158 | | イスラム関係邦文出版物目録 | | | | 感謝状 |
| 159 | 稿及び同協会発行「回教 世界」誌のアラビア訳文 文字 | 「大日本回教協会」の名稱及び同協 会発行「回教世界」誌のアラビア訳文 文字 | | | | アラビア語 |
| 160 | | アラビア語講習會趣旨及規定 | 昭和14年8月 | 1939年 | | 趣旨 |
| 161 | 大日本回教協会勉強會 講演草稿 | 大日本回教協会勉強會講演草稿 (第45至60) | 昭和20年4至8月 | 1945年 | | 勉強會草稿 |
| 162 | 大日本回教協会勉強會 會則並勉強會豫定表 | 大日本回教協会勉強會會則並勉強 會豫定表 | | | | 擔當者豫定表 |
| 163 | 菊地慧一郎 | 韋駄天アラビア語 | 昭和15年至16年 | 1940年 | 綴 附ヘブライ 語突破 | 文法解説 |

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------------|-----------------------|---------------|-----------|----------------------------------|
| | | | | | 27.5×21.5用紙1枚 大日本回教協会用紙B5, 1枚 |
| | | | | | 27.5×21.5用紙1枚 |
| 大日本回教協会宛書簡 | スマトラよりの小型封筒 | | | | A4程度綴込2冊 |
| イスラム文化協会宛書簡 | 赤沢義人宛書簡 | | | | 封書多数 |
| 赤沢義人宛葉書 アミイ氏のフィリピンの回教僧宛書簡 | 大村謙太郎宛葉書 イスラム文化協会宛書簡 | 四王天延孝宛葉書 展覧会アルバム序文 | | | 郵便葉書14枚 |
| 感謝状 | | | | | 封書多数 |
| | | | | | 24×21.5用紙1枚 大日本回教協会用紙3枚 |
| | | | | | 無記名名刺 |
| | | | | | カード |
| | | | | | パスポート |
| 著者及署名 | 登録番号 | 購入年月 | 価格 | | 手書きノートB5程度 |
| 週・旬・月刊 | 月刊 | パンフレットその他 | | | 手書きノートB6 |
| 寄贈雑誌 | 寄贈新聞 | 有料定期行物 | | | 手書きノートB5程度・B6 |
| | | | | | |
| | | | | | A4程度1枚 |
| | | | | | 大日本回教協会用紙B54枚 |
| | | | | | |
| 地域別分類目録(洋書) | | | | | イスラム文化協会用紙B533枚 |
| 地域別分類目録 | | | | | 綴じ込み大日本回教協会用紙B5 |
| | | | | | A4 |
| | | | | | A4 |
| | | | | | B57枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会用紙B5, 4枚 |
| 支那関係の目録 | 亜細亜民族関係の目録 | 印度関係の目録 | アフガニスタン関係の目録 | 露西亜関係の目録 | 手書き大日本回教協会用紙B5, 10枚 |
| 事項別分類表 | | | | | 綴じ込みB5 |
| イスラム協会所蔵圖書一覧 | 地域別分類 | 事項別分類表 | 目録 | | 綴じ込み大日本回教協会用紙B5・綴じ込み手書きB5 |
| 回教圏一般目録 | 日本関係目録 | 西方亞細亞関係目録 | 宗教・文化 | 言語 | 綴じ込みB5程度9枚 |
| | | | | | 綴じ込み大日本回教協会用紙B5, 10枚 |
| | | | | | 綴じ込みイスラム文化協会用紙B5, 8枚 |
| | | | | | メモ用紙一束 |
| 購入圖書一覧 | 購入洋書一覧 | | | | 大日本回教協会用紙B5, 2枚 |
| | | | | | 手書き外務省調査部用紙B5, 23枚 |
| | | | | | 綴じ込みイスラム文化協会用紙A4程度2冊 |
| | | | | | 綴じ込みイスラム文化協会用紙A41冊・綴じ込みB5程度2冊 |
| 出版物目録 | | | | | 教協会用紙B5, 31枚 |
| | | | | | |
| | | | | | 紙6枚 |
| 要項 | 入会申し込み手続き | | | | 綴じ込みA4程度8枚 |
| モスクワ政府と回教圏 | 絨氈考 | 桑港會議について | ナスレツェン・ホジヤ行状録 | シリア問題について | 綴じ込み大日本回教協会用紙B5, 1冊 |
| 會則 | | | | | 綴じ込み大日本回教協会用紙B51冊 |
| 講讀解説 | 讀破解説 | 文法辞典 | | | 綴じ込みA5程度1冊 |

| | | | | | | |
|---------|---|--|-------------|---------------------|--|-----------------------------|
| 164 | 大日本回教協会勉強會 雜記メモ | 大日本回教協会勉強會雜記メモ | | | 一袋 | 勉強會メモ |
| 165 | | アラビア語教材 | | | 一綴 | 発音解説 |
| 166 | | アラブ語分詞変化表 | | | | 分詞変化表 |
| 167 | アラブ語ノート | アラブ語ノート原稿及資料 | | | 一袋 | アラビア語 |
| 168 | アラブ語ノート | アラブ語ノート | | | 一袋 | アラビア語 |
| 169 | ペルシャ語ノート | ペルシャ語ノート | | | 一袋 | ペルシア語 |
| 170 | マレー語ノート | マレー語ノート | | | 一袋 | マレー語 |
| 171 | トルコ語ノート | トルコ語ノート | | | 一袋 | トルコ語 |
| 172 | 英語略語集 | 英語略語集 | | | 英文 | 英語略語一覧 |
| 173 | 「自由の声」紙論評アラビ ヤ文記事原稿 | 「自由の声」紙論評アラビヤ文記事原 稿 | | | | アラビア語 |
| 174 | トルコ文書簡 | トルコ文書簡 | | | 一袋 | トルコ語 |
| 175 | パンジャブ語資料(新 聞) | パンジャブ語資料 | | | 二東一袋 新 聞 | パンジャブ語 |
| 176 | ウルドゥー語資料 | ウルドゥー語資料 | | | | ウルドゥー語 |
| 177 | 本 | アラビヤ文字用ペン先見本 | | | | ペン先実物 |
| 178 | | 回教圏展覧會概要(案) | 昭和14年8月3日 | 1939年 | | 趣旨 |
| 179 | | 回教圏展覧會原稿 | | | | 趣旨 |
| 180 | | 回教圏展覧會計画書 | | | | 開催趣旨 |
| 181 | | 大東亞戦下の回教展覧會計画案 | | | | 趣旨 |
| 182 | | 回教圏展覧會日程表原稿 | | | 英文 | 英語 |
| 183~184 | 回教圏展覧會日程表 | 回教圏展覧會日程表 | | | 二部 英文 | 英語 |
| 185~188 | 回教展使用資料四点 | 回教展使用資料四点 | | | | |
| 185 | | 世界回教徒人口表 | 昭和17年11月28日 | 1942年 | | 世界回教徒人口表 |
| 186 | | インドネシア回教徒メッカ巡礼者数 | | 1897年 至1939 年 | | インドネシア回教徒 メッカ巡礼者数 |
| 187 | | 回教徒分布表 | | | アーサー・ペレグ リンに拠る | 英語 |
| 188 | | 中華民國回教人口及清真寺数統計 表 | | | | 省別 |
| 189 | | 日本対回教各地重要輸出入品地域 別表 | | | 大蔵省外國貿易 月報「昭和13年12 月号」二掲ル | 地域別輸出入品一覧 |
| 190 | | 日本対回教各地通商昭和13年全額 露西亞及ソヴェート政府ノ民族政策 (殊ニ其ノ対回教民族政策)の目次 | | | 大蔵省編纂外國 貿易月表「昭和13 年12月号」二掲ル | 地域別輸出入品一覧 |
| 191 | | | | | | 緒言 |
| 192 | | 回教圏言語分布調査表 | 昭和14年7月4日 | 1939年 | アフリカ各種民 地ヲ除ク | 言語分布一覧 |
| 193 | | 日本に於ける回教及回教徒の概況 | | | | 回教の現況 近年における茶の生 産について |
| 194 | | ソ聯邦の茶業(ソヴ・トルグ12-23) | | | | |
| 195 | 「週報」11月25日掲載「宗 教団体法案についての 文部省当局の言分に対 しての見解 | 「週報」11月25日掲載「宗教団体法案 についての文部省当局の言分に対 しての見解 | | | | 文部当局の言分 |
| 196 | | 回教ノ差別待遇撤廃ノ必要ニ就テ | 昭和14年2月27日 | 1939年 | | 回教の差別待遇撤廃 の必要に就テ |
| 197 | | 回教ノ差別待遇撤廃ノ必要ニ就テ | 昭和14年2月27日 | 1939年 | | 回教の差別待遇撤廃 の必要に就テ |
| 198 | 外務省編 | 世界各国ノ回教徒教調 | 昭和19年1月 | 1944年 | 四王天會長ノ質 問ニ対シテ議會ヲ 通シ答辯 | 各国の回教徒教一覧 領 |
| 199 | 同會編 | 日回青少年親善會趣意書 | | | | 綱領 |
| 200 | | 滿州回教協會奉天支部概要(康德 10年度) | | | | 綱領 |
| 201 | | マームッティーとの談話内容 | | | | 問答 |
| 202 | 麻木堤氏座談會會談話 要旨 | 麻木堤氏座談會會談話要旨 | | | | 麻木堤氏座談會 |
| 203 | | 皇道と回教精神懇談會原稿 | 昭和18年9月 | 1943年 | 附・同懇談會にお ける四王天會長 の開會挨拶原稿 附・辯事則 原 稿 | 原稿 回教青年學會成立緣 起 |
| 204 | | 回教青年學會會章 | 回?1362年7月 | | | |
| 205(a) | | 回教青年學會職員名簿 | | | 二部 中国 | 職員一覧 |
| 206 | 赤沢義人氏の表彰状 | 赤沢義人氏の表彰状 | 昭和19年11月 | 1944年 | | 表彰状 |

| | | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|------------------|------------------|----------------------|------------------------------------|
| 参議本部諮問 | 東亜読?懇談會 | | | | メモ3束 |
| 繰り解説 | | | | | 冊 |
| | | | | | 冊 |
| | | | | | イスラム文化協會 原稿用紙B51束 |
| 簿 | 講習會メモ | | | | 手書き |
| 単語 | 発音 | 文法 | | | 手書きA4程度29枚 |
| 文法 | | | | | A5ノート1冊・B4谷 折39枚 |
| 文法 | | | | | 手書きイスラム文化 協會用紙B5, 8枚 |
| | | | | | 綴じ込み19×18.5 5枚 |
| | | | | | イスラム文化協會 用紙A4程度4枚 |
| 書簡 | | | | | 手書き |
| 新聞 | 今日の印度と亞細亞 の日本 | | | | 新聞2冊・雑誌2冊 |
| | | | | | A44冊 |
| | | | | | A4程度1枚 |
| 目的 | 名稱 | 會期 | 會場 | 主催 | 綴じ込みA4程度5枚 |
| 回教の概念 | 回教徒について | 大東亜共栄圏の回教 徒 | 世界回教徒人口表 | 中華民國回教人口及 清真寺数統計表 | 綴じ込みB5程度23 枚 |
| 回教の概念 | 回教徒 | 回教團の産業 | 回教團の文化 | 大東亜共栄圏内回教 徒の現況 | 大日本回教協會用 箋A4程度1枚 |
| 構成案 | 表現法 | 寫眞又は説明 | 出品物並行作 | 圖表面積 | B4谷折2枚 |
| 日程表 | | | | | 手書きB4程度4枚 |
| 日程表 | | | | | A4程度2枚 |
| | | | | | |
| | | | | | A3程度1枚 |
| | | | | | |
| | | | | | A5程度2枚 |
| 国別分布表 | | | | | 大日本回教協會用 箋・イスラム文化協 會用紙B5程度6枚 |
| 滿州國回教徒人口及 清真寺数統計表 | | | | | A3程度1枚 |
| | | | | | |
| | | | | | A4程度25枚 |
| | | | | | |
| | | | | | A4程度4枚 |
| ト・ユニオンの民族的 構成 | 帝政露國の民族政策 | ソウェート政府の民族 政策 | コミンテルンの民族政 策 | ソウェート政權と回教 民族 | 綴じ込みB5程度3枚 大日本回教協會用 箋B53枚 |
| 回教徒数 | 在留回教徒の民族別 割合 | | | | 大日本回教協會用 箋B5, 3枚 |
| 綠茶の加工 | | | | | B5程度1枚 |
| 宗教団体法案起案の 際回教を不問又は審 議圏外に置きし事 | 回は共に等しく文部当 局の宗教觀の視野に 入れなければならない | | | | 手書き谷折A3程度 3枚 |
| 理由 | | | | | 綴じ込み大日本回 教協會用箋B511枚 |
| 理由 | | | | | 綴じ込みA4程度4枚 |
| | | | | | |
| | | | | | 大日本回教協會用 紙B55枚 |
| 則 | | | | | 19.5×70.0用紙1枚 |
| 回教精神(教門原根) | 沿革 | 位置 | 趣旨 | 組織 | 手書き綴じ込みA4 程度8枚 |
| | | | | | 大日本回教協會用 箋B5, 12枚 |
| 麻木提氏談の要旨 | 東トルキスタンの地形 について | 氣候其他農・工業 について | 社会情勢と革命亂に ついて | | B5, 12枚 |
| | | | | | |
| | | | | | 手書き |
| 總則 | 宗旨 | 事業 | 會員及會費 | 組織 | 手書き綴じ込みB5, 49枚 |
| | | | | | 綴じ込みB5程度3枚 2部 |
| | | | | | 手書き19.5×52.5用 紙1枚 |

| | | | | | | |
|-----------|---|--|--------------|-------|----------------------|--|
| 207 | 赤沢義人氏監事に推挙の件 | 赤沢義人氏監事に推挙の件 | 昭和21年1月17日 | 1946年 | | 日本イスラム協会監事に推挙の件 |
| 208 | | 大阪地方有力者トノ懇談会決定表 | | | | 月日 |
| 209 | 大日本回教協会連絡会議決定事項 | 大日本回教協会連絡会議決定事項 | 昭和14年7月15日 | 1939年 | | 以後職員連絡会議と稱す |
| 210 | 地図作製ノ件 | 地図作製ノ件 | 昭和14年5月11日 | 1939年 | | 世界交通地圖 |
| 211 | 西亜向け放送ニ関スル外務当局トノ打合記事 | 西亜向け放送ニ関スル外務当局トノ打合記事 | 昭和18年7月 | 1943年 | | 決定事項 |
| 212 | | 北吟吉氏萬國議院會議出欠渡欧ノ件外一件の回覧 | 昭和14年6月23日 | 1939年 | | 回覧 |
| 213 | 西北問題懇談会(第六回)開催通知 | 西北問題懇談会(第六回)開催通知 | 昭和19年9月14日 | 1944年 | | 日時 |
| 214~216 | 回教問題ニ関スル一覽表 | 回教問題ニ関スル一覽表 | 昭和14年5月11日 | 1939年 | 三部 | 回教問題に関する対象 |
| 217 | 西亜向放送に就いての具申書 | 西亜向放送に就いての具申書 | 昭和18年12月 | 1943年 | | 西亜向放送について |
| 218 | 大日本回教協会より某所へ補助金下附と事業依頼のこと | 大日本回教協会より某所へ補助金下附と事業依頼のこと | 昭和19年 | 1944年 | | 西亜向放送原稿の作成 |
| 219 | 大日本興亜同盟小林輝夫宛書翰(赤沢義人) | 大日本興亜同盟小林輝夫宛書翰 | 昭和18年1月20日 | 1943年 | | 赤沢義人著 |
| 220 | 川村狂堂並滿洲国新京国立中央圖書館藏書目録依頼の原稿並書状 | 川村狂堂並滿洲国新京国立中央圖書館藏書目録依頼の原稿並書状(滿洲国新京国立中央圖書館宛) | 昭和20年6月22日 | 1945年 | | 原稿 |
| 221 (1-2) | 「蒙疆興亜同志會資料」依頼の原稿並書状 | 「蒙疆興亜同志會資料」依頼の原稿並書状 | 昭和19年9月16日 | 1944年 | | 原稿 |
| 222 | 設との関係を聞く會の書状 | 回教徒大東亜共栄團建設との関係を聞く會の書状 | 昭和18年9月9日 | 1943年 | | 四王天延孝 |
| 223 | 大東亜省招待會の通知状 | 大東亜省招待會の通知状 | 昭和19年2月14日 | 1944年 | | 場所 |
| 224~225 | 大日本回教協会大阪講演會通知状 | 大日本回教協会大阪講演會通知状 | | | 二部二枚 | 世界回教徒の現況 |
| 226 | | 回教徒諸民族に対する告示 | | | | 手書き 回協會五周年記念放送の件 |
| 227 | 四王天延孝 | 全世界の回教徒諸君に告ぐ | 昭和18年9月 | 1943年 | | |
| 228 | 大日本回教協会創立五周年記念日に際し協會職員一同に対しての四王天會長の訓示要項 | 大日本回教協会創立五周年記念日に際し協會職員一同に対しての四王天會長の訓示要項 | 昭和18年9月18日 | 1943年 | | 會長の訓示要項 |
| 229 (1-3) | 四王天延孝 | 全世界の回教徒諸君に告ぐ | | | 附・和アラブ両文 二部・ア文原稿共 | 全世界の回教徒諸君に告ぐ |
| 230 | | 放送「日本と回教との関係」の原稿 | 昭和14年5月6日 | 1939年 | | 放送「日本と回教との関係」 |
| 231 | ルドヨ・大日本回教協会訳 | 蘭印の回教徒に告ぐ | | | 付・英文 | 蘭印の回教徒に告ぐ |
| 232 | | 匠瑳胤次氏講演要旨 | 昭和14年9月21日 | 1939年 | | 講演要旨 |
| 233 | アミン・イスラミ | 回教世界に告ぐ | | | | 東京イスラム団員(回教徒より) ヌガディオ サストゥロ ワルダヤ氏の写真 |
| 234 (1-2) | | インドネシアの回教運動の現状 | 昭和15年3月4日 | 1940年 | 附・紹介状 | |
| 235 | イブラヒム翁関係係務日誌 | イブラヒム翁関係係務日誌 | 昭和19年8月3至31日 | 1944年 | | 特記事項一覽 |
| 236 (1-2) | 室町一郎 | 長老イブラヒム(一名回教徒の長老)(第二・三稿) | | | 映画シナリオ | 台本 |
| 237 | ムハンマド・アミン・イスラミ撰・大日本回教協会訳 | イブラヒム翁 | | | | イブラヒムの伝 |
| 238 | エーメン国宗教大臣キブシー氏婦園に対する清水外務次官講演 | エーメン国宗教大臣キブシー氏婦園に対する清水外務次官講演 | 昭和14年4月10日 | 1939年 | | 清水外務次官の講演内容 |
| 239 | 山岡広太郎 | シェイク・イブラヒム翁とメッカ巡礼 | | | | 山岡光太郎氏略歴 |
| 240 | イブラヒム撰・鈴木清子訳 | イブラヒム翁の大隈伯會見記 | | | | 大隈伯爵と再会 |
| 241 | イブラヒム氏原稿残稿 | イブラヒム氏原稿残稿(イブラヒム) | | | 二点 アラビヤ文とトルコ文 | アラビア語 |
| 242 | 寒川某記 | イブラヒム翁に就いて談話概要 | 昭和19年8月9日 | 1944年 | | 時日 |
| 243 | 古在某記 | イブラヒム翁の逝去 | 昭和19年9月6日 | 1944年 | | イブラヒム翁の逝去 |
| 244 | 古在某記 | イブラヒム翁の遺志 | 昭和19年12月21日 | 1944年 | | イブラヒム翁の遺志 |
| 245 | イブラヒム翁の生涯(鈴木清子記) | イブラヒム翁の生涯 | | | | イブラヒム翁の生涯について |
| 246~248 | | イブラヒム翁略歴(三種) | | | | イブラヒム翁の略歴 |
| 249 | | クルバン氏問題ニ関スル懇談會記録 | 昭和13年7月 | 1938年 | | 葛生氏挨拶 |

| | | | | | |
|-------------------|-----------------|------------------|--------------------|--|----------------------------------|
| | | | | | B5程度3枚 |
| 要項 | 宿舍及会場 | 備考 | | | 谷折A3程度1枚 |
| 路、責任及整理に就て | 宴会について | | | | 谷折A3程度1枚 |
| 世界民族分布地図 | 世界言語分布地図 | 圖 | 世界貿易地圖 | | B5程度1枚 |
| | | | | | 手書き大日本協會用紙B51枚 |
| | | | | | B4大日本回教協會用箋1枚 |
| 場所 | 出席者一覧 | | | | 大日本回教協會用紙B5程度2枚 |
| 回教徒共同体の見方 | 回教問題に関する施策 | 回教問題に関する施策の目的 | | | B5程度1枚 |
| 題材 | 機構 | アブドラシード・イブラヒーム略歴 | ムハムマド・ムヒーティ(麻木提)略歴 | | 大日本回教協會用紙B5, 9枚 |
| 西亜諸国の一般及特殊事情の調査 | 国内啓発 | 在留「タートル」人の指導 | | | 手書き大日本協會原稿用紙B4谷折2枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協會用紙B5, 2枚 |
| 書状 | | | | | B5程度2枚枚 |
| 書状 | 同志會資料 | | | | B5程度2枚 |
| 日時 | 場所 | | | | 大日本回教協會用紙B5程度2枚 |
| 日時 | 招待者 | | | | 大日本回教協會用紙B51枚 |
| 世界回教徒の対日感情 | 皇國回教徒対策の重要性 | | | | B5程度1枚 |
| 原稿 | | | | | 綴じ込み手書き大日本回教協會用紙B5, 219枚 |
| 原稿 | | | | | 大日本回教協會用紙B5, 4枚 |
| | | | | | 大日本回教協會用紙B5, 7枚 |
| アラビア語 | | | | | 紙B5, 8枚、B5程度6枚、滿鐵東亞經濟調查局用紙B5程度7枚 |
| | | | | | B5程度13枚 |
| ジョグジャにて | 原稿 | | | | 紙14枚、英文タイプ2枚 |
| | | | | | 手書き400字詰原稿用紙2枚 |
| 東京礼拝堂イマムアミン・イスラム記 | 回教徒及び今日の戦争 | | | | 手書き200字詰原稿用紙9枚 |
| 英文 | イスラム文化協會宛案内状 | | | | 英文2枚、手書き1枚 |
| | | | | | 手書き5枚 |
| | | | | | 手書き綴じ込みB5, 15枚 |
| | | | | | 手書きB4原稿用紙86枚 |
| | | | | | A4程度6枚 |
| | | | | | 手書き日本イスラム協會用紙B5程度70枚 |
| 衆議院について | 新聞について | | | | 手書きB4原稿用紙7枚 |
| | | | | | 手書きB5程度4枚 |
| 場所 | 参加者 | | | | 手書きB5原稿用紙8枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協會用紙5枚 |
| | | | | | 協會用紙B5程度8枚 |
| | | | | | 手書きB4原稿用紙5枚 |
| | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| クルバン問題の経過 | クルバンより川島大將への誓約書 | クルバンに対する諸士の意見 | | | 大日本回教協會用箋B5, 14枚 |

| | | | | | | |
|-----------|----------------------|---------------------------|---------------|-------|------------------------|-------------------------------|
| 250 | | 訪日「アフガニスタン」国際経済使節団日程（決定版） | 昭和16年3月 | 1941年 | | アフガニスタン使節団の訪日日程表 |
| 251 | | フセイニのこと | | | | フセイニ家について |
| 252 | 古在某記 | ハジジュ・エミン・フセイニ | 昭和19年10月11日 | 1944年 | | フセイニ家とナシヤンビ家 |
| 253 | 古在記 | エミン・エル・フセイニのメッセージ | 昭和19年10月11日 | 1944年 | | エミン・エル・フセイニのメッセージ |
| 254~256 | フセイニ | 日本及東亜諸地方の回教徒へ | 昭和19年10月3日受信 | 1944年 | 三部三枚 | フセイニ氏のメッセージ |
| 257 | 小川亮作 | オマル・ハイヤームとその時代（要旨） | 昭和25年11月12日発表 | 1950年 | | オマル・ハイヤームの生涯 |
| 258 | 河崎桂一 | ハーフェズについて（要旨） | 昭和26年3月11日 | 1951年 | | イラン最大の抒情詩人ハーフェズについて |
| 259 | | 回教徒王自強ノ陳述ニヨリ得タル資料 | | | 王自強述 | 序 |
| 260 | | 王自強略歴？ | | | | 王自強氏略歴 |
| 261 | | 王静斎及ヒ彼ノ関係シテキル抗日回教団体 | | | | 工作要領 |
| 262 | | 日本旅行案内 | | | 一部二冊 附・日本語訳本添 | アラビア語版「日本」 |
| 263 | グラフ作製マレー語資料 | グラフ作製マレー語資料 | | | 一袋 | マレー語 |
| 264 | グラフ作製・ウルドゥー語資料 | グラフ作製・ウルドゥー語資料 | | | 一袋 | ウルドゥー語 |
| 265 | グラフ作製英語資料 | グラフ作製英語資料 | | | 一袋 | 英文 |
| 266 | グラフ作製アラブ語資料 | グラフ作製アラブ語資料 | | | 一袋 | アラビア語 |
| 267~269 | | 大日本 | 昭和13年2月 | 1938年 | 三部 アラブ語版 | アラビア語雑誌 |
| 270 | | 大日本 | | | 日本語訳・計画一東 アラブ語版 | 雑誌「日本」の計画書 |
| 271 (1-2) | | 大日本 | 昭和13年6月 | 1938年 | 附・同雑？誌日本語内容目次一枚添 マレー語版 | マレー語 |
| 272~273 | | グラフ「日本」（その産業と文化） | 昭和16年12月 | 1941年 | アラブ・満洲・日本語版 | アラブ・満洲・日本語 |
| 274 | | グラフ「日本」（その産業と文化） | 昭和16年2月 | 1941年 | アラブ・ウルド・トルコ語版 | アラブ・ウルド・トルコ語 |
| 275 | グラフ「日本」の寫眞割付 | グラフ「日本」の寫眞割付 | | | ウルドゥー語版 | ウルドゥー語 |
| 276 | | グラフ「日本」（その産業と文化） | | | ウルドゥー語版 | ウルドゥー語 |
| 277 | グラフ「日本」の寫眞説明割付 | グラフ「日本」の寫眞説明割付 | | | インドネシア語版 | インドネシア語 |
| 278 | | グラフ「日本」（その産業と文化） | | | 版 | アラブ・マレー語 |
| 279 | 「日本」（大東亜戦争篇）（寫眞説明原稿） | 「日本」（大東亜戦争篇） | | | 寫眞説明原稿 | 「日本」大東亜戦争原稿 |
| 280 | 大日本回教協会訳編 | 「ユデア人の回教観」原稿 | 昭和18年6月 | 1943年 | | 調査資料 |
| 281 | 大日本回教協会訳編 | ユデア人の回教観 | 昭和18年6月 | 1943年 | 謄写版 | イスラーム |
| 282 | 栗原清 | 回教徒とはどんなものか | | | | 回教の名福 |
| 283 | 高橋泰郎 | 回回の由来について | 昭和25年11月 | 1950年 | | 回教の由来について 馬隣翼著「伊テ蘭教概論」について |
| 284 | 馬隣翼 | 伊テ蘭教概論（梗概） | | | | |
| 285 | | 巡礼（Haji） | | | イスラーム百科事典より訳出 | 回教に於ける巡礼 |
| 286 | 山口宗男撰 | ザカートに就て | 昭和21年12月 | 1946年 | | ザカートに就いて |
| 287 | 回教教義と風習について | 回教教義と風習について | | | 有？頁 | マホメットの生涯 |
| 288 | | 東京におけるマホメット降誕祭 | 昭和20年3月 | 1945年 | | 東京におけるマホメット降誕祭について |
| 289 | | マウリド・ル・ナビー（降誕祭） | | | | 降誕祭について |
| 290 | | ラマダーン | | | | ラマダーンについて |
| 291 | 武富正一 | コーヒーと回教 | | | | 「コーヒーと回教」原稿 |
| 292 | | イネの期限及び伝播（一）（日本） | | | | 稲の起源及び伝播ける治水事業について |
| 293 | ウスマン・ユースポフ | 「ウズベクスタン」に於ける治水事業 | 昭和14年9月 | 1939年 | | 回教的民族主義と回教的運命共同体 |
| 294 | パウル・シュミッツ撰・古在田重訳 | 回教的民族主義と回教的運命共同体 | | | | 回教的民族主義と回教的運命共同体訳文 |
| 295 | 野口保市郎 | ザカートの回教徒の経済生活に及ぼす影響 | | | 附記「コーランにおけるリバーの問題について」 | ザカートの回教徒の経済生活に及ぼせる影響 |

| | | | | | | |
|---------|------------------------------------|------------------------------------|-------------|-------|--------------------|--|
| 296 | 野口保市郎 | コーランに見えたる豚食について | | | | 論文「コーランに見えたる豚食について」 |
| 297 | 野口保市郎 | 国家と宗教と民族 | | | | 国家と宗教と民族 |
| 298 | | カよりも正義 | | | | カよりも正義 |
| 299 | イスラム圏貿易調査序説 目次 (内藤智英) | イスラム圏貿易調査序説目次 | | | | イスラム圏貿易調査 序説 |
| 300 | 日本輸出品表 | 日本輸出品表 | 昭和7年 | 1932年 | | 輸入品目 |
| 301 | 英領馬來半島に於ける 各主人口表 | 英領馬來半島に於ける各主人口表 | | | 西曆1931年国勢 調査参考 | 英領馬來半島に於ける 宗教別人口表 |
| 302 | 野口保市郎 | 東南アジアの回教文化圏について | | | | 東南アジアの回教文化 圏 |
| 303 | 野口保市郎 | 南方回教圏の交通及び商業 | | | | 南方海峡圏の交通及 び商業 |
| 304 | 野口保市郎 | 南方回教圏の文化的要素 | | | | 南方海峡圏の文化的 要素 |
| 305 | 野口保市郎 | 南方回教圏に於ける稲の起源と伝播 | | | | 南方回教圏に於ける 稲の起源と伝播 |
| 306 | モロ族調査旅行に関する 報告書並関係資料 (古 川晴風) | モロ族調査旅行に関する報告書並 関係資料 | 昭和19年 | 1944年 | 一袋 | モロ族調査旅行日程 説明 |
| 307 | 大日本回教協会調査部 編 | モロ族について | | | | フィリピン諸島の先住 民族 |
| 308 | 渡集団軍政監部編 | モロ慣習法 | 昭和17年9月1日 | 1942年 | | モロ慣習法 |
| 309 | シドニー・グレザー撰・鈴木 朝英訳 | フィリピン独立に於ける政治的因子 としてのモロ族 | | | | 切抜合綴本 フィリピン独立に於 ける政治的因子とし てのモロ族 |
| 310~313 | ミンダナオ等の調査書 | ミンダナオ島の調査書 | | | 四部 英文 | 手紙のリスト |
| 314 | ナシーブ・サリービイ | モロ族問題 | 大正2年 | 1913年 | 英文 | モロ族問題の歴史 |
| 315 | | 比島モロ族に関する圖書目録 | | | 英文 | 比島モロ族に関する 圖書目録 |
| 316 | E・B・ロドリゲス | 比島回教徒の風習 | | | 英文 | 宗教的な祭りとその 人々に与える影響 |
| 317 | 大村謙太郎/東京台中一 中會 | 台湾についての考察 (東京台中一 中會會誌第八号掲載) | 昭和17年10月 | 1942年 | 二頁〜九頁 | 台湾の歴史 |
| 318 | 横山正修 | 我国経済的復興ノ見地ヨリ印度支那 ノ重要性検討 | 昭和22年5月 | 1947年 | | 印度支那の重要性 |
| 319 | 宮元秀雄 | ジャワ軍政下に於ける回教徒工作状 況 | 昭和19年2月現在 | 1944年 | | 回教徒工作機関 |
| 320 | Nurul Hasan Berias, B.A., B.T. | 印度回教徒の風習 | | | 英文 | Origin and distribution |
| 321 | | インド協會會議報告 | 昭和13年11月10日 | 1938年 | | 一般會議報告 |
| 322 | | 印度主要人口統計 (1941年度) | | | | 例言 |
| 323 | | タヂキスタンの民族演藝展望 | | | | タヂキスタンの民族演 藝 |
| 324 | 横山正修 | 佛印ニ於テ小生力着手シヌハ計画セ ル事業 | 昭和21年12月16日 | 1946年 | | 佛印ニ於テ小生力着 手シヌハ計画セル事 業ノ重ナルモノ |
| 325 | 田頭敏 | アラビヤ古詩の伝承 | 昭和22年9月末日 | 1947年 | | ジャーヒリヤ文学 の一部 アラビヤ古詩の伝承 について |
| 326 | 藤村三近訳 | 阿富汗の女性と被衣(パルダ) | | | ヒンド紙5月29日 婦人欄より | 阿富汗の女性と被衣 (パルダ) |
| 327 | | 回教世界 (オトマン土耳其帝國) | | | | 回教世界 (オトマン 土耳其帝國) |
| 328 | ブロッケルマン | 世界大戦後の土耳其 | | | | 世界大戦後の土耳其 |
| 329 | 年6月より昭和18年末に 至る)の原稿/大日本回 教協會 | イランの近情 (昭和16年6月より昭 和18年末に至る)の原稿 | 昭和19年4月 | 1944年 | | 対外関係 |
| 330 | 年6月より昭和18年末に 至る)の校正/大日本回 教協會 | イランの近情 (昭和16年6月より昭 和18年末に至る)の校正 | 昭和19年4月 | 1944年 | | 対外関係 |

| | | | | | |
|--------------------|--------------------|---------------------|-------------------|-------------------|---|
| | | | | | 綴じ込み手書き大日本回教協会用紙B5, 25枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会用紙B5, 2枚枚 |
| | | | | | 協会原稿用紙B5, 8枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会用紙B5, 1枚枚 |
| | | | | | 手書きB4以上1枚 |
| 輸出品目 | | | | | 手書きメモ7枚 |
| 英領馬東半島に於ける宗教別印度人数表 | 英領馬東半島に於ける宗教別支那人数表 | 英領北ボルネオ國に於ける宗教人口表 | 英領北ボルネオ國に於ける人口表 | 宗教の説明 | 手書き大日本回教協会用紙B5, 30頁 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会用紙B5, 32頁 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会用紙B5, 60頁 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会用紙B5, 57頁 |
| | | | | | 協会用紙B5, 30頁・手書き7枚・郵便物5点・大日本回教協会用紙B5, 2枚・履歴書3点・手書き地図1点・手書き原稿用紙4枚・手書き大日本回教協会用紙B5, 45枚・大日本回教協会用紙B5, 6枚・手書き大日本回教協会用紙B5, 3枚・B5, 1枚・手書き大日本回教協会用紙B5, 23枚 |
| 調査団経費収支計算書 | オオムラケンタロウ宛郵便 | 古川晴風からの手紙 | 松林亮船?宛手紙 | 調査要員推薦之件 | 大日本回教協会用紙B5, 115頁 |
| 考古学的に見た先行文化 | ヒンズー文化の影響 | 回教の渡来と回教王國の成立 | 回教王國の内容 | エスパニアの進出及びモロ族との抗争 | 手書き印刷B5程度 |
| | | | | | B6程度559頁-683頁 |
| | | | | | 大日本回教協会用紙B5, 2枚 |
| モロ族の特性 | 主な特徴 | AROLAS將軍の政策 | スペインの封鎖事件 | 1899年のスール一族の地位 | 大日本回教協会用紙B5, 11枚 |
| | | | | | 大日本回教協会用紙B5, 8枚 |
| 結婚の儀式 | スポーツ | | | | B5雑誌 |
| 台湾の地政治学的価値 | | | | | 手書きB5原稿用紙15枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会原稿用紙B5, 125枚 |
| 戦前のジャワ回教徒の動向 | インドネシア回教との宗派と回教団体 | 和蘭政府の回教徒対策 | 日本軍政下に於ける回教徒動向並工作 | 回教徒の動向 | |
| Religion | Houses | Dress and jewellery | Toilet | Food | A4程度59頁 |
| メッカ巡礼と蘭領東印度の利害関係 | 討論 | | | | B4原稿用紙42枚 |
| 面積 | 全人口 | 英領印度 | 土侯國及び「エージェンシー」 | 性別 | 綴じ込みA4程度69頁 |
| パミールの藝術 | 歌劇「ウセオの一揆」の一場面 | バレ「二つの薔薇」の一場面 | 音楽劇「チューリップ」の一場面 | 歌劇「ウセオの一揆」のフィナーレ | 手書き『自誓』編纂部原稿用紙B5程度19枚・切り抜き1枚 |
| | | | | | 手書きB5, 5頁 |
| | | | | | 手書きB5, 35頁 |
| | | | | | 手書きイスラム文化協会用紙B5, 46頁 |
| | | | | | 手書き原稿用紙B5, 31頁 |
| | | | | | 究會原稿用紙B5, 68頁 |
| 国内情勢 | | | | | 手書き大日本回教協会原稿用紙B5, 250頁 |
| 国内情勢 | | | | | A4程度 |

| | | | | | | |
|---------------|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------|---------------------|-------|-------------------------------------|
| 331 | 中久喜信周調査/外務省 政務局第一課/イスラム 文化協会 | 河南の回教徒 (明治43年10月調 査) | 昭和13年4月写 | 1938年 | | 回教民族の歴史 |
| 332 | | 西北五省内ノ回教徒ノ名稱、種族、 分布、及び人口 | | | | 西北五省内ノ回教徒 ノ名稱、種族、分布、 及び人口 |
| 333 | 支那西北問題懇談會記 録 | 支那西北問題懇談會記録 | 昭和18年5月3日 | 1943年 | | 出席者一覽 |
| 334 | 鈴木 剛 | 馬束半島 | 昭和15年10月 | 1940年 | | 馬束半島 |
| 335 | 工藤 忠 | 青梅事情 (大正11年調査) | 康徳5年11月 | | | 青梅事情 |
| 336 | 原 正雄 | 支那西北辺域の回教徒に就いて | 昭和20年6月3日 | 1945年 | | 現下の東亜の情勢 |
| 337 | 七島全礼 | 山西ヨリ西北ノ回教ヲ論ス | 昭和18年7月 | 1943年 | | 山西ヨリ眺メタル西北 情況図 |
| 338 | 寒川政光外七篇/大日本 回教協会 | ソ聯邦の回教政策 (ソ聯邦回教政策 史) | 昭和20年2月 | 1945年 | | ソ聯邦回教政策史 |
| 339 | イスラム文化協会趣意書 並規約のゲラ其他/イス ラム文化協会 | イスラム文化協会趣意書並規約のゲ ラ其他 | 昭和12年8月 | 1937年 | | イスラム文化協会趣 意書並規約 |
| 340 | 大村謙太郎/大日本回教 協会 | 古在由重氏を大日本回教協会回教 政策審議會審議員に委嘱するの状 | 昭和19年9月1日 | 1944年 | | 委託状 |
| 341 | 東亜考古学会編 | 大日本回教協会ノ名稱ニ就テ | | | | 大日本回教協会ノ名 稱ニ就テ |
| 342 | 茂川中佐 | 回教工作カラ見タ華北施政ノ一断面 | 昭和16(民国30)年 7月 | | | 奈落ニ苦シム華北ノ 回教徒 |
| 343 | 欧亜局第三課編 | 我國ノ回教問題研究ニ關スル和蘭人 ノ見解 | 昭和13年9月 | 1938年 | | 和蘭新聞「アルホメ ン、ハンデルスプラッ ト」掲載記事邦訳 |
| 344 | | 35号 | | | | 時 |
| 345 | 東亜研究所編 | 回教問題研究会開催ノ件 (案) | | | | 開催目的 |
| 346~347 | 渡辺清茂記 | 本件工作ニ於ケル對日交渉経緯及 對日要望 | 昭和19年7月 | 1944年 | 二部 | 日交渉経緯及對日要 望 |
| 348 | 欧亜局第三課訳刊 | 南東「アジア」ニ於ケル英国ノ經濟的 地盤 | 昭和13年4月 | 1938年 | | 南東「アジア」ノ安全 保障 |
| 349 (1- 4) | 外務省情報部 | 外務省情報部情報部資料 (第601 至604号) | 昭和14年2月13日 至3月1日 | 1939年 | 四冊 英文 | へ」レオン・ハミルト ン/ノーシアル・チャス ティス |
| 350 | 社団法人 同盟通信社 内 情報局分室 | 米誌・日本の南方策を論ず (敵性情 報第27号) | 昭和19年3月20日 | 1944年 | | 日本の南方政策 |
| 351 | クルバングリエフ | 西細亜露西亜に於けるウラル・アル タイ民族 | | | | 原郷 |
| 352 | 国際思想研究所訳 | ソヴェート・ユニオンニオケル民族問 題ニ就テ | 昭和14年3月 | 1939年 | | ニオケル民族問題ニ 就テ |
| 353 | シユーマッヘル撰・国際 思想研究会訳 | 世界政策ニ於ケル汎思想 | 昭和14年1月 | 1939年 | | 世界政策ニ於ケル汎 思想 |
| 354 | ヤコブソン撰・国際思想 研究会訳 | 露西亜トアフリカ | 昭和14年6月 | 1939年 | | 露西亜トアフリカ |
| 355 | 国際思想研究会訳 | ソヴェート組織圖解説明 | 昭和14年10月 | 1939年 | | ソヴェート組織の解剖 |
| 356 | ルードルフ・フィッシャー撰・ 国際思想研究会訳 | 海峡問題 | 昭和15年4月 | 1940年 | | 海峡問題 |
| 357 | 国際思想研究会訳 | 西欧人ノ見タル蒙古ト新疆 | 昭和15年9月 | 1940年 | | 東政治の図解』の訳 出 |
| 358 | 日回協会編 | (財団法人) 日回協会趣意書及寄 付行爲 | | | | 日回協会趣意書 |
| 358 (a) | 日回協会編 | (財団法人) 日回協会趣意書及寄 付行爲 | | | | 日回協会趣意書 |
| 359 | | 日本イエーメン協会發會趣意書 | 昭和15年2月13日 | 1940年 | | 日本イエーメン協会發 會趣意書 |
| 360 | 興亜宗教審議會人員並 會則 | 興亜宗教審議會人員並會則 | | | | 興亜宗教審議會構成 員一覽 |
| 361 | | 興亜宗教審議會委員名簿 | 昭和18年10月1日 | 1943年 | | 役職 |
| 362 | | 興亜宗教審議會第1回總會次第 | 昭和18年10月21日 | 1943年 | | 興亜宗教審議會第1 回總會プログラム |
| 363 | 興亜宗教審議會 | 興亜宗教審議會議案 (第1至8号) | | | | 「大東亜建設ト興亜宗 教教學ノ確立」の理由 |
| 364 | 滿州帝國協和會・滿洲回 教協会刊 | 滿洲の回教に就て | | | | 回教の名稱 |
| 365 | 中華民國回教週報社刊 | 回教週報 | 中華民國12年1月8 日 | | 中国語 | 蘇土締結友好協定傳 説土耳其鄭重否認 |
| 366 | 回教徒の回教運動チラシ (廣東回教自治會刊) | 回教徒の回教運動チラシ | 民國29年2月10日 | 同歴 1359年 1月1日 | 中国語 | 親愛的回教同胞 中國に於ける主要な 出來事 |
| 367 | | 日支交渉年表 | | | | 1839年~1941年 |

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------------|
| 塞種族考 | 河南の回教徒 | 周家口の教勢 | 河南全省の教徒数 | | 綴じ込み手書きイスラム文化協会原稿用紙B5, 99頁 |
| | | | | | 大日本回教協会用紙B53枚 |
| 出席者の発言 | | | | | 大日本回教協会用紙B5, 5枚 |
| | | | | | 綴じ込み手書きB5原稿用紙 |
| 沿革 | 玉樹の位置 | 地勢 | 山嶽高低表 | 寒暑比較表 | 大日本回教協会用箋B5程度 |
| 支那の抗日と西方回教徒 | 支那西方辺域の回教徒に対する方策 | | | | 綴じ込み手書きB5原稿用紙32頁 |
| 目的 | 山西省ニ於ケル回教諸施策ニツイテ | | | | A4程度の手書きの地図1枚・大日本回教協会用紙B5, 8枚 |
| 滿蒙に於けるソ聯の活躍 | ソ聯のクルヂスタン進出問題 | ソ土関係の推移 | 中共を通じてのソ聯の回教政策 | ソ聯のイラン進出の経緯 | 日本回教協会用紙B5 |
| イスラム文化協会名刺 | イスラム文化協会印 | イスラム文化協会所在地 | | | B5程度7枚・名刺1枚・紙切れ4枚 |
| 大日本回教協会回教政策審議會規則 | | | | | 大日本回教協会用紙B5, 3枚 |
| | | | | | B5, 2枚 |
| 支那ニ於テ回教徒力今日迄辿リタル通 | 新秩序建設ト支那ノ回教徒 | | | | A4程度9頁 |
| | | | | | 綴じ込みB5程度 |
| 第一委員會開催場所 | 第一委員會出席者 | 審議経過 | | | B5, 3枚 |
| 會員構成 | 事業内容 | 定例會合ノ期日 | 會合ノ場所 | 會ノ事務 | B5, 2枚 |
| 馬延賢西北解放企圖意見及土匪黨化計画 | | | | | 原稿用紙谷折り13枚 |
| 英國ニ對スル南東「アジア」ノ戰略的意義 | 南東「アジア」ニ於ケル英國ノ經濟的利害ハ必ラズシモ大ナラズ | 領土的根城トシテノ馬來半島 | 馬來半島ノ錫及ビ護謨ニ於ケル利潤ノ動揺ト事業統制策 | 商業中心シテノ割當制 | 綴じ込みB5程度 |
| 「紐育共產分子の反宗教運動」ノソーシャル・チャスティス | 「放送の要旨」ノソーシャル・チャスティス | いて「ブルースター・ガウ/エンパイア・レビュウ | ム防備問題」レイモンド・モレー/ニュース・ウィーク | | B5程度 |
| 日本の統治政策 | 秦と印度支那の現状 | | | | 大日本回教協会用紙B5, 8枚 |
| 過去の主要ウラル・アルタイ諸種族 | 共和国名・人口・面積・首都・宗教一覽 | 将来の機運 | サヴェート政権との関係 | | 手書き印刷B5程度 |
| | | | | | A4程度5枚 |
| | | | | | A4程度15頁 |
| | | | | | A4程度18頁 |
| 聯邦加盟共和國 | 露西亞社會主義ソウエート共和国中の自治共和國 | 露西亞社會主義聯邦ソウエート共和国内の自治州 | | | A4程度5頁 |
| 土援助條約に対する不平 | | | | | A4程度7頁 |
| | | | | | A4程度7頁 |
| 日回協會寄附行為 | | | | | 綴じ込みA4程度12頁 |
| 日回協會寄附行為 | | | | | 綴じ込みA4程度12頁 |
| 日本イエーメン協會會則 | | | | | 大日本回教協会用箋B5程度3枚 |
| 興亞宗教審議會々則 | 興亞宗教審議會議事規則 | 備考 | | | B4程度谷折り2枚+B5程度2枚 |
| 所屬 | 名前 | 住所 | | | B4, 6枚 |
| 興亞宗教審議會第1回總會議席表 | | | | | A4程度2枚 |
| 「大東亞建設ト興亞宗教國策ノ樹立」の理由 | 「大東亞建設ト宗教興隆ノ方策」の理由 | 「大東亞建設ト興亞文教政策ノ樹立」の理由 | 「大東亞戰爭ト必勝精神昂揚ノ方策」の理由 | 「科學戦力急速増強ト精神力強化ノ方策」の理由 | B5程度8頁 |
| 思想と教養 | 聖經コラーン | 滿洲回教の沿革 | 左翼貴將軍と同善堂 | 滿洲建國と回教 | B5程度ビラ1枚 |
| 喚醒回民反抗英美 | 新歲感言 | 伊朗政府逮捕参加暴動市民 | 四月來印人傷亡達一萬六千人 | 日回教會長易人 | 新聞 |
| | | | | | A43部 |
| 日本の出來事 | 滿洲國の出來事 | 歐米の記事 | | | 35.5cm×約120cm |

| | | | | | | |
|---------|----------------------------------|--|-------------|-------|---|----------------------------|
| 368 | | 日本曆 | 昭和20年 | 1945年 | | 絵「北邊の譲りは堅し 國軍の変容」 |
| 369 | | 東京回団會則原稿 | | | トルコ文 | 東京回団會則原稿 |
| 370 | トルコ人の名簿原稿と印刷物 | トルコ人の名簿原稿と印刷物 | | | トルコ文 | トルコ人の名簿原稿と印刷物 |
| 371 | 回教徒礼拝の招待状原稿と印刷物 | 回教徒礼拝の招待状原稿と印刷物 | | | トルコ文 | 回教徒礼拝の招待状原稿と印刷物 |
| 372 | 回教徒礼拝の招待状原稿と印刷物 | 回教徒礼拝の招待状原稿と印刷物 | | | トルコ文 | 回教徒礼拝の招待状原稿と印刷物 |
| 373 | 回教徒礼拝の招待状原稿 | 回教徒礼拝の招待状原稿 | 昭和20年8月7日 | 1945年 | トルコ文 | 回教徒礼拝の招待状原稿 |
| 374 | 「日本」誌受領に関するインドネシヤスラバヤからの書状 | 「日本」誌受領に関するインドネシヤスラバヤからの書状 | 昭和13年4月19日 | 1938年 | アラビヤ文 | 「日本」誌受領に関するインドネシヤスラバヤからの書状 |
| 375 | フィリッピン回教徒との交友を結ぼうとの東京在住トルコ僧よりの手紙 | フィリッピン回教徒との交友を結ぼうとの東京在住トルコ僧よりの手紙 | 昭和19年5月 | 1944年 | | の交友を結ぼうとの東京在住トルコ僧よりの手紙 |
| 376 | 稿 | 回教断食月日程表の原稿 | 昭和19年9月 | 1944年 | アラビア文 | 稿 |
| 377~378 | | 回教断食月日程表(印刷物) | 昭和19年9月 | 1944年 | 部 | 回教断食月日程表 |
| 379 | 回教團研究所刊 | 回教主要祝祭行事一覽(昭和19年度) | | | | 月日 |
| 380 | | 回教主要祝祭行事一覽 | | | 頁 | 覽 |
| 381 | | 回教主要祝祭行事一覽 | 昭和19年 | 1944年 | るもの オランダ文 | 回教主要祝祭行事一覽 |
| 382 | 民族旗社刊 | 回教曆 | 康徳9年=昭和17年 | 1942年 | トルコ文 | カレンダー |
| 383 | 民族旗社刊 | 回教曆 | 康徳10年=昭和18年 | 1943年 | トルコ文 | カレンダー |
| 384 | 民族旗社刊 | 回教曆 | 康徳12年=昭和20年 | 1945年 | トルコ文 | カレンダー |
| 385 | 民族旗社刊 | 回教祭日曆 | 昭和20年 | 1945年 | トルコ文 | 回教祭日曆 |
| 386 | 廣州市迪隆里萬國印刷所承印 | 清真齋拜節令表 | 中華民國29年 | | 漢文 廣東回教自治會編刊 | 清真齋拜節令表 |
| 387 | | 回教曆原稿 | 昭和19年 | 1944年 | | 祝祭行事一覽 |
| 8) | | 回教曆原稿殘部 | 昭和20年 | 1945年 | | カレンダー |
| 389 | 調査部作成 | 回教曆解説 | 昭和14年6月29日 | 1939年 | | 回教曆 |
| 390 | | 回教曆解説 | 昭和14年6月 | 1939年 | 3部 | 回教曆 |
| 391 | 大日本回教協會 | 回教徒断食曆(回曆1942年度) | | | 第9月 トルコ文 西曆610年から 1540年まで | 回教徒断食曆(回曆1942年度) |
| 392 | | 回教傳播系統圖表 | | | | 皇紀 |
| 393 | | 西北五省内ノ回教徒ノ名稱・種族・分布及び人口 | 昭和29年3月23日 | 1954年 | | 西北五省内ノ回教徒ノ名稱・種族・分布及び人口 |
| 394~396 | | 回教徒分布表 | | | 佛文 Arthur Pellegrin: L'Islam dans le mondeに據る | 回教徒分布表 |
| 397 | | 日本對回教各地重要輸出入品地域別表 | | | 大藏省外國貿易月報「昭和十三年十二月號」二據ル | 日本對回教各地重要輸出入品地域別表 |
| 398 | | 日本對回教各地通商昭和十三年全額 | | | 貿易月表昭和十三年十二月號二據ル | 日本對回教各地通商昭和十三年全額 |
| 399 | 奮勃洛克及柔克義等東遊記附録旅行計圖 | 奮勃洛克及柔克義等東遊記附録旅行計圖 | | | 英文 *資料なし(封筒のみ) | |
| 400 | 中央アジア地圖 | 中央アジア地圖 | | | Herrmann, Die alten Seidenstrassen zwischen China and Syrien の附録 独文 | 中央アジア地圖 |
| 401~402 | 査委員會編 大政翼賛會刊 | 東亞諸民族分布圖 | 昭和17年3月 | 1942年 | 二部 | 東亞諸民族分布圖 |
| 403 | 局編・大日本雄辯會講談社刊 | 最新世界大地圖 | 昭和8年1月1日 | 1933年 | キング第9卷第1号附録 | 世界大地圖 |
| 404 | 九段書房編輯所編・九段書房發行 | 世界白地圖 | | | 4000万分の1 | 世界白地圖 |
| 405 | 東京日日新聞社編刊 | 最近 蘭領東印度・南洋地方要圖 | 昭和15年8月 | 1940年 | | 蘭領東印度・南洋地方要圖 |
| 406 | 沖繩県編 | 沖繩県管内地圖(二〇万分之一) | 昭和10年1月 | 1935年 | | 沖繩県管内地圖 |
| 407 | 水路部編刊 | (スールー海及セレベス海) スールー叢島及ボルネオ北東海岸海洋圖(七五万分之一) | 昭和9年9月18日 | 1934年 | 英文 | スールー叢島及ボルネオ北東海岸海洋圖 |

| | | | | | |
|--------------------|---------------------|---------------|----------|----------|-----------------------------|
| 絵「穀倉の機械化兵團 開拓團の活躍」 | 絵「増産に挺身する勤奉隊員の聖汗作業」 | 絵「戦力を培ふ、鉄の源泉」 | | | カレンダー 手書き綴じ込みメモ5枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会原稿用紙B5程度1枚・B5程度1枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会原稿用紙B5程度1枚・招待状1枚 |
| | | | | | 手書き大日本回教協会用紙B5, 1枚・B5, 1枚 |
| | | | | | 手書き1枚 |
| | | | | | イスラム文化協会宛封筒1枚・紙1枚 |
| | | | | | 手書きメモ2枚・手書きB5程度1枚 |
| | | | | | 47.5cm × 37.5cm |
| | | | | | A3程度1枚 |
| 回教暦月日 | 祝祭行事名 | 正月十日祭 | マホメット降誕祭 | マホメット昇天祭 | B5程度1枚・6枚 B5, 3枚 |
| | | | | | イスラム文化協会用紙B5, 1枚 |
| | | | | | カレンダー |
| | | | | | カレンダー |
| | | | | | カレンダー |
| | | | | | 25cm × 26.6cm1枚 |
| | | | | | 54cm × 38.5cm1枚 |
| ジャワ回教祭日 | カレンダー | | | | 手書きB5, 16枚 |
| | | | | | 手書き8枚 |
| | | | | | 大日本回教協会用箋A4程度10枚 |
| | | | | | 大日本回教協会用箋A4程度9枚及び10枚 |
| | | | | | B4, 1枚 × 3部 |
| 西暦 | 年号 | 摘要 | | | B4程度谷折り3枚 |
| | | | | | 大日本回教協会用紙B5, 3枚 |
| | | | | | 大日本回教協会用箋A4程度1枚・イスラム文化協会5枚 |
| | | | | | 綴じ込み大日本回教協会用箋A4, 1冊 |
| | | | | | A4, 4枚 |
| | | | | | 31.2cm × 71.8cm1枚 |
| | | | | | 約104cm × 約75cm1枚 |
| ヨーロッパ要部地図 | 満州國要部地図 | 揚子江沿岸地図 | 北米要部地図 | | 約77cm × 約108cm |
| | | | | | 約77cm × 約108cm |
| 面積比較 | | | | | 約77cm × 約108cm |
| | | | | | 約88cm × 約80cm |
| | | | | | 約77cm × 約108cm |

| | | | | | | |
|-----|---|--|--------------|-----------------|----------------------|---|
| 408 | 国鉄日本旅行協会編刊 | (旅行者用)日本地図 | 昭和14年 | 1939年 | | 日本地図 |
| 409 | Oppenheim, Die Beduinen, Band I / Verlag Otto Harrassowitz, Leipzig | シリアとメソポタミアにおけるペドイン族の居住地域圖 | | | | シリアとメソポタミアにおけるペドイン族の居住地域圖 |
| 410 | 刊 | 歐洲時局要圖 | 昭和14年10月 | 1939年 | 週報附録 | ヨーロッパ地圖 |
| 411 | 中亞に関する研究事項 (日蘇? 戦の準備と戦後に於ける中亞の定策を目標とす)メモ | 中亞に関する研究事項 (日蘇? 戦の準備と戦後に於ける中亞の定策を目標とす)メモ | | | 源道次案 | 中亞に於ける回教民族史 |
| 412 | | 在外帝國公館所在地一覽表 | 昭和15年4月現在 | 1940年 | | 在外帝國公館所在地一覽表 |
| 413 | 外務省編 | 外務省職員配屬表 | 昭和12年12月1日現在 | 1937年 | | 外務省職員配屬表 |
| 414 | 日本印度支那協會編刊 | 佛領印度支那産業地圖 (鑛産之部) | 昭和15年11月 | 1940年 | 昭和十五年十月一日調 | 佛領印度支那産業地圖 |
| 415 | 外務省文化事業部記 | 阿國學者ノ百年祭舉行ニ關シ報告ノ件 | 昭和15年2月15日 | 1940年 | | 阿國學者ノ百年祭舉行ニ關シ報告ノ件 |
| 416 | | 宣詞 | | | | 宣詞 |
| 417 | ギル著・荒井武雄訳の書評 | トルコの民族と歴史 (レンギル著・荒井武雄訳)の書評 | | | | トルコの民族と歴史 |
| 418 | | 國民政府組織系統職員表 | 昭和15年12月20日 | 1940年 | | 國民政府組織系統職員表 |
| 419 | 週刊「新日本」創刊號附録 | ポツダム宣言及びカイロ宣言 | | | 言文及訳文 週刊「新日本」創刊號附録 | ポツダム宣言 |
| 420 | | シャルマンのシェーフ家の家系樹 | | | 独文 | シャルマンのシェーフ家の家系樹 |
| 421 | 冠豪劉錦標編 | 民徳統一綱要 | 民国22年 | | | 民徳統一綱要 |
| 422 | ミハイル・スーウンスキー撰 | ステップ(草原帯)の井戸 | | | | ステップ(草原帯)の井戸 |
| 423 | 内務省編・日本産業經濟社刊 | (改定)時局防空必携 | 昭和18年6月29日 | 1943年 | 日本産業經濟第239號切抜 | (改定)時局防空必携 |
| 424 | 神代文化研究所編刊 | 神代文化 (第15號) | 昭和14年12月20日 | 1939年 | 十二月號 | 襖祓の眞義 |
| 245 | ケイ・タツバラ氏の北海道手宮古代文字解説記事 (報知新聞社刊) | ケイ・タツバラ氏の北海道手宮古代文字解説記事 | 昭和16年8月22日 | 1941年 | 報知新聞23238号切抜 | ケイ・タツバラ氏の北海道手宮古代文字解説記事 |
| 426 | 中央アジア問題研究資料 (中亞問題研究会等編) | 中央アジア問題研究資料 | 昭和18年 | 1943年 | | 在京「タートル」使命、年令、續柄、職業其他調査ニ關スル件 |
| 427 | ウラヂミール・ラツェク撰・田中一郎訳 | ハン・テングリ(キルギーズスタン)峯探検記 | | | | キルギーズスタン)峯探検記 |
| 428 | | 西域見聞録卷七風俗騰写刷殘片 | 昭和廿叁年 | 1936年 | | 西域見聞録卷七風俗騰写刷殘片 |
| 429 | 易篇写本断片 | 易篇写本断片 | | | | 上下首終 |
| 430 | エイ・ヘンミー (Ei Hemmi) 撰 | 何がアメリカにおこりつゝあるか | | April 10, 1943. | 英文 | The story of Dr. M. |
| 431 | Paul Schmitz | Moskau und die Islamische Welt の手紙 | | 1938年 | | Moskau und die Islamische Welt の手紙 |
| 432 | 日本出版會 | 東亜細亞 (皇道宣布版35第97號) | 昭和18年7月29日 | 1943年 | | 皇通宗教々學の樹立 |
| 433 | 熱帯用ゴム接着劑製造所翼賛化學研究所編 | 偉大なる言論出でよ云々…なるチラシ | | | | 家の要望に答えた言論 |
| 434 | 中國經濟文化研究會附屬支那文庫編刊 | 支那文庫所藏洋書分類目録 | 昭和17年9月末現在 | 1942年 | | 世界の書物 |
| 435 | Abazah, Fikri | Ayyinat | | | Speech through radio | Ayyinat |
| 436 | Caotain Bimba | MONGOLIA : The Effects of 18 Years of Soviet Domination of Outer Mongolia. | | | 英文 | My Boyhood |
| 437 | THE JAPANESE RED CROSS SOCIETY | A SHORT GUIDE TO THE RED CROSS MUSEUM | | 1939年 | Tokyo, 1939. 英文 | 美術館の設立と活動 |
| 438 | Manchoukuo Government : Manchukuo, Foreign Office | EXCHANGE CONTROL LAW REVISIONS(Effective. August 1, 1939) | | 1939年 | | IMPERIAL DEGREE NO. 184 RELATIVE TO THE REVISIONS OF THE EXCHANGE CONTROL LAW July 27, 1939 |
| 439 | MITSUBISHI ECONOMIC RESERCH BUREAU | THE ECONOMIC SITUATION IN JAPAN DURING 1938 | | April, 1939 | Tokyo, 1938. | General Review |

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|
| 朝鮮地図 | 台湾地図 | 本州・四国・九州地図 | 北海道地図 | 大阪近郊地図 | リーフレット1部 63.6cm × 72cm |
| 世界現勢地図 | 獨佛國境地方地図 | | | | B2, 51.5cm × 72.8cm |
| 中亜の一般並に産業地誌 | 中亜に於ける政治施設 | 英露の?場としての中亜及び?隣接地 | 露西亜人の亜細亞西亜(特に中亜)研究史 | コーラン經典に関するロシア人の見方 | 手書きB4原稿用紙1枚 49.5cm × 78.5cm 68cm × 80cm |
| 當國學者ノ百年祭舉行ニ關シ報告ノ件 | | | | | 95cm × 66.5cm 外務省B5レポート3枚 手書きB5大日本回教會原稿用紙2枚 手書きB4原稿用紙2枚 49cm × 76.5cm |
| カイロ宣言 | | | | | 裏表印刷1枚 70cm × 99cm 39.5cm × 69.5cm1枚 手書きB5原稿用紙11枚 |
| 神代に於ける我國度量衡制度研究 | 神社・斯界ニュース | | | | 新聞7面 ニュースレター1部 新聞切り抜き |
| 神戸在住「タタール」事情調査(其一) | 「タタール」兒童ノ智能鑑別報告 | 露領内回教徒 イデル・ウラル・トルコ・タタール民族問題の重要性 | 「イデル・ウラル・トルコ・タタール」ノ立場(一) | 「イデル・ウラル・トルコ・タタール」ノ立場(二) | 綴じ込みB5・A4・B6・B5・A4・B5・B4, 2枚・B4, 3枚・A4・A4 手書きB5原稿用紙16枚 B4, 1枚 手書きB4原稿用紙5枚 |
| 孔子論易 | 孟子精易 | 左氏論易 | 漢初言易三家 | | |
| "Jew York" | Lindbergh Denounced | "American Way of Life" | "The Three Groups" and the Third Term | The Note of Nov. 26, 1941 | B5大日本回教協會原稿用紙38頁 B5大日本回教協會用箋1枚 |
| 國體尊奉と宗教的信仰の相關 | 恩 | 生活のこゝろ | 積極の宗教 | 神聲佛語 | 新聞1部 ピラB4, 1枚 |
| アジア(東洋極東)一般の書物 | 日本の書物 | 支那の書物 | 西藏の書物 | 蒙古・新疆の書物 | 冊子B5, 1冊 小冊子B6, 1冊 |
| I Enter the Military Academy | General Demid | People Without Civil Rights | Two Opposing Factions | Admittance to Soviet Military Academy | 小冊子B6, 1冊 |
| 館内案内 | 展示品の説明 | | | | 小冊子B6, 1冊 |
| DEPARTMENT OF FAINANCE AND COMMERCE ORDINANCE NO. 28 July 27, 1939 | DEPARTMENT OF FAINANCE AND COMMERCE ORDINANCE NO. 29 July 27, 1939 | Report on Amount of Travelling Expencc Carried in Person in Accordance with the Stipulations of Article 3-2 | Report on the Importation of Banknotes, Japanese Banknotes and Foreign Currency in Accordance with Stipulations of Article 11-3 | Import not carried in person. :Address, name or business name | 小冊子B6, 1冊 |
| Finance and Banking | Commodity Prices | Production and Movement of Goods | Labour Situation | Foreign Trade | 小冊子B6, 1冊 |

| | | | | | | |
|-----|---|---|---------|--------------------|---------------------------------------|---|
| 440 | SHIBBALAN : YOUNG MUSLIM NATIONAL FRONT PUBLICATION | RED EMPIRE UNMASKED. Aligarh, 1939. | | JANUARY, 1939 | | PREFACE |
| 441 | | Speech by the Fuehrer in the Sportpalast in Berlin, on 30 January 1940. | 昭和15年 | 1940年 | | In those days these gentlemen did not stroll about Bible in hand. Their bible was the Treaty of Versailles! |
| 442 | 宇野内空撰・帝国學士院東亞諸民族調査室刊 | マライシヤに於ける稲米儀 禮:Religious Rites and Planting and Eating in Malaysia | 昭和17年5月 | 1942年 | 東洋文庫論叢第二十八英文梗概 帝国學士院報告會記録第七號 英文 | Preliminary remarks |
| 443 | | ADDUNIA(formerly Kol-Shie WADDUNIA). No.621. | 昭和12年 | ember 29, 1937. | Cairo, 1937. | ADDUNIA (formerly Kol-Shie WADDUNIA). No.621. |
| 444 | | ADDUNIA (formerly Kol-Shie WADDUNIA). No.628. | 昭和12年 | November 17, 1937. | Cairo, 1937. | ADDUNIA (formerly Kol-Shie WADDUNIA). No.628. |
| 445 | | ADDUNIA (formerly Kol-Shie WADDUNIA). No.630. | 昭和12年 | December 1, 1937. | Cairo, 1937. | ADDUNIA (formerly Kol-Shie WADDUNIA). No.630. |
| 446 | | ADDUNIA (formerly Kol-Shie WADDUNIA). No.632. | 昭和12年 | December 15, 1937. | Cairo, 1937. | ADDUNIA (formerly Kol-Shie WADDUNIA). No.632. |
| 447 | | AL-FAJR: L'AUORE, revue mensuelle de Science, Litterature, Histoire et Hygiene. Y.7, No.12. | 昭和15年 | 1940 | Beirut, 1940. | AL-FAJR: L'AUORE, revue mensuelle de Science, Litterature, Histoire et Hygiene. Y.7, No.12. |
| 448 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No.184. | 昭和12年 | December 20, 1937. | Cairo, 1937. | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No.184. |
| 449 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No.190. | 昭和13年 | January 31, 1938. | Cairo, 1938. | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No.190. |
| 450 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb)No.197. | 昭和13年 | March 21, 1938. | Cairo, 1938. | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb)No.197. |
| 451 | Saleh Argoebi Hootdagent:Combinatie Sluyters & Co. Menerima assurantie boeat:KEBAKARAN, PEROESAHAAN, LAOET TRANSPORT dan lain-lain. | AL-MOERSJID ARABISCH HALFMAANDBLAD. Feast number. Th.2, No.15. | 昭和13年 | November 24, 1938. | Soerabaia, 1938. | AL-MOERSJID ARABISCH HALFMAANDBLAD. Feast number. Th.2, No.15. |
| 452 | | Al-rewayah. Y.1, No.12. | 昭和12年 | July 15, 1937. | Cairo, 1937. | Al-rewayah. Y.1, No.12. |
| 453 | | Al-rewayah. Y.1, No.24. | 昭和13年 | January 15, 1938. | Cairo, 1938. | Al-rewayah. Y.1, No.24. |
| 454 | | Barid al-sharq (Redaction de la revue arabe), | 昭和16年 | 1941 | Berlin, 5cops. | Barid al-sharq (Redaction de la revue arabe), |
| 455 | THE LONDON AND LIVERPOOL CHAPTERS OF THE GUARANTY CLUB | The Guaranty News. London Edition. V.1, No.6. March. London, Guaranty Club, 1921. | | March, 1921 | | Building a Bank in Constantinople |
| 456 | | KOLSHEI WADDUNIA. No.566. | 昭和11年 | ember 9, 1936. | Cairo, 1936. | KOLSHEI WADDUNIA. No.566. |
| 457 | | OSTASIATISCHE RUNDSCHAU (東方輿論). 18 Jg.,Nr.16. Hamburg, 1937. | 昭和12年 | August 16, 1937. | | OSTASIATISCHE RUNDSCHAU (東方輿論) |
| 458 | Soeara M.I.A.I | Soeara M.I.A.I. (Madjlis Islam A'laa Indonesia): MADJALLAH ISLAM. No.7,Th.1. | 昭和18年 | April 1,1943. | 2603(1362 h.) Djakarta | Kemakmoeran dan Kesedjahteraan Rakjat. |
| 459 | TOKYO MUNICIPAL OFFICE | TOKYO 1940 | 昭和15年 | 1940 | Tokyo,1940. | Introduction |

| | | | | | |
|---|--|--|--|----------------------|-----------|
| REVOLUTIONARIES CLAIMING THE DESTRUCTION OF THE WORLD CIVILIZATION | WORK ON THE SECOND INTERNATIONAL | MODERN RUSSIA | STATE CAPITALISM AND THE BUREAUCRATIZATION OF ECONOMY, LAW AND JUSTICE | REVOLT AGAINST GOD | 冊子B5, 1冊 |
| And think of how they mishandled that Germany! | passing on his way to-day, clutching the Bible and preaching his pious war aims, seems to me to bear a marked resemblance to the Devil, prayer-book in hand, approaching a miserable sinner. | The Germany is to-day politically free in her rear | M.Daladier, you are faced to-day by the whole German nation, that is to say, the National Socialist German people. | | 小冊子B6, 1冊 |
| Descriptive Sketches of Rites and Ceremonies | Theoretical Interpretation | | | | 小冊子B6, 1冊 |
| | | | | | 新聞1部 |
| | | | | | 新聞1部 |
| | | | | | 新聞1部 |
| | | | | | 新聞1部 |
| | | | | | 冊子B5, 1冊 |
| | | | | | 雜誌A4, 1冊 |
| | | | | | 雜誌A4, 1冊 |
| | | | | | 雜誌A4, 1冊 |
| ALGEMEENE ASSURANTIE KANTOOR "INSULINDE" MOLENVLIET WEST 93 -BATAVIA-C. | | | | | 冊子A4, 1冊 |
| | | | | | 冊子B5, 1冊 |
| | | | | | 冊子B5, 1冊 |
| | | | | | A4書類5部 |
| Exchange Division Dinner | Paris Office Returns Our Visit | Impression of Post-War Holland | Departmental Notes | | 小冊子B6, 1冊 |
| | | | | | 雜誌A4, 1冊 |
| | | | | | 雜誌A4, 1冊 |
| CHOETBAH PERAJAAN MAULOED | Mentjari Soesterawan2 Moeslim. | GELOMBANG HIDOEP | Bangsa Indonesia dan kewadjabannya menentoet ilmoe pada zaman sekarang. | INDONESIA | 冊子A4, 1冊 |
| Municipal Administration | Education | Social Work | Public Health and Sanitation | Parks and Cemeteries | B5程度1冊 |

| | | | | | | |
|---------|---|---|------------------------|---------------------|---|---|
| 460~461 | | WARMAKERS 1939. Extracts from the sensational documents found in the Polish Foreign Office in Warsaw. | 昭和14年 | 1939 | 2 cops. | documents found in the archives of the former Polish Foreign Office |
| 462 | SPIRITUAL ORGANIZATION AND SPIRITUAL LEAGUE OF YOUNG ASIA | THE JAPAN BULLETIN AND THE SPIRIT OF YOUNG ASIA. V.3. | 昭和14年7月 | 1939 | Tokyo,1939. 英文 | ジャパン及若きアジアの精神 |
| 463 | | Al-Ahram. Y.66, No.20031. | 昭和15年 | June 15, 1940. | Cairo,1940 | Al-Ahram. Y.66, No.20031. |
| 464 | | Al-Ahram. Y.66, No.20064. | 昭和15年 | July 18, 1940. | Cairo,1940 | Al-Ahram. Y.66, No.20064. |
| 465 | | Al-Ahram. Vol11. | 昭和13年 | June 30, 1938. | Baghdad,1938 | Al-Ahram. Vol11. |
| 466 | | Al-Ahram. Vol13. | 昭和13年 | Juy 3, 1938. | Baghdad,1938 | Al-Ahram. Vol13. |
| 467 | Printed and Published by Maung Mya for the New Burma Ltd. , at the New Burma Press. | New Burma. Vol.20, No.76. | 昭和14年 | October 11, 1939. | Rangoon, 1939. | The Charge In Sparks Street |
| 468 | Milli Bayrak | (民族旗) (密?里具拉克新報) Contents: 1944. Nos.383-394. | 昭和19年 | July1- Nov.25, 1944 | Mukden, Idel-Ural Tark-Tatars [Muslim assoiation] *資料なし | |
| 469 | Printed by Abdul Hamid, at the Punjab Educational Press, Nabha Road, Lahore, and Published by him at the Office of the "Sunrise". Editor:A.Hamid. | The Sunrise. A Weekly Muslim Organ. Vol.10, No.11. | 昭和14年 | March 18, 1939. | Lahore, 1939. | "corporate" Spirit. Khuddam-ul-Ahmadiyya's First Duty. Forming Character of Youth. Removal of the "Wander" Habit. "School-Room" Debate-An Example of "Mental Wandering" |
| 470 | 東亜情勢関係新聞切抜き張込み帖 | 東亜情勢関係新聞切抜き張込み帖 | 昭和12年6月3日 ~14年1月21日 | 1937~ 1939年 | 朝日新聞・シャペン・アドヴァタイザー・讀賣新聞・東京日々新聞・愛國新聞 | 新疆情勢 |
| 471 | | イスラム情報張込帖 第1・2号 | 昭和20年10月23日 至11月19日 | 1945年 | | 国際聯合成立 |
| 472 | 回教圏入電情報集 | 回教圏入電情報集 | | | | 近東方面 |
| 473 | 情報各種 | 情報各種 | | | | エーメン國へ入國するには |
| 474 | 圖書注文調書一東 (大日本回教協會編) | 圖書注文調書一東調査責任者サイン入り | | | | 請求書 |
| 475 | インド・パキスタン・セイロン関係新聞切抜き集 (大日本回教協會編) | インド・パキスタン・セイロン関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 476 | 抜集 (大日本回教協會編) | インドネシア関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 477 | | 中國 | 月一日至昭和廿六年十二月卅一日 | 1950年 ~1951年 | *従来のタイトルと不一致 | 中國関連の記事 |
| 478 | | 蒙古・支那西北部関係新聞切り抜き集 | 自二十二年五月九日 | 1947年 | *従来のタイトルと不一致 | 蒙古関連記事 |
| 479 | マライ・ヴェトナム・ビルマ・タイ関係新聞切抜き集 (大日本回教協會編) | マライ・ヴェトナム・ビルマ・タイ関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 480 | アフガニスタン・イラン関係新聞切抜き集 (大日本回教協會編) | アフガニスタン・イラン関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 481 | 東南アジア・印度支那関係新聞切抜き集 (大日本回教協會編) | 東南アジア・印度支那関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 482 | 一般・?関係新聞切抜き集 (大日本回教協會編) | 一般・?関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 483 | 抜集 (大日本回教協會編) | パレスタイン関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 484 | アラビア関係新聞切抜き集 (大日本回教協會編) | アラビア関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 485 | 南洋関係新聞切抜き集 (大日本回教協會編) | 南洋関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |
| 486 | イラク関係新聞切抜き集 (大日本回教協會編) | イラク関係新聞切抜き集 | | | *資料なし | |

| | | | | | | |
|-----|---------------------------------|-------------------|-----------------|----------------|-------------------|-----------|
| 487 | トルコ関係新聞切抜集 (大日本回教協会編) | トルコ関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 488 | シリア及パレスタイン関係新聞切抜集 (大日本回教協会編) | シリア及パレスタイン関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 489 | 抜集 (大日本回教協会編) | フィリピン関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 490 | 抜集 (大日本回教協会編) | 南西アジア関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 491 | 中国関係新聞切抜集 (大日本回教協会編) | 中国関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 492 | 蒙古関係新聞切抜集 (大日本回教協会編) | 蒙古関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 493 | スペイン関係新聞切抜集 (大日本回教協会編) | スペイン関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 494 | 抜集 (大日本回教協会編) | 支那西北部関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 495 | 中東関係新聞切抜集 (大日本回教協会編) | 中東関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 496 | 集 (大日本回教協会編) | 国際連合関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 497 | 貿易関係新聞切抜集 (大日本回教協会編) | 貿易関係新聞切抜集 | | | *資料なし | |
| 498 | 時局関係新聞切抜集 (大日本回教協会編) | 時局関係新聞切抜集 | 昭和19年9月～ 11月 | 1944年 | 東京・讀賣・朝日・ 毎日新聞 | 時局関係新聞切抜集 |
| 499 | 大日本回教協会編刊 | 世界回教民族情報その他 | 昭和18年2月至11 月 | 1943年 | 一包 *資料なし | |
| 500 | 大日本回教協会編 | 世界回教民族情報原稿その他 | 昭和19・20年 | 1944・ 1945年 | 一包 *資料なし | |
| 501 | 資料雑包 (大日本回教協会編) | 資料雑包 | | | *資料なし | |

番外

大日本回教協会寄託資料 (イスラム文庫) * 仮整理資料

| 番号 | 著者/発行元 | 書名・文書など | 発行年月 | 西暦 | 形態 |
|----|---|--|---------------------|--------------------|---|
| 1 | 大日本回教教会・政教新論社・佛 教聯合會・東京朝日新聞他 | 宗教団体法案綴 | | | 活字・手書き文書複数綴じ 込みA4 |
| 2 | 南方経論同盟他 | | | | 手書きB4谷折り綴じ込み・ B52部 |
| 3 | | 手書き原稿 | | | 手書きイスラム文化協会原 稿用紙 B53枚・6枚 手書 き国際政経學會原稿紙1枚 (新聞記事付き) 手書き 大日本回教協会原稿用紙10 枚・新聞記事3点・他 |
| 4 | 國際地學協會編輯所 | 大滿帝國詳圖 | 昭和17年 | 1942年 | 約108cm×約75cm |
| 5 | | ビブリオ リスト BOOKS & PERIODICALS. | | | A4程度 1枚 |
| 6 | | 六鹿輝彦・西春彦・上原平太郎の個人カード | | | 手書き大日本回教協会個人 カード3枚 |
| 7 | | 日本對回教各地通商圖 | | | 2m×1.5m手書き地図 1枚 |
| 8 | 大日本回教協會 | 文献目録 | | | A4程度リングファイル |
| 9 | SOUS LA DIRECTION DE M. E. CAVAIGNAC | HISTORIE DU MONDE | | 1927年 | 書物 |
| 10 | THE ASIATIC SOCIETY OF BENGAL, 1, PARK STREET | YEAR-BOOK OF THE ASIATIC SOCIETY OF BENGAL VOLUME I | | January 1935 | 書物 |
| 11 | P. JABLONSKAY, LESCHTOUKOW PEREOULOK | IV CONGRES PENITENTIAIRE INTERNATIONAL. ST PETERSBOURG. 1890. | | May, 1890 | B6書物 |
| 12 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 13 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 14 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 15 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 16 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 17 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 18 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 19 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 20 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 21 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 22 | | 雑誌 | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 23 | N. S. REYNTIENS, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic and Trade Conditions in BELGIUM In 1928 | | 1929 | B5程度報告書 |
| 24 | | KANEBO 所在地圖 | | | B51枚 |
| 25 | ハロルド・イー・パーマ編/開拓社 | THE SEQUENTIAL SERIES ANSWERS パーマ氏 英語研究課程 シークエンシャル シリーズ 答の部 | 大正13年 | | B6テキスト |
| 26 | METHODIST PUBLISHING HOUSE | THE NEW CHURCH HYMNAL | | 1900 | B6テキスト |
| 27 | MR. J. PIGTON BAGGE DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS IN BELGIUM | | Decembe r, 1922 | B5程度報告書 |
| 28 | Mr. W. J. SULLIVAN DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE COMMERCIAL AND ECONOMIC SITUATION IN THE REPUBLIC OF COLOMBIA. Dated May, 1925) | | 1925 | B5程度報告書 |
| 29 | R. J. E. HUMPHREYS DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic and Financial Conditions in ROUMANIA 1933-34 No. 586 | | 1934 | B5程度報告書 |
| 30 | R. J. E. HUMPHREYS DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in ROUMANIA (Dated May, 1931) | | 1931 | B5程度報告書 |
| 31 | R. J. E. HUMPHREYS DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in ROUMANIA Dated May, 1930 | | 1930 | B5程度報告書 |
| 32 | J. W. F. THELWALL, M. C. AND R. P. F. EDWARDS, D. S. O. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in GERMANY To July, 1930. | | 1930 | B5程度報告書 |
| 33 | A. MURRAY SIMPSON DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the Republic of COLOMBIA. September, 1938. No. 721 | | 1939 | B5程度報告書 |

| | | | | | |
|----|---|---|-------|------------|---------|
| 34 | MR. H. KERSHAW, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC SITUATION OF DENMARK To February, 1927. | | 1927 | B5程度報告書 |
| 35 | MR. R. J. E. HUMPHREYS DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON ECONOMIC CONDITIONS IN ROUMANIA. Dated 30th March, 1926. | | 1926 | B5程度報告書 |
| 36 | R. E. KIMENS, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAMD (1930) | | 1931 | B5程度報告書 |
| 37 | MR. A. B. HUTCHEON DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC SITUATION IN ANGOLA (PORTUGUESE WEST AFRICA) | | June, 1925 | B5程度報告書 |
| 38 | R. T. SMALLBONES, M. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN ANGOLA (PORTUGUESE WEST AFRICA) Dated February, 1929. | | 1929 | B5程度報告書 |
| 39 | G. H. BULLOCK. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in ANGOLA (PORTUGUESE WEST AFRICA) No. 516 | | 1932 | B5程度報告書 |
| 40 | G. H. BULLOCK. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in ANGOLA (PORTUGUESE WEST AFRICA) (March, 1934) No. 577 | | 1934 | B5程度報告書 |
| 41 | MR. J. PYKE DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE COMMERCIAL, ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITION OF PORTGUESE EAST AFRICA Dated March, 1927. | | 1927 | B5程度報告書 |
| 42 | E. A. CLEUGH. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in MEXICO January, 1931 | | 1931 | B5程度報告書 |
| 43 | MR. J. CAHILL. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND INDUSTRIAL CONDITIONS IN FRANCE 1925-1926. | | 1927 | B5程度報告書 |
| 44 | E. G. DONALDSON RAWLINS AND H. C. A. CARPENTER, Ph. D. (Bonn) DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN ITALY Dated April, 1930. | | 1930 | B5程度報告書 |
| 45 | MR. CECIL H. MACKIE. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC, FINANCIAL AND INDUSTRIAL CONDITIONS OF FINLAND. Dated March, 1927. | | 1927 | B5程度報告書 |
| 46 | Mr. J. P. TRANT. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE COMMERCIAL, ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS IN PERU. Dated October, 1926. | | 1927 | B5程度報告書 |
| 47 | THOMAS HARRINGTON. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN THE PHILIPPINE ISLANDS 1927-1930. | | 1930 | B5程度報告書 |
| 48 | MR. R. A. C. SPERLING, C. B., C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS IN SWITZERLAND (dated February, 1927) | | 1927 | B5程度報告書 |
| 49 | S. V. CHAMBERS. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in HUNGARY. March, 1939. No. 725 | | 1939 | B5程度報告書 |
| 50 | W. W. COULTAS. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in SIAM. April, 1939. No. 730 | | 1939 | B5程度報告書 |
| 51 | H. E. SATOW, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE TRADE, INDUSTRY AND FINANCE OF SYRIA. Dated May, 1928. | | 1928 | B5程度報告書 |
| 52 | E. R. LINGEMAN. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on the Finance and Commerce of PERSIA. 1925-1927. | | 1928 | B5程度報告書 |
| 53 | T. J. HARRINGTON. C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in the PHILIPPINE ISLANDS 1933-34. No. 611 | | 1935 | B5程度報告書 |
| 54 | R. J. E. HUMPHREYS DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report ON Economic Conditions IN ROUMANIA. To March, 1928 | | 1928 | B5程度報告書 |
| 55 | G. H. SELOUS, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in EGYPT. JULY, 1935. No. 621 | | 1935 | B5程度報告書 |
| 56 | S. E. KAY, M. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in PORTUGUESE EAST AFRICA. JULY, 1935. No. 624 | | 1935 | B5程度報告書 |
| 57 | L. B. S. LARKINS WITH AN ANNEX BY H. BRUCE HENDERSON. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in the NETHERLANDS EAST INDIES. 1933-1935. No. 637 | | 1936 | B5程度報告書 |
| 58 | A. E. POLLARD. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in BRITIDH EAST AFRICA. (April, 1934-March, 1936) No. 648 | | 1936 | B5程度報告書 |
| 59 | G. T. HAVARD, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in SYRIA AND THE LEBANON (JUNE, 1936) No. 650 | | 1936 | B5程度報告書 |
| 60 | H. F. GURNEY. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the British Dependencies in WEST AFRICA. November, 1936 to March, 1937. No. 684 | | 1937 | B5程度報告書 |
| 61 | STANLEY WYATT-SMITH. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the PHILIPPINE ISLANDS. June, 1938. No. 711 | | 1938 | B5程度報告書 |
| 62 | G. N. CAREY, M. B. E. WITH AN ANNEX BY H. BRUCE HENDERSON. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the NETHERLANDS EAST INDIES. 1936-1937. No. 703 | | 1938 | B5程度報告書 |
| 63 | 大日本帝國陸地測量部 | 吉林・昌圖地圖 | 明治42年 | | 大地圖 |
| 64 | O bend Fleuron | Die Brandgänfe | | 1940 | A6程度書物 |
| 65 | G. F. HUDSON. /OXFORD AT THE CLARENDON PRESS | THE FAR EAST IN WORLD POLITICS | | 1937 | B6程度書物 |
| 66 | G. H. SELOUS, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in EGYPT. May, 1937. No. 676 | | 1937 | B5程度報告書 |

| | | | | |
|----|---|---|------|---------|
| 67 | the Secretary of State for the Colonies to Parliament | PALESTINE PARTITION COMMISSION-REPORT | 1938 | B5程度報告書 |
| 68 | JHON EVARTS TRACY/CALLAGHAN & COMPANY | CYCLOPEDIA OF THE LAW OF PRAIVATE CORPORATIONS. VOLUME19 | 1959 | B5書物 |
| 69 | Division of Commerce, Java | 1930 HANDBOOK of The NETHERLANDS EAST-INDIES | | A4書物 |
| 70 | DR. H. F. HELMONT WITH AN INTRODUCTORY ESSAY BY THE RIGHT HON. JAMES BRYCE, D.C.L., LL. D., F. R. S. /WILLIAM HEINEMANN | THE WORLD'S HISTORY Vol.3 | 1903 | B5書物 |
| 71 | MR. R. E. KIMENS, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE INDUSTRIAL, COMMERCIAL AND FINANCIAL SITUATION IN POLAND. 1926. | 1927 | B5程度報告書 |
| 72 | D. G. RYDINGS, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the Republic of HONDURAS. MARCH, 1938. No. 701 | 1938 | B5程度報告書 |
| 73 | ALEXANDER ADAMS, C. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in ROUMANIA. March, 1936. No. 644 | 1936 | B5程度報告書 |
| 74 | R. E. KIMENS, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on the Economic Situation in POLAND. 1927. | 1928 | B5程度報告書 |
| 75 | E. MURRAY HARVERY, O. B. E., M. C., F. R. G. S. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in BRAZIL. December, 1938. No. 723 | 1939 | B5程度報告書 |
| 76 | MR. R. J. E. HUMPHREYS DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON ECONOMIC CONDITIONS IN ROUMANIA, Dated 30th March, 1926. | 1926 | B5程度報告書 |
| 77 | R. E. KIMENS, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAND (1930) | 1931 | B5程度報告書 |
| 78 | R. E. KIMENS, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAND (1931) No. 511 | 1932 | B5程度報告書 |
| 79 | R. E. KIMENS, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAND 1929. | 1930 | B5程度報告書 |
| 80 | C. B. JERRAM. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAND. (March, 1934) No. 576 | 1934 | B5程度報告書 |
| 81 | C. B. JERRAM. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAND. (March, 1935) No. 609 | 1935 | B5程度報告書 |
| 82 | C. B. JERRAM. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAND. March, 1937 No. 670 | 1937 | B5程度報告書 |
| 83 | C. B. JERRAM. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAND. (March, 1936) No. 643 | 1936 | B5程度報告書 |
| 84 | A. F. MERRY, M. C. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in POLAND. June, 1938. No. 712 | 1938 | B5程度報告書 |
| 85 | RICHARD J. E. HUMPHREYS. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON ECONOMIC CONDITIONS IN ROUMANIA, During the Year 1926. | 1927 | B5程度報告書 |
| 86 | ERNEST HAMBLOCH. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS IN BRAZIL. Dated October, 1926. | 1927 | B5程度報告書 |
| 87 | J. GARNETT LOMAX, M. B. E., M. C. H. M. CONSULAR OFFICERS. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN BRAZIL. December, 1930. | 1931 | B5程度報告書 |
| 88 | COLONEL H. WOODS, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in TURKEY. No. 519 | 1932 | B5程度報告書 |
| 89 | R. E. KIMENS, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in POLAND During the year 1928. | 1929 | B5程度報告書 |
| 90 | MR. F. N. COX. CARTAIN E. A. DE COMEAU. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC, FINANCIAL AND COMMERCIAL CONDITIONS IN THE REPUBLICS OF COSTA RICA AND PANAMA | 1926 | B5程度報告書 |
| 91 | MR. ALEXANDER A. ADAMS. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE INDUSTRIAL AND ECONOMIC SITUATION IN CZECHOSLOVAKIA. Dated March, 1927. | 1927 | B5程度報告書 |
| 92 | H. KERSHAW, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN CZECHOSLOVAKIA. MARCH, 1931. | 1931 | B5程度報告書 |
| 93 | MR. H. MONTGOMERY GROVE. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND INDUSTRIAL CONDITIONS IN ESTONIA. 1925-1926. | 1927 | B5程度報告書 |
| 94 | MR. J. P. MACGREGOR. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC SITUATION IN THE BELGIAN CONGO. June, 1926 | 1926 | B5程度報告書 |
| 95 | W. H. GALLIENNE, C. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in ESTONIA. March, 1939. No. 726 | 1939 | B5程度報告書 |
| 96 | MR. R. BOULTER, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE COMMERCIAL, ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS IN JAPAN to June 30th, 1926. | 1926 | B5程度報告書 |
| 97 | SIR J. JOYCE BRODERICK, K. B. E., C. M. G AND ARTHUR J. PACK. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | ECONOMIC CONDITIONS IN THE UNITED STATES OF AMERICA March, 1931. | 1931 | B5程度報告書 |
| 98 | MR. STANLEY G. IRVING. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE TRADE, INDUSTRIES AND ECONOMIC CONDITIONS IN PORTUGAL. January, 1924. | 1924 | B5程度報告書 |
| 99 | A. H. W. KING. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN PORTUGAL Dated March, 1930. | 1930 | B5程度報告書 |

| | | | | | |
|-----|---|--|--|------|---------|
| 100 | A. H. W. KING, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in PORTUGAL Dated July, 1932. No. 528 | | 1932 | B5程度報告書 |
| 101 | A. H. W. KING, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in PORTUGAL Dated September, 1934. No. 590 | | 1934 | B5程度報告書 |
| 102 | A. H. W. KING, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in PORTUGAL Dated JULY, 1936. No. 652 | | 1936 | B5程度報告書 |
| 103 | A. H. W. KING, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in PORTUGAL. AUGUST, 1938 No. 715 | | 1938 | B5程度報告書 |
| 104 | R. W. DALTON, C. M. G. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic and Trade Conditions in AUSTRALIA TO DECEMBER, 1930. | | 1931 | B5程度報告書 |
| 105 | S. E. KAY, M. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in PORTUGUESE EAST AFRICA. JULY, 1935. No. 624 | | 1935 | B5程度報告書 |
| 106 | J. PIKE. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in PORTUGUESE EAST AFRICA. Dated December, 1929. | | 1930 | B5程度報告書 |
| 107 | H. A. FORD. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in PORTUGUESE EAST AFRICA. Dated October, 1932. | | 1933 | B5程度報告書 |
| 108 | S. E. KAY, M. B. E. C. N. EZARD. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in PORTUGUESE EAST AFRICA. March, 1938. No. 702 | | 1938 | B5程度報告書 |
| 109 | A. W. H. HALL DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in SOUTHERN RHODESIA NORTHERN RHODESIA AND NYASALAND MAY, 1939. NO. 734 | | 1939 | B5程度報告書 |
| 110 | Colonel W. H. FRANKLIN, C. B. E., D. S. O. C. KEMP. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN EAST AFRICA AND IN NORTHERN RHODESIA, NYASALAND and BRITISH SOMALILAND. | | 1931 | B5程度報告書 |
| 111 | J. BOWERING DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in ICELAND. September, 1937. No. 687 | | 1937 | B5程度報告書 |
| 112 | F. H. TODD DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the PERSIAN GULF. December, 1936. No. 665 | | 1937 | B5程度報告書 |
| 113 | A. H. KING. GERALD HARRINGTON. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS OF THE Republic of Honduras and of the Republic of El Salvador. | | 1927 | B5程度報告書 |
| 114 | H. PATTESON. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report ON THE Economic Situation IN NICARAGUA. | | 1928 | B5程度報告書 |
| 115 | Mr. H. APFEL. MR. ARTHUR H. KING. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | SURVEY OF ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS IN THE REPUBLICS OF GUATEMALA, HONDURAS AND EL SALVADOR 1924-1925. | | 1926 | B5程度報告書 |
| 116 | T. V. BRENNAN, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in BULGARIA. May, 1939. No. 732 | | 1939 | B5程度報告書 |
| 117 | H. H. CASSELLS, M. V. O. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN DENMARK. February, 1931. | | 1931 | B5程度報告書 |
| 118 | MR. J. PYKE DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE COMMERCIAL, ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITION OF PORTUGUESE EAST AFRICA Dated March, 1927. | | 1927 | B5程度報告書 |
| 119 | W. N. STOREY DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the ARGENTINE REPUBLIC. June, 1939. No. 733 | | 1939 | B5程度報告書 |
| 120 | H. H. FOX, C. M. G. M. E. DENING. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | THE Commercial, Industrial and Economic Situation IN CHINA To September 1st, 1928. | | 1928 | B5程度報告書 |
| 121 | Sir LOUIS BEALE, K. C. M. G., C. B. E. G. CLONTON PELHAM. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in CHINA. April 1935-March 1937. No. 678 | | 1938 | B5程度報告書 |
| 122 | A. MURRAY SIMPSON DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the Republic of COLOMBIA. September, 1938. No. 721 | | 1939 | B5程度報告書 |
| 123 | J. PICTON BAGGE. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC SITUATION IN BELGIUM. | | 1926 | B5程度報告書 |
| 124 | C. C. A. LEE. M. H. C. KELHAM. L. H. LEACH. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON Economic Conditions in THE REPUBLICS OF GUATEMALA HONDURAS AND NICARAGUA. November, 1932. No. 538 | | 1933 | B5程度報告書 |
| 125 | C. C. A. LEE. M. KELMAN. H. W. BORDER. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN THE REPUBLICS OF GUATEMALA, HONDURAS and NICARAGUA. October, 1930. | | 1931 | B5程度報告書 |
| 126 | K. J. M. WHITE. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in the Republic of NICARAGUA. NOVEMBER, 1934. No. 596 | | 1935 | B5程度報告書 |
| 127 | F. N. COX, M. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN THE Republic of COSTA RICA. 1929-1933. No. 571 | | 1934 | B5程度報告書 |
| 128 | G. H. BULLOCK. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in ECUADOR 1938. No. 722 | | 1939 | B5程度報告書 |
| 129 | COLONEL H. WOODS, O. B. E. B. J. CATTON. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN TURKEY to April, 1930. | | 1930 | B5程度報告書 |

| | | | | | |
|-----|--|--|---------------------|-------------------------------|------------------|
| 130 | H. STANFORD LONDON. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions in ECUADOR 1934 REPORT. No. 599 | | 1935 | B5程度報告書 |
| 131 | HAROLD C. SWAN, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in the BELGIAN CONGO AND THE TERRITORIES OF RUANDA-URUNDI to May, 1938. No. 707 | | 1938 | B5程度報告書 |
| 132 | HAROLD C. SWAN. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic SITUATION IN THE BELGIAN CONGO AND THE TERRITORIES OF RUANDA-URUNDI to August, 1933. No. 563 | | 1934 | B5程度報告書 |
| 133 | WILLIAM C. GRAHAM. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS IN ECUADOR September, 1925. | | 1926 | B5程度報告書 |
| 134 | R. M. KOHAN. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic and Financial Conditions in ECUADOR. September, 1928. | | 1928 | B5程度報告書 |
| 135 | R. M. KOHAN. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN ECUADOR. September, 1930. | | 1930 | B5程度報告書 |
| 136 | MR. J. W. F. THELWALL, M. C. MR. C. J. KAVANAGH. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND FINANCIAL CONDITIONS IN GERMANY. | | 1925 | B5程度報告書 |
| 137 | H. A. N. BLUETT, O. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Report on Economic and Commercial Conditions in SWEDEN. April, 1939. No. 727 | | 1939 | B5程度報告書 |
| 138 | MR. N. ELMSLIE. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND COMMERCIAL CONDITIONS IN THE DOMINION OF NEW ZEALAND to July, 1923. | | 1923 | B5程度報告書 |
| 139 | MR. N. ELMSLIE. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE ECONOMIC AND COMMERCIAL CONDITIONS IN THE DOMINION OF NEW ZEALAND to August, 1924. | | 1925 | B5程度報告書 |
| 140 | JOHN P. TRANT. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN THE CANARY ISLANDS August, 1931. | | 1931 | B5程度報告書 |
| 141 | MR. P. HELYAR. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | REPORT ON THE TRADE AND ECONOMIC CONDITIONS IN THE CANARY ISLANDS | | 1927 | B5程度報告書 |
| 142 | H. O. CHALKLEY, C. B. E. DEPARTMENT OF OVERSEAS TRADE. | Economic Conditions IN THE ARGENTINE REPUBLIC October 31st, 1930. | | 1931 | B5程度報告書 |
| 143 | ハロルド・イー・パーマ編/開拓社 | THE SEQUENTIAL SERIES QUESTIONS パーマ氏英語研究課程 シークエンシャル シリーズ 問の部 | 大正13年 | | B6テキスト |
| 144 | | | 昭和24年3月28日 釋仁度寄贈 | | B6書物 |
| 145 | WM. H. HORSTMANN COMPANY | THE COLUMBIA BOOK OF YARNS | | 1923 | B5程度テキスト |
| 146 | 日刊宗教通信 (青木優) | 日刊宗教通信 | 昭和27年 | 1952年 | B5程度 謄写印刷記事の綴じ込み |
| 147 | | CROCHET WORK IVTH SERIES | | | A4テキスト |
| 148 | FOREIGN and JAPANESE ANTIQUARIAN BOOKS 主催 東京洋書会 | CATALOGUE OF GRAND AUCTION 展覧入札目録 | 昭和42年 | 1967年 | B6目録本 |
| 149 | | | | | A4書物 |
| 150 | DEUTSCHE GEMEINDE TOKYO-YOKOHAMA | JAHRESBERICHT 1941 | | 1942 | A5書物 |
| 151 | NEW MILDWAY PRESS | WORLD TO-DAY SERIES EASTERN AND CENTRAL ASIA | | | B6書物 |
| 152 | 磯邊彌一郎編/KOKUMIN EIGAKKWAI 國民英學會 | MODEL ENGLISH SHORT ESSAYS. Literary, Ethnical, and Scientific. Vol. 1 | 明治37年 | | B6テキスト |
| 153 | 俳画 (?) | 北米の武威?の日を畫画歌俳?他?数枚 | | | B5数枚 |
| 154 | J. A. HAMMERTON | OUR WONDERFUL WORLD The Marvels of Nature The Triumphs of Man | | October 1929-January 7th 1930 | A4雑誌<製本> |
| 155 | Addunia | ADDUNIA (formerly Kol-Shie WADDUNIA). No. 627. | 昭和12年 | November 10, 1937. | 新聞一部 |
| 156 | | Al-Hatîf (雑誌) | | 1938 | A4雑誌6部 |
| 157 | | Al-Makshûf | | 1940 | A4雑誌 |
| 158 | | "Al-Moersjid" Arabisch Maandblad. No. 10 | 昭和13年 | May, 1938 | A4雑誌 |
| 159 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No. 155. | 昭和12年 | May 31, 1937. | A4雑誌 |
| 160 | | Al-Hatîf | | 1938 | A4雑誌6部 |
| 161 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No. 189. | 昭和13年 | January 24, 1938. | A4雑誌 |
| 162 | | Al-Hatîf | | 1938 | A4雑誌3部 |
| 163 | | Al-Hatîf | | 1938 | A4雑誌 |
| 164 | | Al-Hatîf | | 1938 | A4雑誌 |

| | | | | | |
|-----|---|---|------------------------|--|-------------|
| 165 | | Al-Hatîf | | 1938 | A4雑誌2部 |
| 166 | EGYPTIAN DAILY PAPER | Al-Ahram | 昭和15年 | November 20, 1940. | 新聞一部 |
| 167 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No. 308. | 昭和12年 | May 6, 1937. | A4雑誌 |
| 168 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No. 197. | 昭和13年 | March 21, 1938. | A4雑誌 |
| 169 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No. 152. | 昭和12年 | May 10, 1937. | A4雑誌 |
| 170 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No. 172. | 昭和12年 | September 27, 1937. | A4雑誌 |
| 171 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No. 163. | 昭和12年 | July 26, 1937. | A4雑誌 |
| 172 | | 雑誌 | | | A4雑誌 |
| 173 | ORGAN OF THE ALL-MALAYA MUSLIM MISSIONARY SOCIETY | Genuine Islam. Vol.1. No.9. | 昭和11年 | September, 1936 | A4雑誌 |
| 174 | ORGAN OF THE ALL-MALAYA MUSLIM MISSIONARY SOCIETY | Genuine Islam. Vol.1. No.2. | 昭和11年 | February, 1936. | A4雑誌 |
| 175 | Directeur:Rachid Catifi | Revue d'Hygiene | | | B5雑誌 |
| 176 | Directeur:Rachid Catifi | Revue d'Hygiene | | | B5雑誌 |
| 177 | 是則高作編/イスラム文化協会 | 日本 | 昭和13年 | 1938年 | B5雑誌2部 |
| 178 | | "Al-Moersjid" Arabisch Maandblad. No. 28/29/31-32 | 昭和14年 | January 15, 1939/July 1, 1939/August 1, 1939 | A4雑誌3部 |
| 179 | | AL-ITNEIN (AL-Fakaha & Al-Kawakeb) No. 156. | 昭和12年 | June 7, 1937. | A4雑誌 |
| 180 | DR. A. CHAHBANDAR/F. CHAHBANDAR | AL-HIKMAT | 昭和13年 | October, 1938. | B6雑誌 |
| 181 | | Al-Salam | | | 新聞 |
| 182 | | Gamiya | | | B4谷折り複数枚 |
| 183 | S. BADDUR | AL-BAYAN NO. 4400. | 昭和13年 | March 12, 1938. | 新聞 |
| 184 | | インドネシア マレー | 自昭和28年7月 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 185 | | インドネシア マライ | 自昭和29年1月至6月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 186 | | インドネシア | | | B5新聞のスクラップ帳 |
| 187 | | インドネシア マライ | 自昭和29年7月至12月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 188 | | インドネシア | | | B5新聞のスクラップ帳 |
| 189 | | 安南 | 自昭和25年4月1日至昭和26年12月31日 | 1951年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 190 | | マライ、ヴェトナム、ビルマ、タイ | 自昭和28年7月至昭和28年12月 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 191 | | タイ、ビルマ、ヴェトナム | 自昭和29年1月至昭和29年6月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 192 | | ビルマ、タイ、ヴェトナム | 自昭和29年7月至昭和29年12月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 193 | | アラビア文イスラム協会設立要旨 | | | 銅版1点・訳文1枚 |
| 194 | | イラン | 自昭和22年5月9日 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 195 | | イラン、アフガニスタン | 自昭和29年1月至昭和29年6月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 196 | | イラン、アフガン | 自昭和29年7月至昭和29年12月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 197 | | イラン、アフガン | 自昭和28年7月 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 198 | | アフガニスタン及びイラン | 自昭和25年4月1日至昭和26年12月31日 | 1951年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 199 | | 東南アジア (インドネシア及びマレーを除く) | 自昭和28年1月1日 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 200 | | 東南アジア、印度支那 | 自昭和28年7月 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 201 | | 東南アジア | 自昭和29年7月至12月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 202 | | 一般 | 自昭和22年5月9日 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |

| | | | | | |
|-----|----------------|-----------------------|-------------------------|-----------------|------------------------|
| 203 | | | 自昭和22年5月至23年12月 | 1947年 ~1948年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 204 | | 雑 | 自昭和28年1月1日 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 205 | | 雑 | 自昭和29年1月至昭和29年6月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 206 | | 雑 | 自昭和29年7月至昭和29年12月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 207 | | 雑 | 自昭和28年7月 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 208 | | 貿易 | 自昭和22年5月8日至昭和22年7月31日 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 209 | | 貿易 | 自昭和22年8月1日至昭和22年9月30日 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 210 | | 貿易 | | | B5新聞のスクラップ帳 |
| 211 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年7月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ・新聞複数部 |
| 212 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年9月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ |
| 213 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年12月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ・新聞複数部 |
| 214 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年11月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ・新聞 |
| 215 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年10月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ・新聞 |
| 216 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年2月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ・新聞 |
| 217 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年6月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ・新聞 |
| 218 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年2月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ |
| 219 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年5月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ・新聞 |
| 220 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年3月 | 1943年 | B5新聞のスクラップ |
| 221 | 大日本回教協会調査部 松寿三 | 回民情報 第二号 | 昭和20年7月24日 ・・・8月4日 | 1945年 | 手書きB6, 16頁 |
| 222 | 大日本回教協会調査部 松寿三 | 回民情報 第三号 | 昭和20年8月5日 ・・・10月1日 | 1945年 | 手書きB6, 15頁 |
| 223 | 大日本回教協会調査部 松寿三 | 回民情報 第四号 | 昭和20年8月12日 ・・・18日 | 1945年 | 手書きB6, 10頁 |
| 224 | 大日本回教協会 | | | | 新聞のスクラップ複数 |
| 225 | 大日本回教協会 | 第十四号 | 自昭和21年6月25日至7月8日 | 1946年 | 新聞のスクラップ数点 |
| 226 | イスラム文化協会 | インド回教民族の動向 回教暦 | | | レポート・新聞のスクラップ等資料数点 |
| 227 | イスラム文化協会 | 情報 | 昭和17年 | 1942年 | レポート・新聞のスクラップ等資料数点 |
| 228 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和18年8月 | 1943年 | 手書きB5報告書複数・新聞のスクラップ数点 |
| 229 | | スペイン | 自昭和26年3月14日至昭和26年12月31日 | 1951年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 230 | | 国際連合 | 自昭和28年7月 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 231 | | 中東 | 自昭和29年7月至12月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 232 | | 東アジア（インドネシア、フィリピンを除く） | | | B5新聞のスクラップ帳 |
| 233 | | 西南アジア | 自昭和27年1月 | 1952年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 234 | | 西南アジア | 自昭和25年4月1日至昭和26年12月31日 | 1950年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 235 | | フィリピン | | | B5新聞のスクラップ帳 |
| 236 | | シリア、パレスチナ | | | B5新聞のスクラップ帳 |
| 237 | | トルコ | 自昭和22年5月9日 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 238 | | パレスチナ | 自昭和24年1月 | 1949年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 239 | | トルコ、イラク | | | B5新聞のスクラップ帳 |
| 240 | | イラク | | | B5新聞のスクラップ帳 |
| 241 | | アラビア | 自昭和22年5月9日 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 242 | | 南洋 | 自昭和27年1月 | 1952年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 243 | | 中国 | 自昭和28年7月 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳、日本語新聞、英字新聞 |
| 244 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和19年2月 | 1944年 | B5新聞のスクラップ、日本語新聞、英字新聞 |
| 245 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和19年1月 | 1944年 | B5新聞のスクラップ、日本語新聞、英字新聞 |
| 246 | 大日本回教協会 | 世界回教民族情報 | 昭和19年4月 | 1944年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 247 | 大日本回教協会調査部 | 回教情報 第一号 | 昭和20年7月17日 ・・・23日 | 1945年 | B5雑誌 手書き 20頁 |
| 248 | 大日本回教協会調査部 | 回民情報 第二号 | 昭和20年7月24日 ・・・8月4日 | 1945年 | B5雑誌 手書き 20頁 |
| 249 | 大日本回教協会調査部 | 回民情報 第三号 | 昭和20年8月12日 ・・・18日 | 1945年 | B5雑誌 手書き 12頁 |
| 250 | 大日本回教協会調査部 | 回民情報 第四号 | 昭和20年8月12日 ・・・18日 | 1945年 | B5雑誌 手書き 20頁 |
| 251 | 大日本回教協会調査部 | 回民情報 第五号 | 昭和20年8月19日 ・・・25日 | 1945年 | B5雑誌 |
| 252 | 同盟通信社 | 同盟世界週報 第26巻 第13号 | 昭和20年6月9日 | 1945年 | B5雑誌 |
| 253 | 同盟通信社 | 同盟世界週報 第26巻 第14号 | 昭和20年6月16日 | 1945年 | B5雑誌 |
| 254 | 同盟通信社 | 同盟世界週報 第26巻 第15号 | 昭和20年6月23日 | 1945年 | B5雑誌 |
| 255 | 同盟通信社 | 同盟世界週報 第26巻 第16号 | 昭和20年6月30日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 256 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第2号 | 昭和20年3月4日 ・・・10日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |

| | | | | | |
|-----|----------------|---|--------------------------|-------|-------------------|
| 257 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第3号 | 昭和20年3月11日 日・・・17日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 258 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第4号 | 昭和20年3月18日 日・・・24日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 259 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第5号 | 昭和20年3月25日 日・・・31日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 260 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第6号 | 昭和20年4月1日 日・・・7日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 261 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第7号 | 昭和20年4月8日 日・・・15日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 262 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第8号 | 昭和20年4月15日 日・・・21日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 263 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第9号 | 昭和20年4月22日 日・・・28日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 264 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第10号 | 昭和20年4月29日 日・・・5月5日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 265 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第11号 | 昭和20年5月6日 日・・・5月12日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 266 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第12号 | 昭和20年5月13日 日・・・19日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 267 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第13号-第14号 | 昭和20年5月20日 日・・・6月2日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 268 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第15号 | 昭和20年6月3日 日・・・9日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 269 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第16号 | 昭和20年6月10日 日・・・18日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 270 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第17号 | 昭和20年6月25日 日・・・25日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 271 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第18号-第19号 | 昭和20年6月26日 日・・・7月9日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 272 | 大日本回教協会 | 世界回民週報 第20号 | 昭和20年7月10日 日・・・16日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 273 | | 世界回民週報 (?) 第3号 | 昭和20年11月19日 日・・・12月3日 | 1945年 | B5新聞のスクラップ、目次 |
| 274 | 大日本回教協会 | 御回覧/世界回民週報 | 昭和20年2月25日 日・・・3月3日 | 1945年 | B5文書及び新聞のスクラップ、目次 |
| 275 | | パレスタイン | 自昭和22年5月9日至 昭和23年12月 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 276 | | アフリカ | 自昭和22年5月9日 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 277 | | アフリカ | 自昭和28年1月1日 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 278 | | パルカン | 自昭和28年1月1日 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 279 | | アフリカ | 自昭和28年7月 | 1953年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 280 | | アフリカ | 自昭和27年1月 | 1952年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 281 | | アフリカ | 自昭和29年7月至12月 | 1954年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 282 | | 貿易 | 自昭和22年10月10日 | 1947年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 283 | | アフリカ | 自昭和23年12月 | 1948年 | B5新聞のスクラップ帳 |
| 284 | 興亞宗教同盟 | 興亞宗教審議會第一回總會について | 昭和18年9日 | 1943年 | B5文書 |
| 285 | イスラム文化協会 | グラフ第五号広告原稿 | | | 写真など切り抜き複数 |
| 286 | | | ふすま紙 | | 紙複数枚 |
| 287 | 大日本回教協会 | 放送活動に関する具申 | | | 手書きB5原稿用紙7枚 |
| 288 | イスラム文化協会 | 時局と亜細亞諸民族の動向 | 昭和13年5月16日 | 1938年 | B5文書 |
| 289 | | | | | 手紙等複数 |
| 290 | | 原稿の下書き多数 | | | 文書複数 |
| 291 | | 消耗品出納簿 | | | A4 |
| 292 | | 備品受拂簿 | | | A4 |
| 293 | 外務省調査部 | 歐宗殊に露西亞における東洋研究誌 | 昭和12年1月 | 1937年 | A5 |
| 294 | アブドラシッド・イブラヒム著 | 回教世界 | | | 手書き原稿用紙 |
| 295 | | 進呈のメモ | | | 手書きメモ |
| 296 | 大日本回教協会 | 假領取證 | | | B5, 1枚 |
| 297 | イスラム文化協会 | Javaansch-Mohammedaansche feestdagen | | | A4 |
| 298 | 大日本回教協会 | 「時局下の回教團」の案内 | | | メモ1枚 |
| 299 | 日刊スポーツ新聞社 | 日刊スポーツ | 昭和27年2月25日 | 1952年 | 新聞 |
| 300 | the Mahratta | Copy of Mr. Rash Behari Bose's letter to Mr. V. Sawarkar, President, Hindu Mahasabha. | August 19. | 1938年 | A4, 1枚 |
| 301 | 大日本回教協会 | 習俗 | | | B5, 1枚 |
| 302 | | 購入書名の控え | | | 手書きメモ |
| 303 | 大日本回教協会 | 第二東京辯護士會互助會規約 | | | 書簡 |
| 304 | | | | 1940年 | B4程度文書 |
| 305 | | 印度回教徒対策 | | | B5手書き文書 |
| 306 | | 西亜の石油をめぐる英米抗争の激化 | | | 手書きB5原稿用紙 |

| | | | | | |
|-----|----------------------------|--|--|-------|--------------|
| 307 | | イギリス・イラク石油会社の株式・買収 | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 308 | 大日本回教協会 | 手書きメモ | | | 手書きメモ |
| 309 | | 戦争下における南方建設の躍進 | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 310 | 日本出版會 | 讀賣新聞 | 昭和19年7月21日・8月1日・8月11日・8月21日・9月1日・9月11日・9月21日・10月1日・10月11日・10月21日・11月1日・11月11日・11月21日・12月1日・12月11日・12月21日・昭和20年3月1日 | 1944年 | 新聞 |
| 311 | 日本出版會 | 讀賣新聞 | 昭和8年3月14日・16日～19日・21日～25日 | 1933年 | 新聞 |
| 312 | | Japan Times | January 1, 1942 | 1942年 | 新聞 |
| 313 | | Japan Times | December 19, 1941 | 1941年 | 新聞 |
| 314 | 大日本回教協会 | 回教圖早わかり | | | メモ帳サイズ |
| 315 | | Nippon Times Magazine, No. 18049 | June 9, 1949. | 1949年 | 雑誌 |
| 316 | | Nippon Times Magazine, No. 18077 | July 7, 1949. | 1949年 | 雑誌 |
| 317 | The New York Times Company | The New York Times Overseas Weekly, No. 296 | April 17, 1949. | 1949年 | 新聞 |
| 318 | The New York Times Company | The New York Times Overseas Weekly, No. 298 | May 1, 1949. | 1949年 | 新聞 |
| 319 | The New York Times Company | The New York Times Overseas Weekly, No. 299 | May 8, 1949. | 1949年 | 新聞 |
| 320 | | 新聞記事切り抜き | | | 新聞記事切り抜き |
| 321 | | THE JAPAN ADVERTISER | June 23, 1940. | 1940年 | 新聞 |
| 322 | | THE JAPAN ADVERTISER | June 16, 1940. | 1940年 | 新聞 |
| 323 | | The Tribune, No60. | March 4, 1939. | 1939年 | 新聞 |
| 324 | | IN THE HEART OF ASIA. (A Journy Round Afganistan.) | | | B5報告書20頁 |
| 325 | | 語彙の説明 | | | 手書きB5原稿用紙1枚 |
| 326 | | | | | A5程度1枚 |
| 327 | 大日本回教協会調査部編 | | | | B5.7枚 |
| 328 | | | | | 手書きB5原稿用紙13枚 |
| 329 | | | | | 手書きB5原稿用紙1枚 |
| 330 | | 印度回教徒の現在の動向についてパーラス氏(N. H. Berlas)の意見 | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 331 | | 巡礼問題 | | | 手書きB5原稿用紙32頁 |
| 332 | | 桑港会議に対する大東亞諸民族の声明 | 昭和20年4月26日 | 1945年 | 手書きB5原稿用紙9頁 |
| 333 | | | | | 手書き原稿用紙3枚 |
| 334 | | | | | 手書きB5原稿用紙2枚 |
| 335 | | | | | 手書きB5原稿用紙1枚 |
| 336 | | | | | 手書きB5原稿用紙2枚 |
| 337 | | | | | 手書きB5原稿用紙2枚 |
| 338 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 339 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 340 | | | | | 手書きB5原稿用紙4枚 |
| 341 | 大日本回教協会 | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 342 | 大日本回教協会 | 回教世界への檄 | 昭和20年3月22日 | 1945年 | 手書きB5原稿用紙 |
| 343 | 大日本回教協会 | 全アジアを貫く戦ひ | 昭和19年10月4日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙 |
| 344 | 大日本回教協会 | | 昭和20年10月 | 1945年 | 手書きB5原稿用紙 |
| 345 | 大日本回教協会 | 暗雲、シリアを蔽ふ。 | 昭和20年6月7日 | 1945年 | 手書きB5原稿用紙 |
| 346 | 大日本回教協会 | 戦争下における南方建設 | 昭和19年6月14日 | 1944年 | B5原稿用紙 |
| 347 | 大日本回教協会 | スマトラの老回教徒 | 昭和19年7月19日 | 1944年 | B5原稿用紙 |
| 348 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 349 | 大日本回教協会 | 大東亞戦争勃発後3周年を迎へて | 昭和19年12月14日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙 |
| 350 | | アメリカ帝国主義と西亞諸民族の運命 | 昭和19年8月2日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙9枚 |
| 351 | | キリスト教の主要祝日表 | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 352 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 353 | | | | | 手書きB5原稿用紙1枚 |
| 354 | | 回教徒への二つの檄 | 昭和19年4月30日 | 1944年 | B5原稿用紙 |
| 355 | | 西亞送油管敷設計画 | 昭和19年3月22日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙 |
| 356 | | サンフランシスコ会議に対する声明 | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 357 | | 石油をめぐる反枢軸陣営内の葛藤 | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 358 | | 大東亞回教徒の叫び | 昭和19年10月25日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙 |

| | | | | | |
|-----|------------------|--------------------------------------|-------------|-------|-----------------------|
| 359 | | 桑港會議と小国の運命 | 昭和20年5月10日 | 1945年 | 手書きB5原稿用紙10頁 |
| 360 | | | | | 手書きB5原稿用紙1枚 |
| 361 | | エミン・エル・フセインのメッセージ | 昭和19年10月11日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙10頁 |
| 362 | | 印度國民軍とアジアの開放 | 昭和19年6月28日 | 1944年 | B5原稿用紙5枚 |
| 363 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 364 | | | 昭和19年10月25日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙7枚 |
| 365 | | | | | 手書きB5原稿用紙10頁 |
| 366 | | | | | 手書きB5原稿用紙20頁 |
| 367 | | | | | 手書きB5原稿用紙1枚 |
| 368 | | 火米のバレスチナ政策 | 昭和19年8月23日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙5頁 |
| 369 | | 英米のバレスチナ政策 | 昭和19年8月23日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙10頁 |
| 370 | | 東インド独立の確約 | 昭和19年9月20日 | 1944年 | 手書きB5原稿用紙10頁 |
| 371 | | 回教團問題と帝國議會 | 昭和20年2月15日 | 1945年 | 手書きB5原稿用紙3頁 |
| 372 | | | | | 手書きB5原稿用紙7枚 |
| 373 | | 衆議院豫算第二分科會に於ける質疑應答 | 昭和18年2月9日 | 1943年 | 手書きB5原稿用紙 |
| 374 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 375 | | 衆議院に於ける質疑應答 | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 376 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 377 | | 回教確認の請願採擇 | 昭和18年4月26日 | 1943年 | 手書きB5原稿用紙4頁 |
| 378 | | | 昭和18年5月 | 1943年 | 手書きB5原稿用紙2頁 |
| 379 | 大日本回教協会調査部 | 第八十一回帝國議會に於ける回教問題の審議 | 昭和18年4月 | 1943年 | 手書きB6程度1枚・手書きB5原稿用紙1枚 |
| 380 | | 紀元節祝賀 | | | 手書きB6程度1枚 |
| 381 | | | | | 手書きB5原稿用紙2頁 |
| 382 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 383 | | | | | 手書きB5原稿用紙 |
| 384 | 日本雑誌協會 | 大日本回教文化協會宛封筒 | | | 封筒 |
| 385 | | 參考 | | | 手書き文書2枚 |
| 386 | | | | | 手書きB5原稿用紙1枚 |
| 387 | | Explanation of the Calender of 2604. | | | 文書2頁 |
| 388 | | | | | 手書きB5原稿用紙2枚 |
| 389 | | 使用済寫眞 | | | 寫眞・地図・文書 |
| 390 | | 埋め草 Balaam | | | 絵・新聞の切り抜き・文書 |
| 391 | 雑誌協會 | 雑誌年鑑 | | | ハガキ |
| 392 | | コーヒー | | | 手書きB5原稿用紙3枚 |
| 393 | | 短歌 | | | 手書きB5原稿用紙1枚 |
| 394 | 日本雑誌協會 | 大日本回教文化協會宛書簡 | | | 書簡 |
| 395 | | カット既製 | | | 絵数点 |
| 396 | 外務省通商局編纂・國際經濟研究所 | 外務省通商局日報 | 昭和17年12月1日 | 1942年 | 日報一部 |
| 397 | | | | | メモ |
| 398 | | 大日本回教協会趣意書 | | | B5程度2枚 |
| 399 | | | | | B6程度 |
| 400 | | 新聞記事切り抜き | | | 新聞記事切り抜き |
| 401 | | | | | B5 |
| 402 | | 年表(1909年) | | | 手書きメモ |
| 403 | | | | | 手書きメモ |
| 404 | | Naral Hassan Berias | May 11. | | 手書きメモ |
| 405 | | 内務人民委員部ノ構造 | | | B5文書 |
| 406 | | | | | B51枚 |
| 407 | 鳥尾好平・朝報社 | 萬朝報 | 大正8年6月23日 | | 新聞 |
| 408 | | 埼玉新聞 | 大正9年10月26日 | | 新聞の切り抜き |
| 409 | 日本産業經濟新聞社 | 日本産業經濟 | 昭和17年12月8日 | | 新聞記事切り抜き |
| 410 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年11月5日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 411 | | | | | 新聞記事切り抜き |
| 412 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年11月1日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 413 | | 不明 | | | 新聞記事切り抜き |
| 414 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年10月6日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 415 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年12月27日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 416 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年7月22日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 417 | | | 昭和16年7月4日 | 1941年 | 新聞記事切り抜き |
| 418 | | THE JAPAN TIMES | | | 新聞記事切り抜き |

| | | | | | |
|-----|------------------------|------------------------------|-------------------|-----------------|---------------|
| 419 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年7月1日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 420 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年10月23日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 421 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年7月16日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 422 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年7月9日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 423 | | | | | 新聞記事切り抜き |
| 424 | 調査部圖書課 | 中國及び滿州國回教民族分布圖 | | | 地図 |
| 425 | | | | | 新聞記事切り抜き |
| 426 | | | | | 新聞記事切り抜き |
| 427 | | THE JAPAN TIMES | 昭和15年11月4日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 428 | | THE JAPAN ADVERTISER | 昭和15年7月17日 | 1940年 | 新聞記事切り抜き |
| 429 | 印度獨立聯盟日本本部 | 印度 | 昭和16年5月10日 | 1941年 | 雑誌 |
| 430 | | JAPAN TIMES | 昭和17年2月8日 | 1942年 | 新聞記事切り抜き |
| 431 | The Japan Times | Japan Times & Advertiser | 昭和17年2月16日 | 1942年 | 新聞記事切り抜き |
| 432 | The Japan Times | Japan Times & Advertiser | 昭和17年3月13日 | 1942年 | 新聞記事切り抜き |
| 433 | | | | | 新聞記事切り抜き |
| 434 | | 中外商業新聞 | 昭和17年2月20日 | 1942年 | 新聞記事切り抜き |
| 435 | | Japan Times & Advertiser | 昭和17年2月18日 | 1942年 | 新聞記事切り抜き |
| 436 | | | | | 手書きB5原稿用紙3枚 |
| 437 | 大日本回教協会 | 回教以前のアラビア畧圖 | | | 地図 |
| 438 | | 人物と社會 | | | B6程度1枚 |
| 439 | 一堂先生口授 高島邦筆記 | 繁辭答問 | | | B6程度1枚 |
| 440 | 外務省情報部 | 外國新聞雜誌所載記事及び論説 第660號 | 昭和15年10月24日 | 1940年 | B5文書 |
| 441 | 外務省情報部 | 外國新聞雜誌所載記事及び論説 第661號 | 昭和15年10月30日 | 1940年 | B5文書 |
| 442 | 外務省情報部 | 外國新聞雜誌所載記事及び論説 第663號 | 昭和15年11月26日 | 1940年 | B5文書 |
| 443 | 外務省情報部 | 外國新聞雜誌所載記事及び論説 第662號 | 昭和15年11月5日 | 1940年 | B5文書 |
| 444 | | 官報號外 參議院議事速記録第十五號 | 昭和18年2月24日 | 1943年 | A4官報 |
| 445 | | 回教確認に関する請願 | 昭和18年3月15日 | 1943年 | 手書きA5程度原稿用紙1枚 |
| 446 | | 外電情報 | | | B5文書 |
| 447 | | 昭和22年5月8日以前ノ分 | 昭和22年5月8日以前ノ分 | 1947年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 448 | | India | | | 新聞のスクラップ帳 |
| 449 | | India | | | 新聞のスクラップ帳 |
| 450 | | インド | 自昭和24年1月 | 1949年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 451 | | インド | 自昭和22年5月9日至24年12月 | 1947年 ~1949年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 452 | | 印度・パキスタン | 自昭和27年1月 | 1952年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 453 | | インド・パキスタン | 自昭和28年1月1日 | 1953年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 454 | | 印度・パキスタン・セイロン | 自昭和29年1月 | 1954年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 455 | | 印度・パキスタン・セイロン | 自昭和29年7月至12月 | 1954年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 456 | Demmsion Manufacturing | Weaving with Paper Rope | | | B6程度手芸の本 |
| 457 | 日露通信社 | ソウエート聯邦 (滿蒙・北支) | 昭和12年3月31日 | 1937年 | B6程度説明書 |
| 458 | 成女学材 (?) | 日記帳 | | | メモ帳・日記帳 |
| 459 | K. Fukuhara | Chemistry | | | ノート |
| 460 | | 細菌學 各論 | | | ノート |
| 461 | | Veterinacy Hygiene | | | ノート |
| 462 | 貯金局 | 郵便貯金通帳 | | | 郵便貯金通帳 |
| 463 | 光風館 | 中學日本文典教授参考 上巻 | 昭和2年2月3日 | 1927年 | B6程度 |
| 464 | | 楽譜 | | | B6程度 |
| 465 | | 絵 | | | B6程度 |
| 466 | | Outline of agliculture Vol.3 | | | ノート |
| 467 | | Dressmaking | | | ノート |
| 468 | | 銀弓公子 | | | ノート |
| 469 | | ノート | | | ノート |
| 470 | | ノート | | | ノート |
| 471 | | Embroidery | | | ノート |
| 472 | | 古來著明假作人名語彙 | | | ノート |

| | | | | | |
|-----|-------------------------------------|---|--------------------------------|-------------|------------|
| 473 | | 乳肉検査及衛生質管 | | | ノート |
| 474 | | Special Pathology Part 2. | | | ノート |
| 475 | | 曲譜集 | | | ノート |
| 476 | | BEAR BRAND AND BUCILLA | | | A6程度手芸の本 |
| 477 | | The UTOPIA YARN BOOK | | | B5程度手芸の本 |
| 478 | OREGON WORSTED COMPANY | Why MAYPOLE is a Better Yarn | | | A5程度手芸の本 |
| 479 | | | | | A5程度手芸の本 |
| 480 | | BEAR BRAND AND BUCILLA VOL. 41 | | | A6程度手芸の本 |
| 481 | | BEAR BRAND AND BUCILLA BLUE BOOK | | | A6程度手芸の本 |
| 482 | J&J BALDWIN, HALIFAX | KNITTED VESTS IN ALL SIZES. PLAIN AND RIBBED BY MARJORY TILLOTSON | | | B5手芸の本 |
| 483 | | | | | A6程度 |
| 484 | | | | | B4程度文書 |
| 485 | | 修身帳 | | | ノート |
| 486 | | ノート | | | B6程度ノート |
| 487 | | 玉井 重礼 岩絃 賀事 屋町寺 | | | 手書きA5程度 |
| 488 | | BERITA NAHLATOEL' OELAMA' | | | A4雑誌 |
| 489 | | 横書中字 イスラム書道 | | | 軸物 |
| 490 | イスラム教會 | 縦書大字イスラム書道 南山之印 鉄福壽書 | | | 軸物 |
| 491 | | 回教柱刻図案 | | | 軸物 1.5×4m位 |
| 492 | | PANDJI ISLAM | 16 September~18 NOVEMBER 1940. | | 雑誌A4 |
| 493 | 大日本回教協會 | 日本-その産業と文化 | 昭和15年-17年 | 1940年-1942年 | 雑誌A4・B4 |
| 494 | | 佩文齋詠物詩選二編 館機樞圖 妙録 | | | メモ帳サイズ |
| 495 | 姪澤福民校字 | 古詩箋卷六終 | | | A5程度 |
| 496 | | 孟子 | | | B5 |
| 497 | 岡田茂兵衛(原版主)・望月誠(翻刻人)・同支店 | 十六畫 | 明治十八年二月二十六日 | | B5 |
| 498 | 浙江書局總校董紹舒分校 | 御選唐榮市詩醇卷之十八襄陽杜甫詩八 | | | B5 |
| 499 | 浙江書局總校董紹舒分校汪學瀚徐鼎勳恭校 | 御選唐榮市詩醇卷之四十二山陰陸游詩一 | | | B5 |
| 500 | | | | | 手書きA5程度 |
| 501 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 502 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 503 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 504 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 505 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 506 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 507 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 508 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 509 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 510 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 511 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 512 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 513 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 514 | 晋 平野侯相陳 壽 撰述・宋 西郷侯裴松之 集註・明 長洲陳仁錫 評閱 | 三國志 | | | B5 |
| 515 | | バルカン | 自昭和27年1月 | 1952年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 516 | | バルカン | 自昭和29年1月至6月 | 1954年 | 新聞のスクラップ帳 |

| | | | | | |
|-----|---------|--------------------------------------|------------------------|-----------------|-----------|
| 517 | | バルカン | 自昭和24年12月 | 1949年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 518 | | バルカン | 自昭和25年4月1日至昭和26年12月31日 | 1950年 ~1951年 | 新聞のスクラップ帳 |
| 519 | | 爪哇人の洗濯 (ジャカルタ) | 昭和12年9月25日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 520 | | 爪哇女風俗 (バタビヤ) | 昭和12年9月25日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 521 | | 1722年独立企圖の混血児エルベフェルトの曝首の門 (蘭領爪哇バタビヤ) | | | 写真 |
| 522 | | 爪哇青年 (ブイテンゾルク植物園にて) | 昭和12年9月19日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 523 | | 爪哇人行商人 (ジャカルタ) | 昭和12年9月25日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 524 | | コーランボの市街 (馬來世蘭ゴール州) | 昭和12年9月14日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 525 | | 比律賓サムボアンガ郊外回教徒モロ人の小屋 | 昭和12年10月14日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 526 | | 比律賓ザムボアンガ郊外回教徒モロ人小屋 | 昭和12年10月14日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 527 | | 比律賓モロ族の小舟 | 昭和12年10月14日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 528 | | 回教寺院ジヌマ・マスジッドを望む (印度ボンベイ市) | 昭和12年8月12日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 529 | | 印度ビジャプール回教王城跡の十六世紀の大砲 | 明治45年撮影 | | 写真 |
| 530 | | 回教王朝時代建設のスリーゲート (印度アメダバッド市) | 昭和12年8月9日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 531 | | 回教古跡シャールム・ロジャ (印度アメダバッド市) | 昭和12年8月9日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 532 | | 印度ハイデラバッド藩王國の兵士 | 明治45年7月撮影 | | 写真 |
| 533 | | 印度回教徒の花嫁 (カルカッタにて) | 明治44年12月撮影 | | 写真 |
| 534 | | 回教王朝古跡コターブ・ミナー (印度デリー市外) | 明治45年2月撮影 | | 写真 |
| 535 | | 印度回教徒商人風俗 (孟買) | | | 写真 |
| 536 | 仁丹出張員撮影 | 土耳其イスタンブール獨立記念塔 | 昭和12年6月12日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 537 | 仁丹出張員撮影 | 土耳其イスタンブール市の旧城壁 | 昭和12年6月12日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 538 | 仁丹出張員撮影 | ガラタ橋上よりペラの回教寺院を望む | 昭和12年6月13日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 539 | 仁丹出張員撮影 | 土耳其イスタンブール街景 | 昭和12年6月12日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 540 | 仁丹出張員撮影 | 希臘アテネ市土耳其古占據時代のモスク古跡 | 昭和12年6月6日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 541 | 仁丹出張員撮影 | 埃及ヘリオポリスのオベリスク | 昭和12年7月2日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 542 | 仁丹出張員撮影 | 埃及スエズ運河西岸の村落 | 昭和12年7月9日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 543 | 仁丹出張員撮影 | 埃及回教寺院の天井 | 昭和12年3月21日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 544 | 仁丹出張員撮影 | 埃及、カイロ市アズハル大學 | 昭和12年6月30日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 545 | 仁丹出張員撮影 | 埃及、カイロ市アズハル大學留學の日本人學生小林哲夫氏 | 昭和12年6月30日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 546 | 仁丹出張員撮影 | 埃及カイロ市カイロ停車場の獨立記念塔 (立ち上らんとするスフィンクス) | 昭和12年7月2日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 547 | 仁丹出張員撮影 | 埃及カイロ市エジプト名産金屬細工人 | 昭和12年6月30日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 548 | 仁丹出張員撮影 | 埃及、カイロ市舊市街商業區 | 昭和12年6月30日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 549 | 仁丹出張員撮影 | 埃及、カイロ市ハッサム回教寺院の内部 | 昭和12年3月21日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 550 | 仁丹出張員撮影 | 埃及カイロ市廣告風景 (一) | 昭和12年6月30日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 551 | 仁丹出張員撮影 | 埃及カイロ市廣告風景 (二) | 昭和12年6月30日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 552 | 仁丹出張員撮影 | 埃及、カイロ市城塞より市街展望 | 昭和12年3月21日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 553 | 仁丹出張員撮影 | 埃及、カイロ市城塞 | 昭和12年3月21日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 554 | 仁丹出張員撮影 | ポートサイドの海岸町 | 昭和12年3月22日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 555 | 仁丹出張員撮影 | リバン共和國ヘバールート レバノン山より市街を見る | 昭和12年6月16日撮影 | 1937年 | 写真 |

| | | | | | |
|-----|-------------------|---------------------------------|-----------------|-------|-------|
| 556 | 仁丹出張員撮影 | リバン共和国ベールート商業区 | 昭和12年6月17日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 557 | 仁丹出張員撮影 | パレスタイン ハイファの港景 (カルメル山上より) | 昭和12年6月20日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 558 | 仁丹出張員撮影 | パレスタイン ハイファ市街 (カルメル山上より) | 昭和12年6月20日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 559 | 仁丹出張員撮影 | パレスタインハイファ市 アラビヤ人バザール附近 | 昭和12年6月20日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 560 | 仁丹出張員撮影 | パレスタインエルサレムの神殿跡 回教寺院オマー・モスク | 昭和12年6月23日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 561 | 仁丹出張員撮影 | パレスタインベツレヘム近郊ラケルの墓 | 昭和12年6月23日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 562 | 仁丹出張員撮影 | パレスタインエルサレム オマーモスク域内の雨水井戸 | 昭和12年6月23日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 563 | 仁丹出張員撮影 | パレスタイン ハイファ市の海外新大通 | 昭和12年6月20日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 564 | 仁丹出張員撮影 | パレスタイン ハイファ停車場 | 昭和12年6月21日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 565 | 仁丹出張員撮影 | パレスタイン、エルサレムジャッハ門 | 昭和12年6月23日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 566 | 仁丹出張員撮影 | パレスタイン、エルサレム “ウイア・ドロサ” (十字架の道) | 昭和12年6月23日撮影 | 1937年 | 写真 |
| 567 | 映畫配給会社寄贈 | イブラヒーム翁長壽祝賀會寫真帖 | 昭和19年5月19日撮影 | 1944年 | 写真帳 |
| 568 | 映畫配給会社寄贈 | イブラヒーム翁平癒祈念式寫真帖 | 昭和19年8月11日撮影 | 1944年 | 写真帳 |
| 569 | 参謀本部寄贈 | イブラヒーム翁葬儀寫真帖 | 昭和19年9月2日 | 1944年 | 写真帳 |
| 570 | 光墨弘撮影・映畫配給会社寄贈 | イブラヒーム翁葬儀及ラマザン祭寫真帖 | 昭和19年9月2日・19日撮影 | 1944年 | 写真帳 |
| 571 | 映畫配給会社寄贈 | イブラヒーム翁四十日祭及追悼會寫真帖 | 昭和19年11月10日・11日 | 1944年 | 写真帳 |
| 572 | 光墨弘撮影・映畫配給会社寄贈 | モロ族留學生寫真帖 | 昭和19年7月撮影 | 1944年 | 写真帳 |
| 573 | 大日本回教協会 | 大日本回教協会主催宴遊會 (其ノ二) | | | 写真 |
| 574 | | 第六號 | | | 写真 |
| 575 | 回教協会 | 柔術見学 (?) | | | 写真 |
| 576 | | 鐘紡見学 | 昭和13年5月撮影 | 1938年 | 写真 |
| 577 | | 各種会合 (16) ワハブ氏個人礼拝 | | | 写真、2部 |
| 578 | | 未詳のもの (八) | | | 写真、2部 |
| 579 | | 船 | | | 写真 |
| 580 | | 中国の回教寺院 (?) | | | 絵 |
| 581 | | 研精社設計施工 東京市渋谷區原宿産ノ二二三 | | | 横長の写真 |
| 582 | 大日本回教協会 | 第二十四號 | | | 写真 |
| 583 | 大日本回教協会 | 第二十三號 | | | 写真 |
| 584 | | ナイーブ・アーム・ジャラーラ・アル・マリク・ムアッザム | | | 人物写真 |
| 585 | 大日本回教協会 | ワリー・アハド・アル・マルラカ・アラビヤ・サウディーヤ | | | 人物写真 |
| 586 | 大日本回教協会 | マリク・アル・マムラカ・アラビヤ・サウディーヤ | | | 人物写真 |
| 587 | | 人馬一体の図 | | | 絵 |
| 588 | | 世界地図 (+人口) <日本91,337,000-> | | | 世界地図 |
| 589 | 若林半著「海峡世界と日本」より転写 | 第五回メッカ巡礼当時 榎本桃太郎 | | | 人物写真 |
| 590 | 若林半著「海峡世界と日本」より転写 | 第五回メッカ巡礼当時 鈴木剛 | | | 人物写真 |
| 591 | 若林半著「海峡世界と日本」より転写 | 第五回メッカ巡礼当時 サウヂヤ・アラビア國元首イブン・サウド王 | | | 人物写真 |
| 592 | 若林半著「海峡世界と日本」より転写 | 第五回メッカ巡礼当時 實弟故若林九滿 | | | 人物写真 |
| 593 | 若林半著「海峡世界と日本」より転写 | 第五回メッカ巡礼当時 アブドール・スレイマン | | | 人物写真 |
| 594 | 若林半著「海峡世界と日本」より転写 | 第五回メッカ巡礼当時 植原愛算 | | | 人物写真 |

| | | | | | |
|-----|-----------------------|--------------------------------|--|-------|-------------------------|
| 595 | 若林半著「海峡世界と日本」より 転写 | 第五回メッカ巡礼当時 郡正三 | | | 人物写真 |
| 596 | 若林半著「海峡世界と日本」より 転写 | 第五回メッカ巡礼当時 若林半（遠山満氏の 社員） | | | 人物写真 |
| 597 | 若林半著「海峡世界と日本」より 転写 | 第五回メッカ巡礼当時 細川將 | | | 人物写真 |
| 598 | 若林半著「海峡世界と日本」より 転写 | 第五回メッカ巡礼当時 | | | 人物写真 |
| 599 | | 掛け軸 アラビア語書道 | | | 軸物 |
| 600 | | 大日本回教協会入会申込書 | | | 申込書 |
| 601 | | 山路広明氏関係資料他 | | | 住所ラベル・原稿・寄附申 込書・メモ2点 |
| 602 | | The Milli Bayrak | | 1944年 | 新聞 |
| 603 | | 昭和18年頃の新聞切り抜きを張り付けた台紙 50枚前後 | | | 新聞の切り抜き50枚前後 |
| 604 | | 河北省保定道回教聯合大會スローガン刷物 | | | 約55cm×約80cm |

大日本回教協会関係写真資料目録

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|-------|----------------------------------|-----------|-------------|-------|----------|
| 1 | 東京回教礼拝堂開堂式記念行事関係 1~28 | | | | |
| 2 | 東京市及亜細亜民族青年同盟主催日比谷大会 | 東京会館 | 昭和13年 | 2 | |
| 3 | 大日本回教協会主催歓迎会 (その1) | 東京会館 | 昭和13年 | 2 | |
| 4 | 大日本回教協会主催歓迎会 (その2) | 東京会館 | 昭和13年 | 1 | |
| 5 | 大日本回教協会主催歓迎会 (その3) | | | 1 | |
| 6 | 東京回教礼拝堂開扉式祈禱 | | | 1 | |
| 7 | 東京回教礼拝堂開扉式祈禱 | | | 1 | |
| 8 | 日回大懇親会 (イブラヒム翁挨拶) | 上野精養軒 | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 9 | 日回大懇親会 (林鏡十郎挨拶) | 上野精養軒 | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 10 | 日回大懇親会 (洪敬清挨拶) | 上野精養軒 | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 11 | 日回大懇親会 (ギブシー大臣挨拶) | 上野精養軒 | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 12 | 大日本帝國陸軍記念日 (兼てイエメン国宗教大臣ギブシー氏送別会) | 代々木回教学校2階 | 昭和15年3月10日 | 2 | |
| 13 | 回教墓地 | 東京府下多摩 | | 7 | |
| 14 | フセイン殿下を中心として (立像) | | | 1 | |
| 15 | フセイン殿下を中心として (座像) | | | 1 | |
| 16 | 東京回教礼拝堂開堂式に來訪の回教徒の慰問袋献金 (陸軍両省) | | 昭和13年5月 | 1 | |
| 17 | 東京回教礼拝堂前のフセイン殿下一行 開堂式 | | 昭和13年5月12日 | 1 | |
| 18 | イエメン王子殿下東京駅御着 | | | 2 | |
| 19 | サウデー・アラビア国王名代ワハバ閣下羽田飛行場着 | | | 1 | |
| 20 | 首相官邸訪問 | | | 1 | |
| 21 | 外務大臣官邸訪問 | | | 1 | |
| 22 | 東京回教礼拝堂前景 | | | 1 | |
| 23(欠) | 東京回教協会展催宴遊会 | 清澄公園 | | 1 | |
| 24 | 大日本回教協会展催宴遊会 (少年剣舞) | 清澄公園 | | 2 | (2)特大 別置 |
| 25 | 大日本回教協会展催宴遊会 (園内一) | | | 1 | |
| 26 | 大日本回教協会展催宴遊会 (園内二) | | | 1 | |
| 27 | 大日本回教協会展催宴遊会 (園内三) | | | 1 | |
| 28 | フセイン殿下を囲んでの礼拝 回教徒來訪使節団の見学その他 | 東京回教礼拝堂 | | 1 | |
| 29 | 国際文化振興会主催東宝観劇会 | 宝塚歌劇 | | 1 | |
| 30 | 帝國議事堂參觀 (正副議長訪問) | | | 2 | |
| 31 | 拜謁當日のイエメン王子殿下 | 帝國ホテル | | 1 | |
| 32 | イエメン王子殿下國際放送 | NHK | | 2 | |
| 33 | 早稲田大学見学 | 大隈講堂(一) | | 2 | |
| 34 | 早稲田大学見学 | 大隈講堂(二) | | 1 | |
| 35 | 早稲田大学見学 | 大隈講堂(三) | | 1 | |
| 36 | 早稲田大学見学 | 弓道 | | 1 | |
| 37 | 東京帝國大学見学 | 図書館屋上 | | 2 | (2)特大 別置 |
| 38 | 科学博物館見学 | | | 2 | |
| 39 | 代々木練兵場に於ける陸軍演習見学 (一)(一)(一)(二) | | | 2 | |
| 40 | 代々木練兵場に於ける陸軍演習見学 (二) | | | 1 | |
| 41 | 代々木練兵場に於ける陸軍演習見学 (三) | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 開催場所 | 開催日 | 教員(名) | 備考 |
|-----------|---------------------------|-------------|------------|-------|----------|
| 42 | 陸軍士官学校見学(剣道見学)(一) | | | 1 | |
| 43 | 陸軍士官学校見学(剣道見学)(二) | | | 1 | |
| 44 | 陸軍士官学校見学(剣道見学)(控室) | | | 1 | |
| 45 | 横須賀水交社に於ける長谷川長官の午餐(一) | | | 1 | |
| 46 | 横須賀水交社に於ける長谷川長官の午餐(二) | | | 1 | |
| 47 | 横須賀水交社に於ける長谷川長官の午餐(三) | | | 1 | |
| 48 | 艦上に於ける柔道見学(一) | | | 1 | |
| 49 | 艦上に於ける柔道見学(二) | | | 2 | (2)特大 別置 |
| 50 | 艦上に於ける柔道見学(三) | | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 51 | 艦上に於ける柔道見学(四) | | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 52 | 艦上に於ける柔道見学(五) | | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 53 | 艦上に於ける柔道見学(六) | | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 54 | 艦上に於ける柔道見学(七) | | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 55 | イスラム文化協会歓迎茶会 | 大船松竹(一) | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 56 | イスラム文化協会歓迎茶会 | 大船松竹(二) | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 57 | イスラム文化協会歓迎茶会 | 大船松竹スタジオ(一) | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 58 | イスラム文化協会歓迎茶会 | 大船松竹スタジオ(二) | 昭和13年5月18日 | 1 | |
| 59(1)-(3) | 鐘紡工場見学(一) | | | 3 | (3)特大 別置 |
| 60 | 鐘紡工場見学(二) | | | 1 | |
| 61 | 鐘紡工場見学(三) | | | 1 | |
| 62 | 鐘紡工場見学(四) | | | 1 | |
| 63 | 鐘紡工場見学(五) | | | 1 | |
| 64 | 鐘紡工場見学(六) | | | 1 | |
| 65 | 鐘紡工場見学(七) | | | 1 | |
| 66 | 鐘紡工場見学(八) | | | 1 | |
| 67 | 鐘紡工場見学(九) | | | 1 | |
| 68 | 鐘紡工場見学(十)(フセイ王子挨拶) | | | 1 | |
| 69 | 鐘紡工場見学(十一) | | | 1 | |
| 70 | 鐘紡工場見学(十二) | | | 1 | |
| 71 | 花王石鹼工場見学(一) | | | 1 | |
| 72 | 花王石鹼工場見学(二) | | | 1 | |
| 73 | 花王石鹼工場見学(三) | | | 1 | |
| 74 | 花王石鹼工場見学(四) | | | 1 | |
| 75 | 日光見物(陽明門)(一) | | | 1 | |
| 76 | 日光見物(華蔵滝)(二) | | 昭和13年5月29日 | 1 | |
| 77 | 名古屋千種区内山町回教協会前の回教徒来訪視察団一行 | | 昭和13年5月29日 | 1 | |
| 78 | 東京駅頭のフセイ殿下一行の到着 | | 昭和13年5月9日 | 1 | |
| 79 | 東京帝国大学見学 | 図書館前 | | 1 | |
| 80 | 東京帝国大学見学 | 図書館前 | | 1 | |
| 81 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(一) | | | 1 | |
| 82 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(二) | | | 1 | |
| 83 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(三) | | | 1 | |
| 84 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(四) | | | 1 | |
| 85 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(五) | | | 1 | |
| 86 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(六) | | | 1 | |
| 87 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(七) | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|--------|---------------------------------|-----------|-------------|-------|----|
| 88 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(八) | | | 1 | |
| 89 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(九) | | | 1 | |
| 90 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(十) | | | 1 | |
| 91 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(十一) | | | 1 | |
| 92 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(十二) | | | 1 | |
| 93 | 回教徒来訪使節団一行見学(不詳分)(十三) | | | 1 | |
| | 訪日蒙疆回教団関係 | | | | |
| 94 | 蒙疆聯盟自治政府主催訪日蒙疆回教徒一行17名の歓迎会 | 東京回教礼拝堂 | 昭和13年10月7日 | 1 | |
| 95 | 訪日蒙疆回教団の礼拝(一) | | | 1 | |
| 96 | 訪日蒙疆回教団の礼拝(二) | | | 6 | |
| 97 | 訪日蒙疆回教団の礼拝(三) | | | 1 | |
| 98 | 蒙疆聯盟自治政府主催訪日蒙疆回教徒一行17名の歓迎茶話会 | 東京回教学校 | 昭和13年10月7日 | 1 | |
| 99 | 訪日蒙疆回教視察団歓迎会 | 水交社 | 昭和14年4月30日 | 1 | |
| 100 | 訪日蒙疆回教視察団歓迎会 | 水交社 | 昭和14年4月30日 | 1 | |
| 101 | 訪日蒙疆回教視察団宮城前 | | 昭和14年11月16日 | 1 | |
| 102 | 日回大懇親会(蒙疆回教徒一員の挨拶)(一) | 上野精養軒 | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 103 | 日回大懇親会新省回教徒代表マフメット・ムヒーティ氏の挨拶(一) | 上野精養軒 | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 104 | 日回大懇親会新省回教徒代表マフメット・ムヒーティ氏の挨拶(二) | 上野精養軒 | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 105 | 東京市訪問 | | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 106 | 日本商工会議所に於ける桑原幹根副理事の挨拶 | | 昭和14年11月17日 | 1 | |
| 107 | 日本商工会議所樓上の歓迎宴 | | 昭和14年11月18日 | 1 | |
| 108 | 全世界回教徒第一次大会(鈴木剛氏演説) | 日本倶楽部 | 昭和14年11月18日 | 1 | |
| 109 | 全世界回教徒第一次大会(満州国代表洪啓濤氏の演説) | 日本倶楽部 | 昭和14年11月18日 | 1 | |
| 110 | 全世界回教徒第一次大会(トルキスタン及トルコ代表席の一部) | 日本倶楽部 | 昭和14年11月18日 | 1 | |
| 111 | 全世界回教徒第一次大会(参加者席の一部) | 日本倶楽部 | 昭和14年11月18日 | 1 | |
| 112 | 聖徳館 | | 昭和14年11月19日 | 1 | |
| 113 | 国際観光局主催晩餐会 | 箱根富士屋ホテル | 昭和14年11月23日 | 1 | |
| 114 | 名古屋駅前における松坂屋店員一同の出迎え | | 昭和14年11月24日 | 1 | |
| 115 | 名古屋市中種区内山町回教教会内にて | | 昭和14年11月25日 | 1 | |
| 116 | 名古屋市松坂屋社交室に於ける午餐会 | | 昭和14年11月25日 | 1 | |
| 117 | 第三師団訪問(野澤大佐の挨拶) | 安岡部隊前において | 昭和14年11月25日 | 1 | |
| 118 | 県市会議所主催歓迎宴会 | | 昭和14年11月25日 | 1 | |
| 119 | 名古屋城前にて | | 昭和14年11月25日 | 1 | |
| 120 | 名古屋市役所を出发する一行 | | 昭和14年11月25日 | 1 | |
| 121 | 大阪回教園展覧会開場式に於ける会長の訓示 | | 昭和14年11月27日 | 1 | |
| 122 | 訪日蒙疆回教団歓迎茶話会 | 東京礼拝堂 | 昭和14年4月28日 | 1 | |
| 123 | 訪日蒙疆回教団歓迎茶話会の時の一行 | 東京礼拝堂 | 昭和14年4月28日 | 1 | |
| 124 | 明治神宮参拝 | | 昭和14年11月 | 1 | |
| 125 | 国際文化振興会訪問(副会長岡部長景子辭挨拶) | | 昭和14年11月 | 1 | |
| 126 | 中央卸売市場見学 | | 昭和14年11月 | 2 | |
| 127 | 陸軍省訪問(陸軍大臣畑俊六閣下挨拶) | | 昭和14年11月 | 1 | |
| 128 | 陸軍省訪問(陸軍大臣畑俊六閣下挨拶) | | 昭和14年11月 | 1 | |
| 129 | 野村外相訪問 | | | 1 | |
| 130 | 帝室博物館見学 | | | 1 | |
| 131(次) | 帝室博物館見学 | | | 1 | |
| 132 | 大阪に於ける日回懇親会 | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|---------------|---------------------------------|-------------|------------|-------|-----|
| 133 | 大阪に於ける一行 | | | 1 | |
| 134 | 神戸回教礼拝堂内の礼拝 | | | 2 | |
| 135 | 東京に於ける一行 | | | 1 | |
| 136 | 歌舞伎座見 | | 昭和14年1月19日 | 1 | |
| 137 | 静岡駅頭の一行? (114の写真と同一場所) | | | 1 | |
| 138 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (一) | | | 3 | |
| 139 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (二) | | | 2 | |
| 140 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (三) | | | 2 | |
| 141 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (四) | | | 1 | |
| 142 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (五) | | | 1 | |
| 143 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (六) | | | 1 | |
| 144 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (七) | | | 1 | |
| 145 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (八) | | | 1 | |
| 146 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (九) | | | 1 | |
| 147 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十) | | | 1 | |
| 148(次) | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十一) | | | 1 | |
| 149 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十二) | | | 1 | |
| 150 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十三) | | | 1 | |
| 151 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十四) | | | 1 | 1コマ |
| 152 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十五) | | | 1 | 1コマ |
| 153 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十六) | | | 1 | |
| 154 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十七) | | | 1 | |
| 155 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十八) | | | 1 | |
| 156 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (十九) | | | 1 | |
| 157 | 訪日蒙疆回教団 (不詳分) (二十) | | | 1 | |
| 訪日蒙疆回教団(女子)関係 | | | | | |
| 158 | 宮城前 | | | 1 | |
| 159 | 日本女子青年団との交歓 | 小石川植物園にて(一) | | 1 | |
| 160 | 日本女子青年団との交歓 | 小石川植物園にて(二) | | 1 | |
| 161 | 日本女子青年団との交歓に緊急法を学ぶ (一) | | | 1 | |
| 162 | 日本女子青年団との交歓に緊急法を学ぶ (二) | | | 1 | |
| 163 | 航空展見学 | 松坂屋(一) | | 1 | |
| 164 | 航空展見学 | 松坂屋(二) | | 1 | |
| 165 | 松坂屋における買い物 | | | 1 | |
| 166 | 明治神宮 (一) | | | 1 | |
| 167 | 明治神宮 (二) | | | 1 | |
| 168 | 靖国神社 | | | 1 | |
| 169 | 東京帝国大学 | | | 1 | |
| 170 | 科学博物館 | | | 1 | |
| 171 | お茶の会 (一) | | | 1 | |
| 172 | お茶の会 (二) | 裏千家 | | 1 | |
| 173 | 市内見物 (一) | 裏千家 | | 1 | |
| 174 | 市内見物 (二) | | | 1 | |
| 175 | 市内見物 (三) (No.159と同一写真・小石川植物園か?) | | | 1 | |
| 176 | 市内見物 (四) | | | 1 | |
| 177 | 市内見物 (五) | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|-----|-------------------------------------|-----------|---------|-------|----|
| 178 | 市内見物 (六) | | | 1 | |
| 179 | 市内見物 (七) | | | 1 | |
| 180 | 市内見物 (八) | | | 1 | |
| 181 | 宿舎にて (一) | | | 1 | |
| 182 | 宿舎にて (二) | | | 1 | |
| 183 | 宿舎にて (三) | | | 1 | |
| 184 | 宿舎にて (四) | | | 1 | |
| 185 | 日本放送協会にて | | | 1 | |
| 186 | 訪日蒙疆回教団(女子) (不詳分) * 緊急法講習か? | | | 1 | |
| 187 | 「回教画報」表紙に使用した写真 | | | 1 | |
| 188 | 林銑十郎会長関係 | | | | |
| 189 | 林銑十郎会長 | 名古屋松坂屋貴賓室 | 昭和15年5月 | 1 | |
| 190 | 林会長と贈牌 (一) | | | 2 | |
| 191 | 林会長と贈牌 (二) | | | 1 | |
| 192 | 林会長と贈牌 (三) | | | 1 | |
| 193 | 林会長と贈牌 (四) | | | 1 | |
| 194 | 四王天延孝会長関係 | | | | |
| 195 | トルコ帽姿の四王天会長 | | | 1 | |
| 196 | イブラヒム翁と四王天会長 (一) | | | 1 | |
| 197 | イブラヒム翁と四王天会長 (二) | | | 1 | |
| 198 | イブラヒム翁と四王天会長 (三) | | | 1 | |
| 199 | 後援をする四王天会長 (一) | | | 1 | |
| 200 | 後援をする四王天会長 (二) | | | 1 | |
| 201 | 後援をする四王天会長 (三) | | | 1 | |
| 202 | ユダヤ過撃滅敵懐心昂揚大講演会での四王天会長訓示をする四王天会長 | | | 1 | |
| 203 | 東京回教礼拝堂関係 | | | | |
| 204 | 東京回教礼拝堂 (一) | 代々木上原 | 昭和13年落成 | 8 | |
| 205 | 東京回教礼拝堂 (二) | | | 1 | |
| 206 | 東京回教礼拝堂 (三) (光塔上のアーザン「ダスキン氏」) | | | 1 | |
| 207 | 東京回教礼拝堂 (四) | | | 1 | |
| 208 | 東京回教礼拝堂 (五) | | | 1 | |
| 209 | 東京回教礼拝堂 (六) | | | 1 | |
| 210 | 東京回教礼拝堂 (七) | | | 1 | |
| 211 | 東京回教礼拝堂内礼拝 (中央導師アミン・イスラミ氏) (一) | | | 1 | |
| 212 | 東京回教礼拝堂内礼拝 (中央導師アミン・イスラミ氏) (二) | | | 1 | |
| 213 | 東京回教礼拝堂内礼拝 (中央導師アミン・イスラミ氏) (三) | | | 1 | |
| 214 | 東京回教礼拝堂内礼拝 (中央導師アミン・イスラミ氏) (四) | | | 1 | |
| 215 | 東京回教礼拝堂内礼拝 (中央導師アミン・イスラミ氏) (五) | | | 1 | |
| 216 | 東京回教礼拝堂内礼拝 (中央導師アミン・イスラミ氏) (六) | | | 1 | |
| 217 | 東京回教礼拝堂内訪日蒙疆回教団の礼拝 (一) (導師イブラム氏の説教) | | | 2 | |
| 218 | 東京回教礼拝堂内訪日蒙疆回教団の礼拝 (二) | | | 1 | |
| 219 | タスリーム (礼拝後の動作の一) | | | 1 | |
| 220 | 礼拝前の洗浄 | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| | 礼拝前の洗浄 | 東京礼拝堂 | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|-----------|---|--------|------------|-------|----|
| 221 | 回教徒の礼拝と学生見学団 | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 222 | 回教徒の礼拝と学生見学団 | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 223 | 二回で礼拝する女性回教徒 (一) | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 224 | 二回で礼拝する女性回教徒 (二) | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 225 | 女性回教徒と見学者 | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 226 | 東京回教学校 | 東京礼拝堂横 | | 1 | |
| 227 | 男子回教徒の礼拝 (三枚つづきの一) | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 228 | 女性回教徒の礼拝 (三枚つづきの二) | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 229 | 女性回教徒の礼拝 (三枚つづきの三) | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 230 | 礼拝 | 東京礼拝堂 | | 1 | |
| 神戸回教礼拝堂関係 | | | | | |
| 231 | 神戸回教礼拝堂 (一) | | | 9 | |
| 232 | 神戸回教礼拝堂 (二) | | | 1 | |
| 233(a) | 神戸回教礼拝堂 (三) (ドームと遠望) | | | 1 | |
| 233(b) | 神戸回教礼拝堂 (三) (光塔よりの遠望) | | | 1 | |
| 234 | 神戸回教礼拝堂 (四) (内部に於ける礼拝) | | | 6 | |
| 235 | 神戸回教礼拝堂 (五) (エフ・ギザトリン氏) | | | 1 | |
| 236 | 神戸回教礼拝堂 (六) (四王天会長とアフガン経済視察団) (一) | | | 1 | |
| 237 | 神戸回教礼拝堂 (七) (四王天会長とアフガン経済視察団) (二) | | | 1 | |
| 238 | 神戸回教礼拝堂 (八) (四王天会長とアフガン経済視察団) (三) | | | 1 | |
| 239 | 神戸回教礼拝堂 (九) (四王天会長とアフガン経済視察団) (四) | | | 1 | |
| 240 | 神戸回教礼拝堂 (十) (四王天会長とアフガン経済視察団) (五) | | | 1 | |
| イスラム展関係 | | | | | |
| 241 | イスラム展 (一) (会場式に於ける松島理事の展覧会開催経過報告) | 上野松坂屋 | 昭和14年11月7日 | 1 | |
| 242 | イスラム展 (二) (会場式に於ける来賓祝辞をするイスマイル氏) | 上野松坂屋 | 昭和14年11月7日 | 1 | |
| 243 | イスラム展 (三) (会場式の来賓) | 上野松坂屋 | 昭和14年11月7日 | 1 | |
| 244 | イスラム展 (四) (回教圏展覧会に於ける頭山満と説明する匠嶋胤次) | 上野松坂屋 | 昭和14年11月7日 | 2 | |
| 245 | イスラム展 (五) (回教圏展覧会において見物中のイエメン国宗教大臣アル・ギブシー氏) | 上野松坂屋 | 昭和14年11月7日 | 1 | |
| 246 | イスラム展 (六) (展示用資料) (一) [回教圏言語分布・内閣統計局列国 国勢要覧] | | | 2 | |
| 247 | イスラム展 (七) (展示用資料) (二) [回教圏の団体] | | | 1 | |
| 248 | イスラム展 (八) (展示用資料) (三) [回教圏の大観] | | | 1 | |
| 249 | イスラム展 (九) (展示用資料) (四) [本邦対南洋諸島輸出入品] | | | 1 | |
| 250 | イスラム展 (十) (展示用資料) (五) [満州国の回教徒] | | | 1 | |
| 251 | イスラム展 (十一) (展示用資料) (六) [インド] | | | 1 | |
| 252 | イスラム展 (十二) (展示用資料) (七) [(a)回教圏と主要生産品] | | | 1 | |
| " | イスラム展 (十三) (展示用資料) (七) [(b)回教圏と主要生産品] | | | 1 | |
| " | イスラム展 (十三) (展示用資料) (七) [(c)回教圏と綿花栽培地] | | | 1 | |
| " | イスラム展 (十三) (展示用資料) (七) [(d)回教圏の家畜及び家畜] | | | 1 | |
| " | イスラム展 (十三) (展示用資料) (七) [(e)回教圏と日本茶の進出] | | | 1 | |
| " | イスラム展 (十三) (展示用資料) (七) [(f)列国の石油生産と消費量] | | | 1 | |
| " | イスラム展 (十三) (展示用資料) (七) [(g)[南西アジア]回教圏と石油] | | | 1 | |
| 253 | イスラム展 (十三) (展示用資料) (八) [欧州列強に侵略されたアラビヤ] | | | 1 | |
| 254 | イスラム展 (十四) (展示用資料) (九) [支那の回教徒] | | | 1 | |
| 回教徒の各種会合 | | | | | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|---------|------------------------------------|--------|-------------|-------|-------|
| 255 | イスラム教団結成祝賀会 | 回教学校二階 | 昭和13年7月24日 | 1 | |
| 256 | 大日本禁酒同盟会懇親会 | 教団本部 | 昭和13年10月23日 | 2 | |
| 257 | 鈴木剛氏結婚式 | 教団本部 | 昭和13年11月28日 | 1 | |
| 258 | 団員故ハサンガテルシヤ | | 昭和14年1月2日死 | 1 | |
| 259 | 僧正団長アブドル・ラシッド・イブラヒム翁・令嬢フアウズイヤ嬢歓迎会 | 東京礼拝堂 | 昭和14年1月22日 | 1 | |
| 260 | 僧正団長アブドル・ラシッド・イブラヒム翁・令嬢フアウズイヤ嬢歓迎会 | 東京礼拝堂 | 昭和14年1月22日 | 1 | |
| 261 | 団員アフマツチャン・ヤコブ氏一家土耳其古帰国に際し送別会 | 教団本部 | 昭和14年4月25日 | 1 | |
| 262 | 団員アフマツチャン・ヤコブ氏一家土耳其古帰国に際し送別会 | 教団本部 | 昭和14年4月25日 | 1 | |
| 263 | 団員アフマツチャン・ヤコブ氏一家土耳其古帰国の際教団員一同横浜港に見 | | 昭和14年5月5日 | 1 | |
| 264 | 開堂式満一ケ年式記念 | 礼拝堂 | 昭和14年5月12日 | 1 | |
| 265 | 開堂満一周年祝賀会場 | 回教学校 | 昭和14年5月12日 | 1 | |
| 266 | 団員アルハサン・バルラス氏夫妻休暇帰国に際し送別会 | 東京礼拝堂 | 昭和14年6月16日 | 2 | |
| 267 | フアウズイヤ女史の送別会 | 丸の内ホテル | 昭和14年8月24日 | 1 | |
| 268 | 韓国祭に際し明治神宮祈願団に合流す | | 昭和17年2月11日 | 1 | |
| 269(欠) | 外務大臣東郷閣下を訪問する東京イスラム教団代表 | | 昭和17年 | 1 | |
| 270 | 各種会合(一) | | 昭和17年 | 1 | |
| 271 | 各種会合(二) | | 昭和17年 | 1 | |
| 272 | 各種会合(三) | | 昭和17年 | 1 | |
| 273 | 各種会合(四) | | 昭和17年 | 1 | |
| 274 | 各種会合(五) | | 昭和17年 | 1 | |
| 275 | 各種会合(六) | | 昭和17年 | 1 | |
| 276 | 各種会合(七) | | 昭和17年 | 1 | |
| 277 | 各種会合(八) | | 昭和17年 | 1 | |
| 278 | 各種会合(九) | | 昭和17年 | 1 | |
| 279 | 各種会合(十) | | 昭和17年 | 1 | |
| 280 | 各種会合(十一) | | 昭和17年 | 1 | |
| 281 | 各種会合(十二) | | 昭和17年 | 1 | |
| 282 | 各種会合(十三) | | 昭和17年 | 1 | |
| 283 | 各種会合(十四) | | 昭和17年 | 1 | |
| 284 | 各種会合(十五) (井筒俊彦氏入教式) | | | 1 | |
| 285(1) | 各種会合(十六) (ワハブ氏個人礼拝) | | | 1 | |
| 285(2) | 各種会合(十六) (ワハブ氏個人礼拝) | | | 1 | 特大 別置 |
| 285(3) | 各種会合(十六) (ワハブ氏個人礼拝) | | | 1 | 特大 別置 |
| 286 | 各種会合(十七) (台紙付) | | | 1 | |
| 287-376 | 訪日中国回教団 (含インドネシア回教徒) | 上野精養軒? | | 90 | |
| 377 | アフガニスタン経済視察団一行 | 清澄公園 | | 1 | |
| 378 | アフガニスタン経済視察団一行 (一) 大橋次官 | | | 1 | |
| 379 | アフガニスタン経済視察団一行 (二) ゴウム・ガウマ・ハン | | ?4月10日 | 1 | |
| 380 | アフガニスタン経済視察団一行 (三) 東京帝国大学 | | | 1 | |
| 381 | アフガニスタン経済視察団一行 (四) 横浜商工会議所主催歓迎午餐会 | | | 1 | |
| 382 | アフガニスタン経済視察団一行 (五) 清澄公園 | | | 1 | |
| 383 | アフガニスタン経済視察団一行 (六) 高島屋 | | | 1 | |
| 384 | アフガニスタン経済視察団一行 (七) 通商懇談会 | 工業クラブ | | 1 | |
| 385 | アフガニスタン経済視察団一行 (八) 工芸品実演見学 | 高島屋 | | 1 | |
| 385 | アフガニスタン経済視察団一行 (九) 帝国ホテル | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|--------|---|------------|-----------|-------|----|
| 386(次) | アフガニスタン経済視察団一行 (十) 帝国ホテル | | | 1 | |
| 387 | アフガニスタン経済視察団一行 (十一) 某工場見学 | | | 1 | |
| 388 | アフガニスタン経済視察団一行 (十二) 書一食会 | ニューグランドホテル | | 1 | |
| 389 | アフガニスタン経済視察団一行 (十三) | | | 1 | |
| 390 | アフガニスタン経済視察団一行 (十四) | | | 1 | |
| | マライ及スマトラ訪日視察団 | | | | |
| 391 | マライ及スマトラ訪日視察団 (一) 主賓挨拶(スカルノ) | 清澄公園 | 昭和18年夏 | 2 | |
| 392 | マライ及スマトラ訪日視察団 (二) (四天王会長の挨拶) | 清澄公園 | 昭和18年夏 | 1 | |
| 393 | マライ及スマトラ訪日視察団 (三) 歓迎会 | 清澄公園 | 昭和18年夏 | 1 | |
| | 横浜公使関係 | | | | |
| 394 | 横山正幸公使 | | 1939年4月7日 | 1 | |
| 395 | 横山正幸公使と中野英次郎 | 麗人宮 | | 1 | |
| 396 | イブン・サウード王と横山公使 | 太陽宮 | | 1 | |
| 397 | リヤード夏宮内の鷹匠と鷹 | | | 1 | |
| | 大川周明関係 | | | | |
| 398(次) | 大川周明筆跡 | | | 1 | |
| 399(次) | 大川周明 | | | 1 | |
| | 川崎英雄氏の私信 | | | | |
| 400 | カイロ通信 (一) | | | ハカキ一枚 | |
| 401 | カイロ通信 (二) | | | ハカキ一枚 | |
| 402 | カイロ通信 (三) | | | ハカキ一枚 | |
| 403 | カイロ通信 (四) カイロ・ギザの「エヂプジャン・ユニバーシティ」 | | | 1 | |
| | クルバンガリー氏関係 | | | | |
| 404 | ムハメード・ガブドゥルハイ・クルバンガリー氏 | | | 1 | |
| 405 | 日本の有名なる後援者犬養氏・頭山氏及び在東京回教僧正クルバンガリー氏・神戸回教僧正シャムグニ氏 | | | ハカキ2枚 | |
| 406 | 東京回教団体墓地 | 多摩墓地 | | ハカキ2枚 | |
| 407 | 1921年大隈公爵を訪れたるクルバンガリー僧正の率ゆる回教観光団 | | | ハカキ2枚 | |
| 408 | 東京回教団体員 | | | ハカキ2枚 | |
| 409 | 東京回教学校 | | | ハカキ2枚 | |
| 410 | 東京に建設する最初の回教礼拝堂 (マスゾト) | | | ハカキ1枚 | |
| 411 | 東京回教学校に於ける最初の学期試験後の記念撮影 | | | ハカキ1枚 | |
| 412 | 1928年東京に開催したる大日本回教徒大会 | | | ハカキ1枚 | |
| 413 | 1934年東京回教印刷所に於いて初めて印刷したる「コーラン」回教経典発行記念会の写真 | | | ハカキ1枚 | |
| 414 | 1935年東京回教団創立十周年記念 | | | ハカキ1枚 | |
| 415 | 1936年日独防共協定の成功を祈る東京回教学校生徒 | | | ハカキ1枚 | |
| 416 | 1937年東京回教学校生徒の明治神宮献本 | | | ハカキ1枚 | |
| 417 | 1937年東京回教学校生徒の皇軍慰問袋献納 | | | ハカキ1枚 | |
| 418 | 1937年東京回教学校創立十周年記念祝賀会 | | | ハカキ1枚 | |
| 419 | 世界に於けるツラン民族とインド・ヨーロッパ民族の分布 | | | ハカキ1枚 | |
| 420 | 在ベトログラード市回教寺院 | | | ハカキ1枚 | |
| 421 | ハルビン回教寺院 | | | ハカキ1枚 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|----------------|--|------|-----|-----------------|----|
| 422 | カザン市に遺る最後のカザン汗の建立せる回教寺院ハン・マスチット | | | ハカキ1枚 | |
| 423 | 印度に残る華麗なるチハングル大汗妃の陵墓 | | | ハカキ1枚 | |
| 424 | 在大連回教寺院及び在奉天回教寺院 | | | ハカキ1枚 | |
| 425-431 | 海南島の清真寺 海南島の清真寺 (一) 至 (七) 中国の回教寺院 (一) 至 (八一) | | | 7 | |
| 432-437(a)・(b) | 回教小学校開校式 (一) | | | 7 | |
| 438-440 | 寺院内部の説教台 (一) ? (同一写真) | | | 3 | |
| 441-443 | 寺院内部の説教台 (二) ? | | | 3 | |
| 444 | [清真寺] | | | 1 | |
| 445 | 北京海峽寺院内ウツ[沐浴] | | | 1 | |
| 446 | 厚和の回教寺院の光塔月樓 | | | 1 | |
| 447 | 大同の回教寺院内部 (一) | | | 1 | |
| 448 | 大同の回教寺院内部 (二) | | | 1 | |
| 449 | 奉天の回教寺院 | | | 1 | |
| 450 | 張家口の回教寺院 (認識写真・性理貫徹) | | | 1 | |
| 451 | 包頭の回教寺院入口 | | | 1 | |
| 452 | 包頭の回教寺院 | | | 1 | |
| 453a-c | 回教小学校開校式 | | | | |
| 454 | 回教小学校開校式 | | | 46 | |
| 455 | 光塔 懷聖寺か? | | | 1 | |
| 456 | 光塔 懷聖寺か? | | | 1 | |
| 457-458 | 高風抑止 懷聖寺か? | | | 1 | |
| 459(a)・(b) | 共仰儀型・曲万員跡 懷聖寺か? | | | (a)小1, (b)大1 | |
| 460 | 礼拝堂 | | | 1 | |
| 461 | [回教寺院] | | | 1 | |
| 462 | [回教寺院] 石づくり | | | 1 | |
| 463 | [回教寺院] | | | 1 | |
| 464 | [回教寺院] | | | 1 | |
| 465 | [回教寺院] | | | 1 | |
| 466 | 懷聖寺 | | | 1 | |
| 467-469 | 教徒の書写 | | | 1枚3コマ | |
| 470(a)-472(b) | 新京清真寺内教徒服装 | | | 2枚6コマ | |
| 473-475 | コーラン | | | 1枚3コマ | |
| 476-478 | 懷聖寺光塔[懷聖遺基]ほか 懷聖寺か? | | | 1枚3コマ | |
| 479-481 | [寺院前集合写真]ほか 懷聖寺か? | | | 1枚3コマ | |
| 482-484 | 光塔 懷聖寺碑 懷聖寺か? | | | 1枚3コマ | |
| 485-490 | 光塔 懷聖寺碑 懷聖寺か? | | | 1枚3コマ | |
| 491-512 | 懷聖寺光塔ほか 大日本回教協会関係者の会合 | | | 2枚22コマ | |
| 513 | 大日本回教協会関係者の会合 (一) (四天王延孝外一名) | | | 小3枚, 大5枚 | |
| 514 | 大日本回教協会関係者の会合 (二) (四天王延孝外七名) | | | 小3枚, 大4枚 | |
| 515 | 大日本回教協会関係者の会合 (三) (菊地慧一外四名) | | | 大1枚 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|--------|---|------|--------|-----------------------------|----|
| 516 | 大日本回教協関係者の会合 (四) (大村謙太郎外七名) | | | 大1枚 | |
| 517 | 大日本回教協関係者の会合 (五) (東京回教礼拝堂前菊池慧一郎外四名) | | | 小2枚, 大4枚 | |
| 518 | 大日本回教協関係者の会合 (六) (東京回教礼拝堂入口前菊池慧一郎外四名) | | | 小2枚, 大2枚 | |
| 519 | 大日本回教協関係者の会合 (七) (東京回教礼拝堂入口前菊池慧一郎外七名) | | | 小3枚, 大6枚 | |
| 520 | 大日本回教協関係者の会合 (八) (東京回教礼拝堂前徒行中菊池慧一郎外十名) | | | 小2枚, 大2枚, 小3枚, 大4枚 | |
| 521 | 姓名不詳モロ族の回教徒 (一) [モロ族留学生ママシンスワット氏] | | | 小3枚, 大4枚 | |
| 522 | 姓名不詳モロ族の回教徒 (二) [モロ族留学生ママシンスワット氏] グラフ「日本」制作用写真 | | | 小3枚, 大4枚 | |
| 523 | グラフ「日本」制作用写真 (一) | | | 大1 | |
| 524 | グラフ「日本」制作用写真 (二) | | | 大1 | |
| 525 | グラフ「日本」制作用写真 (三) 食事の前の祈り | | | 大1 | |
| 526 | グラフ「日本」制作用写真 (四) | | | 大1 | |
| 527 | グラフ「日本」制作用写真 (五) | | | 大1 | |
| 528 | グラフ「日本」制作用写真 (六) | | | 大1 | |
| 529 | グラフ「日本」制作用写真 (七) 小学国語読本朗読一 | | | 大1 | |
| 530 | グラフ「日本」制作用写真 (八) 小学国語読本朗読二 | | | 大1 | |
| 531 | グラフ「日本」制作用写真 (九) 遊戯 | | | 大1 | |
| 532 | グラフ「日本」制作用写真 (十) 裁縫 | | | 大1 | |
| 国内風景 | | | | | |
| 533 | 歌舞伎連獅子 | | | 1 | |
| 534 | 帝国ホテル | | 昭和13年頃 | 1 | |
| 535 | 東大弓場 | | | 1 | |
| 536 | 国会議事堂 (一) | | | 1 | |
| 537 | 国会議事堂 (一) | | | 1 | |
| 外国風景風俗 | | | | | |
| 538 | アルバニアの油槽 | | | 1 | |
| 539 | イスラエルのエルサレム・モスク・オマル | | | 1 | |
| 540 | イラン政府 | | | 1 | |
| 541 | イランのテヘランのガブル・エ・アガ (アガの墓) 霊廟 | | | 1 | |
| 542 | イランのテヘランの回教寺院 | | | 1 | |
| 543 | イランのメッシュェットにあるイマーム・リダーの墓 (回教シアー派の聖地) | | | 1 | |
| 544 | イランのペルシヤ・ミアアチュールの一部 | | | 1 | |
| 545 | イランの石油工場 (一) | | | 1 | |
| 546 | イランのアバダンの石油工場 (二) | | | 1 | |
| 547 | イランのメイダン・イ・ナボタンよりアバダンに至る石油輸送管 | | | 1 | |
| 548 | イランのタアアア谷を行く鉄道 | | | 1 | |
| 549 | イランのガアドック | | | 1 | |
| 550 | イランのダブリーズの絨毯制作 | | | 1 | |
| 551 | イランの農耕 | | | 1 | |
| 552 | イランのキラーンの農家 | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|--------|-------------------------------------|------|-----|-------|----|
| 553 | イランの農耕者 | | | 1 | |
| 554 | イランのマーザンドラーン稲田 | | | 1 | |
| 555 | イラクの石油田 | | | 1 | |
| 556 | イラクの石油輸送管 | | | 1 | |
| 557(a) | インドネシアのジャワの風俗 | | | 1 | |
| 557(b) | インドネシア・スマトラ島ミナンカバウ族婦人の盛装 | | | ハカキ1枚 | |
| 558 | エジプトのアラバスタ・モスク寺院 | | | 1 | |
| 559 | 北アフリカ風景 | | | 1 | |
| 560 | 北アフリカのカイロ大観 | | | 1 | |
| 561 | 北アフリカのアルジェリアの町 | | | 1 | |
| 562 | 北アフリカのアルジェリア風景 | | | 1 | |
| 563 | 北アフリカのアルジェリア風景 | | | 1 | |
| 564 | 北アフリカのアルジェリア人 | | | 1 | |
| 565 | 北アフリカのアルジェリア人 | | | 1 | |
| 566 | 北アフリカのアルジェリアの回教徒の祈り (ピスクラ・オアシスの大礼拝) | | | 1 | |
| 567 | 北アフリカのアルジェリア風俗 | | | 1 | |
| 568 | 北アフリカのアルジェリアのカフェー | | | 1 | |
| 569 | 北アフリカのアルジェリアのカフェー | | | 1 | |
| 570 | 北アフリカの水煙管をくゆらすアラビア人の群 | | | 1 | |
| 571 | 北アフリカのアルジェリアの水煙管 | | | 1 | |
| 572 | 北アフリカのチェニスの騎馬芸大会に臨むチュニスの人々 | | | 1 | |
| 573 | 北アフリカのチュニスのスーダン人楽人 | | | 1 | |
| 574 | 北アフリカのチュニスの擔水夫 | | | 1 | |
| 575 | 北アフリカのチュニスのペドウィン族の女 | | | 1 | |
| 576(a) | 北アフリカのモロッコ王シャーディ・モハメット・ベン・ユースフ | | | ハカキ1枚 | |
| 576(b) | 北アフリカのモロッコ王子 | | | ハカキ1枚 | |
| 577 | 北アフリカのモロッコ風景 | | | 1 | |
| 578 | 北アフリカのモロッコ風景 | | | 1 | |
| 579 | 北アフリカのモロッコ風景 | | | 1 | |
| 580 | 北アフリカのモロッコ風景 | | | 1 | |
| 581 | 北アフリカのモロッコのファースの学生祭 | | | 1 | |
| 582 | 北アフリカのモロッコの回教風俗 | | | 1 | |
| 583 | 北アフリカのモロッコの廟 | | | 1 | |
| 584 | サウードアラビアの聖地メッカ・カアバ | | | 1 | |
| 585 | サウードアラビアの聖地メッカ・カアバ | | | 1 | |
| 586 | サウードアラビアのミナー(ミーナ)のマスジット・ハイフ (ハイフ寺) | | | 1 | |
| 587 | サウードアラビアのアラファツ山 | | | 1 | |
| 588 | トルコのイスタンブール風景 | | | 1 | |
| 589 | トルコのアンカラ風景 | | | ハカキ1枚 | |
| 590 | トルコのアンカラ風景 (アタチュルク通り) | | | ハカキ1枚 | |
| 591 | トルコのアンカラ風景 | | | ハカキ1枚 | |
| 592 | トルコのアンカラ市街 | | | 1 | |
| 593 | トルコのチャナクカレの民家 | | | 1 | |
| 594 | トルコの馬拉トヤの初春 | | | 1 | |
| 595 | トルコのキルリクの風光 | | | 1 | |
| 596 | トルコのオルタイユイ礼拝堂 (ボスホラス対岸より望む) | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|---------------|-----------------------------------|-------------------------|----------|-------|-------------|
| 597 | トルコのアドリアノーブルの或る女の墓碑 | | | 1 | |
| 598 | トルコの現代トルコ人の墓 | | | 1 | |
| 599 | トルコのイスタンブールの「千一柱」(柱列) 地価貯水池 | | | 1 | |
| 600 | 回教徒の墓 | | | 1 | |
| 601 | そよかせ号親善飛行 | | | 1 | |
| 602 | 中国廣東の回教寺院(?) | | | 大型1枚 | |
| | 追加及び未詳のもの | | | | |
| 603 | 開扉式参列回教徒顔合せ | | | 1 | |
| 604 | 東京回教礼拝堂落成開扉式における頭山満 | | 昭和13年5月 | 1 | |
| 605 | 東京回教礼拝堂落成開扉式におけるイブラヒム翁 | | | 1 | |
| 606 | 回教座談会 | | | 1 | |
| 607 | 訪日蒙疆インドネシア回教団とイブラヒム翁 | | | 1 | |
| 608 | 訪日蒙疆インドネシア回教団の中央卸売市場見学 | | 昭和14年11月 | 1 | |
| 609 | 訪日蒙疆インドネシア回教団歓迎会 | | 昭和14年11月 | 1 | |
| 610(次) | 訪日蒙疆回教団 | | 昭和14年11月 | 1 | |
| 611 | 回教園貿易座談会 | 大阪松坂屋 | | 1 | |
| | 未詳のもの(一) 至(一八) | | | 計18枚 | (2)(3)特大 別置 |
| 612-614 | 未詳のもの(一)~(三)「東京回教礼拝堂入口付近」 | | | 1 | |
| 615 | 未詳のもの(四) 明治神宮参拝(訪日蒙疆回教団) | | 昭和14年11月 | 1 | |
| 616 | 未詳のもの(五) | | | 1 | |
| 617 | 未詳のもの(六) マライ及びスマトラ訪日視察団の小学校見学風景か? | | | 1 | |
| 618 | 未詳のもの(七) ティーパーティー(一) | | | 1 | |
| 619(1)(2) | 未詳のもの(八) ティーパーティー(二) | | | 1 | |
| 620(a)(b)次 | 未詳のもの(九) 男性 | | | 2 | 特大 別置 |
| 621 | 未詳のもの(十) 講演会(一) | | | 1 | |
| 622 | 未詳のもの(十一) 講演会(二) | | | 1 | |
| 623 | 未詳のもの(十二) 会食「マライ及びスマトラ訪日視察団関係か?」 | | | 1 | |
| 624 | 未詳のもの(十三) 蒙疆訪日回教団の礼拝[含ガイナン氏・名古屋の導 | 東京モスク内 | | 1 | |
| 625 | 未詳のもの(十四) 回教徒の集合写真 | | | 1 | |
| 626 | 未詳のもの(十五) 会合[内藤智秀・松島肇・林銑十郎氏等] | | | 1 | |
| 627 | 未詳のもの(十六) 義勇軍本部訓練所食堂へ朝食に入る一行 | | | 1 | |
| 628 | 未詳のもの(十七) 軍服姿の日本人? | | | 1 | |
| 629 | 未詳のもの(十八) 会食[参加者不詳] | | | 1 | |
| | 回教に直接関係なきグラフィック作成用写真[風景] | | | | |
| 630-632 | 海岸 | | | 3 | |
| 633-638 | 山岳 | | | 6 | |
| 639-641 | 城郭(江戸城) | | | 3 | |
| 642-643 | 城郭(名古屋城) | | | 2 | |
| 644-646 | 城郭(姫路城) | | | 3 | |
| 647 | 皇居(宮城前学生旗行列) | | | 1 | |
| 648・ | 皇居(二重橋) | | | 4 | |
| 649(a)(b)・650 | | | | | |
| 651-660 | 東京(一) | (651)丸の内の一 日景観(660)銀座夜景 | | 10 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|------------|----------------------|--|--|-------|---------------------|
| 661-667 | 東京 (二) | (662)通信病院(663)ライオン歯磨工場(666)競馬場 | | 7 | |
| 668-671(b) | 東京 (三) | (668)三菱銀行(669)丸の内第一相互ビル(670)三越本店 | | 5 | |
| 672-677 | 東京 (四) | (671)(a)(b)絵画館 (672)東京駅前(673)銀座街頭 (674)東日本新聞社(676)聖橋 | | 6 | |
| 678-685 | 奈良・京都 | (680・681)東大寺(682)橿原神宮 (683)奈良ホテル(684)金閣寺 (685)清水寺 | | 8 | |
| 686-696 | 大坂 | (686)大坂市街(692)地下鉄(693・694)大坂そごう建築工事(695・696)河川風景 | | 11 | |
| 697-710 | 議會堂 | (697・698)議事堂(699～702)議事堂全景(703・704)衆議院議場 (705)衆院首相演説(706)第73議會齋藤隆夫(707～709)第74議會(710)開院式還幸 | (706)昭和13年2月25日(707～709)昭和14年3月20日(710)昭和12年12月27日 | 14 | |
| 711-714 | 政治 | (711)近衛新内閣閣僚初顔合せ (712)内閣参議初顔合せ(713)近衛文麿と各閣僚(714)安部内閣閣 | (713)昭和12年9月 (714)昭和14年9月 | 4 | |
| 715-743 | 日本の青少年学徒 | (715～717)慶應幼稚舎学習風景 (718～723)小学校授業風景(724～734)小学校授業風景(735・736)男子中学校体操・神宮体育会 (737～739)文化学院女学部(740～742)日本女子大学(743)明治神 | | 29 | (724-734)写真 サイズ大 |
| 744-751 | 大学 (1:東京帝国大学) | (744)東京帝国大学全景(745・746)東京帝国大学図書館(747)東京帝国大学図書館閲覧室(748)東京帝国大学医学部教室(749・750)東京帝国大学工学部(751)東京帝国大学文線治療室 (752)早稲田大学理工科実験室 (753)伝染病研究講習(754)通信病院(755・756)通信病院手術室 (757)歯科医療機械(758・759)公衆衛生院 | | 8 | |
| 752-759 | 大学 (2:東京帝国大学ほか) | (760)大浴場(761)射弓場(762)室内道場(763)図書室 | | 8 | |
| 760-770 | 大学 (3:不詳分) | (771～774)一般家庭生活の様子 (775・776)不明の建物(777)料亭の基姑(778)パラレーニートガール(779)自家用飛行機(780)森川まさみ・榎ふさ子 | | 11 | |
| 771-782 | 家庭・社会 家庭・社会 (不詳分) | | | 10 | |
| 781-782 | | | | 2 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|---------|--------------------------------|---|-----|-------|----|
| 783-787 | 紀元2600年 | (783)2600年人文字(784)大島の奉祝(785)足尾明山奉祝(786・787)富士山 | | 5 | |
| 788-791 | 紀元2600年 (不詳分) | | | 4 | |
| 792-807 | 産業・農業:米 | (792)郊外の農家(793)稲刈り (794)俵の山(795)俵詰め(796～797)(a)(b)田植え(798)畑仕事(799～807)苧畑 | | 16 | |
| 808-825 | 産業・農業:茶 | (808)茶摘み美人(809)茶畑(810・811)茶摘み(812)紅茶醗酵(813～816)紅茶(817)緑茶の株捻(818～820)茶会(821)茶の検査(822)ほうじ茶(823)お茶精選(824・825)輸出 | | 18 | |
| 826-827 | 産業・農業:茶 (不詳分) | | | 2 | |
| 828-841 | 産業・農業:牧畜 | (828～832)牧場(833～835)羊 (836～838)雞(839～941)バター | | 14 | |
| 842-853 | 産業・水産業 | (842～844)伊豆近海大謀網(845～847)北洋漁業(848～851)北千島の水産場(852・853)缶詰め | | 12 | |
| 854-868 | | (854)養蚕(855)まゆ(856～858)市川工場(859)大坂紡績工場(860)綿糸検査所(861・862)綿糸ロール工場(863・864)フテーブル・ファイバー(865)純綿のワイシャツとネクタイ展示(866)洗濯場(867・868)仕 | | 15 | |
| 869-870 | 産業 (蚕編・織維) 産業 (養蚕・織維) (不詳分) | | | 2 | |
| 871-878 | 産業 (新聞・印刷) | (871～875)共同印刷会社(876・877)ジャーナリズム(878)凸版印刷十円の債権製造 | | 8 | |
| 879-890 | 工業セラミック | (879)セルロイド硫臭工場(880)瀬戸製品(881)陶器の益子(882)支那の皿(883-885)グラビールグラスの作製第一歩(886-890)陶器類 | | 12 | |
| 891-895 | 工場・精密時計 | (891-892)研磨操縦機部・車捻子研磨作業・車真加工作業(893)軸合部・天府真挽作業(894)施工部・車歯割加茶歯割作業・歯車制作(895)貴石部・時計用石検査場 | | 5 | |
| 896-910 | 工場・精密時計 | (896)側工部・時計側鎖付け作業 (897)組立部・時計組み立て取付け作業(898)発篠部・ヘアースプリングその他製作(899～903)時計組み立て工程(904～906)包装 (907)時計陶節作業(908)歯車の製作(909・910)製品検査 | | 15 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|-----------|-------|--|-----|-------|-----------------|
| 911-915 | 工業・鉱業 | (911)左金山撰鉱(912-913)左 渡金山金鉱採掘(914-915)工場 | | 5 | |
| 916-925 | 工業・化学 | (916)セルロイド製品の1つ(917) グリセリン真空蒸留装置(918)鹼 化罐(919~925)製菓 | | 5 | |
| 926-935 | 工業・鉄道 | (926)つばめ号車輦(927-928)芝 浦製作所(929)トンネル式温風乾 燥機(930)冷却固化装置・クリーニ ングプレス(931)硬化油の脱臭濾 過装置(932)食料原油硬化装置 (933)分解室(934)魚油硬化装置 (935)送油ポンプ | | 10 | |
| 936-947 | 工業・鉄道 | (936)仕上室(937-938)ライオン歯 磨工場(939)花王シャンプー型打 機(940-941)理化学興業・宮内工 場(942)理研チャック株式会社 (943)理研電線・白根工場(944)理 研電磁器・高崎工場(945~947)ピ ストリング工場前橋工場 | | 12 | |
| 948-952 | 工業・鉄道 | (948-949)関西急行車両(950~ 952)機関車車輦 | | 5 | |
| 953-960 | 海運・船舶 | (953)帆船比叡(初代)(954~ 957)(a)(b)積み荷風景(横浜) (958)三井物埠頭(959)遠洋漁業 (960)回教画報表紙 | | 8 | (953)特大別 置1枚 |
| 961-981 | 飛行機類 | (961-962)羽田飛行場ダグラス機 (963-964)羽田飛行場(965~970) 飛行場風景(971~973)機内サー ビス(974~977)日本空軍軍事飛 行機(978~981)世界一周機 | | 11 | |
| 982-992 | スポーツ | (982-983)柔道(984-985)水泳(986 ~988)バスケット(989~991)陸上 競技(992)サッカー | | 11 | |
| 993-996 | 相撲 | (993-994)相撲場所(995)双葉山 (996)玉錦 | | 4 | |
| 997-1008 | 娯楽 | (997)歌舞伎座(998-999)娯楽場 (1000-1001)舞台(1002~1007)原 節子(1008)小杉勇と外人女性 | | 12 | |
| イスラム展関係追加 | | | | | |
| 1009-1014 | 会場写真 | (1009)(a)(b)会場内風景(一) (1010)会場内風景(二)(1011)会場 入口付近(1012~1014)会場内・ 人物集合写真 | | 7 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|-----------|-------------------------|--|-----|-------|----|
| 1015-1019 | 展示物写真 | (1015)インドネシア人のメッカ巡礼 船出発の光景(1016)廣東に於ける 回教小学校の開校式(廣東) (1017)アフガニスタンの国技ブ ツガツン(アフガニスタンの断食明け の祭(インド)(1019)トルコ生活 (1020)新興アンカラ・トルコ(1021) トルキスタンの風俗(1022)秘境ト ルキスタンの(1023)町の賑わい・ チュニス(1024)婦人部屋(1025)ス ウクスの国土エジプト | | 5 | |
| 1020-1025 | 展示物写真 | (1026)カイロ市街・エジプト(1027) 聖衣マールマルの行進・エジプト (1028)アラビアのオアシス・アラビ ア(1029)イエーメンを訪ねて (1030)キヤラバン・シリア(1031)波 瀾を越えて・オーマン (1032)奉祝飛行・イラン(1033)新し きイラン(1034)バグダットのバ ザール・イラク(1035)アバタンの精油 工場(1036)開原清真寺・満州 (1037)よこそ王子さま・日本 (1038)張家口風景・蒙疆(1039)清 (1044)回教世界誌(1045)本の展 示(1046)大日本回教協会書物 (1047)本の展示(経済年鑑・外蒙 古・支那の歴史と文化・韃靼西部 支那旅行記他) | | 6 | |
| 1026-1031 | 展示物写真 | (1032)奉祝飛行・イラン(1033)新し きイラン(1034)バグダットのバ ザール・イラク(1035)アバタンの精油 工場(1036)開原清真寺・満州 (1037)よこそ王子さま・日本 (1038)張家口風景・蒙疆(1039)清 (1044)回教世界誌(1045)本の展 示(1046)大日本回教協会書物 (1047)本の展示(経済年鑑・外蒙 古・支那の歴史と文化・韃靼西部 支那旅行記他) | | 6 | |
| 1032-1039 | 展示物写真 | (1032)奉祝飛行・イラン(1033)新し きイラン(1034)バグダットのバ ザール・イラク(1035)アバタンの精油 工場(1036)開原清真寺・満州 (1037)よこそ王子さま・日本 (1038)張家口風景・蒙疆(1039)清 (1044)回教世界誌(1045)本の展 示(1046)大日本回教協会書物 (1047)本の展示(経済年鑑・外蒙 古・支那の歴史と文化・韃靼西部 支那旅行記他) | | 6 | |
| 1040-1047 | 展示物写真 | (1032)奉祝飛行・イラン(1033)新し きイラン(1034)バグダットのバ ザール・イラク(1035)アバタンの精油 工場(1036)開原清真寺・満州 (1037)よこそ王子さま・日本 (1038)張家口風景・蒙疆(1039)清 (1044)回教世界誌(1045)本の展 示(1046)大日本回教協会書物 (1047)本の展示(経済年鑑・外蒙 古・支那の歴史と文化・韃靼西部 支那旅行記他) | | 6 | |
| | 展示物写真 | | | | |
| | 支那の回教寺院 追加分 (一、北支) | | | | |
| 1048 | 大連大広場より東拓ビル | | | 1 | |
| 1049 | 大連の商業地区常盤橋付近 | | | 1 | |
| 1050 | 克山 (大豆の山糧機内) | | | 1 | |
| 1051 | 化 (大豆団積) | | | 1 | |
| 1052 | [大豆団積] | | | 1 | |
| 1053 | 開原 (大豆の収穫) | | | 1 | |
| 1054 | 新京大同大街 | | | 1 | |
| 1055 | 新京駅に於ける大豆の集積 | | | 1 | |
| 1056 | 新京大同大街 | | | 1 | |
| 1057 | 新築当時の長春 (新京) ヤマトホテルと中央通 | | | 1 | |
| 1058 | (新京) 大同の清真寺説教壇 | | | 1 | |
| 1059 | (新京) 大同の清真寺説教壇 | | | 1 | |
| 1060 | (新京) 大同の清真寺礼拝堂内 | | | 1 | |
| 1061 | (新京) 大同の清真寺説境内 | | | 1 | |
| 1062 | 大連中央広場 | | | 1 | |
| 1063 | 大連港第二埠頭 (日滿連絡定期船の出帆) | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 枚数(枚) | 備考 |
|------------|------------------------------|------|-----|-------|-----------------|
| 1064 | 大連埠頭 | | | 1 | |
| 1065 | 大連埠頭の偉容 (第二埠頭船客待合所入口) | | | 1 | |
| 1066 | 大連アルコール抽出大豆油工場 (満州精油株式会社) | | | 1 | |
| 1067 | 大連豆油タンク | | | 1 | |
| 1068 | 厚和の回教寺院 | | | 1 | |
| 1069 | [清真寺]満州回教協会四平市分会の印あり | | | 1 | |
| 1070 (1) | 滿州国開原清真寺 | | | 1 | (1)小 |
| 1070 (2) | 滿州国開原清真寺 | | | 1 | (2)特大 別置 |
| 1071 | 奉天清真女寺 | | | 1 | 特大 別置 |
| 1072 | 奉天清真寺 | | | 1 | |
| 1073 | 哈爾濱清真寺 | | | 1 | |
| 1074 | 哈爾濱清真寺回教協進總會前 (中国人回教徒) | | | 1 | |
| 1075 | 哈爾濱清真寺 [回教徒の祈り (一)] | | | 1 | |
| 1076 | 哈爾濱清真寺 [絨毯模様] | | | 1 | |
| 1077 | 哈爾濱清真寺 (澡堂) | | | 1 | |
| 1078 | 哈爾濱清真寺 [回教徒の祈り (二)] | | | 1 | 特大 別置 |
| 1079 | 哈爾濱清真寺内部集合写真 (一) | | | 1 | 特大 別置 |
| 1080 | 哈爾濱清真寺 [回教徒の祈り (三)] | | | 1 | 特大 別置 |
| 1081 | 哈爾濱清真寺内部集合写真 (二) | | | 1 | |
| 1082 | 哈爾濱清真寺 [回教徒の祈り (四)] | | | 1 | |
| 1083 | 哈爾濱清真寺説教壇 | | | 1 | |
| 1084 | 哈爾濱清真寺コーランのケース | | | 1 | |
| 1085 | 哈爾濱清真寺 [礼拝 (一)] | | | 1 | |
| 1086(1)(2) | 哈爾濱清真寺 [礼拝 (二)] | | | 2 | |
| 1087 | 哈爾濱清真寺ドーム (一) | | | 1 | 特大 別置 |
| 1088 | 哈爾濱清真寺ドーム (一) | | | 1 | 特大 別置 |
| 1089 | 所在地不詳の清真寺ドーム | | | 1 | 特大 別置 |
| 1090 | 所在地不詳の支那風景 | | | 1 | |
| 1091 | 張家口の羊肉老舗「清真」 | | | 1 | |
| 1092 | 大同清真寺教長 | | | 1 | |
| 1093 | 支那の回教寺院 追加分 (二、海南東三亜里) | | | 1 | |
| 1094 | 回教村落入口の門 | | | 1 | |
| | 三亜里回教寺院の遠望 | | | 1 | |
| 1095(1)(2) | 三亜里回教寺院内 | | | 2 | (1)小1枚、(2)特大 別置 |
| 1096 | 三亜里回教寺院偏額 (一) | | | 1 | |
| 1097 | 三亜里回教寺院偏額 (二) | | | 1 | |
| 1098 | 三亜里回教寺院入口編額「誠心獨一」 | | | 1 | |
| 1099 | 三亜里回教寺院内編額「開大古教」 | | | 1 | |
| 1100 | 三亜里回教寺院存置の棺正面「彫刻アセルモノニシテ底ナシ」 | | | 1 | |
| 1101 | 三亜里回教寺院存置の側面 | | | 1 | |
| 1102 | 三亜里の回教聖者の墓 (入口) | | | 1 | |
| 1103 | 三亜里回教聖者の墓室入口 | | | 1 | |
| 1104-1112 | 三亜里回教徒の墓 (一) ~ (九) | | | 9 | 各1枚 |
| 1113 | 三亜里回教徒の少女 | | | 1 | |
| 1114 | 新シキ墓ニ慟哭祈禱スル回教徒寺院女性 | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|----------------|-------------------------------|------|-----|-------|----|
| 外国風景追加分 (一) 風景 | | | | | |
| 1115 | アバタン (イラン) 遠望 | | | 1 | |
| 1116 | アンカラ (トルコ) 遠望 | | | 1 | |
| 1117 | 灯台 | | | 1 | |
| 1118 | 船着き場 | | | 1 | |
| 1119 | 家屋 | | | 1 | |
| 1120 | 家屋 | | | 1 | |
| 1121 | 広場での礼拝 | | | 1 | |
| 1122 | 街頭 (一) | | | 1 | |
| 1123 | 街頭 (二) | | | 1 | |
| 1124 | 街頭 (三) | | | 1 | |
| 1125 | 街頭 (四) | | | 1 | |
| 1126 | 街頭 (五) | | | 1 | |
| 1127 | 街頭 (六) | | | 1 | |
| 1128 | 街頭 (七) | | | 1 | |
| 建物 | | | | | |
| 1129 | イスタンブール | | | | |
| 1130 | 光塔 (15~17世紀) | | | ハガキ1枚 | |
| 1131 | サルタン・カラウンのモスクのミフラブ (カイロ・14世紀) | | | 1 | |
| 1132 | ペイト・エル・エミール屋敷の中庭 (カイロ・17世紀) | | | 1 | |
| 1133 | 建物 (一) | | | 1 | |
| 1134 | 建物 (二) | | | 1 | |
| 1135 | 建物 (三) | | | 1 | |
| 1136 | 建物 (四) | | | 1 | |
| 1137 | 建物 (五) | | | 1 | |
| 1138 | 建物 (六) | | | 1 | |
| 1139 | 建物 (七) | | | 1 | |
| 1140 | 建物 (八) | | | 1 | |
| 1141 | 建物 (九) | | | 1 | |
| 1142 | 建物 (十) | | | 1 | |
| 人物 | | | | | |
| 1143 | ユニアア女 (チュニス) | | | 1 | |
| 1144 | 幼女 | | | 1 | |
| 1145 | 三人の女性 | | | 1 | |
| 1146 | 二人の男性 | | | 1 | |
| 1147 | 少女 | | | 1 | |
| 1148 | フツカを扱う男性 | | | 1 | |
| 1149 | 帽子づくり職人 | | | 1 | |
| 1150 | 白臼を囲む三人の女性 | | | 1 | |
| 1151 | 三人の子供達 | | | 1 | |
| 遺跡 | | | | | |
| 1152 | リディア王国の首都サルド跡 (小アジア) | | | 1 | |
| 1153 | 遺跡 (一) | | | 1 | |
| 1154 | 遺跡 (二) | | | 1 | |
| 1155 | 遺跡 (三) | | | 1 | |
| 生活写真 | | | | | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|-----------------|--|------|-----|-------|----|
| 1156 | 放牧 | | | 1 | |
| 1157 | 牛耕 | | | 1 | |
| 1158 | カレーズの水汲み | | | 1 | |
| 1159 | 水汲み | | | 1 | |
| 1160 | 畑仕事 | | | 1 | |
| 工業美術 | | | | | |
| 1161 | ユテア人銅鍛冶 (チュニス) | | | 1 | |
| 1162 | 青銅の壺 | | | 1 | |
| 1163 | トルコの兜 (トルコ16~17世紀) | | | 1 | |
| 1164 | 唐草文ペルシヤ兜 (16世紀) | | | 1 | |
| 1165 | Sarcophage de Gelebi Mehmed an Mausolee vert de Bursa. (14世) | | | 1 | |
| 1166 | 不明 (一) | | | | |
| 1167 | 不明 (二) | | | | |
| 1168 | 不明 (三) | | | | |
| 外国風景追加分 (二) イラン | | | | | |
| 1169 | イランの光塔 | | | 1 | |
| 1170 | クルド人の若者 (バグダード地方) | | | 1 | |
| 1171 | クルド人労働者 (バグダード地方) | | | 1 | |
| 1172 | 中国階級の回教徒市民 (バグダード市) | | | 1 | |
| 1173 | バグダード郊外に住む貧しきアラビア人回教徒 | | | 1 | |
| 1174 | バグダード地方の回教徒婦人 | | | 1 | |
| 1175 | バグダード地方のアラビア人農耕者 [牛耕] | | | 1 | |
| 1176 | バグダード郊外の農夫 [鋸] | | | 1 | |
| 1177 | バグダード地方に於けるアラビア人の野外ダンス | | | 1 | |
| 1178 | バグダードの教団北方にあるガディマイン廟の入口 | | | 1 | |
| 1179 | バグダードの民間飛行場 | | | 1 | |
| イラク | | | | | |
| 1180 | ファイサル一世の戴冠式 | | | 1 | |
| 1181 | キルクック・ハン・グルフルの油井 | | | 1 | |
| 1182 | 雪を頂くイラクの山々 | | | 1 | |
| 1183 | 北イラク風景 (山羊の群) | | | 1 | |
| 1184 | 北イラクのクルド人音楽隊 | | | 1 | |
| 1185 | 北イラクモスル地方の少女 | | | 1 | |
| 1186 | 南イラクのアラビア人の住居 | | | 1 | |
| 1187 | 南イラクのアラビア人 | | | 1 | |
| 1188 | チグリス河で投網をするアラビア人 (イラク) | | | 1 | |
| 1189 | チグリス湖畔に住むサビ一教徒 | | | 1 | |
| 1190 | アラビア人の長老 (シリア砂漠) | | | 1 | |
| 1191 | フッカをくゆらすアラビア人回教徒 | | | 1 | |
| 1192 | ラクダに乗るアラビア砂漠の巡査 | | | 1 | |
| 1193 | 砂漠の隊商 | | | 1 | |
| 1194 | 隊商のラクダに乗るアラビア婦人 | | | 1 | |
| 1195 | 純粋種アラビア競走馬 (一) | | | 1 | |
| 1196 | 純粋種アラビア競走馬 (二) | | | 1 | |
| 東南アジア (一) | | | | | |
| 1197 | コタ・アゴンの町 | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|-----------|--------------------------------------|------|-------------------|-------|-------|
| 1198 | ガルタ (ハタビア博物館所蔵) | | | 1 | |
| 1199 | ポルワカルタの女子青年団 (ジャワ) | | | 1 | |
| 1200 | 瓜哇人の洗濯 (ジャカルタ) | | 昭和12年9月25日 | 1 | 特大 別置 |
| 1201 | 瓜哇風俗 (ハタビヤ) | | 昭和12年9月25日 | 1 | 特大 別置 |
| 1202 | 1722年独立企図の混血児エルベフェルトの曝首の門 (蘭領瓜哇ハタビヤ) | | | 1 | 特大 別置 |
| 1203 | 瓜哇青年 (ブイテンソルク植物園にて) | | 昭和12年9月9日 | 1 | 特大 別置 |
| 1204 | 瓜哇人行商人 (ジャカルタ) | | 昭和12年9月25日 | 1 | 特大 別置 |
| 1205 | コーランボの市街 (馬來セランゴール州) | | 昭和12年9月14日 | 1 | 特大 別置 |
| 東南アジア (二) | | | | | |
| 1206 | 比律賓サムボアンガ郊外回教徒モロ人の小屋 (一) | | 昭和12年10月14日 | 1 | 特大 別置 |
| 1207 | 比律賓サムボアンガ郊外回教徒モロ人の小屋 (二) | | 昭和12年10月14日 | 1 | 特大 別置 |
| 1208 | 比律賓モロ人の小舟 | | 昭和12年10月14日 | 1 | 特大 別置 |
| 印度 | | | | | |
| 1209 | 回教寺院ジャマ・マスジットを望む (ボンベイ市) | | 昭和12年8月12日 | 1 | 特大 別置 |
| 1210 | ビジャプール回教王城跡の16世紀の大砲 | | 明治40年 | 1 | 特大 別置 |
| 1211 | 回教王朝建設のスリー・ゲート (アーメダバード市) | | 昭和12年8月9日 | 1 | 特大 別置 |
| 1212 | 回教古跡シャーレム・ロジャ (アーメダバード市) | | 昭和12年8月9日 | 1 | 特大 別置 |
| 1213 | ハイテラード藩王国の兵士 | | 明治45年7月 | 1 | |
| 1214 | 印度回教徒の花嫁 (カルカッタにて) | | 明治44年12月 | 1 | 特大 別置 |
| 1215 | 回教王朝古跡コダーブ・ミナー | | 明治45年2月 | 1 | 特大 別置 |
| 1216 | 印度回教徒商人風俗 (孟買) | | | 1 | |
| 土耳其 | | | | | |
| 1217 | 独立記念塔 | | 昭和12年6月12日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1218 | イスタンブール市の旧城壁 | | 昭和12年6月12日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1219 | ガラタ橋上よりペラの回教寺院を望む (イスタンブール) | | 昭和12年6月12日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1220 | イスタンブール | | 昭和12年6月12日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| ギリシヤ | | | | | |
| 1221 | 土耳其據時代のモスク古跡 (希臘アテネ市) | | 昭和12年6月6日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| エジプト | | | | | |
| 1222 | ヘリオポリスのオベリスク (埃及) | | 昭和12年7月2日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1223 | スエズ運河西岸の村落 (埃及) | | 昭和12年7月9日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1224 | 埃及回教寺院の天井 | | 昭和12年3月21日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1225 | アズハル大学 (埃及カイロ市) | | 昭和12年6月30日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1226 | アズハル大学留学の日本人学生小林哲夫氏 | | 昭和12年6月30日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1227 | カイロ停車場の独立記念塔 (立ち入らんとするスフィンクス) | | 昭和12年7月2日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|----------------|--------------------------------|------|-------------------|-------|-------|
| 1228 | エジプト名産金属細工人 (埃及カイロ市) | | 昭和12年6月30日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1229 | 埃及カイロ市符臼市街商業区 | | 昭和12年6月30日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1230 | ハッサム回教寺院の内部 (埃及カイロ市) | | 昭和12年3月21日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1231 | 埃及カイロ市廣告風景 (一) | | 昭和12年6月30日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1232 | 埃及カイロ市廣告風景 (二) | | 昭和12年6月30日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1233 | カイロ市城塞より市街展望 | | 昭和12年3月31日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1234 | 埃及カイロ市城塞 | | 昭和12年3月21日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1235 | ポートサイドの海岸町 | | 昭和12年3月22日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| レバノン | | | | | |
| 1236 | レバノン山より市街を見る (レバノン共和国ベイルート) | | 昭和12年6月16日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1237 | ベールート商業区 (レバノン共和国) | | 昭和12年6月17日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| パレスチナ | | | | | |
| 1238 | ハイファの港景 (パレスタイン・カルメン山上より) | | 昭和12年6月20日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1239 | ハイファ市街 (パレスタイン・カルメン山上より) | | 昭和12年6月20日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1240 | アラビア人バザー付近 (パレスタイン・ハイア市) | | 昭和12年6月20日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1241 | 回教寺オマール・モスク (パレスタイン・エルサレムの神殿跡) | | 昭和12年6月23日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1242 | ベツレヘム近郊ラケルの墓 (パレスタイン) | | 昭和12年6月23日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1243 | オマール・モスク城内の雨水井戸 (パレスタインエルサレム) | | 昭和12年6月23日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1244 | ハイファ市の海岸新大通 (パレスタイン) | | 昭和12年6月20日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1245 | ハイファ停車場 (パレスタイン) | | 昭和12年6月21日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1246 | ジャッハ門 (パレスタイン・エルサレム) | | 昭和12年6月23日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 1247 | ヴィア・ド・ロロサ (十字架の首) パレスタイン・エルサレム | | 昭和12年6月23日仁丹出張員撮影 | 1 | 特大 別置 |
| 不詳 1248 ~ 1249 | | | | | |
| 1248 | 獨逸軍の行事 (トルコか?) | | | 1 | |
| 1249 | 病院の開院式 (人物不詳・於トルコか?) | | | 1 | |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|-----------|---|-----------------------|--|---|-------|
| | 三田了一氏サウジアラビア行記念送別会関係写真 1250 ~ 1253 | | 昭和37年11月23日 午後・山路撮影 | | |
| 1250 | 送別会会場 (一) [斎藤積平・三田了一・松本亮・クルバンガリー夫人各氏] | 代々木回教学校三階にて | | 1 | |
| 1251 | 送別会会場 (二) [斎藤積平・三田了一・クルバンガリー夫人各氏] | 代々木回教学校三階にて | | 1 | |
| 1252 | 送別会後屋外にて (一) [三田了一他アラブ連合留學生三名] | 代々木礼拝堂 | | 1 | |
| 1253 | オナム・クルスム・クルバンガリー (ム・ガ・クルバンガリー氏夫人) 不明な写真 | 送別会後代々木礼拝堂横にて | | 1 | |
| 1254-1256 | 大日本回教協会関係の会合か？ | | | 1 | |
| 1257 | 東京回教学校の生徒関係者の会合か？ | | | 1 | |
| 1258-1262 | [グラフ]作成に使用したと思われる不明な写真 イブラヒーム翁関係写真帖 | | | 1 | |
| 1263 | イブラヒーム翁長寿祝賀会写真帖 | | 昭和19年5月19日撮 影 | 映画配 給社寄 贈41齣1 冊 | |
| 1264 | イブラヒーム翁平愈祈念式写真帖 | | 昭和19年8月11日撮 影 | 映画配 給社寄 贈26齣1 冊 | |
| 1265 | イブラヒーム翁葬儀写真帖 | | 昭和19年9月2日 | 参謀本 部寄贈 26枚1冊 | |
| 1266 | イブラヒーム翁葬儀及ラマザン祭写真帖 [イブラヒーム葬儀] | | 昭和19年9月2日・19 日光墨弘撮影 昭和19年9月2日・19 日光墨弘撮影 | 映画配 給社寄 贈1冊 第1~6・ 12齣 第7~ 11・13~ 24齣 | |
| 1267 | [ラマザン祭り] | | 昭和19年9月19日 | 映画配 給社寄 贈14齣1 冊 | |
| 1268 | イブラヒーム翁40日祭及追悼会写真帖 モロ族留學生写真帖 [ママ・シンスアット] [アブバカル] | 本協会及び礼拝堂 広島 本協会 | 昭和19年7月光墨弘 撮影 | 映画配 給社寄 贈1冊 第1~13 齣 第14~ 34齣 第35~ 37齣 | |
| 1269 | [ガニ・マウラナスゴ・バーム] 不明な写真 (研精社設計思考)旧満州か？ アルハム | | | 1枚 | 特大 別置 |
| 1270-1272 | 回教徒東京来遊写真帖 | | | | 同一3部 |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|------------------------|---|------|----------------------------|----------------------|-------|
| | 不詳な大判写真 | | | | |
| 1273 | 外国風景(一) | | | 1 | 特大別置 |
| 1274 | 外国風景(二) | | | 1 | |
| 1275 | アラビア人(一) | | | 1 | 特大別置 |
| 1276 | アラビア人(二) | | | 1 | 印刷物 |
| 1277 | アラビア人(三) | | | 1 | |
| | その他一枚物・軸物 | | | | |
| 1278 | イスラム絵画印刷物(人面馬身クジャク翼) | | | 1 | |
| 1279 | 地図 | | | 1 | |
| 1280 | 河北省保定道回教連合大会スローガン印刷物 [諸位・們知道・?唯是伊奇 欺蘭宗教・它是開天的古教] | | | 1 | |
| 1281 | 河北省保定道回教連合大会スローガン印刷物 [諸君・們知道・?唯是伊欺 蘭教是亘古敵宗教] | | | 1 | |
| 1282 | 河北省保定道回教連合大会スローガン印刷物 [反對伊欺蘭字教者・是伊欺 欄教明頭仇敵] | | | 1 | |
| 1283 | イスラム書道軸物(中国製) | | | 1 | |
| 1284 | イスラム書道軸物 縦書大字(歙福壽畫回南山之印の印記) | | | 1 | |
| 1285 | イスラム書道軸物 横書小字 | | | 1 | |
| 1286 | イスラム書道軸物 裝飾意匠大軸 | | | 1軸 3軸 | |
| | 乾板保存分 | | | | |
| NF1(a)(b)~ 10(a)(b) | 第5回メッカ巡礼関係者 1:榎本桃太郎(若林半著「回教世界と日本」より転写) 2:木鈴(鈴木か?)剛(若林半著「回教世界と日本」より転写) 3:イブン・サウド王 [サウジアラビア元首] (若林半著「回教世界と日本」 より転写) 4:若林九満(若林半著「回教世界と日本」より転写) 5:アブドール・スレイマン蔵相兼国防相 6:植原愛算 7:群正之 8:若林半 [遠山満の社員] 9:細川将 10:未詳 軍人会館にて歓芸会 11:舞踏浦島 [花柳某] 12:長唄朝猿 13~14:観衆 | | | (a)10 (b)10大 判 | |
| NF11~14 | | | 昭和14年10月31日 昭和13年11月29日 | 4 | |
| NF15~22 | フセイン殿下サヨナラ会 15~16:フセイン殿下挨拶 [通訳/川崎寅雄氏] 17:林銑十郎会長挨拶 18:フセイン殿下とイスマイル氏 19:林銑十郎会長挨拶 20:殿下及ギブジニー大臣を囲んだ集合写真 21:殿下を囲む回教徒 | | 昭和13年12月2日 | 5 | 帝国ホテル |

| 通番 | 標題 | 撮影場所 | 撮影日 | 数量(枚) | 備考 |
|---------|---|-------|------------|-------|----|
| NF23 | 22:殿下とイスマイル氏 | | 昭和13年12月4日 | 1 | |
| NF24~27 | 某家へ招待を受けたフセイン殿下 西南亜細亜事情大講演会 | 共立講堂 | 昭和13年12月5日 | 4 | |
| NF28~30 | 25:林銑十郎会長の講演「西南亜細亜」と「回教問題」 訪日蒙疆回教視察団 | 水交社 | 昭和14年4月30日 | 3 | |
| | 28:歡迎会小笠原長生氏挨拶 | 水交社 | | | |
| | 29:視察団代表の挨拶 | 水交社 | | | |
| NF31~32 | 30:明治記念聖徳繪画館に於ける訪日視察団 東京イスラム回教団祝賀会 | 上野精養軒 | 昭和15年1月23日 | 2 | |
| | 31:イブラヒム氏挨拶 | | | | |
| NF33~41 | 32:匝噠胤次氏挨拶 日本イエーメン協会発会式 | 軍人会館 | 昭和15年3月11日 | 9 | |
| | 33~35:林銑十郎会長挨拶 | | | | |
| | 36~37:小笠原長生氏挨拶 | | | | |
| | 38:ギブジー大臣挨拶 | | | | |
| | 39~40:不詳 | | | | |
| NF42~43 | 41:発会式後の晩餐会 | | | | |
| NF44 | モフシン氏(トルコ人)結婚披露宴 | 赤坂某料亭 | 昭和15年12月7日 | 2 | |
| NF45 | 戦捷祝賀会のイスラム教団席 | 日比谷公園 | 昭和17年2月18日 | 1 | |
| NF46~47 | 帝国図書館蔵大宗嘉定十年識語ペルシヤ文 大日本回教協会出版物書影 | | | 1 | |
| | 46:「回教世界」第1巻第9号 | | | 2 | |
| | 47:「大日本回教協会に就ての問答」・「大日本回教協会の使命に就て」・ 回教最古の王国イエーメン国王子との談話」・「苦惱するソ連回教民族」・「防 共鉄壁構成と回教徒」 | | | | |
| NF48~51 | イスラム教・大日本回教協会に關係ない写真 | | | 4 | |
| NF52~64 | 広東回教礼拝堂ほか13齣 | | | 4 | |

大日本回教協会寄託資料（イスラム文庫）
（段ボール箱番号と封筒番号の対応表）

<箱番号>

目録*整理済み資料

- <1> 1-99
- <2> 100-149
- <3> 150-199
- <4> 200-299
- <5> 300-399
- <6> 400-478 (+498) ※479-497 まで資料なし
- <7> 写真資料(大日本回教協会関係写真資料)
- <8> 写真資料(同上)

目録*仮整理資料

- <9> 1-8
- <10> 9-70
- <11> 11-183
- <12> 目録カード・写真アルバム・乾版・その他
- <13> 184-210
- <14> 211-243
- <15> 244-283
- <16> 284-446
- <17> 447-518 (489・490・491 は軸物で箱外)
- <18> 489・490
- <19> 491
- <20> 519-538
- <21> 539-558
- <22> 559-572
- <23> 573-599
- <24> 600-603
- <25> 604

回教世界・収録論文一覧

| タイトル | 著者名 | 雑誌名 | 巻・号 | 年・月 |
|---------------------|--------------|------|---------|---------|
| 回教の王都カイロ新生譜 | 川崎寅雄 | 回教世界 | 第一巻・第一号 | 1939・4 |
| 聖地メッカ巡礼(1) | 鈴木剛 | 回教世界 | 第一巻・第一号 | 1939・4 |
| アル・イバーダ | 藤尾純二 | 回教世界 | 第一巻・第一号 | 1939・4 |
| 波斯語に現れる土耳其語に就いて | 八木亀太郎 | 回教世界 | 第一巻・第二号 | 1939・5 |
| ソ連領トランスコーカシア | テイル | 回教世界 | 第一巻・第二号 | 1939・5 |
| 鸚鵡物語 | 矢口本丸 | 回教世界 | 第一巻・第二号 | 1939・5 |
| 仏領モロッコの反乱性格 | 川崎寅雄 | 回教世界 | 第一巻・第二号 | 1939・5 |
| 聖地メッカ巡礼(2) | 鈴木剛 | 回教世界 | 第一巻・第二号 | 1939・5 |
| 日本と回教との関係 | 匠瑤鳳次 | 回教世界 | 第一巻・第三号 | 1939・6 |
| 聖地メッカ巡礼(3) | 鈴木剛 | 回教世界 | 第一巻・第三号 | 1939・6 |
| 殉教の地マシハツドの展望 | 井上英二 | 回教世界 | 第一巻・第三号 | 1939・6 |
| 鸚鵡物語(2) | 矢口本丸 | 回教世界 | 第一巻・第三号 | 1939・6 |
| 蘇国における回教の運命 | エヌ・モーブロフ | 回教世界 | 第一巻・第四号 | 1939・7 |
| 新中国再建設における回教の重要性 | 伯言 | 回教世界 | 第一巻・第四号 | 1939・7 |
| 聖地メッカ巡礼(4) | 鈴木剛 | 回教世界 | 第一巻・第四号 | 1939・7 |
| 鸚鵡物語(3) | 矢口本丸 | 回教世界 | 第一巻・第四号 | 1939・7 |
| ロシア歴史における回教民族の位置(1) | 原道次 | 回教世界 | 第一巻・第五号 | 1939・8 |
| 日本精神と回教 | 原正男 | 回教世界 | 第一巻・第五号 | 1939・8 |
| 聖地メッカ巡礼(5) | 鈴木剛 | 回教世界 | 第一巻・第五号 | 1939・8 |
| 鸚鵡物語(4) | 矢口本丸 | 回教世界 | 第一巻・第五号 | 1939・8 |
| 回教の教義 | 石井道夫 | 回教世界 | 第一巻・第六号 | 1939・9 |
| 哈密變乱始末記 | 吳藹宸 | 回教世界 | 第一巻・第六号 | 1939・9 |
| ロシア歴史における回教民族の位置(2) | 原道夫 | 回教世界 | 第一巻・第六号 | 1939・9 |
| 聖地メッカ巡礼(6) | 鈴木剛 | 回教世界 | 第一巻・第六号 | 1939・9 |
| ブハリとムスリム | 池田忠 | 回教世界 | 第一巻・第六号 | 1939・9 |
| 西亜・欧・阿を旅して | 鶴岡千仞 | 回教世界 | 第一巻・第六号 | 1939・9 |
| 欧州戦乱と回教圏の動向 | 匠瑤鳳次 | 回教世界 | 第一巻・第七号 | 1939・10 |
| 目覚めつつあるイスラム女性 | 石井道夫 | 回教世界 | 第一巻・第七号 | 1939・10 |
| 東トルケスタン共和国始末記 | 吳藹宸 | 回教世界 | 第一巻・第七号 | 1939・10 |
| ロシア人の回教観 | 原道夫 | 回教世界 | 第一巻・第七号 | 1939・10 |
| 復興イラン、アフガニスタン | プロツケルマン/ムイア | 回教世界 | 第一巻・第七号 | 1939・10 |
| 南海寄譚 | 清瀬誠一 | 回教世界 | 第一巻・第七号 | 1939・10 |
| 鸚鵡物語 | 矢口本丸 | 回教世界 | 第一巻・第七号 | 1939・10 |
| 聖地メッカ巡礼 | 鈴木剛 | 回教世界 | 第一巻・第七号 | 1939・10 |
| 汎回主義の過去と将来 | 今泉廉 | 回教世界 | 第一巻・第八号 | 1939・11 |
| 支那近代の回教徒 | 石井道夫 | 回教世界 | 第一巻・第八号 | 1939・11 |
| 南海島の回教徒 | 中山一三 | 回教世界 | 第一巻・第八号 | 1939・11 |
| アラビア各国の覚醒 | プロツケルマン/ムイア | 回教世界 | 第一巻・第八号 | 1939・11 |
| アラビア縦断記 | 中野英治郎 | 回教世界 | 第一巻・第八号 | 1939・11 |
| 聖地メッカ巡礼(8) | 鈴木剛 | 回教世界 | 第一巻・第八号 | 1939・11 |
| 支那西北回教徒の共産化 | ラシード・ジャハーン | 回教世界 | 第一巻・第九号 | 1939・12 |
| インドネシア回教序説 | 高村東介 | 回教世界 | 第一巻・第九号 | 1939・12 |
| ソ連領内の回教徒 | 木橋綾 | 回教世界 | 第一巻・第九号 | 1939・12 |
| アラビア各国の覚醒(2) | プロツケルマン教授 | 回教世界 | 第一巻・第九号 | 1939・12 |
| 英国のパレスチナ貴族操縦策 | G・ヴイルシング | 回教世界 | 第一巻・第九号 | 1939・12 |
| 若き回教女性の手紙 | R・A・カルティニー | 回教世界 | 第一巻・第九号 | 1939・12 |
| 寄譚…印度・支那見聞記 | 清瀬誠一 | 回教世界 | 第一巻・第九号 | 1939・12 |
| 回教の将来 | 高山浩 | 回教世界 | 第二巻・第一号 | 1940・1 |
| 国際総力戦間における回教 | 寺田彌吉 | 回教世界 | 第二巻・第一号 | 1940・1 |
| 欧州戦乱とトルコの立場 | フィリップ・アイルランド | 回教世界 | 第二巻・第一号 | 1940・1 |
| ソ連領内の回教徒(2) | 木橋綾 | 回教世界 | 第二巻・第一号 | 1940・1 |
| イラク建国の経緯 | カール・プロツケルマン | 回教世界 | 第二巻・第一号 | 1940・1 |
| アラビア横断記(2) | 中野英治郎 | 回教世界 | 第二巻・第一号 | 1940・1 |
| 聖地メッカ巡礼(9) | 鈴木剛 | 回教世界 | 第二巻・第一号 | 1940・1 |

| | | | |
|-----------------|------------------|-------------|--------|
| 若き回教女性の手紙(2) | R・A・カルテイニー | 回教世界第二巻・第一号 | 1940・1 |
| 回教教国の発達 | 大川周明 | 回教世界第二巻・第二号 | 1940・2 |
| 蘭領印度民衆の動向 | G・H・ブーケ/竹井十郎 | 回教世界第二巻・第二号 | 1940・2 |
| 回教徒の食物に関する戒律 | 三谷亨 | 回教世界第二巻・第二号 | 1940・2 |
| 回教圏諸国の計画経済と石油問題 | J・ハンス | 回教世界第二巻・第二号 | 1940・2 |
| ソ連領内の回教徒(3) | 木橋綾 | 回教世界第二巻・第二号 | 1940・2 |
| アラビア独立の経緯 | カール・ブロッケルマン | 回教世界第二巻・第二号 | 1940・2 |
| 若き回教女性の手紙(3) | R・A・カルテイニー | 回教世界第二巻・第二号 | 1940・2 |
| 聖地メッカ巡礼(10) | 鈴木剛 | 回教世界第二巻・第二号 | 1940・2 |
| 欧州動乱に封する回教圏の背景 | 笹間果雄 | 回教世界第二巻・第三号 | 1940・3 |
| 回教圏における列強の角逐 | 花岡止郎 | 回教世界第二巻・第三号 | 1940・3 |
| 新興トルコの諸断面 | 寺島廣文 | 回教世界第二巻・第三号 | 1940・3 |
| 回教教国の発達(完) | 大川周明 | 回教世界第二巻・第三号 | 1940・3 |
| 東印度とイスラム | 竹井十郎 | 回教世界第二巻・第三号 | 1940・3 |
| デヴィッシュ僧團の研究 | 尾崎誠一 | 回教世界第二巻・第三号 | 1940・3 |
| 聖地メッカ巡礼(11) | 鈴木剛 | 回教世界第二巻・第三号 | 1940・3 |
| アラビア横断記(3) | 中野英治郎 | 回教世界第二巻・第三号 | 1940・3 |
| 回教法学の発達 | 大川周明 | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| 国際文化戦上における回教層 | 寺田彌吉 | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| 欧州戦乱と近東・中東 | ツルダル・イクバル・アリ・シャー | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| | ソニア・トマラ | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| ソ連領内の回教徒(完) | 木橋綾 | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| イエーメン入国記 | ヒュー・スコット | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| アラビア横断記(3) | 中野英治郎 | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| 聖地メッカ巡礼(12) | 鈴木剛 | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| 韋駄天アラビア語 | 菊池慧一郎 | 回教世界第二巻・第四号 | 1940・4 |
| 蘭印の過去と現在 | 田中肇 | 回教世界第二巻・第五号 | 1940・5 |
| 列強の回教圏闘争 | 寺田彌吉 | 回教世界第二巻・第五号 | 1940・5 |
| 回教圏の両軍陣容 | ポールドウイン/サルズバーガ- | 回教世界第二巻・第五号 | 1940・5 |
| 波斯繪書の成立について | 森田亀之助 | 回教世界第二巻・第五号 | 1940・5 |
| 回教法学の発達(完) | 大川周明 | 回教世界第二巻・第五号 | 1940・5 |
| イエーメン入国記(完) | ヒュー・スコット | 回教世界第二巻・第五号 | 1940・5 |
| 若き回教女性の手紙(4) | カルテイニー | 回教世界第二巻・第五号 | 1940・5 |
| 聖地メッカ巡礼(13) | 鈴木剛 | 回教世界第二巻・第五号 | 1940・5 |
| 蘭印の民族運動 | 田中肇 | 回教世界第二巻・第六号 | 1940・6 |
| 蘭印人の日本観 | アクマツ・カスマツ | 回教世界第二巻・第六号 | 1940・6 |
| 列強の回教圏闘争(2) | アブドルカハル・ムダキル | 回教世界第二巻・第六号 | 1940・6 |
| ワハーブの生涯とワハビ派 | 寺田彌吉 | 回教世界第二巻・第六号 | 1940・6 |
| 若き回教女性の手紙(5) | 中野英治郎 | 回教世界第二巻・第六号 | 1940・6 |
| 聖地メッカ巡礼(14) | カルテイニー | 回教世界第二巻・第六号 | 1940・6 |
| 韋駄天アラビア語 | 鈴木剛 | 回教世界第二巻・第六号 | 1940・6 |
| 英国支配下の埃及 | 菊池慧一郎 | 回教世界第二巻・第六号 | 1940・6 |
| イエーメン国境の監と石油 | ブロッケルマン | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| 列強の回教圏闘争(完) | J・クンスト | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| デヴィッシュ僧團の研究(完) | 寺田彌吉 | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| 波斯繪書の成立について(完) | 尾崎誠一 | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| アラビア横断記(5) | 森田亀之助 | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| 若き回教女性の手紙(終) | 中野英治郎 | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| 聖地メッカ巡礼(完) | A・カルテイニー | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| 韋駄天アラビア語 | 鈴木剛 | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| 抗戦下支那回教徒の動向 | 菊池慧一郎 | 回教世界第二巻・第七号 | 1940・7 |
| アフガニスタンの回教 | 馬淵修 | 回教世界第二巻・第八号 | 1940・8 |
| 蘭印の資源と経済 | 小川亮作 | 回教世界第二巻・第八号 | 1940・8 |
| 支那に関するアラビアの記録 | 田中肇 | 回教世界第二巻・第八号 | 1940・8 |
| アラビア横断記(6) | 石田幹之助 | 回教世界第二巻・第八号 | 1940・8 |
| 回教系窯技の今昔 | 中野英治郎 | 回教世界第二巻・第八号 | 1940・8 |
| | 藍田力蔵 | 回教世界第二巻・第八号 | 1940・8 |

| | | | |
|----------------|--------------|-------------|---------|
| 英領マレーの過去と現在 | 田中肇 | 回教世界第三巻・第四号 | 1941・4 |
| イランの石油と英国 | ナハイ | 回教世界第三巻・第四号 | 1941・4 |
| 中国の回教民族 | 白今愚 | 回教世界第三巻・第四号 | 1941・4 |
| 新疆独立戦の回顧 | 脇阪利徳 | 回教世界第三巻・第四号 | 1941・4 |
| 印度回教徒説話集 | 吉原公平 | 回教世界第三巻・第四号 | 1941・4 |
| 蘇領中亜潜入記 | グスタフ・クリスト | 回教世界第三巻・第四号 | 1941・4 |
| 蘭印の回教教義(回教講座) | スツテルハイム | 回教世界第三巻・第四号 | 1941・4 |
| 千一夜解説講評 | 菊池慧一郎 | 回教世界第三巻・第四号 | 1941・4 |
| 回教の衰退と覚醒 | ザキ・アリ | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| 紅海における英国の勢力 | 出口荘一 | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| 西南亜細亜の交通運輸 | フィリップ・アイルランド | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| 英国のエジプト政策 | パウル・シュミッツ | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| ソ連の中央亜細亜政策 | 木橋綾 | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| 新疆独立戦の回顧 | 脇阪利徳 | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| 印度回教徒説話集 | 吉原公平 | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| 蘇領中亜潜入記 | グスタフ・クリスト | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| 回教信仰教義(回教講座) | スツテルハイム | 回教世界第三巻・第五号 | 1941・5 |
| アラビア文化の特質 | V・エンゲルハルト | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| 峰密栄子の回回族 | 大山彦一 | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| 英国のエジプト政策 | パウル・シュミッツ | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| ソ連の中央亜細亜政策 | 木橋綾 | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| 高加策と烏拉蘭に関する?説 | 外山高一 | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| 新疆独立戦の回顧 | 脇阪利徳 | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| 印度回教徒説話集 | 吉原公平 | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| 蘇領中亜潜入記 | グスタフ・クリスト | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| 神秘主義(回教講座) | スツテルハイム | 回教世界第三巻・第六号 | 1941・6 |
| 印度教徒と回教徒の相克 | 加藤長雄 | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| 聖地メッカに立ち往生の蘭印人 | 竹井十郎 | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| イラクの紛争 | N・セルゲーエフ | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| 回教の先見者 田中逸平 | 加藤久 | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| ソ連の中央亜細亜政策 | 木橋綾 | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| 英国のエジプト政策 | パウル・シュミッツ | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| 印度回教徒説話集 | 吉原公平 | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| 英領中亜潜入記 | グスタフ・クリスト | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| アレキサンドリアの回想 | 中野英治郎 | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| タラファの『駱駝讃歌』 | 石田毅文 | 回教世界第三巻・第七号 | 1941・7 |
| 基督教徒と回教徒の相克 | ルトフイ・レヴオニアン | 回教世界第三巻・第八号 | 1941・8 |
| 獨ソ開戦とソ連回教徒 | 木橋綾 | 回教世界第三巻・第八号 | 1941・8 |
| 蘭印の巡礼海運商事会社 | 竹井十郎 | 回教世界第三巻・第八号 | 1941・8 |
| 英国のエジプト政策 | パウル・シュミッツ | 回教世界第三巻・第八号 | 1941・8 |
| 十六世紀以来のペルシャ湾 | 原田耕三 | 回教世界第三巻・第八号 | 1941・8 |
| スメルの日的女神 | ジョーン・オニール | 回教世界第三巻・第八号 | 1941・8 |
| 印度回教徒説話集 | 吉原公平 | 回教世界第三巻・第八号 | 1941・8 |
| 蘭領中亜潜入記 | グスタフ・クリスト | 回教世界第三巻・第八号 | 1941・8 |
| 露西亜国土の運命と其回教圏 | 原道次 | 回教世界第三巻・第九号 | 1941・9 |
| イランにおける英米ソの関係 | 原田耕三 | 回教世界第三巻・第九号 | 1941・9 |
| ペルシャ興亡の跡 | パーシー・サイクス | 回教世界第三巻・第九号 | 1941・9 |
| 英国のパレスチナ統治 | ゲルト・ヴィンシュ | 回教世界第三巻・第九号 | 1941・9 |
| 印度回教徒説話集 | 吉原公平 | 回教世界第三巻・第九号 | 1941・9 |
| 蘇領中亜潜入記 | グスタフ・クリスト | 回教世界第三巻・第九号 | 1941・9 |
| 駱駝讃歌購読 | 石田毅文 | 回教世界第三巻・第九号 | 1941・9 |
| 西欧中世紀とアラビア文化 | 森口多里 | 回教世界第三巻・第十号 | 1941・10 |
| アラビア人と科学 | 水町京太郎 | 回教世界第三巻・第十号 | 1941・10 |
| イラン国前帝レザ・ハン | 中山詳一 | 回教世界第三巻・第十号 | 1941・10 |
| ペルシャ興亡の跡 | パーシー・サイクス | 回教世界第三巻・第十号 | 1941・10 |
| 英国のパレスチナ統治 | 中野英治郎 | 回教世界第三巻・第十号 | 1941・10 |
| 回教徒の飲食 | 揚鳳岐 | 回教世界第三巻・第十号 | 1941・10 |

回教圏・収録論文一覧

| タイトル | 著者名 | 雑誌名 | 巻・号 | 年・月 |
|-------------------------------|-------------------------|-----|-------------|---------|
| パーキスターンについて | B・R・ブラサド | 回教圏 | 第八卷・第三号 | 1944・4 |
| イスラームの政治的發展 | C・S・ヒュルフロニユ | 回教圏 | 第七卷・第八号 | 1943・8 |
| 蘭領東印度の回教 | C・S・ヒュルフロニユ | 回教圏 | 第五卷・第六号 | 1941・6 |
| 黒人社会の家族経済 | D・M・ザヴィノー | 回教圏 | 第五卷・第七号 | 1941・1 |
| ラント・ウツ・ティーンの生涯と著作 | E・G・プラウン | 回教圏 | 第六卷・第八号 | 1942・7 |
| イランにおけるドイツの政策 | F. テーラー | 回教圏 | 第四卷・第一号 | 1940・8 |
| イタリヤ植民帝国の土民政策 | H・ミュラー | 回教圏 | 第四卷・第一号 | 1940・1 |
| ファシスト・イタリヤ植民政策における土着民族の處理について | H・ミュラー | 回教圏 | 第五卷・第九号 | 1941・9 |
| 回教圏の経済的現勢 | J. ハンス | 回教圏 | 第二卷・第五号 | 1939・5 |
| イギリス領アフリカ植民地管見 | J・H・ジャクソン | 回教圏 | 第三卷・第六号 | 1939・12 |
| フランス領植民地管見 | J・H・ジャクソン | 回教圏 | 第三卷・第一号 | 1939・7 |
| 回教の歴史的意義 | K・P・ドプロリュエスキイ | 回教圏 | 第四卷・第五号 | 1940・5 |
| 回教発生の新研究 | K・P・ドプロリュエスキイ | 回教圏 | 第八卷・第五号 | 1944・6 |
| イランの回教建築 | M・B・スミス/K・T・スミス | 回教圏 | 第三卷・第一号 | 1939・7 |
| 回教法—その概念と学派— | S・ヴェスイ=フィッツゼラルド | 回教圏 | 第五卷・第三号 | 1941・3 |
| チェルカスキー公のヒワ遠征 | V. イレリッキ | 回教圏 | 第五卷・第五号 | 1941・5 |
| 中国回教徒の牙城 | Y・P・梅 | 回教圏 | 第五卷・第三号 | 1941・3 |
| アリシエル・ナヴゴイ | A・カ・ポロフコフ | 回教圏 | 第八卷・第一号 | 1944・1 |
| 革命前のタゲスタンにおける土地関係序説 | A・ピルゼ | 回教圏 | 第四卷・第四号 | 1940・4 |
| 回教徒とボルシェヴィスム | A・ベルグラン | 回教圏 | 第三卷・第四号 | 1939・8 |
| 回教文化協力論 | Aー・エム・グワシヨシ | 回教圏 | 第二卷・第一号 | 1939・1 |
| 回教の動物学ならびに博物学的貢献 | アイジャズ・ムハママッド・ハーン・マスフワニイ | 回教圏 | 第二卷・第二・三・四号 | 1939・3 |
| トルコ史学会の考古学的活動 | アフエツ | 回教圏 | 第三卷・第三号 | 1939・10 |
| マレイ語の近代詩における回教精神 | アブヅル・ハシユミイ | 回教圏 | 第六卷・第七号 | 1942・3 |
| 回教教育の歴史 | アブドウル・ハック | 回教圏 | 第六卷・第七号 | 1942・7 |
| 生みの言葉(詩) | アブドウルラー・トカイ | 回教圏 | 第七卷・第五号 | 1943・5 |
| マレイ語よりインドネシア語へ | 新川三郎 | 回教圏 | 第六卷・第五号 | 1942・3 |
| 一粒の胡麻 | 荒川忠明 | 回教圏 | 第五卷・第五号 | 1939・5 |
| アンカラの都市建設 | アルフレート・クーダ | 回教圏 | 第五卷・第六号 | 1941・2 |
| 回教と経済 | アルフレート・リュール | 回教圏 | 第五卷・第六号 | 1941・6 |
| 今日のアフガニスタン | アルフレッド・ハドソン/エリザベス・ペーコーン | 回教圏 | 第四卷・第四号 | 1940・4 |
| フランス領北アフリカの動勢と人民戦線政府 | イ・プレブスター | 回教圏 | 第三卷・第二号 | 1939・8 |
| 20年間のアラビア学—ソ連学会報告— | イ・ユ・クラチコフスキ | 回教圏 | 第七卷・第十一号 | 1943・12 |
| スペインにおけるアラビア文化 | イ・ユ・クラチコフスキ | 回教圏 | 第六卷・第三号 | 1942・3 |
| アゼルバイジャンの古典ニザミ | イェ・エ・ベルチエリス | 回教圏 | 第八卷・第八号 | 1944・10 |
| ニザミとその研究 | イェ・エ・ベルチエリス | 回教圏 | 第八卷・第八号 | 1944・3 |
| 秘密の宝庫—ニザミ作品— | イェ・エ・ベルチエリス | 回教圏 | 第八卷・第二号 | 1944・12 |
| イブン・ハルドゥーンの歴史・社会学説について | イェ・ペリアエフ | 回教圏 | 第四卷・第九号 | 1940・10 |
| ヨーロッパ回教の潮流 | イェ・ペリアエフ | 回教圏 | 第六卷・第十号 | 1942・3 |
| ウイットフォーゲル『東洋的社会的の理論』(近刊紹介) | 幾志直方 | 回教圏 | 第二卷・第六号 | 1939・6 |

回教圏・収録論文一覧

| | | | |
|------------------------------|-----|------------------|---------|
| 回教の断食について | 回教圏 | 第九号 | 1940・9 |
| ケブラ | 回教圏 | 第一卷・第二号 | 1938・8 |
| ケメル・アタチュルクの死を悼む | 回教圏 | 第一卷・第六号 | 1938・12 |
| 皇紀2600年を迎ふ(巻頭言) | 回教圏 | 第四卷・第七号 | 1940・1 |
| 国府政局におけるトルコの地位 | 回教圏 | 第八卷・第四号 | 1944・7 |
| サカリカの会戦 | 回教圏 | 第一卷・第一号 | 1938・10 |
| サンジャック問題 | 回教圏 | 第三卷・第一号 | 1938・7 |
| 支那回教諸君に告ぐ | 回教圏 | 第二卷・第一号 | 1939・7 |
| 支那回教余談 | 回教圏 | 第七卷・第十一号 | 1939・1 |
| 新月旗 | 回教圏 | 第一卷・第四号 | 1943・11 |
| 新月旗縁起 | 回教圏 | 第一卷・第四号 | 1938・10 |
| 聖戦 | 回教圏 | 第六卷・第一号 | 1938・10 |
| 大東亞戦争と回教圏 | 回教圏 | 第二卷・第五号 | 1942・1 |
| タフシール | 回教圏 | 第五卷・第一号 | 1939・5 |
| デニス・ロス教授を憶ふ | 回教圏 | 第二卷・第一号 | 1941・1 |
| トルコおよび近東の皆さまへ | 回教圏 | 第二卷・第四号 | 1939・4 |
| トルコ共和国宣言15年祭への祝辞 | 回教圏 | 第一卷・第五号 | 1938・11 |
| トルコ更生の意義 | 回教圏 | 第一卷・第五号 | 1938・11 |
| トルコの近代化運動 | 回教圏 | 第一卷・第五号 | 1938・11 |
| 奈良朝文化管見 | 回教圏 | 第七卷・第二号 | 1938・8 |
| 日本と回教圏—日本を識らんとするトルコ— | 回教圏 | 第七卷・第二号 | 1938・8 |
| 猫—トルコにある一つの風景— | 回教圏 | 第一卷・第九号 | 1943・9 |
| バルカン回教圏の地域性 | 回教圏 | 第五卷・第三号 | 1938・9 |
| 邦訳コーラン | 回教圏 | 第五卷・第五号(～第八卷第九号) | 1941・5 |
| 緑のブルサ—新トルコ風土記— | 回教圏 | 第一卷・第三号 | 1938・9 |
| アルラフ | 回教圏 | 第二卷・第四号 | 1939・4 |
| 回教徒の新年—新年号に寄せて— | 回教圏 | 第二卷・第一号 | 1939・1 |
| 回教読本 | 回教圏 | 第二卷・第四号 | 1939・4 |
| カダル | 回教圏 | 第一卷・第六号 | 1938・12 |
| コーラン アル・アスル—第103章— | 回教圏 | 第一卷・第六号 | 1938・9 |
| コーラン アル・アディヤト—第100章— | 回教圏 | 第一卷・第六号 | 1938・10 |
| コーラン アル・ファラク—第113章— | 回教圏 | 第二卷・第一号 | 1939・1 |
| コーラン 一章(アル・イフラーズ)—第112章— | 回教圏 | 第一卷・第二号 | 1938・8 |
| コーラン 序章(アル・ファティフ) | 回教圏 | 第一卷・第一号 | 1938・7 |
| コーラン 第二章 | 回教圏 | 第一卷・第五号 | 1938・11 |
| 礼拝の型 | 回教圏 | 第七卷・第六号 | 1938・12 |
| シリアの人々 | 回教圏 | 第五卷・第六号 | 1943・1 |
| トルコの経済的地位 | 回教圏 | 第五卷・第六号 | 1941・6 |
| アフドゥル・ラーマン三世について | 回教圏 | 第二卷・第一号 | 1939・1 |
| シシリー島に観る回教徒・基督教徒の交渉 | 回教圏 | 第四卷・第十号 | 1940・10 |
| ツール・ポアチエ—戦の展望 | 回教圏 | 第一卷・第四号 | 1938・10 |
| ハールーン・アルラシードとシャールマ—ニュ | 回教圏 | 第八卷・第四号 | 1944・5 |
| ローマとイスラーム—主としてイスラーム研究の立場として— | 回教圏 | 第七卷・第六号 | 1943・6 |

若き経倫に砂漠の花を捧ぐー中野英四郎君の略歴と思い出ー

| | | | | |
|-----------------------------------|--------------|-----|-----------|---------|
| アラビアの国語問題 | 川崎寅雄 | 回教圏 | 第六卷・第十号 | 1942・11 |
| 回教音楽東漸史考ー元朝の回教楽器ー | カンテイノオ | 回教圏 | 第三卷・第二号 | 1939・8 |
| 宗教団体法と回教問題 | 岸辺成雄 | 回教圏 | 第七卷・第四号 | 1943・4 |
| キプシー宗教大臣に聞く | 北吟吉 | 回教圏 | 第二卷・第四号 | 1939・4 |
| 中東の衛りアレクサンダ・キラルフアイ | ギプシー | 回教圏 | 第二卷・第八号 | 1939・4 |
| マホメットは再来するか | キラルフアイ | 回教圏 | 第二卷・第四号 | 1940・8 |
| 支那におけるキリスト教教会の対回教徒工作 | クラウス | 回教圏 | 第三卷・第二号 | 1939・8 |
| ジンナー=インドの謎 | クロード・L・ピッケンズ | 回教圏 | 第四卷・第十号 | 1940・10 |
| ケマール・アタチュルクの演説 | ケマール・アタチュルク | 回教圏 | 第四卷・第三・四号 | 1940・1 |
| アジアの歴史におけるトルコ | 煙山尊太郎 | 回教圏 | 第五卷・第七号 | 1941・7 |
| 「国民の家・国民の部屋」について | 小知徹二 | 回教圏 | 第二卷・第五号 | 1939・5 |
| 東洋的論念 | 児玉達重 | 回教圏 | 第三卷・第三・四号 | 1939・10 |
| 国民戦争時代における赤色宣伝対策 | ゴダルド・ヤチュケ | 回教圏 | 第二卷・第二・三号 | 1939・3 |
| エンヴェル・パシヤ小伝 | こばやし | 回教圏 | 第一卷・第一号 | 1938・8 |
| アフメット寺院の輪奐ーイスタンブル所在ー | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第二号 | 1938・7 |
| あらずべく夜話 | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第六号 | 1938・8 |
| イランの石油資源 | 小林元 | 回教圏 | 第三卷・第三・四号 | 1939・10 |
| ウラマ | 小林元 | 回教圏 | 第二卷・第五号 | 1939・5 |
| オスマン帝国史概説 | 小林元 | 回教圏 | 第三卷・第四号 | 1939・4 |
| 回教圏における古代の復興ーイランとエジプトとの「慶ばしき祭典」を祝 | 小林元 | 回教圏 | 第三卷・第五号 | 1939・11 |
| 回教圏の数理的考察 | 小林元 | 回教圏 | 第二卷・第一号 | 1939・1 |
| 回教宣言以前におけるマウラーについてー補遺的調査ー | 小林元 | 回教圏 | 第二卷・第四号 | 1939・4 |
| 回教文化におけるマウラーの意義 | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第一号 | 1938・9 |
| 回教文化の世界的意義 | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第五号 | 1938・11 |
| 回教文化の世界的意義 | 小林元 | 回教圏 | 第二卷・第一号 | 1939・1 |
| カリフ名称異聞 | 小林元 | 回教圏 | 第三卷・第五号 | 1939・5 |
| ケマール・アタチュルクの新字採用論 | 小林元 | 回教圏 | 第三卷・第三・四号 | 1939・10 |
| コーラン | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第三号 | 1938・9 |
| 支那的回民言語彙間(東回教圏管見2) | 小林元 | 回教圏 | 第二卷・第四号 | 1939・4 |
| 宗教改革 | 小林元 | 回教圏 | 第二卷・第三号 | 1939・3 |
| タージュ・マハレルの面影 | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第三号 | 1938・9 |
| 日本語と回民児童(東回教圏管見1) | 小林元 | 回教圏 | 第三卷・第四号 | 1939・11 |
| ハシーシュ補話 | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第五号 | 1939・10 |
| ハディース | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第一号 | 1938・7 |
| 光塔 | 小林元 | 回教圏 | 第一卷・第一号 | 1938・7 |
| マムルーク考 | 小林元/宮城良造 | 回教圏 | 第一卷・第二号 | 1938・8 |
| ラマザン | 小林元/宮城良造 | 回教圏 | 第六卷・第三号 | 1942・3 |
| ハリーフア | 小林高四郎 | 回教圏 | 第七卷・第一号 | 1943・1 |
| ヒジュラ | 小林亮作 | 回教圏 | 第五卷・第十一号 | 1941・11 |
| チンギス汗西征年代辨疑 | 小林亮作 | 回教圏 | 第六卷・第三号 | 1942・3 |
| カプーブル編譯 | 小林亮作 | 回教圏 | 第五卷・第十一号 | 1941・11 |
| 官能の詩人オマル・ハイヤム | 小林亮作 | 回教圏 | 第六卷・第三号 | 1942・3 |
| 極楽の座席 | 小林亮作 | 回教圏 | 第六卷・第三号 | 1942・3 |

回教圏・収録論文一覧

| | | |
|-----------------------------|---------------------|---------|
| 砂漠の住民達 | 小林亮作 | 1943・5 |
| 海の権一蕃藪園から一 | サー・デイ | 1938・8 |
| 幻の海(インドウカスタン) | サイッド・サッジアード・ハイダル | 1938・8 |
| 支那の回教について | 佐木秋夫 | 1989・8 |
| 宗教的な緩和の仕組 | 佐木秋夫 | 1939・3 |
| インドネシア回教と新しき時代 | サヌ・パネ | 1943・8 |
| 回教文明か西洋文明か | ジイ・デパルメ | 1939・3 |
| オリエント・アジアの地理学的民俗学的研究 | ジークフリート・パツサルジュ | 1941・12 |
| フィリピン独立における政治的因子としてのモロ族 | シドニー・グレーザー | 1941・6 |
| カジ・オスマン・パンヤ | 柴野研二 | 1938・10 |
| スライナム・トルコの偉大なる建築家 | 柴野研二 | 1938・7 |
| ミレット | 柴野研二 | 1938・11 |
| ムハンマッド・アリー | 柴野研二 | 1938・10 |
| 元代の回人寶典赤臚思丁 | 柴野研二 | 1939・7 |
| フランスと回教 | 島崎昌 | 1940・8 |
| ヒジャーズの雨 | シヤルル・アンドレ・ジュリアン | 1939・3 |
| 北京の回教徒商人とその仲間の結合 | 抄允 | 1944・8 |
| 『駱駝時代と飛行機時代』—無智な回教徒の啓蒙— | 仁井田隆 | 1940・12 |
| 『回教と蘭印群島』(書評) | スカルノ | 1941・9 |
| 概観インド回教圏 | 鈴木朝英 | 1942・4 |
| 概観インドネシア回教圏 | 鈴木朝英 | 1942・2 |
| ラマザンの断食について | 鈴木朝英 | 1938・11 |
| 回教的沐浴場散策 | 鈴木剛 | 1939・1 |
| 回漢紛糾経緯録 | 外山高一 | 1940・7 |
| 最近の中央亜細亜史研究—東洋学研究所歴史部会について— | 蘇盛華之 | 1941・12 |
| 井筒俊彦著『アラビア思想史』(書評) | 高橋真介 | 1941・6 |
| 蘭印回教の特殊性 | 高橋真介 | 1941・4 |
| アラビアにおける社会的階級について | 高橋真介 | 1940・10 |
| 願頭剛と回教徒問題 | タギー・エッディーン・アル・ヒラーリー | 1941・3 |
| 北支・蒙疆の回教 | 竹内好 | 1942・8 |
| 「回教館譯語」に関する覚書 | 竹内好 | 1942・5 |
| 大食と唐との交渉に関する一史料 | 田坂興道 | 1941・8 |
| 大同清真寺の「敕建清真寺碑記」について | 田坂興道 | 1944・3 |
| 回教圏と志賀重昂 | 田坂興道 | 1942・2 |
| 回教圏の印象 | 田中克己 | 1941・1 |
| 回教インドネシア的な女性 S. K. トカリムルティ— | 田中克己 | 1943・7 |
| マレー群島における島嶼名考 | 田辺穂積 | 1941・5 |
| マレー半島の教育一斑 | 田辺穂積 | 1941・7 |
| 印度共産党の活動 | 田辺穂積 | 1940・12 |
| インド自治問題と国民運動の課題 | 谷英夫 | 1939・12 |
| トルコ・ドイツ経済関係 | 谷英夫 | 1939・1 |
| 盲目のアラビア文字者タハ・フサインの自叙伝 | 谷英夫 | 1943・6 |

| | | |
|-----|-----|------|
| 回教圏 | 第七卷 | 第五号 |
| 回教圏 | 第一卷 | 第二号 |
| 回教圏 | 第一卷 | 第二号 |
| 回教圏 | 第三卷 | 第二号 |
| 回教圏 | 第二卷 | 第三号 |
| 回教圏 | 第七卷 | 第八号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第十二号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第十六号 |
| 回教圏 | 第一卷 | 第四号 |
| 回教圏 | 第一卷 | 第一号 |
| 回教圏 | 第一卷 | 第五号 |
| 回教圏 | 第一卷 | 第四号 |
| 回教圏 | 第三卷 | 第一号 |
| 回教圏 | 第四卷 | 第八号 |
| 回教圏 | 第二卷 | 第三号 |
| 回教圏 | 第八卷 | 第六号 |
| 回教圏 | 第四卷 | 第十一号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第十二号 |
| 回教圏 | 第六卷 | 第九号 |
| 回教圏 | 第六卷 | 第四号 |
| 回教圏 | 第六卷 | 第二号 |
| 回教圏 | 第一卷 | 第五号 |
| 回教圏 | 第二卷 | 第一号 |
| 回教圏 | 第四卷 | 第七号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第十二号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第六号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第四号 |
| 回教圏 | 第四卷 | 第十号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第三号 |
| 回教圏 | 第六卷 | 第八号 |
| 回教圏 | 第六卷 | 第五号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第八号 |
| 回教圏 | 第六卷 | 第四号 |
| 回教圏 | 第六卷 | 第二号 |
| 回教圏 | 第七卷 | 第七号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第四号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第一号 |
| 回教圏 | 第五卷 | 第七号 |
| 回教圏 | 第四卷 | 第六号 |
| 回教圏 | 第四卷 | 第十一号 |
| 回教圏 | 第四卷 | 第十二号 |
| 回教圏 | 第三卷 | 第六号 |
| 回教圏 | 第三卷 | 第一号 |
| 回教圏 | 第七卷 | 第六号 |

回教圏・収録論文一覧

| | | | | |
|----------------------------------|-------------|-----|-----------|---------|
| イスラム研究 | チエ・ハ・ベッカ | 回教圏 | 第四号 | 1940・4 |
| 回教とキリスト教 | チエ・ハ・ベッカ | 回教圏 | 第五号 | 1939・5 |
| 回教と経済 | チエ・ハ・ベッカ | 回教圏 | 第一号 | 1938・7 |
| 回教封建制度の史的的研究 | チエ・ハ・ベッカ | 回教圏 | 第三号 | 1939・11 |
| 30年来の中国回教文化概況 | 趙振武 | 回教圏 | 第五号 | 1940・5 |
| 回教圏におけるジャーナリズム発達小史 | ツヴエマ | 回教圏 | 第五号 | 1939・11 |
| 今次のヨーロッパ大戦とナチスの近東政策 | テデジラス・フアラゴ | 回教圏 | 第五号 | 1940・5 |
| 回教における法と社会 | ドク・サンテイッラーナ | 回教圏 | 第九号 | 1942・10 |
| 支那回民の声 | 唐至中 | 回教圏 | 第九号 | 1939・3 |
| 回教綱要 | トーマス・アーノルド | 回教圏 | 第二・三号 | 1941・7 |
| 満鉄東亜経済調査編『英国の対トルコ政策』(書評) | 遠峰四郎 | 回教圏 | 第七号 | 1942・3 |
| 昭和14年6月16日日土協会主催のゲレテ大使送別晩餐会における核 | 徳川家正 | 回教圏 | 第三号 | 1939・7 |
| 日土修交50年に当たりて—アブデユル・ハミット2世を憶ふ | 徳川家正 | 回教圏 | 第一号 | 1939・7 |
| 回教における夢判断 | 内藤智秀 | 回教圏 | 第三号 | 1940・3 |
| 回教文学に現われたる夢 | 内藤智秀 | 回教圏 | 第二・三号 | 1939・3 |
| アラビア横断記(帛路) | 中野英治郎 | 回教圏 | 第十号 | 1942・11 |
| アラビアにおける回教の現状 | 中野英治郎 | 回教圏 | 第十号 | 1941・1 |
| アル・ハラム・アッシャリーフの回顧 | 中野英治郎 | 回教圏 | 第六号 | 1939・12 |
| 埃及王位アラビア語学会について | 中野英治郎 | 回教圏 | 第五号 | 1941・5 |
| アフガニスタンにおけるトルコ族とモンゴル族 | 中野英治郎 | 回教圏 | 第五号 | 1938・8 |
| アムル・ビン・アル・アース | 西井光男 | 回教圏 | 第一卷・第二号 | 1938・10 |
| イタリヤの回教徒対策の片鱗 | 西井光男 | 回教圏 | 第一卷・第二号 | 1938・8 |
| クタイバ・ビン・ムスリム | 西井光男 | 回教圏 | 第一卷・第四号 | 1938・10 |
| ターリク・ビン・ジャード | 西井光男 | 回教圏 | 第一卷・第四号 | 1938・10 |
| トランス・イラン線の開通式 | 西井光男 | 回教圏 | 第一卷・第六号 | 1938・12 |
| バドル会戦の意義 | 西井光男 | 回教圏 | 第一卷・第六号 | 1938・10 |
| ムハンマッド・ビン・カーシム | 西井光男 | 回教圏 | 第一卷・第四号 | 1938・10 |
| 甘肅青海省境における回教徒の生活 | 西井光雄 | 回教圏 | 第五卷・第十二号 | 1941・12 |
| 最近の支那民族問題 | 西雅雄 | 回教圏 | 第五卷・第十二号 | 1941・3 |
| 『天方典禮要解』の邦訳に際して | 野原四郎 | 回教圏 | 第四卷・第二号 | 1940・2 |
| アラビア系諸国における回教徒民族運動 | 野原四郎 | 回教圏 | 第六卷・第一号 | 1942・1 |
| イマーム | 野原四郎 | 回教圏 | 第一卷・第五号 | 1938・11 |
| 雲南回教徒の反乱 | 野原四郎 | 回教圏 | 第一卷・第五号 | 1938・7 |
| 回教研究の役割 | 野原四郎 | 回教圏 | 第五卷・第十号 | 1941・10 |
| 回教徒問題について | 野原四郎 | 回教圏 | 第六卷・第七号 | 1942・7 |
| 怪傑馬仲英の履歴 | 野原四郎 | 回教圏 | 第一卷・第四号 | 1938・10 |
| ケマル・アタウルク傳 | 野原四郎 | 回教圏 | 第一卷・第三号 | 1938・12 |
| 新疆とロシアとの通商関係 | 野原四郎 | 回教圏 | 第二卷・第六号 | 1938・9 |
| フランス植民地法における回教徒の地位 | 野原四郎 | 回教圏 | 第一卷・第六号 | 1939・6 |
| ヤクブ・ベグ・バドゥンガン征伐 | 野原四郎 | 回教圏 | 第一卷・第四号 | 1938・10 |
| 仏教徒の見たる支那回教徒 | 野村瑞峰 | 回教圏 | 第七卷・第一号 | 1939・1 |
| 臺新疆において採録せる二三の回教説話 | 野村正良 | 回教圏 | 第七卷・第四号 | 1943・4 |
| 回教圏とモスクヴァ | パウエル・シユコミッツ | 回教圏 | 第二卷・第二・三号 | 1939・3 |

回教事情・収録論文一覧

| タイトル | 雑誌名 | 巻・号 | 年・月 | 備考 |
|----------------------|------|---------|---------|-------|
| ソ連邦内の回教民族 | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 論説 |
| 「五馬連盟」に就て | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 論説 |
| 蘭領印度の回教徒に就て | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 論説 |
| 雲南に於ける回教徒 | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 論説 |
| 印度回教徒概観 | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 論説 |
| シリアとレバノン | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 回教国事情 |
| ヤマン王国(通称イエメン)事情 | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 回教国事情 |
| 西北漢回の社会 | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 資料 |
| 汎回教思想と西亜細亞回教国盟約 | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 資料 |
| 中国回教総連合会組織規約 | 回教事情 | 第一巻・第一号 | 1938・5 | 資料 |
| 中国回教史の一齣 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 論考 |
| 中国西北回教の赤化傾向 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 論考 |
| ペルシヤ湾(イラン湾)を繞る国際政治関係 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 論考 |
| 汎トルコ主義と汎アラビヤ主義 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 論考 |
| 回教の教義・寺院・宗派 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 回教解説 |
| 回教々典に就いて | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 回教解説 |
| 満州国回教概観 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 資料 |
| 新疆事情一斑 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 資料 |
| ソ連と辺疆回教国の経済関係 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 資料 |
| 西亜細亞に於ける回教青年運動 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 資料 |
| 東京回教礼拝堂落慶と回教徒貴顕来朝 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 彙報 |
| 土埃条約批准と其内容 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 彙報 |
| 蒋政権下中国回教徒の西亜細亞に於ける策 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 彙報 |
| サンジャツク(ハタイ)問題 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 彙報 |
| サウード王国の軍備強化 | 回教事情 | 第一巻・第二号 | 1938・8 | 彙報 |
| 四川西康の回教徒 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 論説 |
| イデル・ウラル運動とアブドゥラ・トウカイ | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 論説 |
| アラビヤ猶太爾族と英国 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 論説 |
| 支那に於ける一陽楽業(猶太)教・回教 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 論説 |
| 回教曆に就て | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 解説 |
| 撒拉回及び蒙古回回 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 解説 |
| 世界大戦前後のペルシヤと列強 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 資料 |
| 比律賓回教徒管見 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 資料 |
| ケマル大統領逝去 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| 新トルコ大統領推戴 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| 大日本回教協会創立 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| 回教国会議開催 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| パレスチナ問題とアズハル大学 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| パレスチナ問題の推移 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| 甘肅青海における回教徒の動向 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| イラン縦貫鉄道完成 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| ハタイ共和国成立 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| 支那回教使節印度訪問 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| アフガニスタン国境反乱終息 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| 一九三八年トルコ予算 | 回教事情 | 第一巻・第三号 | 1938・11 | 彙報 |
| 回漢対立問題と其解決に就て | 回教事情 | 第二巻・第一号 | 1939・2 | 論説 |
| トルコ国民主義の発展と対外関係 | 回教事情 | 第二巻・第一号 | 1939・2 | 論説 |
| 支那回教社会の成因 | 回教事情 | 第二巻・第一号 | 1939・2 | 論説 |
| 回・仏両教の關係に就て | 回教事情 | 第二巻・第一号 | 1939・2 | 論説 |
| サラル回教徒と第一次反乱 | 回教事情 | 第二巻・第二号 | 1939・5 | 論説 |
| 印度回教徒と英国の統治 | 回教事情 | 第二巻・第二号 | 1939・5 | 論説 |
| 支那辺疆回民教育の現勢 | 回教事情 | 第二巻・第二号 | 1939・5 | 論説 |
| 明代の回教に就て | 回教事情 | 第二巻・第三号 | 1939・8 | 論説 |
| アフガニスタンを巡る国際政治関係 | 回教事情 | 第二巻・第三号 | 1939・8 | 論説 |
| バスマチ反乱とエンヴェル・パシヤ | 回教事情 | 第二巻・第三号 | 1939・8 | 論説 |
| 欧州戦乱勃発と中、西アジア回教圏 | 回教事情 | 第二巻・第四号 | 1939・12 | 論説 |
| 清初の対回教政策 -特に新疆纏回に就て- | 回教事情 | 第二巻・第四号 | 1939・12 | 論説 |
| 回教の来世観 | 回教事情 | 第二巻・第四号 | 1939・12 | 論説 |
| 黒海海峡問題の史的考察 | 回教事情 | 第三巻・第一号 | 1940・3 | 論説 |
| 清末の対回教政策 | 回教事情 | 第三巻・第一号 | 1940・3 | 論説 |
| 第一次欧州大戦とトルコの外交関係 | 回教事情 | 第三巻・第二号 | 1940・6 | 論説 |

| | | | | |
|---------------------|------|---------|---------|----|
| 楊增新の対回教政策 | 回教事情 | 第三卷・第二号 | 1940・6 | 論説 |
| 露西亞の伊蘭に対する志向及び其対英独関 | 回教事情 | 第三卷・第三号 | 1940・9 | 論説 |
| 支那回教史雜考 | 回教事情 | 第三卷・第三号 | 1940・9 | 論説 |
| 帝政露西亞の新疆経略の態様とその特性 | 回教事情 | 第三卷・第三号 | 1940・9 | 論説 |
| 英国の新疆経営の過去と現状 | 回教事情 | 第四卷・第一号 | 1941・4 | 論説 |
| 埃及人と埃及に於ける外国勢力 | 回教事情 | 第四卷・第一号 | 1941・4 | 論説 |
| 西亜細亞油田と欧米利権 | 回教事情 | 第四卷・第二号 | 1941・8 | 論説 |
| 土耳其共和国經濟概観 | 回教事情 | 第四卷・第二号 | 1941・8 | 論説 |
| 中亜回教の特殊性に就て | 回教事情 | 第四卷・第二号 | 1941・8 | 論説 |
| 伊蘭民族事情概説 | 回教事情 | 第四卷・第三号 | 1941・12 | 論説 |
| 民国以後に於ける回教団体の活動状況 | 回教事情 | 第四卷・第三号 | 1941・12 | 論説 |
| アラビア半島の民族・社会・国家概説 | 回教事情 | 第四卷・第三号 | 1941・12 | 論説 |

イスラム・収録論文一覧

| タイトル | 著者名 | 巻・号 | 年・月 |
|--------------------------|------------------|-----|---------|
| イスラム文化協会機関雑誌創刊に當りて | 山下和彦 | 第1輯 | 1937・10 |
| 回教徒の展望 | 匝磋胤次 | 第1輯 | 1937・10 |
| 回教法制に於ける相続法について | 笠間果雄 | 第1輯 | 1937・10 |
| アブドル・ハミッド二世 | 内藤智秀 | 第1輯 | 1937・10 |
| アラビヤ人の外征 | 村田昌三 | 第1輯 | 1937・10 |
| 最近に於ける埃及の国民運動と英埃關係並に治外法権 | 田村秀治 | 第1輯 | 1937・10 |
| コラーン經典を通じて見たる中世アラビアの社会 | 山路廣明 | 第1輯 | 1937・10 |
| 回教の支那傳來に就いて | 村上正二 | 第1輯 | 1937・10 |
| 新京より君府まで | 武田信近 | 第1輯 | 1937・10 |
| イスラム世界の現状、アラビヤ(一) | 小山茂 | 第1輯 | 1937・10 |
| 皇国の大陸政策と支那回教徒問題に就いて | 松室孝良 | 第2輯 | 1938・1 |
| パレスチン分割とアラブ民族の動向 | 笠間果雄 | 第2輯 | 1938・1 |
| フアーティマ王朝と其の治下に於ける基督教(上) | 岡島誠太郎 | 第2輯 | 1938・1 |
| 四康異聞考 | 竹内夏積 | 第2輯 | 1938・1 |
| セーヴル条約と回教民族の復興並に覚醒 | 匝磋胤次 | 第2輯 | 1938・1 |
| 滿州回教民族と現在の動向 | 佐久間貞次郎 | 第2輯 | 1938・1 |
| 燕京感懷 | 東山布衣甫 | 第2輯 | 1938・1 |
| アフガニスタンの言語に就いて | 居城基 | 第2輯 | 1938・1 |
| 波斯スーフィー教義の發達 | 八木亀太郎 | 第2輯 | 1938・1 |
| イスラム世界の現状、アラビヤ(二) | 小山茂 | 第2輯 | 1938・1 |
| ハチ・ババ冒険基短綺譚(一) | ジェームス・モリヤ著、村田昌三譯 | 第2輯 | 1938・1 |
| 亞細亞南方の回教徒 | 匝磋胤次 | 第3輯 | 1938・4 |
| 南洋回教徒の政治的動向 | 白倉義郎 | 第3輯 | 1938・4 |
| 印度国民運動に活躍する人々の横顔 | 栗原作次郎 | 第3輯 | 1938・4 |
| 印度の宗教 | 小山茂 | 第3輯 | 1938・4 |
| 北支並びに蒙疆に於ける回教徒の現状 | 佐久間貞次郎 | 第3輯 | 1938・4 |
| 詩 | ソヘール | 第3輯 | 1938・4 |
| 明朝と帖木兒帝國との關係に就いて | 村上正二 | 第3輯 | 1938・4 |
| 最近のイラン | 井上英二 | 第3輯 | 1938・4 |
| フアーティマ王朝と其の治下に於ける基督教(下) | 岡島誠太郎 | 第3輯 | 1938・4 |
| イスラム教勢の消長 | 森田秀造 | 第3輯 | 1938・4 |
| トルコの國語政策 | 大島義郎 | 第3輯 | 1938・4 |
| ハチ・ババ冒険基短綺譚(二) | ジェームス・モリヤ著、村田昌三譯 | 第3輯 | 1938・4 |
| 「アラビア」及紅海に関する英伊協定に就いて | 岡本武三 | 第4輯 | 1938・7 |
| 新疆に於ける回教徒の動き | 村田孜郎 | 第4輯 | 1938・7 |
| 支那回教徒の教育情勢 | 佐久間貞次郎 | 第4輯 | 1938・7 |
| 回教序説(一) | 内藤智秀 | 第4輯 | 1938・7 |
| 西康異聞考(下) | 竹内夏積 | 第4輯 | 1938・7 |
| 聖巖寺詣で(紀行) | 嘉治隆一 | 第4輯 | 1938・7 |
| ルーミーの長詩に就いて | 八木亀太郎 | 第4輯 | 1938・7 |
| 支那トルキスタンの過去現在将来 | エリツク・タイチマン | 第4輯 | 1938・7 |
| 迪化獄中記(一) | G・ファーゼル | 第4輯 | 1938・7 |
| ハチ・ババ冒険基短綺譚(三) | ジェームス・モリヤ著、村田昌三譯 | 第4輯 | 1938・7 |
| ハタイ問題の淵源と其の経緯 | 岡本武三 | 第5輯 | 1938・10 |
| 教祖マホメット | 内藤智秀 | 第5輯 | 1938・10 |
| 回教の弘通及び教派の分裂 | 内藤智秀 | 第5輯 | 1938・10 |
| サラセン文化總説(一) | 八木亀太郎 | 第5輯 | 1938・10 |
| 回教名稱考 | 村上正二 | 第5輯 | 1938・10 |
| 回教民族の盛衰とその復興 | 匝磋胤次 | 第5輯 | 1938・10 |
| 列國の對回教態度と英伊の工作 | 大江三吉 | 第5輯 | 1938・10 |
| 迪化獄中記(二) | G・ファーゼル | 第5輯 | 1938・10 |
| ハチ・ババ冒険基短綺譚(四) | ジェームス・モリヤ著、村田昌三譯 | 第5輯 | 1938・10 |
| 復興イスラム勢力の資格検討 | 匝磋胤次 | 第6輯 | 1939・1 |
| 回教勢力圏—ソ連領トルケスタンを視る | 馬場秀夫 | 第6輯 | 1939・1 |
| イスラムに及ぼせるユダヤ教及びユダヤ思想の影響 | 笠間果雄 | 第6輯 | 1939・1 |
| 回教序説(二) | 内藤智秀 | 第6輯 | 1939・1 |
| サラセン文化總説(二) | 八木亀太郎 | 第6輯 | 1939・1 |
| 日本の一回教徒として | 有賀文八郎 | 第6輯 | 1939・1 |
| アラ—アクバル(神は最も偉大なり) | 村上正二 | 第6輯 | 1939・1 |
| 別天地ブハラ | グスタフ・クリスト | 第6輯 | 1939・1 |

新亜細亞・収録論文一覧

| タイトル | 著者 | 号 | 出版 年 | No (年 度) | No (通 号) | 備考 |
|-----------------------|---------------|------|---------|----------------|----------------|----|
| 創刊の辞 | 大川 周明 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| パレスチン問題と英国の苦境 | 米田 實 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| インドの眺望 | 野口 米次郎 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| アジアの肢脚タイ国 | 磯部 美知 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 宗教的に見たイラク国 | 蒲生 禮一 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| イラン国の全貌 | 大久保 武雄 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 南洋風物誌 | 染木 煦 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 夏の砂漠を行く(イラン・イラク踏破記) | 笠間 果雄 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 南の旅の思ひ出(シャム・仏領印度支那紀行) | 久留島 秀三郎 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 新嘉坡 | 西永 義文 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 外道の顔 | 野生司 香雪 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 東南アジアに於ける国際航空路 | 木田 敬之 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 馬來文学の過去と現在 | 宮武 正道 | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 黄金の嶺 | ショヴオナ・デヴィ | 8月号 | 1939 | no.1 | no.1 | |
| 英国の印度政策を視る | 伊東 敬 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 印度連邦制の課題 | 谷 英夫 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| サラセン文化とヨーロッパ文化との交流 | 小林 元 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 回教法に於ける婚姻 | 石川 恣 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 支那事変と蘭領印度 | 馬瀬 金太郎 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 安南人の生活と風習 | 惟永 健 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| トルコの現勢 | 村上 義温 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 南洋色眼鏡 | 上野 春香 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| イランの思ひ出 | 岡本 武三 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 霧のブアサ | 金子 光晴 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| メッカ巡礼記 | 榎本 桃太郎 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 亜細亞におけるラジオ宣伝戦 | 小野 俊郎 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 現代アフガニスタンの構成 | 尾崎 三雄 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| カルカッタ大学の出来事 | 木村 日紀 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| デマのダンピング | 矢田部 保吉 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 南洋に音楽をたづねて | 黒澤 隆朝 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| ソ連とアジア | 落合 文雄 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 英領北ボルネオの展望 | 佐立 五十雄 | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| アラビアの統一者イブン・サウド | ジョン・ガンサー | 9月号 | 1939 | no.2 | no.2 | |
| 欧州大戦と近東 | 嘉治 隆一 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 欧州大戦とアジア | 米田 實 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 躍進途上のタイ国と英仏の動向 | 宮原 武雄 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| ビルマの政治及び財政 | 南郷 照夫 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| ビルマ人のために | 國分 正三 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 日印会商の新課題 | 木村 禧八郎 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 濠洲地中海と英国 | 齋藤 忠 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| フィリッピン回想 | 九鬼 暁 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 印度の芝居 | 水谷 清 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 護謨会談 | 佐々木 喬 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| タイの玩具 | 西澤 笛畝 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 爪哇・パリーの舞踊 | 石澤 豊 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| タイの寓話 | 三木 榮 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| シリア砂漠横断記 | 鶴岡 千仞 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 濠洲 | 根岸 國義 | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 戦争 | アフマッド・ナハジュヴァン | 10月号 | 1939 | no.3 | no.3 | |
| 南方政策の経済目標 | 西澤 基一 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| トルコとソ連邦 | 富士 辰馬 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| フィリッピンの最近の政情 | 西村 繁一 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| ビルマ雲南新ルート | 岡村 亨 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| タイの新聞界 | 三谷 盤谷 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| ナチスの近東政策 | アルバート・ヴィートン | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| 対戦を巡る英濠関係 | 伊藤 孝一 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| 印度は参戦するか | 齋藤 博厚 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| ビルマは独立を要求する | 天野 英夫 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| タイ国街頭風景 | 戸波 親平 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| 近東の延長線上埃及を覗く | 梅原 義治 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| サラワク国王ブルック | 久留島 秀三郎 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| 亜細亞の美術 | 荒木 十畝 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| 迦濕密羅の並木 | 石崎 光瑤 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| 英領亜細亞の郵便切手 | 松尾 樹明 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| 泰国法律顧問政尾藤吉博士伝 | 三木 榮 | 11月号 | 1939 | no.4 | no.4 | |
| 亜細亞諸国に対する文化工作 | 青木 節一 | 12月号 | 1939 | no.5 | no.5 | |
| 近東に於ける勢力均衡とトルコの立場 | 小原 敬士 | 12月号 | 1939 | no.5 | no.5 | |
| 露土関係の過去及び将来 | 二瓶 兵二 | 12月号 | 1939 | no.5 | no.5 | |

| | | | | |
|----------------------|-------------|------|-----------|-------|
| ソ連の印度攻勢 | 須田 倫 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| イスラムと古きアラビア | 内藤 智秀 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| 印度の新ブルジョアジー | ヘルマン・ゲッツ | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| 現代イランの文化 | 三田村 昌 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| バギオの丘に立ちて | 大澤 章 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| 印度支那雑感 | 永田 安吉 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| ハノイ風俗 | 長谷川 春子 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| サイゴンの思ひ出 | 富澤 有為男 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| ジャヴァの影絵芝居 | 松原 晩香 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| ニュージーランド素描 | 大草 秋劍 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| タイ文学論 | 奥村 鉄男 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| タイ国巡礼(一) | 布施 聴雨 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| 西南亞細亞諸国の映画 | 尾坂 力 | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| 印度映画の印象 | C・K・サーチ | 12月号 | 1939 no.5 | no.5 |
| 南洋政策の新意義 | 金田 近二 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 太平洋に於ける日英米三国の経済的權益 | 山田 文雄 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 米国の亜細亞政策と日本 | 稲原 勝治 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 最近の中東と英ソ | 田辺 宗夫 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 古代爪哇文学 | 浅井 恵倫 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 印度支那に於ける民族の興亡 | 松本 信廣 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 歴史上より見たる日本とフィリッピンの交渉 | 筋内 健二 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| ビルマ文化史観 | 前嶋 信次 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| インドネシア農耕民と土地 | 馬淵 東一 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 初期の東印度会社のイギリス重商主義 | 塩野谷 九十九 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 東洋音楽史上に於ける印度音楽の意義 | 岸辺 成雄 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 印度人の顔 | 草野 心平 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| タイ国巡礼(二) | 布施 聴雨 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| 西部亜細亞の油田事情(一) | 大村 一藏 | 1月号 | 1940 no.1 | no.6 |
| イスラム文学の展望 | 笠間 泉雄 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| 農林産資源より見たる比律賓群島 | 永田 龍之助 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| 日泰空の提携成る | 大久保 武雄 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| シリアとはどんな国か | 鶴岡 千仞 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| スマトラの民衆の文化 | 西村 眞次 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| 仏支戦争と仏蘭西の印度支那領有の顛末 | 鈴木 朝英 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| 亜細亞舞踊の性格 | 蘆原 英了 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| 古希を祝はるガンデー | 野口 米次郎 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| 南洋の土民兵 | 宮武 正道 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| 印度の姿 | 野生司 香雪 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| ビルマ米の話 | 宗像 正一 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| 西部亜細亞の油田事情(二) | 大村 一藏 | 2月号 | 1940 no.2 | no.7 |
| アジア諸民族の運命 | 加田 哲二 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| 欧州大戦と濠洲の貿易 | 石田 祐次郎 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| 雲南ビルマ道路の新課題 | 天野 英夫 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| 爪哇の産業革命 | フィッシア | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| 漁港バガンの華僑 | 蕭奇來 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| 印度の政治機構 | 伊藤 敬 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| 印度藩王州の経済 | 井手 謙一郎 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| ベンガル文化小史 | 峠 延雄 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| タゴール翁 | 荒井 寛方 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| 西南亞細亞の纖維資源(一) | 阿部 武道 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| シャム米の話 | 松岡 寅治郎 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| タイ国の諸相 | 東恩納 寛博 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| タイ国巡礼(三) | 布施 聴雨 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| 西部亜細亞の油田事情(三) | 大村 一藏 | 3月号 | 1940 no.3 | no.8 |
| サラセン文化の社会学 | 新明 正道 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| ペルシャ陶器と東西文化 | 奥平 武彦 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| フィリッピン文化の変遷 | 三吉 朋十 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 欧洲戦乱と近東の動向 | 長谷川 了 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 近東に於ける英ソの抗争 | アルバート・ヴィートン | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 近東のラチオ戦線 | 小野 俊郎 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 印度民話論 | 松村 武雄 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 女と恋(アフガニスタンの情熱) | 小山 いと子 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 黒海の丘(異郷の日本植物園) | 尾瀬 敬止 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| バリ島 | 長谷川 路可 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 眠る伝説の国 | 高岡 大輔 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 懐かしい十年 | 西 巖 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| タイ国巡礼(四) | 布施 聴雨 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 西南亞細亞の纖維資源(二) | 阿部 武道 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 西部亜細亞の油田事情(四) | 大村 一藏 | 4月号 | 1940 no.4 | no.9 |
| 植民政策と民族運動 | 堀 眞琴 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| 東印度会社とイギリス産業資本の発展 | 塩野谷 九十九 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| アジアの統一とアジア的性格 | 秋澤 修二 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| アジア思想の特性 | 高須 芳治郎 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| ソ連は亜細亞に南下するか | 竹尾 式 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |

| | | | | |
|-------------------------------|------------|------|------------|----------------|
| フィリッピン独立延期運動 | E・スノウ | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| レザール・パフラヴィ皇帝 | 大川 周明 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| 馬來のどんげん | 森 三千代 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| 仏印滞在四十年 | 石川 浩洋 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| 馬來半島の家 | 栗原 信 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| タイ国巡礼(五) | 布施 聰雨 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| 西部亜細亞の油田事情(五) | 大村 一藏 | 5月号 | 1940 no.5 | no.10 |
| インドネシアの民族運動 | ダルマ | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 蘭領印度の國際的地位 | 岡田 宗司 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 蘭領印度の燃料鉱物資源 | 塩谷 巖三 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 最近に於ける蘭領印度の對外貿易 | 安東 義雄 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 蘭領印度に於ける日本人の活躍 | 川本 邦雄 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 蘭印を巡る日英米外交 | 安本 希一 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 蘭領印度建設の親 ヤン・ピーテルス・ゾーン・クーン伝(一) | 野原 達夫 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 印度二題 | 大野 捷吉 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| フィリッピン移民法案を巡る政治情勢 | 今 朝男 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| タイ国の仏曆正月 | 江藤 留次 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 印度文学 ヴェターラ物語(第一回) | 吉原 公平 訳 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| 西南亜細亞の纖維資源(三) | 阿部 武道 | 6月号 | 1940 no.6 | no.11 |
| アジアの理念(たちあがるもの) | 小林 元 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 比律賓大統領選挙の展望 | 江野澤 恒 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 印度工業発展史 | 齋藤 博厚 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 印度の機械工業 | D・J・オーチャード | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| アフガニスタンの工業と外国貿易 | 原 四郎 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 印度に対する英ソの戰略地理 | L・ファラゴ | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 蘭領印度建設の親 ヤン・ピーテルス・ゾーン・クーン伝(二) | 野原 達夫 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| マニラの城壁 | 小菅 徳二 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 仏領ニュー・カレドニア | 井出 淺龜 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 東亞競技大会を觀る | 嘉治 隆一 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 中部爪哇の綠林 | 岡田 丈夫 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 大戦下ビルマ独立の氣運 | 國澤 昭一 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| ジャヴァの舞踊芸術(一) | 松原 晚香 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 印度文学 ヴェターラ物語(第二回) | 吉原 公平 訳 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| 西南亜細亞の纖維資源(四) | 阿部 武道 | 7月号 | 1940 no.7 | no.12 |
| ソ連とイラン・トルコ・印度 | 米田 實 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 世界秩序とアジア連盟 | 田中 直吉 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 南海諸島のアジア史的意義(一) | 松田 壽男 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 仏印の民族問題 | 松本 信廣 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 仏印の民族運動史 | エンニス | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 我国と安南の關係 | 永田 安吉 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 仏印に対する仏蘭西の政策 | 秋保 一郎 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| アドラン司教と印度支那 | 鈴木 朝英 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 仏領印度支那の産業と資源 | 田中 勝俊 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 図解仏領印度支那 | 久留島 秀三郎 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| アンコール・ワット | 伊東 忠太 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 南洋及び西南亜細亞の海運 | 折登 健三郎 | 8月号 | 1940 no.8 | no.13 創刊1周年記念号 |
| 民族政策と南方問題 | 平 貞藏 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| ソ連の近東政策 | 布施 勝治 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 印度獨立運動の実勢 | 伊東 敬 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 日本の南進とアメリカ | 宮本 太郎 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 太平洋航空路と亜細亞 | 大久保 武雄 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 蘭印に於けるアメリカの權益 | E・Z・ヨング | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 比島大統領再選と憲法修正 | 今 朝男 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 仏領印度支那に於ける日本人発展の歴史 | 岩生 成一 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 南海諸島のアジア史的意義(二) | 松田 壽男 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| バンディット ヤワハルラル ネール | 木下 半治 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| カシュミール紀行 | 平等 通昭 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| コロンボ・シンガポール・香港 | 三雲 祥之助 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 印度文学 ヴェターラ物語(第三回) | 吉原 公平 訳 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 西南亜細亞の纖維資源(五) | 阿部 武道 | 9月号 | 1940 no.9 | no.14 |
| 国民の二つの顔 | 大川 周明 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 南方經濟の基本問題 | 西澤 基一 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 蘭印の農林業とその害敵 | 石井 悌 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 南洋産業と日本茶 | 細谷 清 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 仏印の農業開發 | 井出 淺龜 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 蘭印の戰略的地位 | 岡田 宗司 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| インドネシア民族の動向 | 宮武 正道 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 現代ビルマの文化 | 宇田川 信次 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| アラビア文化の性格 | 井筒 俊彦 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 人としてのローレンス | 嘉治 隆一 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| アラビア探検の回顧(一) | 石田 幹之助 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 列国の南洋調査機関 1 和蘭 | 中村 孝志 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| マラリア予防の方法 | 森下 薫 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| ジャヴァの舞踊芸術(二) | 松原 晚香 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |

| | | | | |
|---------------------------|-------------|------|------------|-------|
| 印度文学 ヴェターラ物語(第四回) | 吉原 公平 訳 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 西南亞細亞の纖維資源(六) | 阿部 武道 | 10月号 | 1940 no.10 | no.15 |
| 蘭領東印度諸島の文化層 | 宇野 円空 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| インドネシアの民族と文化 | 小田 榮三 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| 蘭印民族文化の黎明 | 野原 達夫 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| 仏領印度支那に於ける民族 | 逸見 重雄 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| ポリネシア人 | 馬淵 東一 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| 南方民族と銅鼓 | 八幡 一郎 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| フィリッピン・バタン諸島・紅頭嶼・台湾・民族移動線 | 鹿野 忠雄 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| ガンディとネール | 大川 周明 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| ビルマルートの意義 | 岡村 亨 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| シンガポールの軍港 | 石丸 藤太 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| タイの失地回復と日英 | 松永 彦雄 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| 蘭印現状報告 | 來間 恭 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| 列国の南洋調査機関 2 独逸 | 土方 定一 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| アラビア探検の回顧(二) | 石田 幹之助 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| 印度文学 ヴェターラ物語(第五回) | 吉原 公平 訳 | 11月号 | 1940 no.11 | no.16 |
| 東南協同圏確立の原理 | 大川 周明 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 南方問題と支那問題 | 尾崎 秀実 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 日独伊三国同盟と南洋 | 永雄 策郎 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 独逸植民地回復要求の二つの基礎 | 田岡 良一 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 最近のトルコ外交 | 岩永 博 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 印度の自主的憲法要求運動 | アナブ・シング | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| インドの夢 | A・ペトリー・シチエフ | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| スダ乙女 | 古城 江親 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| タイ国華僑の現勢 | 江藤 留次 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| タイのラッタニョム運動 | 森 重里 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 新西蘭の歴史 | 郡司 喜一 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| トラチャ族の饗宴 | 三浦 実也 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| チャンディの語原 | 安田 馨 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 安南本の歴史文献 | 渡瀬 正忠 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| ゴムの話 | 山田 金治 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| ジャヴァの舞踊芸術(三) | 松原 晚香 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 印度文学 ヴェターラ物語(第六回) | 吉原 公平 訳 | 12月号 | 1940 no.12 | no.17 |
| 東亞協同体の意義 | 大川 周明 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 南方農業に於ける技術の問題 | 伊藤 兆司 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 東印度の住居と部落の形態 | 齋藤 正雄 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 爪哇農村の社会及び経済事情 | 川田 富久雄 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 蘭印に於けるプランテーションと苦力政策の問題 | 崎村 茂樹 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 仏領印度支那の農業問題 | 逸見 重雄 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| インドの農業問題 | 網本 行利 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 土人農業開発の経済的過程 | 川野 重任 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 印度は闘ふ | 脇山 康之助 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| ダバオ・セレベス紀行 | 西 寛治 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 列国の南洋調査機関 3 仏蘭西 | 植村 鷹千代 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 印度文学 ヴェターラ物語(第七回) | 吉原 公平 訳 | 1月号 | 1941 no.1 | no.18 |
| 亞細亞の組織と統一 | 大川 周明 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 一九四〇年に於けるインドネシア民族運動 | ダルマ | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 日本人の熱帯植民能力 | 野間 海造 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 現代植民政策の指導原理 | 黒田 謙一 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 爪哇の強制栽培制度 | 塩谷 巖三 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 英領馬來の金融事情 | 二宮 丁三 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 新西蘭經濟の發展 | 郡司 喜一 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| アメリカ対比政策の動向(上) | 池上 博 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 南洋に於ける民族の移動 | 移川 子之蔵 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| アラビヤ民族運動の黎明 | 前嶋 信次 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 仏印・泰國境を往く(一) | 井出 浅亀 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 印度文学 ヴェターラ物語(第八回) | 吉原 公平 訳 | 2月号 | 1941 no.2 | no.19 |
| 東亞關係諸国体の統一 | 大川 周明 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 南東亞細亞空間の地理と政治 | 飯本 信之 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 日本の南進と太平洋問題 | 永戸 政治 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 独伊と近東政策 | 鈴木 東民 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| ソ連を巡る近東の情勢 | 中村 政雄 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 大戦とアラビア | アジアティクス | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 東亞新秩序と東印度の地位 | ダルマ | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| アメリカ対比政策の動向(下) | 池上 博 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 蘭印の武装問題 | M・ロシヨルト | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| カオダイ教 一、成立過程 | 大岩 誠 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 湄公河中流の水運 | 渡辺 源一郎 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 仏印・泰國境を往く(二) | 井出 浅亀 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 爪哇の夜市 | 神田 左右助 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 英海峽植民地馬來半島事情(上) | 田北 隆美 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 印度・アフガン國境踏破記 | 平等 通昭 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |
| 南洋の水産業 | 與儀喜直 | 3月号 | 1941 no.3 | no.20 |

| | | | | | |
|--------------------------|--------------------|-----|------|------|-------|
| 厳肅なる反省 | 大川 周明 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 東亞新秩序とソ連の態度 | 嘉治 隆一 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 仏領印度支那の炭鉱業 | 逸見 重雄 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 安南村落と鎮守神 | 山川 寿 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 東南亜の資源と技術(一) | 相川 春喜 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 泰・仏紛争と第三国の策謀 | 石川 昌彦 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 停戦直後の泰・仏前線踏破記 | 江藤 留次 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| ビルマの軍備 | バートン・リーチ | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 蘭印のジャーナリズム | 宮武 正道 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| カオダイ教 二、教理 | 大岩 誠 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 印度の童婚 | ラスボーン | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 英海峡植民地馬來半島事情(中) | 田北 隆美 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 東洋学を語る | 金永 健 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(一) | 郡司 喜一 | 4月号 | 1941 | no.4 | no.21 |
| 英国の運命と米国の反省 | 大川 周明 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| 太平洋とソ連と米国 | 落合 敏 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| 南洋の回教徒 | 鈴木 朝英 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| 仏印経済と英米の触手 | 尾田 貞夫 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| ホンゲイ炭鉱視察報告 | 久留島 秀三郎 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| メコン川の改修と沿岸都邑 | 渡辺 源一郎 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| カオダイ教 三、祭式、宗律、組織 | 大岩 誠 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| 米国太平洋沿岸諸国に対する印度支那茶輸出の可能性 | I・D・I紙 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| 濠洲の戦時色 | 井上 昇三 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| 東南亜の資源と技術(二) | 相川 春喜 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| フィリッピン未開種族の経済(上) | 法貴 三郎 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| フィリッピンの華僑 | 吉田 丹一郎 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| 日ソ中立条約成立の意義 バルカン・近東戦線 | 鈴木 東民 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| カモド島の地龍 | 三浦 実也 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(二) | 郡司 喜一 | 5月号 | 1941 | no.5 | no.22 |
| 外交の好転とは何ぞ | 大川 周明 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| 西南アジアに於けるアラビア系諸国の民族構成 | 大久保 幸次 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| エミール・アブドルラー(トランスヨルダン国王) | 前嶋 信次 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| 大戦と回教民族の問題 | 隈部 種樹 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| イラク油田と英国の勢力 | 井上 富士夫 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| パレスタインの人口問題 | 宇野 敬治 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| アフガニスタンの貿易と経済 | 山内 秀三 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| 大戦と印度国民会議派 | H・ラーミア | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| トルコ外交の指針 | G・イエシユケ | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| 独仏協定の意義 近東に戦火拡大す | 鈴木 東民 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| ジャワ及びジャワ人 | 山田 文雄 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| 東南亜の資源と技術(三) | 相川 春喜 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| フィリッピン未開種族の経済(下) | 法貴 三郎 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(三) | 郡司 喜一 | 6月号 | 1941 | no.6 | no.23 |
| 日蘭交渉の不調 | 大川 周明 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| シリア戦争を中心として | 米田 実 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| 独ソ開戦とアメリカ | 鈴木 東民 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| タイ国華僑の動向 | 井出 季和太 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| 国境紛争後のタイ国財政 | 江藤 留次 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| タイ国の婦人生活 | 宮原 義登 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| タイ国における日本語 | 星田 晋五 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| 仏印・タイ現地の感情 | 田中 勝俊 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| タイ民話 二人の母 | レチナルド・ル・メイ | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| タイ国民劇 スパンの血ールアドスパンー 第六幕 | 作:ワーターカーン 訳:チッタマルー | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| 戦時下印度の相貌 | 牧野 元 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| ジャワ村落の信仰と伝説(一) | 大井 正 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| ソ連の資料より見た蘭印経済と民族運動 | 安藤 英夫 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(四) | 郡司 喜一 | 7月号 | 1941 | no.7 | no.24 |
| 日本の當面せる時局 | 大川 周明 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| 独ソ戦争とアジア | 嘉治 隆一 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| インドネシア民族運動の進展 | 大江 恒太郎 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| 仏印に動くもの | 山川 寿 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| 和蘭崩壊後における蘭印の軍備と経済 | オ・ザボラエフ | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| タムリンの生涯 | イマーム・スバルディ | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| 東南亜の資源と技術(四) | 相川 春喜 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| 順化遊記 | 安藤 廣次 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| 華僑工作の基本問題 | 黄 演 馨 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| ジャワ村落の信仰と伝説(二) | 大井 正 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| 安南の伝説(一) | F・セスプロン | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| アメリカの東亞政策 独・ソ戦争の見通し | 鈴木 東民 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| アラビア民族主義と知識階級 | R・ヒューパー | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| アフガニスタンの国語パシトウ語について | 小川 亮作 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| 続 濠洲の戦時色 | 井上 昇三 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(五) | 郡司 喜一 | 8月号 | 1941 | no.8 | no.25 |

| | | | | | |
|------------------------|---------------|------|------|-------|-------|
| 日本の国力 | 大川 周明 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 英領馬來の國際的重要性 | 伊東 敬 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 南方危機線上を往く | 藤岡 啓 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 東南アジアの現実 | 岡崎 三郎 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 仏印と我が不足鉦産資源(一) | 渡辺 源一郎 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| ビルマの重要資源 | 蒲池 清 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 南洋獵書の旅 | 邦 良明 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 印度におけるコムミュニズムとファシズム | H・ラーミア | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 安南の伝説(二) | F・セスブロン | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 「金雲翹」について | 小松 清 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| タゴールの追憶 | 野口 米次郎 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 東南亞情勢と日本の地位 イランを巡る國際政局 | 鈴木 東民 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(六) | 郡司 喜一 | 9月号 | 1941 | no.9 | no.26 |
| 悲劇的なイラン | 大川 周明 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 太平洋問題と日米經濟 | 木村 禮八郎 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 日蘭貿易の回顧と展望 | 田淵 實 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| イランと英・独・ソ | 八木 龜太郎 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 大戦の推移とトルコの立場 | 戸川 英胤 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 仏印と我が不足鉦産資源(二) | 渡辺 源一郎 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 安南の伝説(三) | F・セスブロン | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 東洋史前学会議の検討 | 金永 健 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 高砂族の成年式 | 古野 清人 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 東印度の民兵制 | ダルマ | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 蘭印印象記 | 南 龍夫 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 近代教育と安南女性 | トリン・チュク・オアン夫人 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 仏印の文化景觀 | 安藤 廣次 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| 仏印への外交使節団 英・ソの西南アジア攻勢 | 鈴木 東民 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(七) | 郡司 喜一 | 10月号 | 1941 | no.10 | no.27 |
| ABCD包圍陣の正体 | 大川 周明 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 日・仏經濟提携の諸問題 | 波多 尚 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 仏印と我が不足鉦産資源(三) | 渡辺 源一郎 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 東郷外交と日米問題の解決 | 鈴木 東民 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 泰の民家様式 | 藤岡 通夫 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 東印度会社の階級対立 | ファデラー | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 安南の伝説(四) | F・セスブロン | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| アンコールワット論 | 植村 鷹千代 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| タイ国及びカムボジアの紅土とその建築上の利用 | ペンドゥルトン | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 印度兵の研究 | 内藤 英夫 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 馬來抒情詩パントン | 松原 晚香 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 日本醫師の見たる印度の風土と衛生 | 浅見 宣三 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 詩 死 (タゴール遺稿) | 野口 米次郎 訳 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(八) | 郡司 喜一 | 11月号 | 1941 | no.11 | no.28 |
| 亞細亞の興廢 | 大川 周明 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 南方圈政策の諸問題と現況 | 須山 卓 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 華僑の送金機構(上) | 黄 演馨 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 大戦下英國の対印政策 | 戸野原 史朗 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 葡領チモールを巡る外交戦(上) | 齊藤 祐藏 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 泰国の錫鉦業 | 木口 浩一 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| フィリピン防備の現状 | 内藤 英雄 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 和蘭東印度会社の奴隷貿易 | 奥田 博夫 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 岡倉天心の渡印 | 清見 陸郎 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 安南の仏教 | 久野 芳隆 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| ビルマの陸上交通路 | 辻 豊 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 日米会談 北アフリカ戦局 | 鈴木 東民 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(九) | 郡司 喜一 | 12月号 | 1941 | no.12 | no.29 |
| 日米戦争の世界的意義 | 大川 周明 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 南方問題の発展と反省 | 平 貞蔵 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 聖戦完遂の基本的要請 | 大岩 誠 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 日タイ關係の画期的発展 | 宮原 義登 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 大東亞戦争とフィリピン | 法貴 三郎 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 大東亞戦争と蘭印 | 岡田 宗司 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 豪州兵の研究 | 内藤 英雄 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 太平洋と米英ソ | 鈴木 東民 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 葡領チモールを巡る外交戦(下) | 齊藤 祐三 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 印度洋地政学 | 江澤 讓爾 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 華僑の送金機構(下) | 黄 演馨 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| ビルマ傑人伝(上) | 蒲池 清 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 仏印農業再編製上の課題 | 木下 彰 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 古螺城を訪ぬる記 | 久留島 秀三郎 | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 安南の伝説(五) | F・セスブロン | 1月号 | 1942 | no.1 | no.30 |
| 友邦を忘るる勿れ | 大川 周明 | 2月号 | 1942 | no.2 | no.31 |
| 大東亞共榮圈の物資交流対策 | 田淵 實 | 2月号 | 1942 | no.2 | no.31 |
| 仏印の綿羊飼育の将来性(上) | 西澤 基一 | 2月号 | 1942 | no.2 | no.31 |
| 南方共榮圈と地主型栽植式稻作經營 | 根岸 勉治 | 2月号 | 1942 | no.2 | no.31 |

| | | | | | |
|-------------------------|------------|-----|-----------|-------|--------|
| 大東亜の石油資源 | G・マコヴェイ | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 熱帯とタンニン資源 | 山田 金治 | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 大東亜戦争と幣制対策 | 市川 正義 | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 南方作戦と南方建設 | 嘉治 隆一 | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 印度・ビルマ・泰の青年運動 | H・ラーミア | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 志賀重昂と「南洋時事」 | 土方 定一 | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| ビルマ傑人伝(下) | 蒲池 清 | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| インドネシア語について | 牛江 清名 | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 蘭印華僑のマレー語文学 | 宮武 正道 | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 仏印古跡研究に於ける航空機の役割 | S・Y・クレエ | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 安南の伝説(六) | F・セスブロン | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| フオールコンとその妻(十) | 郡司 喜一 | 2月号 | 1942 no.2 | no.31 | |
| 大東亜戦争第二段階に入る | 大川 周明 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| 大東亜戦争の第二段階と印度 | 岡崎 三郎 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| 大東亜戦争の第二段階と豪州 | 宮崎 亮 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| 仏印の綿羊飼育の将来性(下) | 西澤 基一 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| ミクロネシア島民の宗教対策 | 杉浦 健一 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| ビルマ人の仏教生活 | J・L・クリスチャン | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| マレーの民族構成と慣習 | 内藤 英雄 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| ニューギニア島の発見とその民族学的研究業績 | 中野 朝明 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| ポリネシアの海人 | テ・ランギ・ヒロア | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| ダイヤク族の土俗と風習 | ヘルマン・ウキッチ | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| ジャワと云ふ名称の由来 | 馬淵 東一 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| 蘭印の医事衛生事情 | 志村 芳雄 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| 南海制圧と印度 | 嘉治 隆一 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| 香港陥落と建設断念 | 須山 卓 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | |
| 大東亜経済の参謀本部 | 加田 哲二 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 自由港たらしめよ | 伊東 敬 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 文化・経済の中心地とせよ | 志村 七六 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 日本経済の前進基地 | 渡邊 源一郎 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 地理的位置の活用 | 石田 龍次郎 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 現地人の体験を生かせ | 吉岡 作太郎 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 地政学的優位の確保 | 今井 啓一 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 過去の幻覚に陥るな | 吉岡 文六 | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 安南の伝説(七) | F・セスブロン | 3月号 | 1942 no.3 | no.32 | 昭南島の将来 |
| 清朝創業の教訓 | 大川 周明 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| セイロン島の国際的重要性 | 伊東 敬 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| 一九三九年の比島国勢調査人口統計に現はれた諸相 | 淵脇 英雄 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| 東南亜の工業化と電化計画(一) | 相川 春喜 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| ネールと日本・支那・英国 | H・ラーミア | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| メナンカバウの慣習 | 野原 四郎 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| ジャワ回教徒の信仰 | 小野 信次 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| 安南の伝説(八) | F・セスブロン | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| ジャングルにたたかふ | 坂本 益雄 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| マレー地名考 | 須山 卓 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| 大戦第二段階の建設 | 嘉治 隆一 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| フオールコンとその妻(十一) | 郡司 喜一 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| タイ国破産法全文(一) | 奥野 金三郎 | 4月号 | 1942 no.4 | no.33 | |
| 大東亜建設の歩調 | 大川 周明 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| タイ国の経済建設 | 川田 富久雄 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| 南方圏と農林産不足物資の増産方策 | 松丸 志摩三 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| 東南亜の工業化と電化計画(二) | 相川 春喜 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| 印度国民主義に於けるインド教と回教 | ラム・ムルティ | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| セイロン島の交通 | 辻 豊 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| 東印度の教育政策 | 羽藤 秀利 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| モロ族の歴史観(一) | 法貴 三郎 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| タイ語の月名について | 東元 多郎 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| 東印度に於けるドイツ人の歴史 | 貴志 康人 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| ドイツ医学のマラリア克服 | W・リンデンベルグ | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| 安南の統一者 嘉隆帝(一) | 渡瀬 正忠 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| 南方建設の具体化 | 嘉治 隆一 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| タイ国破産法全文(二) | 奥野 金三郎 | 5月号 | 1942 no.5 | no.34 | |
| 大東亜戦の理想 | 大川 周明 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| インドネシア復興途上の諸問題 | 岩隈 博 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| インドネシア回教工作について | 小野 信次 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| ニューギニア流刑地の生活 | 中村 孝志 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| マレー前線の文化(現地報告) | 寺田 頼男 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| ランゲーンの一旬(現地報告) | 八木 龜太郎 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| ニューギニアの宗教 | ロバート・ルーウキ | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| 南方建設とわが経済界 | 菱山 辰一 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| 南方進出の心得 | 諸家 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| 世界戦史上の偉業 | 嘉治 隆一 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| モロ族史観(二) | 法貴 三郎 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| 安南の統一者 嘉隆帝(二) | 渡瀬 正忠 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |
| ナポレオンと西南アジア | 戸川 英胤 | 6月号 | 1942 no.6 | no.35 | |

| | | |
|--|---|---|
| 東亜共栄圏諸政策の基調 フオールコンとその妻(十二) | 佐田 弘治郎 郡司 喜一 | 6月号 1942 no.6 no.35 6月号 1942 no.6 no.35 |
| 印度問題の展望 戦時豪州の諸問題 豪州の牧農業 豪州の工業 豪州の原住民點描 豪州ヴィクトリア州誌 ニュージーランド事情 東南亜の工業化と電化計画(三) モロ族史観(三) 東方の水平線 安南の統一者 嘉隆帝(三) 皇威全東洋に遍し 社環とアル・クープア 戦時下のイラン フオールコンとその妻(十三) | 大川 周明 宮崎 亮 倉重 清久 片山 龍二 井上 昇三 岩瀬 良雄 辻 豊 相川 春喜 法貴 三郎 テ・ランギ・ヒロア 渡瀬 正忠 嘉治 隆一 前嶋 信次 尾上 暁藏 郡司 喜一 | 7月号 1942 no.7 no.36 |
| 大東亜戦争の原理 インドの灌漑農業 インドの経営代行制度と英国金融資本 インドの工業化問題 インド国民主義運動と日本と支那と インドの交通 インドのカストについて インド国境地政学(上) インドジャーナリズムの危機 アラビヤ分苑名中のインド 南洋華僑発展史研究 フランスの印度支那攻略と天主教国の活躍 第一次の布陣玆に全し 第二次大戦と西アジアの油田 最初の探検者 フオールコンとその妻(十四) | 大川 周明 岡崎 三郎 小竹 豊治 春山 四朗 寺田 顯男 戸川 英胤 三角 義敏 貴志 康人 H・ラーミア 前嶋 信次 須山 卓 奥 好震 嘉治 隆一 神戸 政彌 テ・ランギ・ヒロア 郡司 喜一 | 8月号 1942 no.8 no.37 |
| ギヴ・エンド・テーク スマトラの民族政治学 東インドの錫資源 和蘭商事会社と東印度(一) 東南亜の工業化と電化計画(四) 大東亜計画貿易論 マレーの交通 ビルマの志士 ウ・オッタマの憶ひ出 印度女性の地位と役割 インド国境地政学(下) インド独立の烽火 フオールコンとその妻(十五) | 大川 周明 高桑 昇三 北 博 西野 照太郎 相川 春喜 橋爪 克己 清水 顯 平井 留治郎 N・キョール 貴志 康人 木下 半治 郡司 喜一 | 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 9月号 1942 no.9 no.38 |
| インド問題の鍵 オランダのインドネシア經濟研究方法について パタビヤ地方文書館とその資料 マレー調査と統治問題 舊海峡植民地の統治機構 ビルマ研究調査の指標 タイ国調査雜感 仏印貿易の性格と經濟協定 和蘭商事会社と東印度(二) バンコックの思ひ出 ヒンドクシの山と人 マレー原住種族と先史時代の遺跡 三角形の中心 アメリカの謀略を衝く フオールコンとその妻(十六) | 大川 周明 岩隈 博 中村 孝志 須山 卓 竹中 喜満太 蒲池 清 宮原 義登 尾上 貞五郎 西野 照太郎 林 鹿雄 小川 亮作 R・O・キンステッド テ・ランギ・ヒロア 木下 半治 郡司 喜一 | 10月号 1942 no.10 no.39 |
| 綿々不斷の追求 豪州戦時經濟の發展 南方占領地域に於ける軍票の流通促進策 南方圏の綿花栽培と北アメリカ綿作經營の分析 東南亜の工業化と電化計画(五) モロ戦争(一) 和蘭商事会社と東印度(三) タイ人の家庭生活 ニュージーランド人と科学 枢軸の進軍譜 フオールコンとその妻(十七) | 大川 周明 伊藤 孝一 市川 正義 松丸 志摩三 相川 春喜 法貴 三郎 西野 照太郎 林 鹿雄 S・H・ジェンキンソン 木下 半治 郡司 喜一 | 11月号 1942 no.11 no.40 |
| 精神的軍備 大東亜戦争の發展と重慶 | 大川 周明 石濱 知行 | 12月号 1942 no.12 no.41 12月号 1942 no.12 no.41 |

| | | | | | | |
|--------------------------|--------------------|------|------|-------|-------|----|
| 北アフリカ戦線の発展 | 鈴木 東民 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 大東亜戦争とアメリカの国内情勢 | 木下 秀夫 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 南方現地通貨禁止論(上) | 市川 正義 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 民族政策の方向とその基調 | 前田 稔靖 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 日タイ文化協定成立の意義 | 石川 昌彦 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 死闘の戦線 | 木下 半治 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| モロ戦争(二) | 法貴 三郎 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 和蘭商事会社と東印度(完) | 西野 照太郎 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 鴻基紀行 | ローランド・ドルジュレス | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| ポリネシアの中心 | テ・ランギ・ヒロア | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 国文学にあらはれたセイロン建国説話 | 東元 多郎 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| タイ史話 フォールコンとその妻(十八) | 郡司 喜一 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| タイ国選挙法(改正) | 江尻 英太郎 訳 | 12月号 | 1942 | no.12 | no.41 | |
| 年を非常時に迎ふ | 大川 周明 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| インドネシア的土地権の主要形態と発達過程 | 岩隈 博 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| 貿易より見たる東印度経済の構造(一) | 高見 玄一郎 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| 比島経済の主要問題 | 尾上 輝造 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| 仏印の村落共有地と土地政策 | 中込 武雄 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| 安南人の戦時生活 | 山川 寿 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| イフガオ族の生活 | R・F・バートン | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| 南方現地通貨流通禁止論(下) | 市川 正義 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| 東南亜の工業化と電化計画(六) | 相川 春喜 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| モロ戦争(三) | 法貴 三郎 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| 傷だらけの戦線 | 安本 亮一 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | 漫画 |
| 米の野望 | 加藤 悦郎 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | 漫画 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(十九) | 郡司 喜一 | 1月号 | 1943 | no.1 | no.42 | |
| 異民族に臨む態度 | 大川 周明 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| 東亜民族としての自覚 | 幾太郎 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| 南方圏との為替比率決定問題 | 市川 正義 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| 貿易より見たる東印度経済の構造(二) | 高見 玄一郎 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| 東南亜の工業化と電化計画(七) | 相川 春喜 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| 占領後のインドネシア人の言論 | 宮武 正道 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| フィリピン奴隷史(一) | 奥田 博夫 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| モロ戦争(四) | 法貴 三郎 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| 高丘親王を偲び奉りて | 長井 眞琴 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| 東印度に関する欧文文献書目に就いて | 中村 孝志 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| 言語上より見たるインドネシアの物質文化(一) | 馬淵 東一 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| ポリネシアの海人 | テ・ランギ・ヒロア | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| ナイルのほとり | 齊藤 信治 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| バグダッドの悲劇 | 深谷 亮 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | 漫画 |
| 鉄鎖を断て! | 岸 丈夫 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | 漫画 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(二十) | 郡司 喜一 | 2月号 | 1943 | no.2 | no.43 | |
| ガンディ死せんとす | 大川 周明 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| 米國植民政策の欺瞞 | 山本 登 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| 北ボルネオの現地踏査 | 波多 尚 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| 東南亜の工業化と電化計画(完) | 相川 春喜 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| フィリピン奴隷史(二) | 奥田 博夫 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| 貿易より見たる東印度経済の構造(三) | 高見 玄一郎 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| 初期のビルマ・欧州間の交渉 | A・P・フェーヤー | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| インドシナの街々 | 吉田 登 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| インドネシアにおけるダイナミズム学説の発展(一) | 大井 正 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| 言語上より見たるインドネシアの物質文化(一) | 馬淵 東一 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| モロ戦争(五) | 法貴 三郎 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| アラビヤ人と咖啡(一) | 前嶋 信次 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| インドネシア原住民の死者に関する風習 | アミール・ハッサン | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| 種蒔く人 | 加藤 悦郎 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | 漫画 |
| 会談ばやり | 安本 亮一 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | 漫画 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(二一) | 郡司 喜一 | 3月号 | 1943 | no.3 | no.44 | |
| ガンディ死せず | 大川 周明 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| インドネシアの稲作祭祀 | 齊藤 正義 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| インドネシアにおけるダイナミズム学説の発展(二) | 大井 正 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| ニュージーランドの土地開発状態 | 小林 健二 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| フィリピン奴隷史(三) | 奥田 博夫 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| モロ戦争(六) | 法貴 三郎 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| 安南王室に就いて | 阮 進瀾 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| 華僑の町(シロン) | ローランド・ドルジュレス 小松 清訳 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| アラビヤ人と咖啡(二) | 前嶋 信次 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| タイ史話 フォールコンとその妻(二二) | 郡司 喜一 | 4月号 | 1943 | no.4 | no.45 | |
| 東亜指導原理の実践性 | 大川 周明 | 5月号 | 1943 | no.5 | no.46 | |
| ビルマの対印関係展望 | 伊藤 敬 | 5月号 | 1943 | no.5 | no.46 | |
| ビルマ石油資源とその経営(一) | 花井 歎次 | 5月号 | 1943 | no.5 | no.46 | |
| ビルマ仏教文化のあと | 五十嵐 智昭 | 5月号 | 1943 | no.5 | no.46 | |
| ビルマ・ルート | クリスチャン | 5月号 | 1943 | no.5 | no.46 | |
| ランゲーンの建設 | パーン | 5月号 | 1943 | no.5 | no.46 | |

| | | | | | |
|-----------------------------------|--------------------|------|------------|-------|--------------|
| ビルマ人の家庭風景 | 水木 洋子 | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | |
| ビルマ印象記 | 牧野 龍夫 | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | |
| ランゲーンの時信 | 島崎 曙海 | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | |
| フィリピンの農具問題 | 松丸 志摩三 | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | |
| 貿易より見たる東印度経済の構造(四) | 高見 玄一郎 | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | |
| イーデンの土産 | 岸 丈夫 | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | 漫画 |
| 金色の毒蛇 | 加藤 悦郎 | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | 漫画 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(二三) | 郡司 喜一 | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | |
| タイ小説 瑪瑙の腕輪 | ウェーターン | 5月号 | 1943 no.5 | no.46 | |
| 興亜同盟に対する希望 | 大川 周明 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| フランス国民革命と仏印行政制度の変革 | 大岩 誠 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| 大東亜共栄圏指導通貨としての円の由来(一) | 市川 正義 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| 舊シンガポールのラッフルス図書館と博物館(一) | 池田 孝道 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| ボルネオの蘭芳公司 | 中村 孝志 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| スマトラ縦走二千軒 | 辻 豊 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| モロ戦争(七) | 法貴 三郎 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| トルコの中立 | 戸川 英胤 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| アメリカとイギリスと重慶と | 岸 丈夫 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | 漫画 |
| アメリカのアキレス腱 | 深谷 亮 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | 漫画 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(二四) | 郡司 喜一 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| ラオス伝説 悲しき楽人 | 山下 留吉 | 6月号 | 1943 no.6 | no.47 | |
| ポーシ氏の来朝 | 大川 周明 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| 印度支那に於ける農民の生活水準 | 逸見 重雄 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| 独立を目指す比島の現勢 | 中村 今朝雄 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| 大東亜共栄圏指導通貨としての円の由来(完) | 市川 正義 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| 貿易より見たる東印度経済の構造(五) | 高見 玄一郎 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| タイ国民劇 二十五の厄年 | ウィチット・ワタカーン作 岩崎 陽二 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| 舊シンガポールのラッフルス図書館と博物館(二) | 池田 孝道 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| プギス島の漁業(絵と文) | 満留 満 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| 埃及の人間 | 齊藤 信治 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| どこまでつづく | 深谷 亮 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | 漫画 |
| 全譯 肥満ティッサ物語 | 東元 多郎訳 | 7月号 | 1943 no.7 | no.48 | |
| 比島の新国民運動 | 大谷 喜光 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 独立ビルマの建設 | 信太 澄夫 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| タイ国のラッタニヨム運動 | 江尻 英太郎 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 仏胤政治・経済の新発足 | 大村 雄壮 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 仏印の明暗 | 山川 寿 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| インドシナの史前学 | 金 永鍵 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| ビルマ石油資源とその経営(二) | 石倉 一郎 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 舊シンガポールのラッフルス図書館と博物館(完) | 池田 孝道 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 北部マライ諸州を巡る英タイ関係(上) | 西村 勝彦 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| モロ戦争(八) | 法貴 三郎 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 抗英の英雄 ティプー・スルターン伝(一) | 吉原 公平 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 末路 | 深谷 亮 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | 漫画 |
| 太平洋の飛石の正体はこれだ! | 岸 丈夫 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | 漫画 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(二五) | 郡司 喜一 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 印度小説 呪(マントラ) | プレム・チャンド 三角 義敏訳 | 8月号 | 1943 no.8 | no.49 | |
| 亜細亞的言行 | 大川 周明 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| ビルマ建国の大先覚者 ウ・オッタマ比丘ーその生涯・思想・業績(一) | 大岩 誠 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| 抗英思想の権化 | 伊藤 次郎左衛門 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | ウ・オッタマ師を語る |
| 日本精神を把握 | 国分 正三 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | ウ・オッタマ師を語る |
| 同志の言葉 | 若林 半 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | ウ・オッタマ師を語る |
| 「日本」の教訓 | 小林 義道 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | ウ・オッタマ師を語る |
| モロ戦争(九) | 法貴 三郎 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| 比律賓国名変遷史とその将来 | A・J・アンバヤニー | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | 保存状態悪く著者名不明瞭 |
| 古代及び中世ジャワ文学概説(一) | 中島 莞爾 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| 北部マライ諸州を巡る英タイ関係(下) | 西村 勝彦 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| インドネシアの原始文化 | W・F・ストユテルハイム | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| 印度支那考古学の論争 | 金 永鍵 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| ニューカレドニアの鉱産物と鉱業事情 | 林 鹿雄 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| 印度に於ける仏領植民地概観 | 菅原 鼎 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| 抗英の英雄 ティプー・スルターン伝(二) | 吉原 公平 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| 黎明に近づけり | 岸 丈夫 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | 漫画 |
| ケベック会談以後 | 岸 丈夫 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | 漫画 |
| ボートは何処へ | 深谷 亮 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | 漫画 |
| タイ史話 フォールコンとその妻(完) | 郡司 喜一 | 9月号 | 1943 no.9 | no.50 | |
| 指導能力と指導権 | 大川 周明 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 | |
| 南方農業植民方式と経済目標(一) | 野間 海造 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 | |
| ビルマ建国の大先覚者 ウ・オッタマ比丘ーその生涯・思想・業績(二) | 大岩 誠 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 | |
| 盟邦タイ国の新建設 | 平等 適昭 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 | |
| ビルマ・シヤンステートの行政機構 | 牧野 龍夫 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 | |
| 大東亜戦争と孫文主義の再検討 | 市川 正義 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 | |
| モロ戦争(十) | 法貴 三郎 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 | |

| | | | | |
|----------------------------------|------------|------|------------|----------|
| 古代及び中世ジャワ文学概説(二) | 中島 莞爾 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 |
| インドネシア慣習法用語について | 大井 正 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 |
| サロジニ・ナイツウ詩抄 | サロジニ・ナイツウ | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 |
| 抗英の英雄 ティプー・スルターン伝(三) | 吉原 公平 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 |
| 御苦労な話 | 岸 丈夫 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 漫画 |
| だんだん大きくなるメガホン | 岸 丈夫 | 10月号 | 1943 no.10 | no.51 漫画 |
| 自由印度仮政府の樹立 | 大川 周明 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| ジャワ村落経済の変革過程 | 岩隈 博 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| 南方農業植民方式と経済目標(二) | 野間 海造 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| 中越経済関係一支那及び仏領印度支那間の通商関係一(一) | 王 文元 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| 日比交渉史 | G・F・サイデ | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| 南方圏のデリス | 遠藤 季男 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| ビルマ文化人の近況 | 栗本 芳雄 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| インド土侯国紀行(一) | 高島 正雄 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| 古代及び中世ジャワ文学概説(三) | 中島 莞爾 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| モロ戦争(十一) | 法貴 三郎 | 11月号 | 1943 no.11 | no.52 |
| 大東亜共同宣言 | 大川 周明 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| シリアと砂糖ー古代シリア人文化的寄与ー | 前嶋 信次 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| 中越経済関係一支那及び仏領印度支那間の通商関係一(二) | 王 文元 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| ニューギニア奥地の民族学的調査 | J・L・テイラー | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| コレージュ・ド・フランスと東洋学 | 金 永健 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| 古代及び中世ジャワ文学概説(完) | 中島 莞爾 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| モロ戦争(十二) | 法貴 三郎 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| 上ビルマ国境初期探検誌 | H・クリフオード | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| インド土侯国紀行(二) | 高島 正雄 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| 抗英の英雄 ティプー・スルターン伝(四) | 吉原 公平 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| 大きな夕焼けを眺めながら | 草野 心平 | 12月号 | 1943 no.12 | no.53 |
| 年を大東亜戦争第三年に迎ふ | 大川 周明 | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| 南方戦線に於ける食料自活に関する一考察 | 平野 義太郎 | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| 戦時下南方調査研究の諸問題 | 坂本 徳松 | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| 中越経済関係一支那及び仏領印度支那間の通商関係一(三) | 王 文元 | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| ビルマの牛車 | 山崎 早市 | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| 南方原住民の生活と音楽政策 | 黒澤 隆朝 | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| バリ島の生活・宗教・芸術 | ジエオフレイ・ゴラー | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| モロ戦争(十三) | 法貴 三郎 | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| 抗英の英雄 ティプー・スルターン伝(五) | 吉原 公平 | 1月号 | 1944 no.1 | no.54 |
| 勝利の保障 | 大川 周明 | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| インド問題に於けるベンゴール地方の重要性 | 伊藤 敬 | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| ベンガルの地政概観(上) | N・クレブス | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| インド労働者の問題 | M・リード | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| ヒンドゥ教の本質 | A・ユスフ・アリ | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| マイソール土侯国(インド土侯国紀行) | 高島 正雄 | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| 牢獄からの歌 | マハトマ・ガンヂイ | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| マライ軍政下の重要課題 | 後藤 友治 | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| 南セレベス土侯国抄史(上) | 河原 史男 | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| モロ戦争(十四) | 法貴 三郎 | 2月号 | 1944 no.2 | no.55 |
| 覚悟を新にせよ | 大川 周明 | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| 大東亜建設の基本課題 | 木村 禧八郎 | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| ドイツの交易市場としての大東亜圏ーその統計分析一(上) | 五十嵐 駒二 | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| 中越経済関係一支那及び仏領印度支那間の通商関係一(四・完) | 王 文元 | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| ベンガルの地政概観(下) | N・クレブス | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| 南セレベス土侯国抄史(下) | 河原 史男 | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| 南方圏の民船(絵と解説) | 齊藤 敏夫 | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| モロ戦争(十五・完) | 法貴 三郎 | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| 沙漠の人間ーイブン・ハルドゥンの歴史哲学ー | 齊藤 信治 | 3月号 | 1944 no.3 | no.56 |
| 勝敗を最後に決するもの | 大川 周明 | 4月号 | 1944 no.4 | no.57 |
| マライのアダット(旧慣習)慣行地域とその地勢的考察 | 後藤 友治 | 4月号 | 1944 no.4 | no.57 |
| 東印度工業化とインドネシア国民所得ーシツツエンの所論に連関してー | 西野 照太郎 | 4月号 | 1944 no.4 | no.57 |
| ドイツの交易市場としての大東亜圏ーその統計分析一(下) | 五十嵐 駒二 | 4月号 | 1944 no.4 | no.57 |
| ビルマのインド人労働者 | A・ナラヤナ・ラオ | 4月号 | 1944 no.4 | no.57 |
| アキャブの歴史 | 松田 玄一 | 4月号 | 1944 no.4 | no.57 |
| ビルマ演劇史序説 | モン・チン・アウン | 4月号 | 1944 no.4 | no.57 |
| ビルマの螢 | 島崎 曙海 | 4月号 | 1944 no.4 | no.57 |
| インドの「幸福の門」 | 大川 周明 | 5月号 | 1944 no.5 | no.58 |
| 華僑工作と戦力増強 | 木村 孫八郎 | 5月号 | 1944 no.5 | no.58 |
| 比島の民族と文化(一) | 北 久一 | 5月号 | 1944 no.5 | no.58 |
| 最近ビルマの政治・経済建設 | 根津 菊治郎 | 5月号 | 1944 no.5 | no.58 |
| アンコールに関する二三の謬見 | ジョルジュ・セデス | 5月号 | 1944 no.5 | no.58 |
| 印度支那普通教育及び高等教育の動向 | 金 永健 | 5月号 | 1944 no.5 | no.58 |
| 比婆山 | 高橋 新吉 | 5月号 | 1944 no.5 | no.58 |
| 決戦の時期迫る | 大川 周明 | 6月号 | 1944 no.6 | no.59 |

| | | | | |
|-------------------------------|-------------------|------|------------|-------|
| スマトラ・ジャワ視察記 | 古野 清人 | 6月号 | 1944 no.6 | no.59 |
| 比島の民族と文化(二・完) | 北 久一 | 6月号 | 1944 no.6 | no.59 |
| タイの葬儀の慣習(上) | 宮原 義登 | 6月号 | 1944 no.6 | no.59 |
| インドと戦争 | J・ネール | 6月号 | 1944 no.6 | no.59 |
| 印度独立戦争(一) | 吉原 公平 | 6月号 | 1944 no.6 | no.59 |
| 南方の友に送る | 嘉治 隆一 | 6月号 | 1944 no.6 | no.59 |
| 米国の物量に対する迷信 | 大川 周明 | 7月号 | 1944 no.7 | no.60 |
| 農耕儀礼と民族政策 | 大井 正 | 7月号 | 1944 no.7 | no.60 |
| メナンカバウ族の土地慣習法 | 須山 卓 | 7月号 | 1944 no.7 | no.60 |
| タイの葬儀の慣習(下) | 宮原 義登 | 7月号 | 1944 no.7 | no.60 |
| 北西の礁湖 | テ・ランギ・ヒロア | 7月号 | 1944 no.7 | no.60 |
| ビルマの友に送る | 蒲池 清 | 7月号 | 1944 no.7 | no.60 |
| 先づ食はしめ且言はしめよ | 大川 周明 | 8月号 | 1944 no.8 | no.61 |
| ヴィヴェカーナンダ出現の意義 | 渡邊 照宏 | 8月号 | 1944 no.8 | no.61 |
| 緬・印間の印度移民船 | A・ナラヤナ・ラオ | 8月号 | 1944 no.8 | no.61 |
| 現代タイ文学 | 江尻 英太郎 | 8月号 | 1944 no.8 | no.61 |
| オーストラリアの西歐的発見(上) | 法貴 三郎 | 8月号 | 1944 no.8 | no.61 |
| 南と南東 | テ・ランギ・ヒロア | 8月号 | 1944 no.8 | no.61 |
| 日本に於ける印度支那研究 | 金 永健 | 8月号 | 1944 no.8 | no.61 |
| 印度独立戦争(二) | 吉原 公平 | 8月号 | 1944 no.8 | no.61 |
| 可能を不可能ならしむる勿れ | 大川 周明 | 9月号 | 1944 no.9 | no.62 |
| マライ・タイ・仏印視察記 | 古野 清人 | 9月号 | 1944 no.9 | no.62 |
| オーストラリアの西歐的発見(下) | 法貴 三郎 | 9月号 | 1944 no.9 | no.62 |
| タイの音楽 | 門馬 直衛 | 9月号 | 1944 no.9 | no.62 |
| 北東放射線 | テ・ランギ・ヒロア | 9月号 | 1944 no.9 | no.62 |
| オッタマ日本語学校のこと | 隣 宏三 | 9月号 | 1944 no.9 | no.62 |
| 印度独立戦争(三) | 吉原 公平 | 9月号 | 1944 no.9 | no.62 |
| 支那問題打開の好機 | 大川 周明 | 10月号 | 1944 no.10 | no.63 |
| 印度的米食型の特質(一) | 小竹 豊治 | 10月号 | 1944 no.10 | no.63 |
| マライに於ける土著民の通語と民族政策 | 須山 卓 | 10月号 | 1944 no.10 | no.63 |
| イギリスの植民活動と中世商業(一) | 法貴 三郎 | 10月号 | 1944 no.10 | no.63 |
| ビルマ演劇の諸問題 | ティン・オン | 10月号 | 1944 no.10 | no.63 |
| 非常政治 | 大川 周明 | 11月号 | 1944 no.11 | no.64 |
| マルディヴ群島の産物—その東亜の文化に対する意義について— | 前嶋 信次 | 11月号 | 1944 no.11 | no.64 |
| イギリスの植民活動と中世商業(二) | 法貴 三郎 | 11月号 | 1944 no.11 | no.64 |
| 印度紀行(一) | ジャワハルラル・ネール 野田 福雄 | 11月号 | 1944 no.11 | no.64 |
| 東方珊瑚礁島 | テ・ランギ・ヒロア | 11月号 | 1944 no.11 | no.64 |
| 戦時下ビルマの経済建設と民族運動 | 山崎 早市 | 12月号 | 1944 no.12 | no.65 |
| 安南人の一生(一) | 山川 寿 | 12月号 | 1944 no.12 | no.65 |
| 東緬山系初期踏査誌(上) | 井出 浅亀 訳編 | 12月号 | 1944 no.12 | no.65 |
| イギリスの植民活動と中世商業(三) | 法貴 三郎 | 12月号 | 1944 no.12 | no.65 |
| 印度紀行(二) | ジャワハルラル・ネール | 12月号 | 1944 no.12 | no.65 |
| 印度独立戦争(四) | 吉原 公平 | 12月号 | 1944 no.12 | no.65 |
| 南洋華僑の信仰の神々(一) —大伯公考— | 須山 卓 | 1月号 | 1945 no.13 | no.66 |
| 安南人の一生 | 山川 寿 | 1月号 | 1945 no.13 | no.66 |
| 東緬山系初期踏査誌(下) | 井出 浅亀 訳編 | 1月号 | 1945 no.13 | no.66 |
| ブラーフーイー語問題の概観 | 関本 至 | 1月号 | 1945 no.13 | no.66 |
| 印度紀行(三) | ジャワハルラル・ネール | 1月号 | 1945 no.13 | no.66 |